
精華町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和8年3月

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査の実施について.....	1
3. 調査票の回収状況.....	1
4. 留意点.....	1
5. リスク判定について.....	2
II 調査結果.....	4
○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	4
1. 回答者の属性.....	4
2. 家族や生活状況について.....	6
3. からだを動かすことについて.....	14
4. 食べることにについて.....	29
5. 毎日の生活について.....	39
6. 地域での活動について.....	62
1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。.....	62
(それぞれ1つだけ○)	62
7. 就労について.....	83
8. たすけあいについて.....	85
9. 健康について.....	102
10. 認知症について.....	118
11. 介護サービスについて.....	131

I 調査概要

1. 調査目的

令和9年度からの精華町における高齢保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の実施について

対象者	令和7年12月23日現在、精華町内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)
実施期間	令和8年1月28日(水)～令和8年2月18日(水)
実施方法	郵送配布、郵送回収、インターネット回答

3. 調査票の回収状況

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
2,000 件	1,523 件	1,522 件	76.1%

4. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

5. リスク判定について

●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器の機能低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

●転倒リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

●閉じこもりのリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもりリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

●栄養改善のリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5以下

●低栄養のリスクの判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5以下
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

●口腔機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

●認知機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

●うつ病のリスクの判定方法

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ病のリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

Ⅱ 調査結果

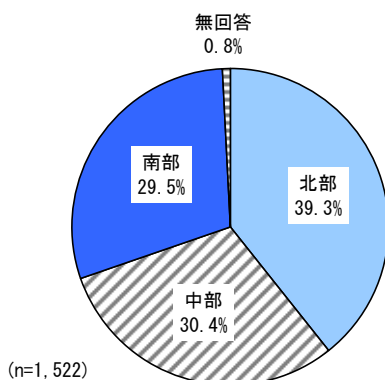
○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 回答者の属性

居住地区（日常生活圏域）

【全体】

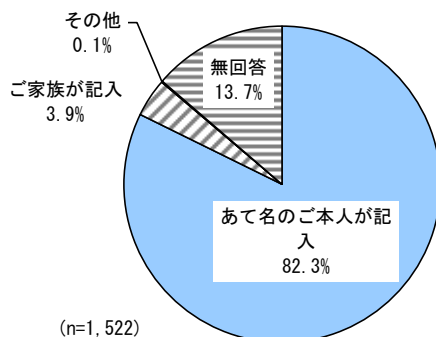
- 圏域について、「北部」が39.3%で最も多く、次いで「中部」が30.4%、「南部」が29.5%となっています。



調査回答者

【全体】

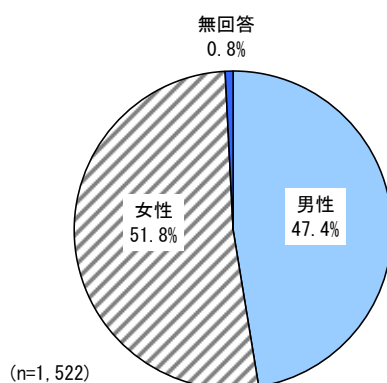
- 調査票を記入するのはどなたですか。について、「あて名のご本人が記入」が82.3%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が3.9%、「その他」が0.1%となっています。



性別

【全体】

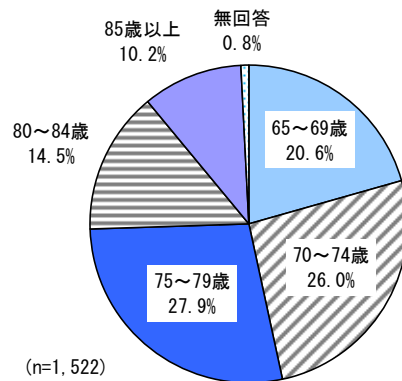
- 性別について、「男性」が47.4%、「女性」が51.8%となっています。



年齢

【全体】

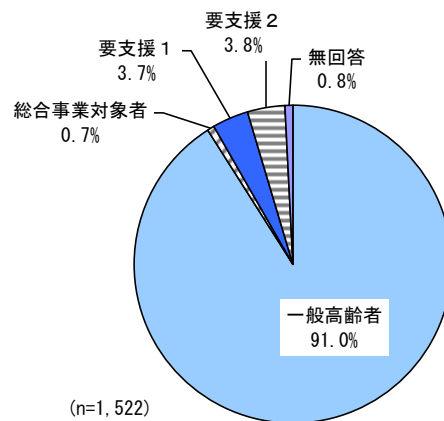
- 年齢について、「75～79歳」が27.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が26.0%、「65～69歳」が20.6%となっています。



認定該当状況

【全体】

- 認定該当状況について、「一般高齢者」が91.0%で最も多く、次いで「要支援1・2」が7.6%、「総合事業対象者」が0.7%となっています。



2. 家族や生活状況について

1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

【全体】

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が51.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.2%、「その他」が13.8%となっています。
- 「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を合わせた“高齢者のみの世帯”は63.4%となっています。

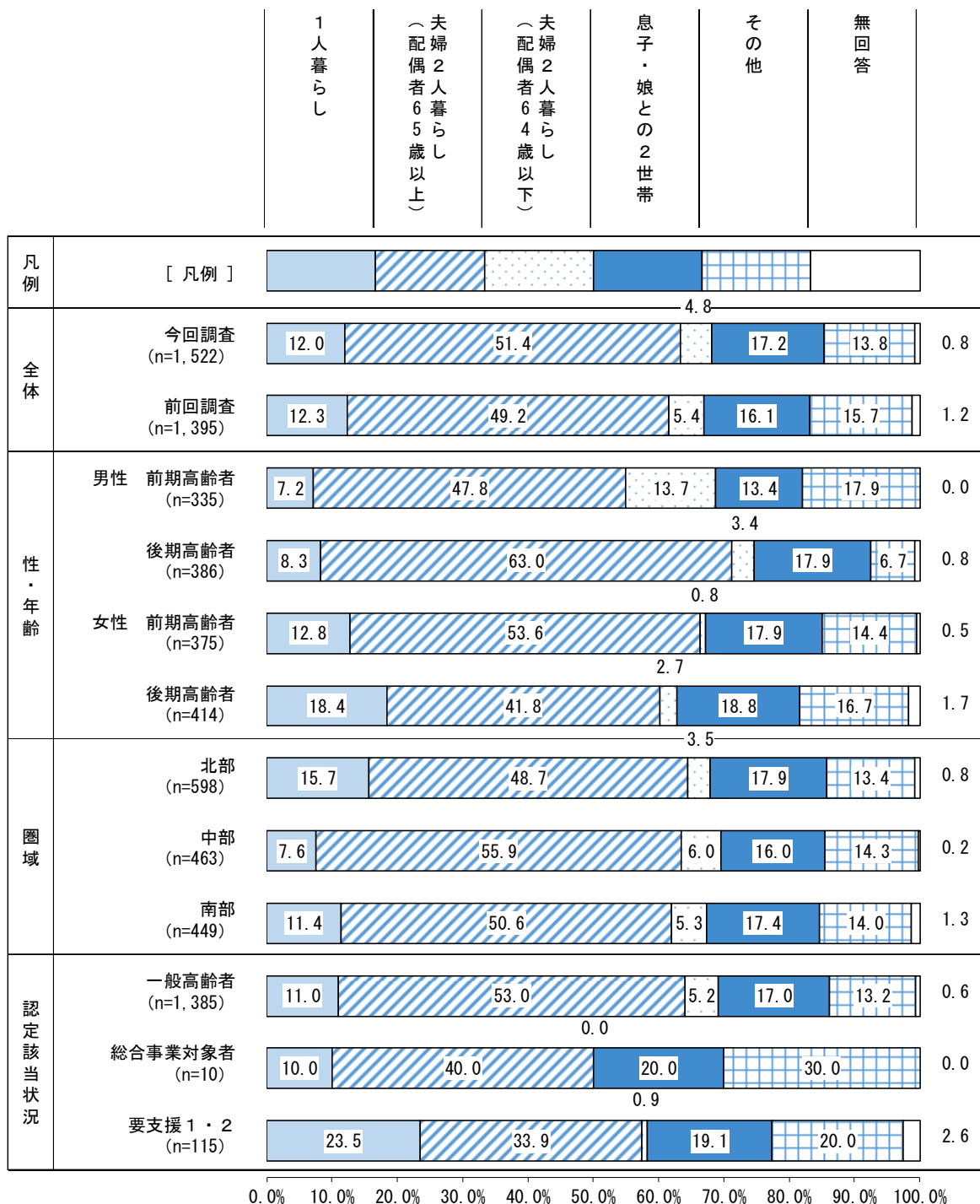
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「1人暮らし」が多くなっています。
- “高齢者のみの世帯”は男性 前期高齢者が55.0%、女性 後期高齢者が60.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「1人暮らし」は要支援1・2が23.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】



2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つだけ○）

【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が89.0%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が4.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.3%となっています。
- 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要な方”は9.0%となっています。

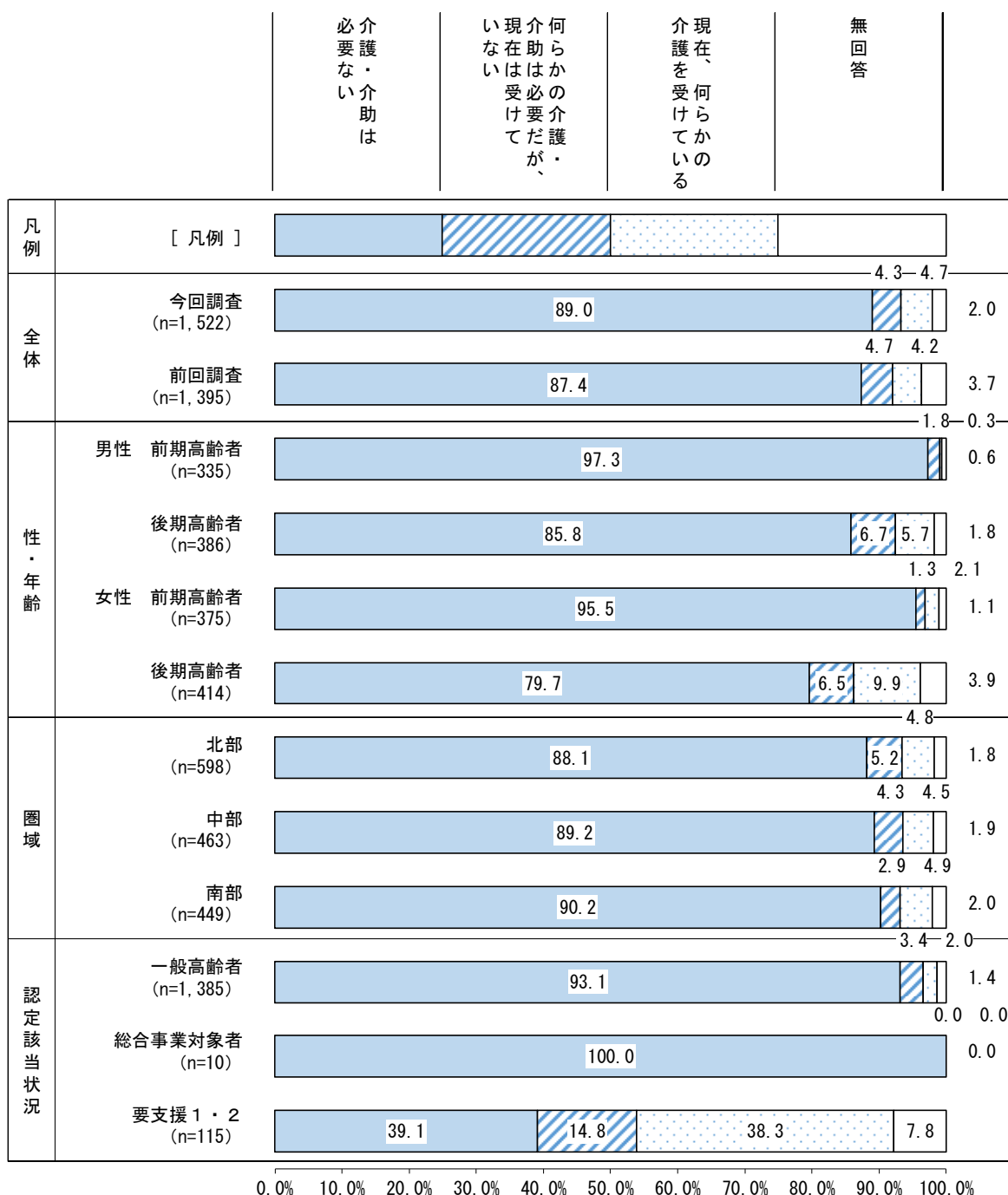
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“介護・介助が必要な方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、“介護・介助が必要な方”が53.1%となっています。

【介護・介助の必要性】



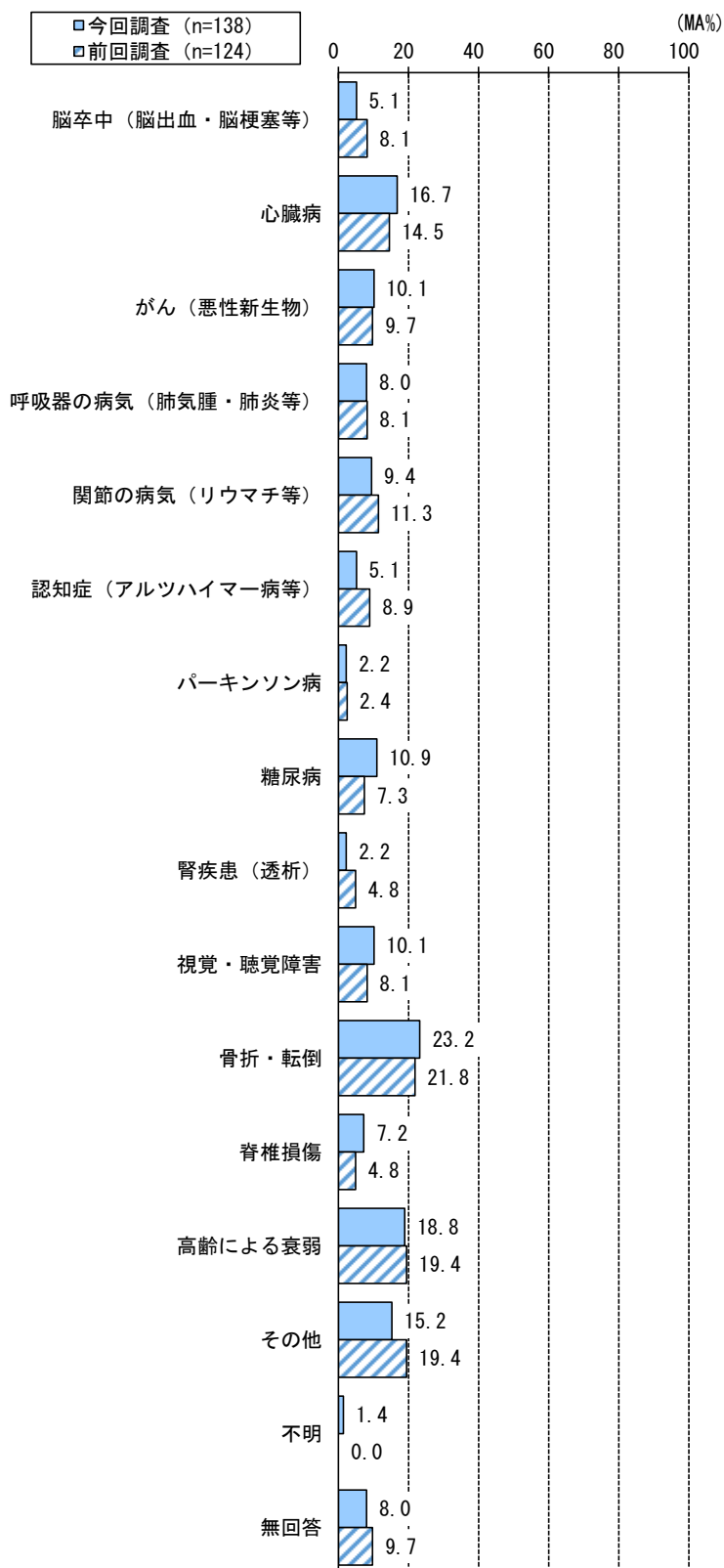
2で、「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみお答えください。

2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「骨折・転倒」が23.2%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が18.8%、「心臓病」が16.7%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



【性・年齢】

- 「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は男性 前期高齢者が 14.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「心臓病」は男性 後期高齢者が 27.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「がん（悪性新生物）」は女性 前期高齢者が 30.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「糖尿病」は男性 後期高齢者が 14.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「心臓病」は中部が 29.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「がん（悪性新生物）」は南部が 17.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」は南部が 11.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「関節の病気（リウマチ等）」は中部が 14.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「糖尿病」は南部が 14.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「骨折・転倒」は中部が 17.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因（MA）							
			（脳卒中・ 脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	（呼吸器の病気・肺炎等）	（関節の病気 （リウマチ等）	（認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全体	今回調査	138	5.1	16.7	10.1	8.0	9.4	5.1	2.2	10.9
	前回調査	124	8.1	14.5	9.7	8.1	11.3	8.9	2.4	7.3
性・年齢	男性 前期高齢者	7	14.3	-	-	14.3	14.3	-	-	-
	後期高齢者	48	8.3	△ 27.1	10.4	10.4	6.3	10.4	2.1	14.6
	女性 前期高齢者	13	-	15.4	△ 30.8	7.7	△ 23.1	-	△ 15.4	7.7
	後期高齢者	68	2.9	11.8	7.4	5.9	8.8	2.9	-	10.3
圏域	北部	60	3.3	13.3	6.7	6.7	6.7	5.0	-	10.0
	中部	41	12.2	△ 29.3	9.8	7.3	14.6	4.9	4.9	9.8
	南部	35	-	8.6	17.1	11.4	8.6	5.7	2.9	14.3
認定該当状況	一般高齢者	75	4.0	17.3	9.3	8.0	12.0	8.0	2.7	10.7
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援 1・2	61	6.6	16.4	11.5	8.2	6.6	1.6	1.6	11.5

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因（MA）								単位：%
			腎疾患 （透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	今回調査	138	2.2	10.1	23.2	7.2	18.8	15.2	1.4	8.0	
	前回調査	124	4.8	8.1	21.8	4.8	19.4	19.4	-	9.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	7	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	
	後期高齢者	48	4.2	12.5	14.6	12.5	16.7	14.6	-	4.2	
	女性 前期高齢者	13	-	-	23.1	-	▼ 7.7	△ 30.8	-	-	
	後期高齢者	68	1.5	11.8	29.4	5.9	23.5	13.2	1.5	11.8	
圏域	北部	60	5.0	13.3	23.3	8.3	15.0	23.3	-	8.3	
	中部	41	-	9.8	17.1	4.9	24.4	9.8	-	4.9	
	南部	35	-	5.7	28.6	8.6	20.0	8.6	2.9	11.4	
認定該当状況	一般高齢者	75	1.3	4.0	13.3	6.7	16.0	18.7	1.3	12.0	
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	要支援 1・2	61	3.3	18.0	△ 34.4	8.2	23.0	11.5	-	3.3	

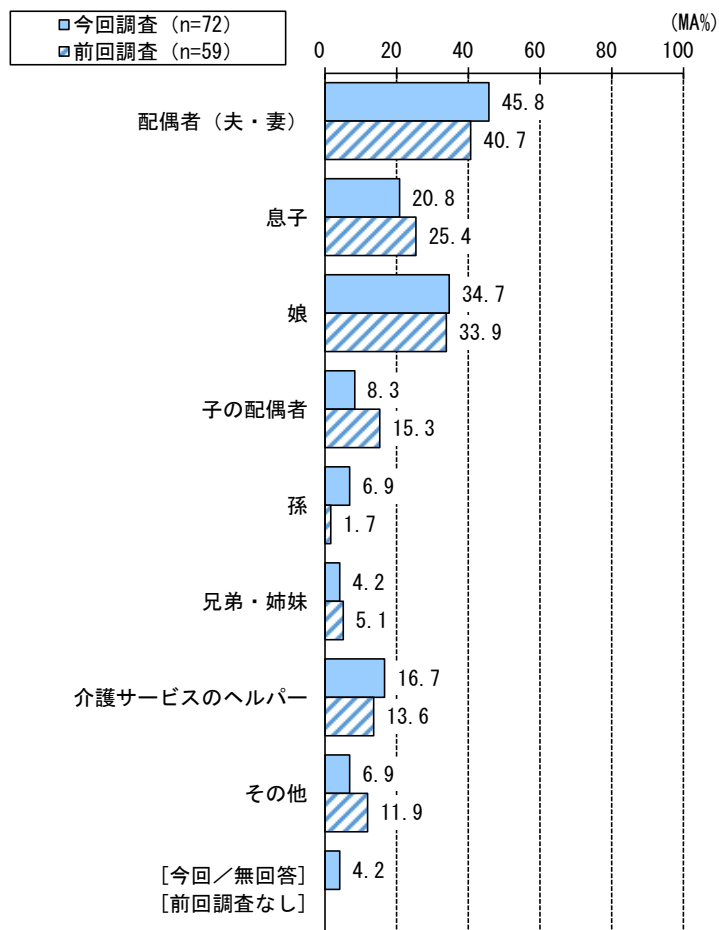
2で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみお答えください。

2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「配偶者（夫・妻）」が45.8%で最も多く、次いで「娘」が34.7%、「息子」が20.8%となっています。

【主な介護・介助者(MA)】



【性・年齢】

- 「配偶者（夫・妻）」は女性 後期高齢者が 31.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「息子」は男性 後期高齢者が 18.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「娘」は女性 前期高齢者が 12.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【圏域】

- 「配偶者（夫・妻）」は北部が 34.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「息子」は南部が 36.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「娘」は北部が 44.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護サービスのヘルパー」は北部が 10.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」が 64.3%で最も多くなっています。
- 要支援 1・2 では、「娘」が 40.9%で最も多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	主な介護・介助者 (MA)								「前回調査なし」
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	ヘルパー サービスの	その他	
全体	今回調査	72	45.8	20.8	34.7	8.3	6.9	4.2	16.7	6.9	4.2
	前回調査	59	40.7	25.4	33.9	15.3	1.7	5.1	13.6	11.9	-
性・年齢	男性 前期高齢者	1	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-
	後期高齢者	22	△ 63.6	18.2	31.8	18.2	13.6	-	13.6	-	-
	女性 前期高齢者	8	△ 75.0	25.0	▼ 12.5	-	-	△ 25.0	-	-	-
	後期高齢者	41	▼ 31.7	22.0	41.5	4.9	4.9	2.4	22.0	9.8	7.3
圏域	北部	29	▼ 34.5	▼ 10.3	△ 44.8	10.3	13.8	10.3	10.3	3.4	6.9
	中部	21	△ 57.1	19.0	33.3	-	-	-	19.0	9.5	-
	南部	22	50.0	△ 36.4	▼ 22.7	13.6	4.5	-	22.7	9.1	4.5
認定該当状況	一般高齢者	28	△ 64.3	28.6	25.0	7.1	10.7	7.1	7.1	3.6	-
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援 1・2	44	▼ 34.1	15.9	40.9	9.1	4.5	2.3	22.7	9.1	6.8

3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 経済状況について、「ふつう」が48.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が19.3%、「ややゆとりがある」が8.3%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は24.0%となっています。

【性・年齢】

- “苦しい方”は男性 前期高齢者が27.8%と他の区分に比べて多くなっています。

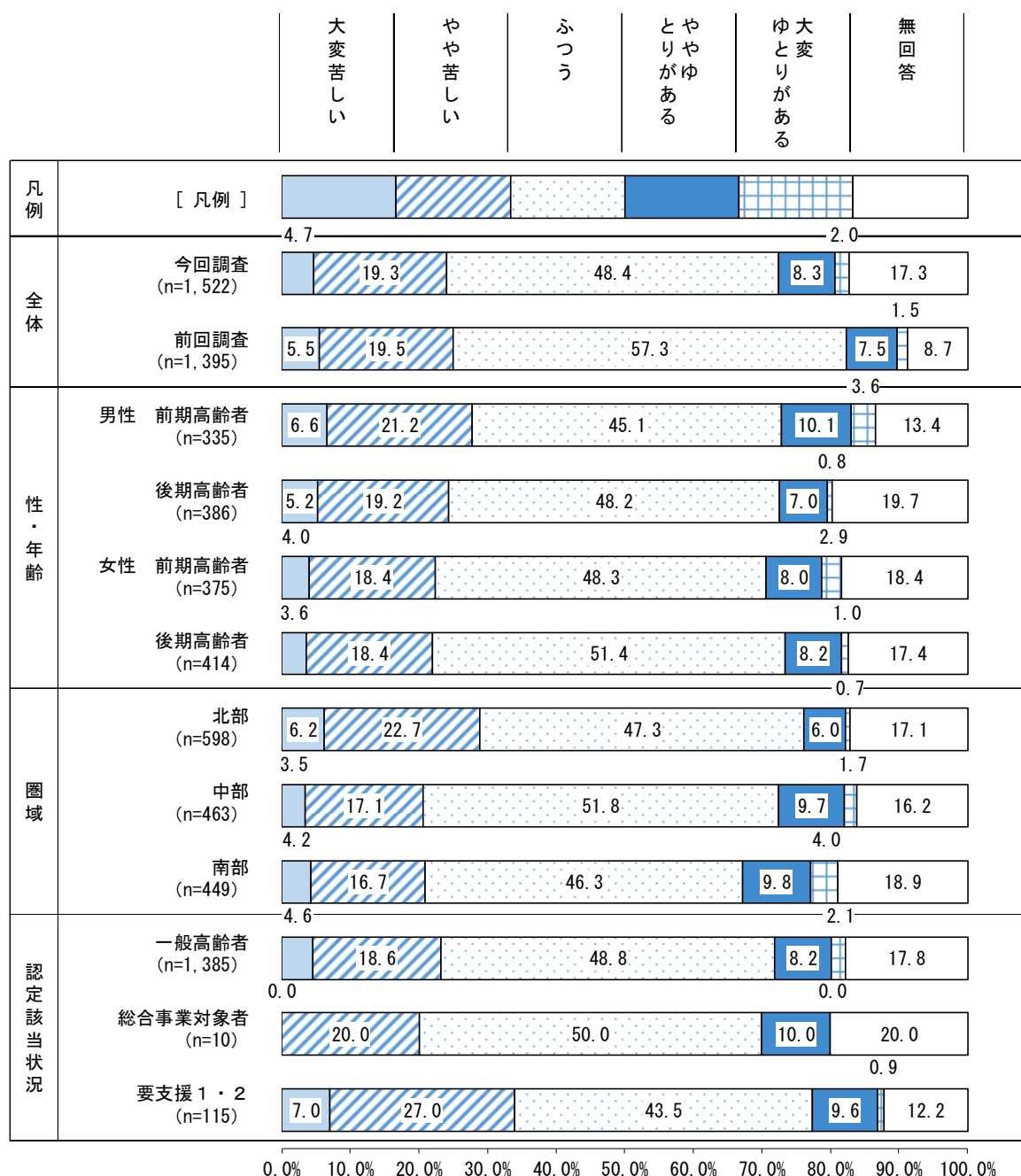
【圏域】

- “苦しい方”は北部が28.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “苦しい方”は要支援1・2が34.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【経済状況】



4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

【全体】

- 現在の住まいの形態について、「持家（一戸建て）」が83.6%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が2.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.2%となっています。

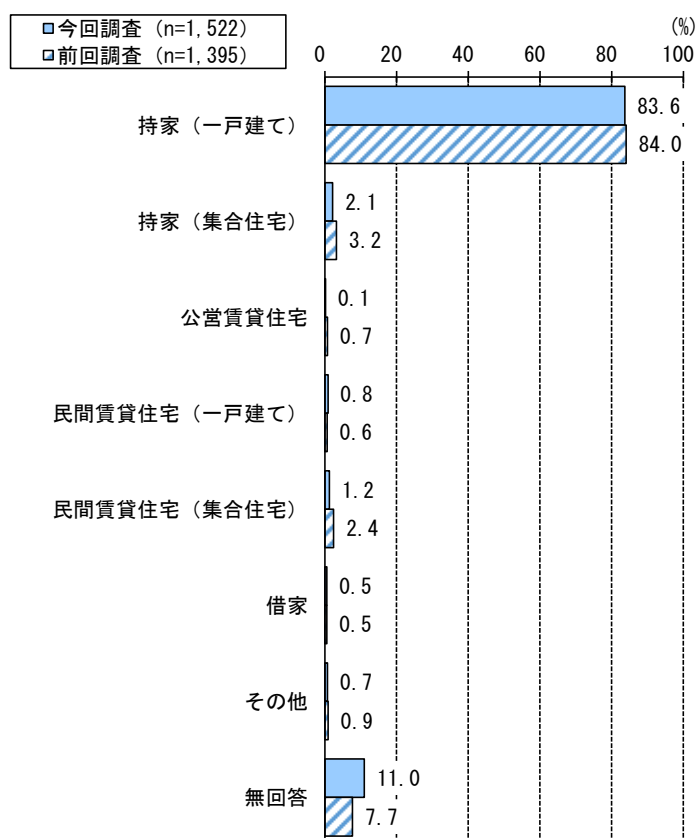
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「持家（一戸建て）」が多くなっています。
○ 「持家（集合住宅）」は男性 前期高齢者が3.9%、女性 前期高齢者が3.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「持家（集合住宅）」は南部が4.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【現在の住まいの形態】



単位：%

単位：%

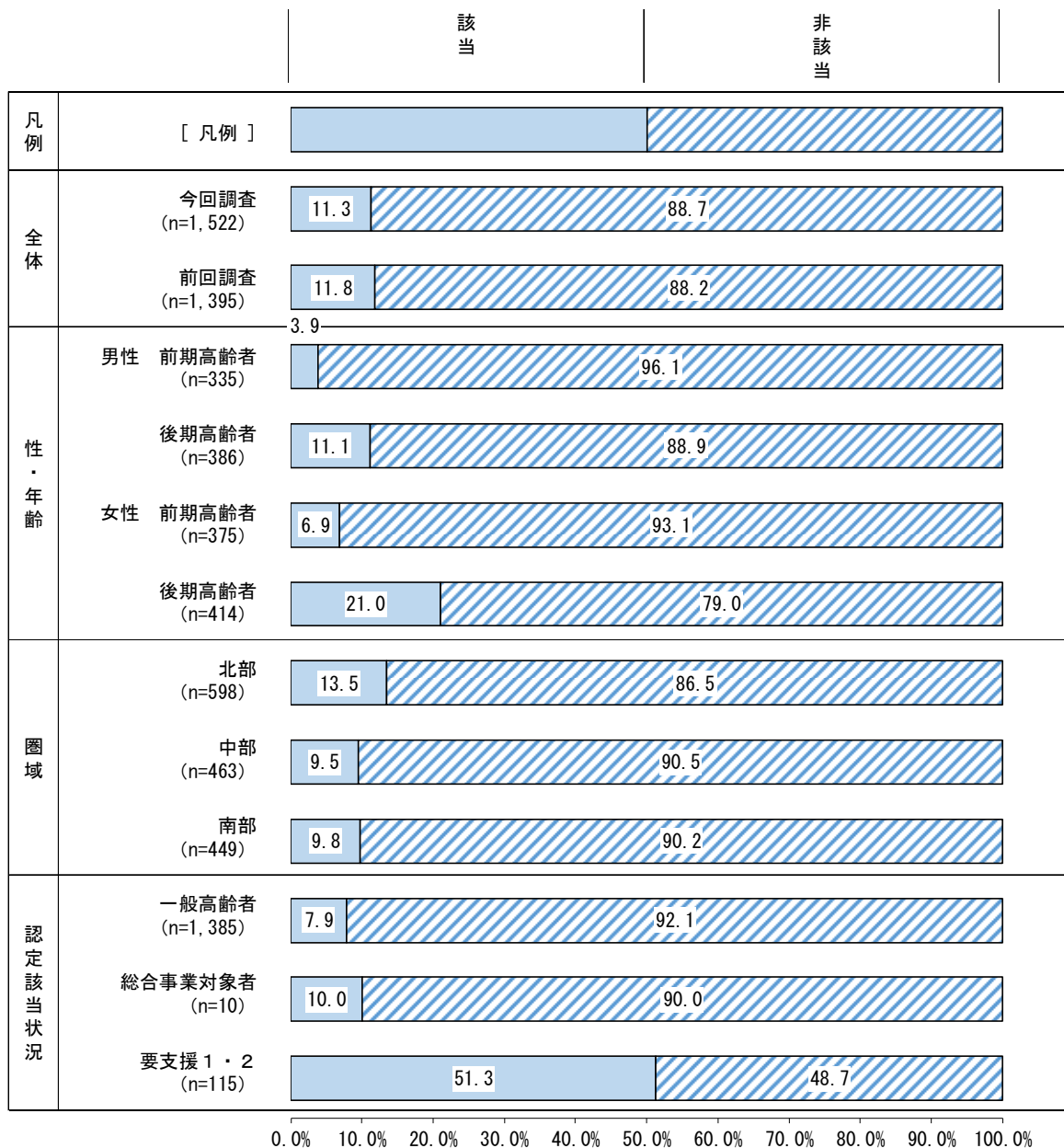
		母数 (n)	問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。							
			持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体	今回調査	1,522	83.6	2.1	0.1	0.8	1.2	0.5	0.7	11.0
	前回調査	1,395	84.0	3.2	0.7	0.6	2.4	0.5	0.9	7.7
性・年齢	男性 前期高齢者	335	80.3	3.9	0.3	2.1	1.2	0.6	0.6	11.0
	後期高齢者	386	86.5	0.8	-	-	1.0	0.5	0.3	10.9
	女性 前期高齢者	375	80.5	3.2	-	0.3	1.6	0.8	0.3	13.3
	後期高齢者	414	86.5	1.0	0.2	1.0	0.5	-	1.4	9.4
圏域	北部	598	84.8	0.8	0.2	1.2	0.5	0.5	1.0	11.0
	中部	463	87.5	1.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	9.5
	南部	449	78.2	4.9	-	0.7	2.4	0.4	0.4	12.9
認定該当状況	一般高齢者	1,385	83.2	2.2	0.1	0.9	1.0	0.5	0.4	11.6
	総合事業対象者	10	90.0	-	-	-	-	-	10.0	-
	要支援1・2	115	87.8	0.9	-	-	1.7	-	2.6	7.0

3. からだを動かすことについて

運動器の機能低下リスク

- 【全体】
- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 11.3%、「非該当」が 88.7%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
 - 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「該当」は北部が 13.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【運動器の機能低下リスク】



- 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
- 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
- 3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

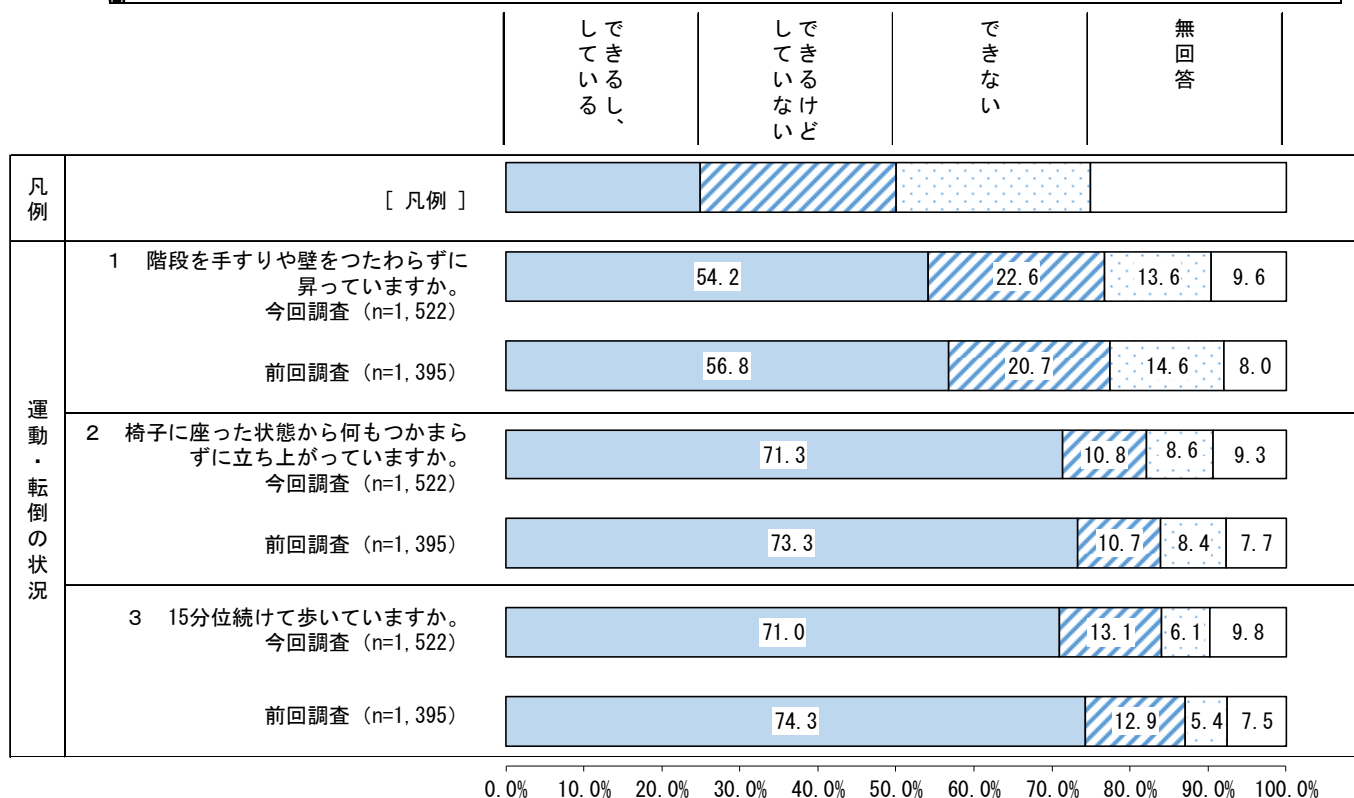
○ 「できるし、している」が54.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.6%、「できない」が13.6%となっています。

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】

○ 「できるし、している」が71.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.8%、「できない」が8.6%となっています。

【15分位続けて歩いているか】

○ 「できるし、している」が71.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が6.1%となっています。

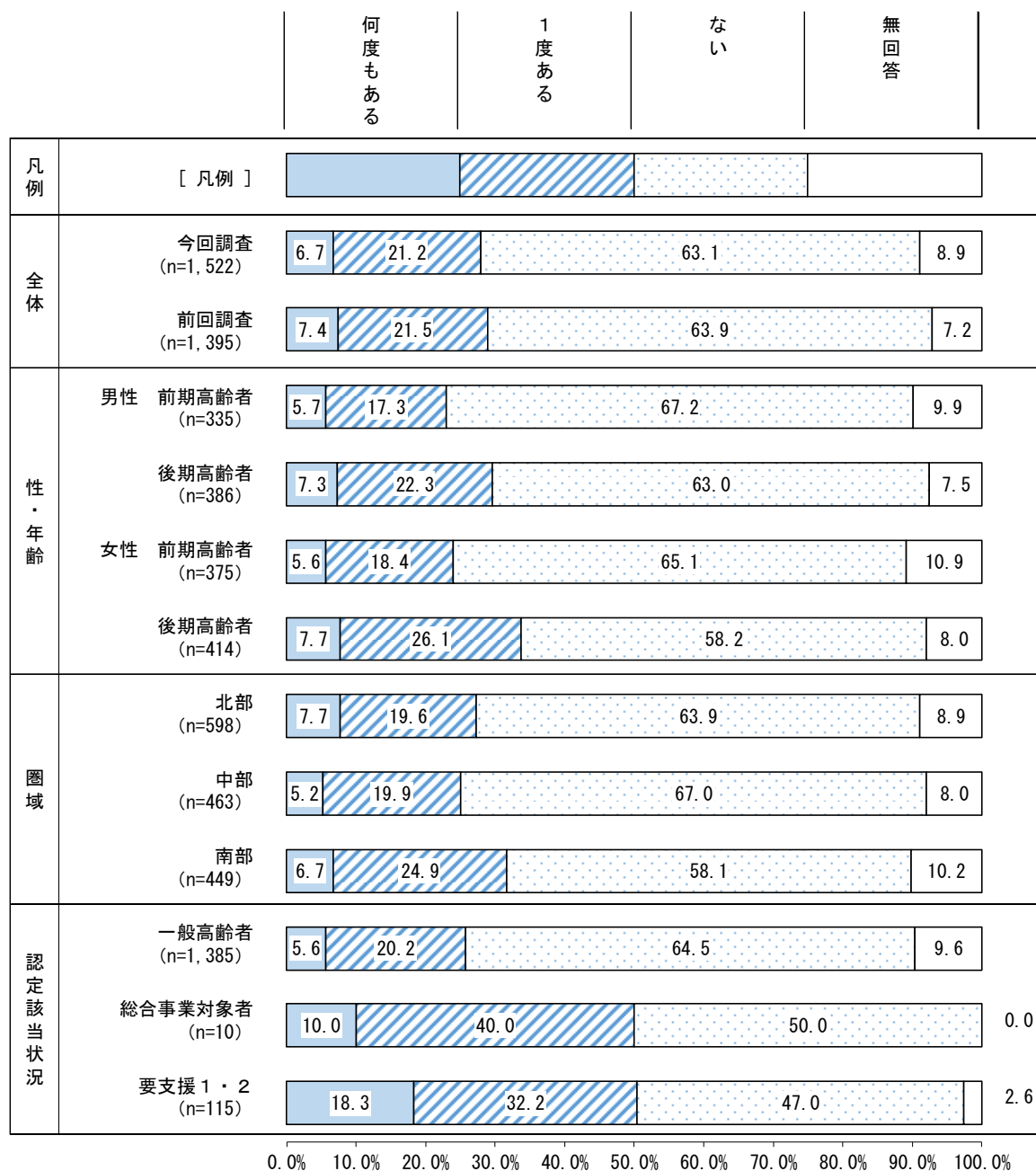


4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 転倒経験について、「ない」が63.1%で最も多く、次いで「1度ある」が21.2%、「何度もある」が6.7%となっています。

【転倒経験】



転倒リスク

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が27.9%、「非該当」が72.1%となっています。

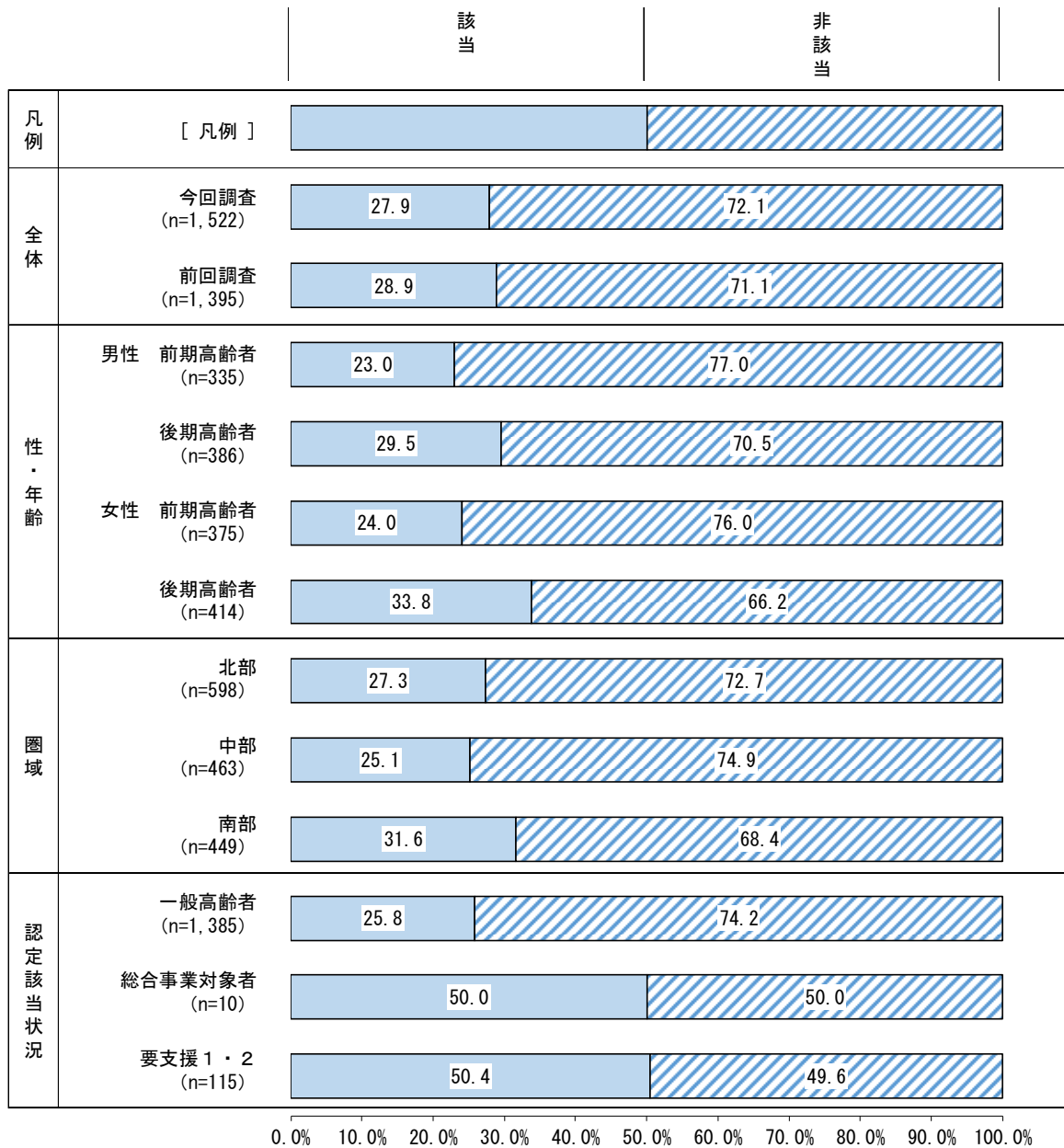
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「該当」が50.4%、「非該当」が49.6%となっています。

【転倒リスク】



5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

【全体】

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が39.1%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が25.0%、「不安でない」が16.0%となっています。
- 「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は50.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“不安な方”が多くなっています。

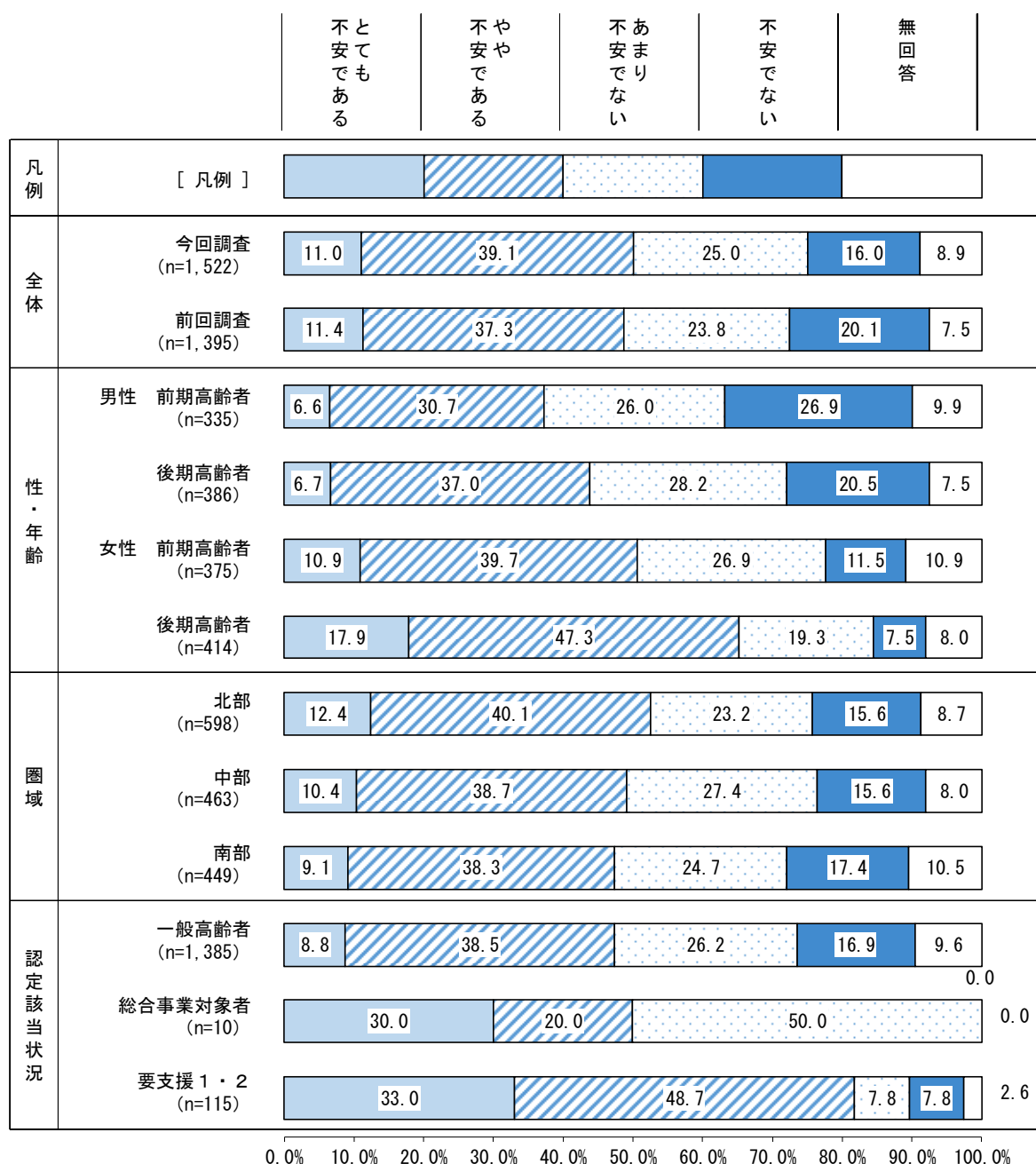
【圏域】

- 「とても不安である」は北部が12.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“不安な方”が多くなる傾向がみられます。

【転倒に対する不安】



閉じこもりのリスク

【全体】

○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が14.7%、「非該当」が85.3%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

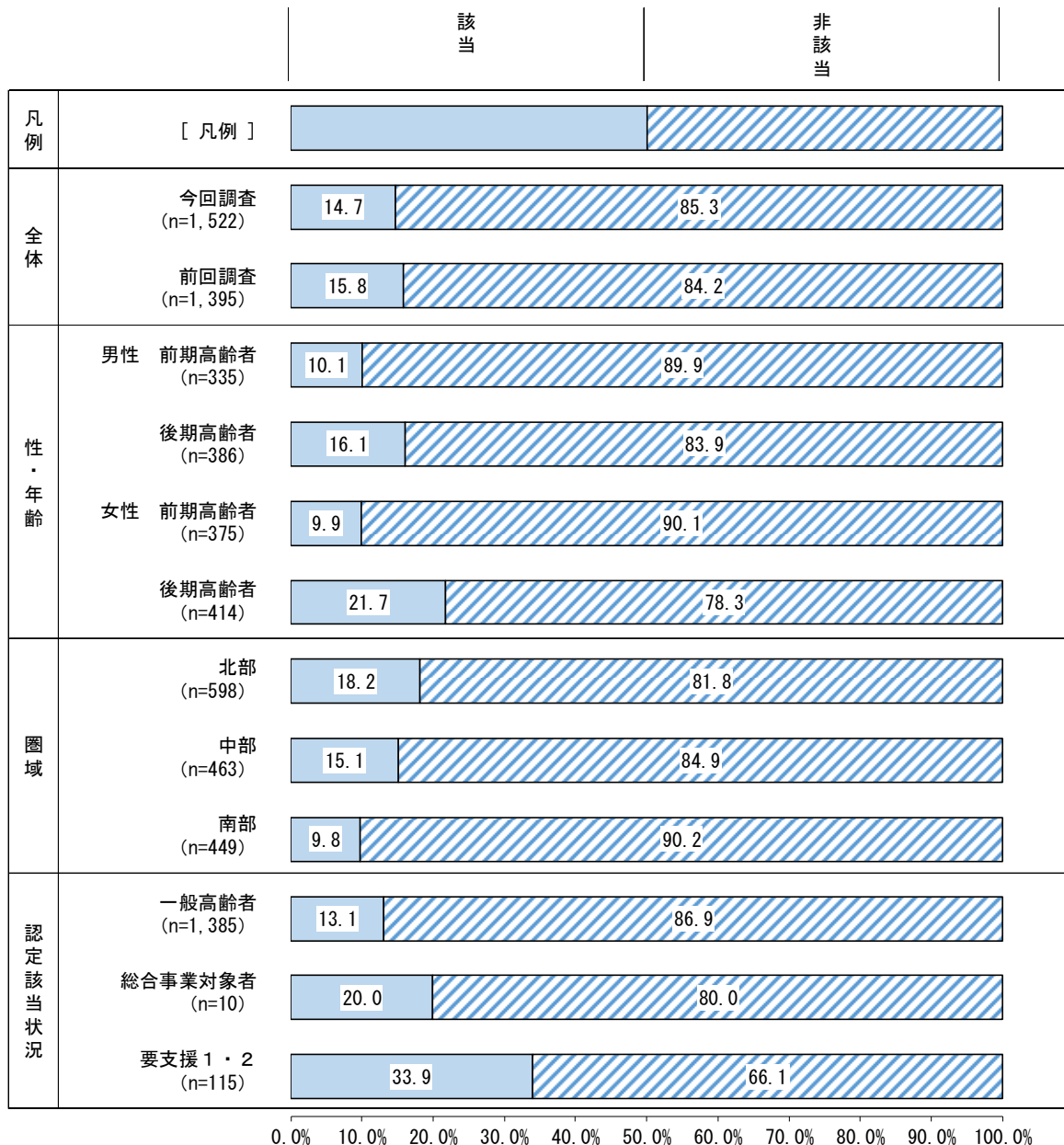
【圏域】

○ 「該当」は南部が9.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【閉じこもりのリスク】

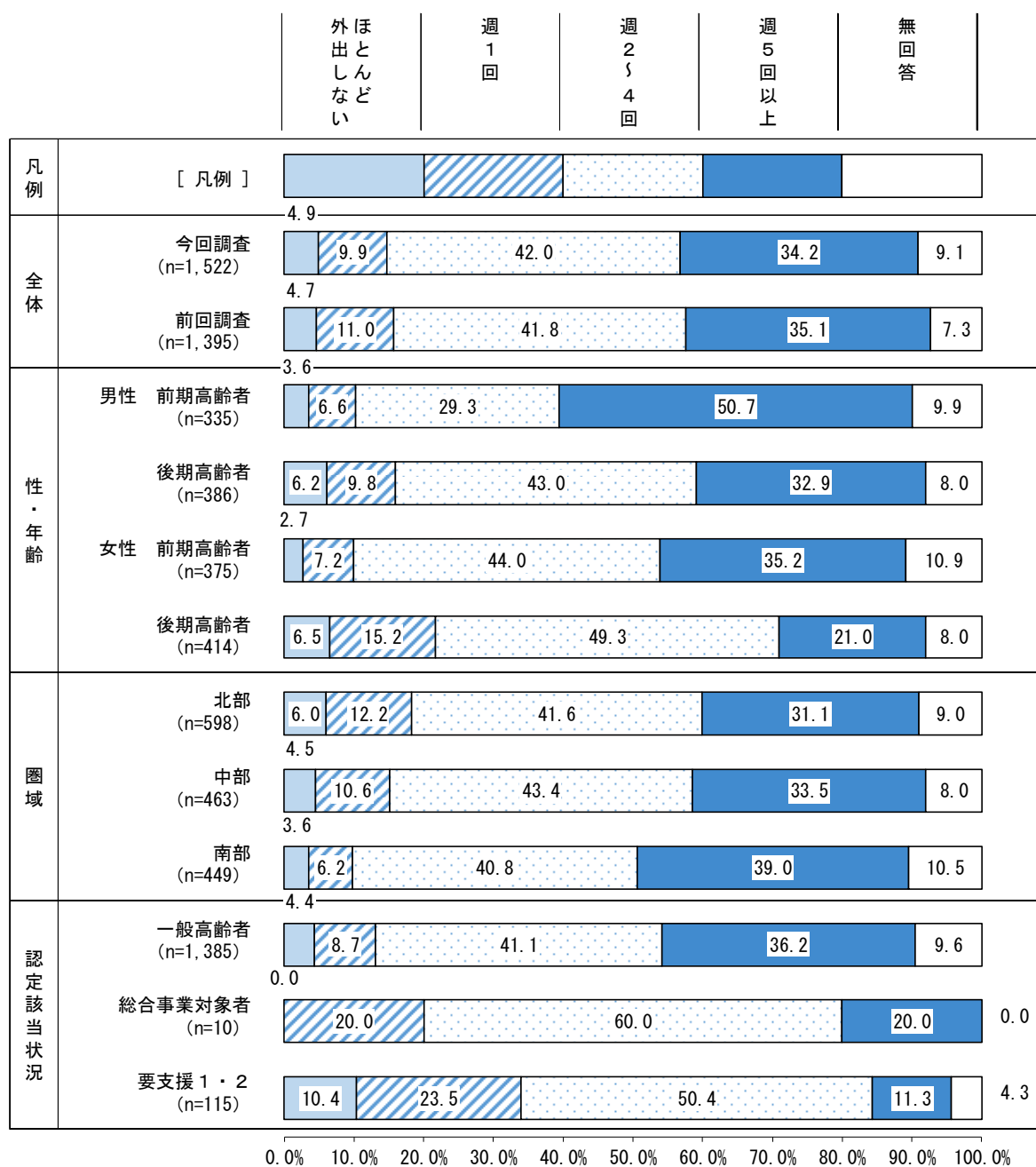


6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 外出頻度について、「週2～4回」が42.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が34.2%、「週1回」が9.9%となっています。

【外出頻度】



7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 昨年と比べた外出の回数について、「減っていない」が35.2%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が32.2%、「減っている」が20.6%となっています。
- 「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は23.6%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“減っている方”が多くなっています。

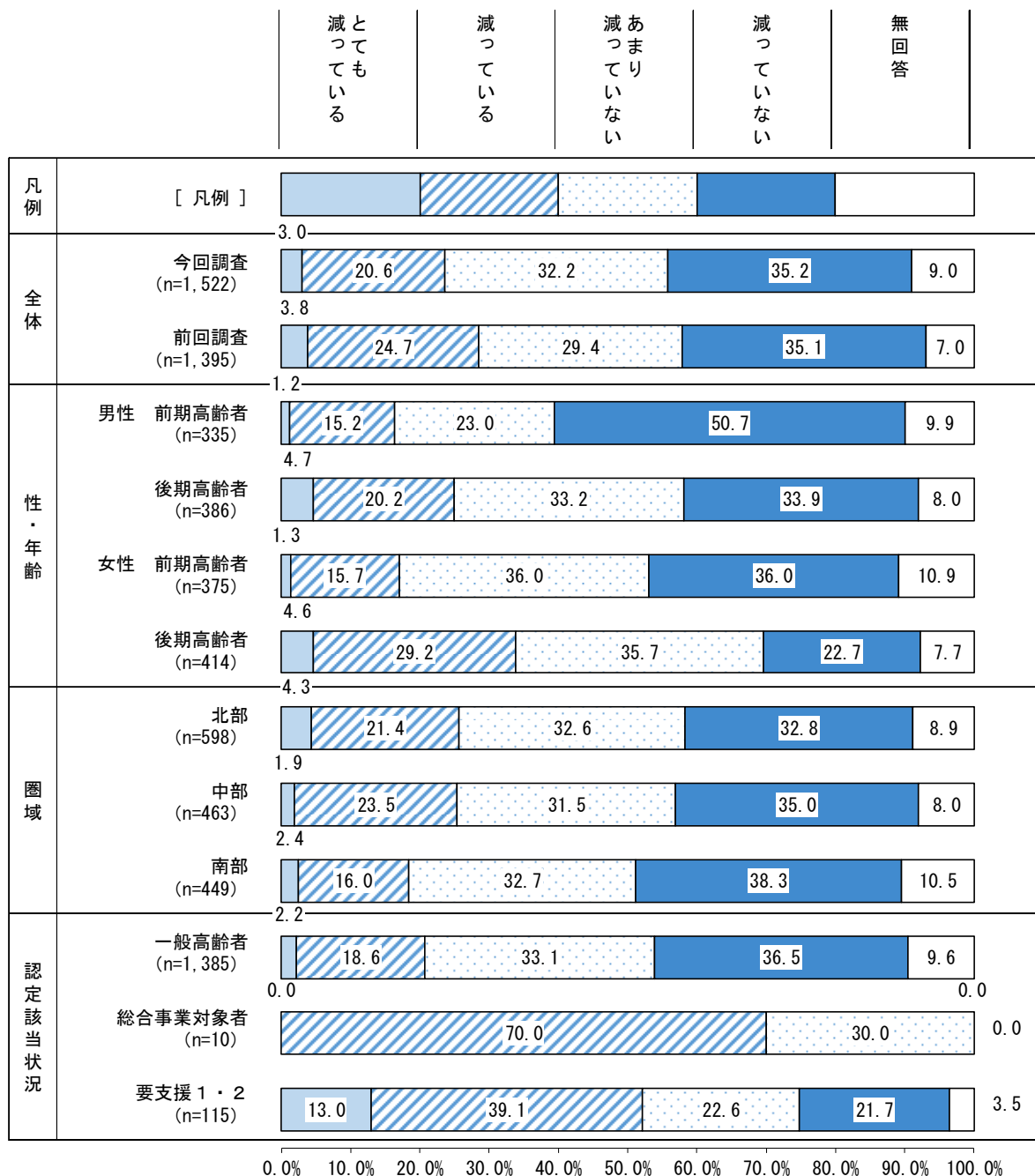
【圏域】

- “減っている方”は南部が18.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- “減っている方”は一般高齢者が20.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【昨年と比べて外出回数】



8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 外出を控えているかについて、「はい」が15.1%、「いいえ」が75.6%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

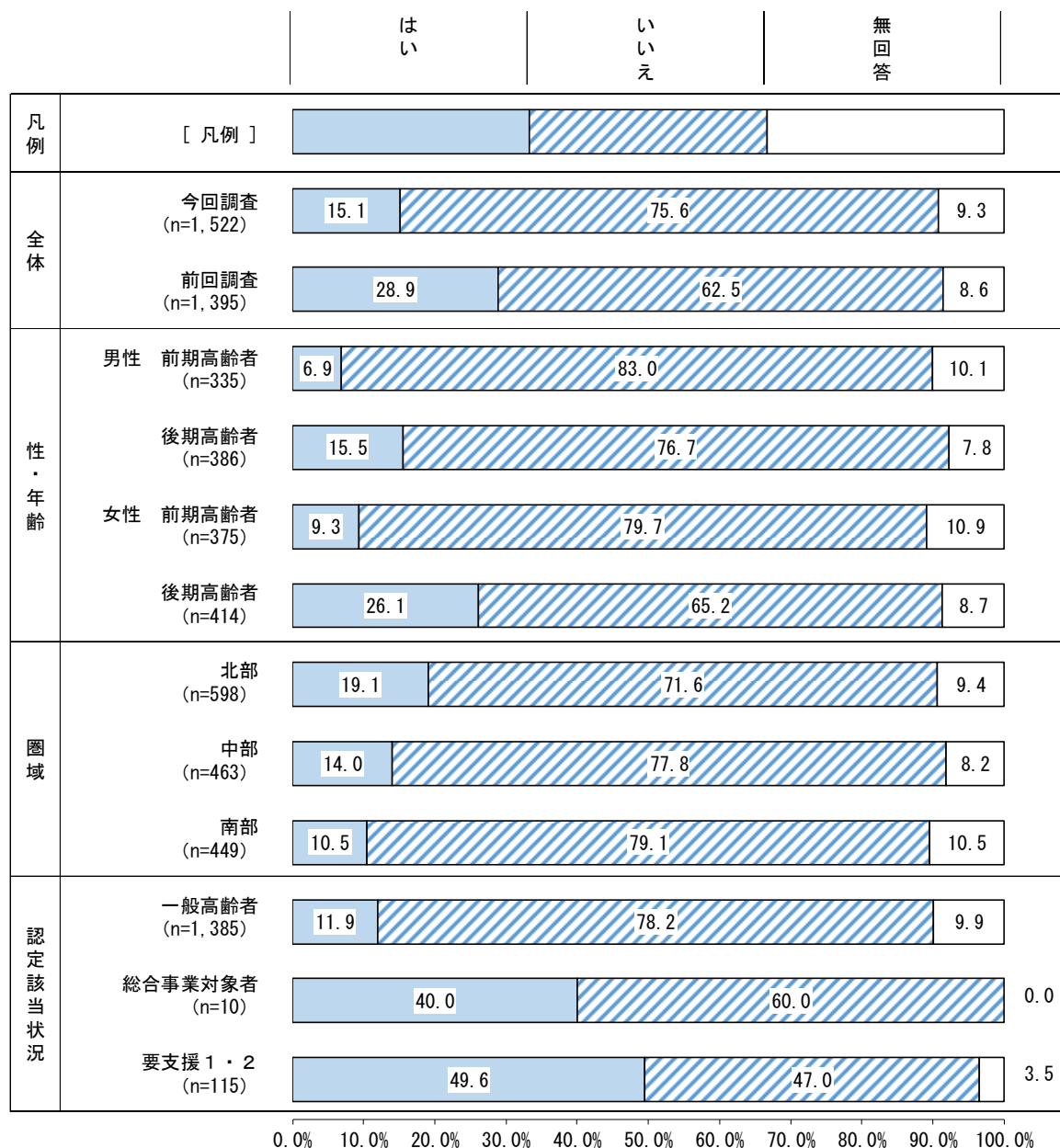
【圏域】

○ 「はい」は北部が19.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【外出を控えているか】



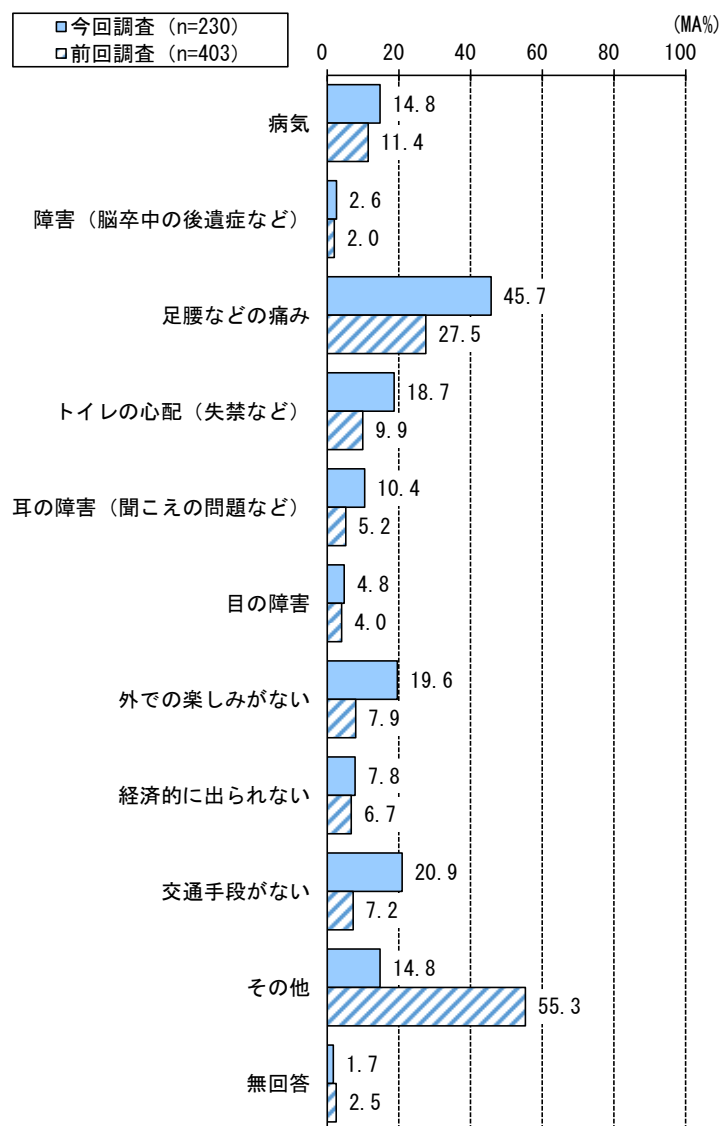
8で、「1. はい」と答えた方のみお答えください。

8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「足腰などの痛み」が45.7%で最も多く、次いで「交通手段がない」が20.9%、「外での楽しみがない」が19.6%となっています。

【外出を控えている理由(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「病気」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「トイレの心配（失禁など）」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「外での楽しみがない」が多くなっています。

【圏域】

- 「足腰などの痛み」は北部が 53.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「トイレの心配（失禁など）」は北部が 21.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「耳の障害（聞こえの問題など）」は北部が 14.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「外での楽しみがない」は南部が 23.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「交通手段がない」は北部が 14.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「トイレの心配（失禁など）」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由（MA）					
			病 気	後 遺 症 な ど （ 脳 卒 中 の ）	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 （ 失 禁 な ど ）	問 題 な ど （ 耳 の 障 害 こ え の ）	目 の 障 害
全体	今回調査	230	14.8	2.6	45.7	18.7	10.4	4.8
	前回調査	403	11.4	2.0	▼ 27.5	9.9	5.2	4.0
性・年齢	男性 前期高齢者	23	△ 26.1	4.3	▼ 34.8	△ 30.4	—	—
	後期高齢者	60	13.3	6.7	45.0	21.7	16.7	10.0
	女性 前期高齢者	35	20.0	—	▼ 31.4	11.4	5.7	2.9
	後期高齢者	108	12.0	0.9	52.8	16.7	10.2	3.7
圏域	北部	114	13.2	2.6	53.5	21.9	14.9	7.0
	中部	65	16.9	4.6	41.5	15.4	6.2	4.6
	南部	47	17.0	—	▼ 31.9	14.9	4.3	—
認定該当状況	一般高齢者	165	13.9	1.8	40.0	15.8	9.7	3.6
	総合事業対象者	4	—	—	—	25.0	—	—
	要支援 1・2	57	19.3	5.3	△ 64.9	26.3	12.3	8.8

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由（MA）				
			楽外 しで み の が な い	出経 ら 済 れ 的 な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体	今回調査	230	19.6	7.8	20.9	14.8	1.7
	前回調査	403	▼ 7.9	6.7	▼ 7.2	△ 55.3	2.5
性・年齢	男性 前期高齢者	23	△ 30.4	13.0	▼ 8.7	13.0	4.3
	後期高齢者	60	20.0	8.3	23.3	11.7	1.7
	女性 前期高齢者	35	△ 31.4	11.4	▼ 8.6	△ 31.4	-
	後期高齢者	108	12.0	4.6	25.9	12.0	1.9
圏域	北部	114	17.5	7.9	14.9	9.6	0.9
	中部	65	18.5	6.2	26.2	20.0	1.5
	南部	47	23.4	8.5	27.7	21.3	4.3
認定該当状況	一般高齢者	165	22.4	7.3	17.0	17.0	2.4
	総合事業対象者	4	△ 75.0	△ 25.0	△ 50.0	-	-
	要支援 1・2	57	▼ 5.3	7.0	29.8	10.5	-

【外出を控えている理由×閉じこもりのリスク】

- 「交通手段がない」は閉じこもりのリスク該当者が25.2%と、非該当者に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由（MA）					
			病 気	後（障害 遺脳卒 症中の など）	足 腰 な ど の 痛 み	（トイ 失レの 禁心 配 など）	問（耳 題聞こ えの 障害 など）	目 の 障 害
全体		230	14.8	2.6	45.7	18.7	10.4	4.8
閉じこもりのリスク	該当	115	18.3	2.6	47.8	13.9	8.7	5.2
	非該当	115	11.3	2.6	43.5	23.5	12.2	4.3

単位：%

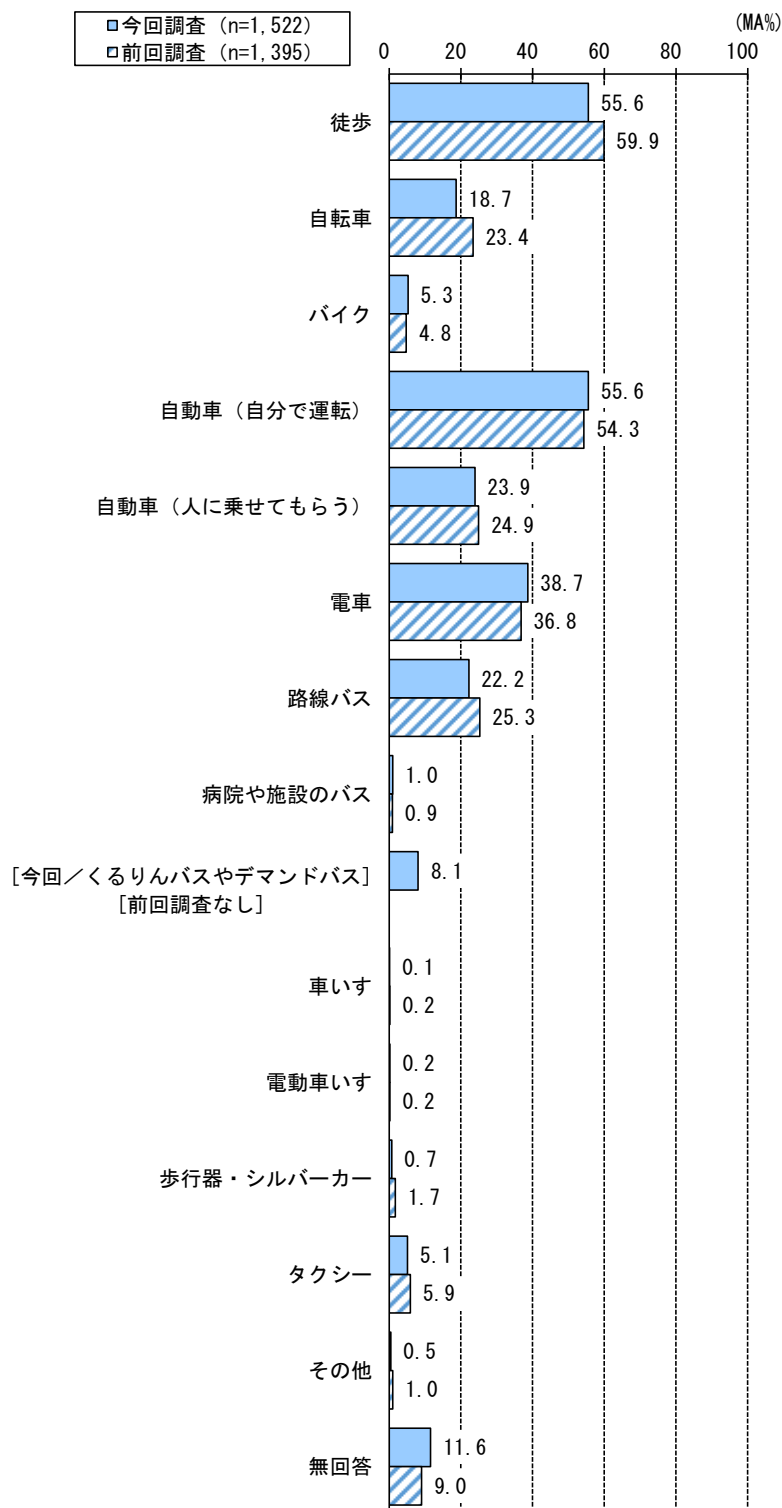
		母数 (n)	外出を控えている理由 (MA)				
			楽外 しで みの が ない	出経 済 的 に ない	交 通 手 段 が ない	そ の 他	無 回 答
全体		230	19.6	7.8	20.9	14.8	1.7
閉じこもりのリスク	該当	115	20.0	5.2	25.2	9.6	2.6
	非該当	115	19.1	10.4	16.5	20.0	0.9

9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「徒歩」「自動車（自分で運転）」が55.6%で最も多く、次いで「電車」が38.7%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.9%となっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



【性・年齢】

- 女性 後期高齢者では、「徒歩」が49.8%で最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が37.0%、「電車」が33.6%となっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自動車（自分で運転）」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「くるりんバスやデマンドバス」が多くなっています。

【圏域】

- 「自転車」は北部が28.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「自動車（自分で運転）」は北部が50.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「路線バス」は北部が6.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「自動車（自分で運転）」は一般高齢者が58.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「タクシー」が多くなる傾向がみられます。

単位：％										
		母数 (n)	外出する際の移動手段（MA）							
			徒歩	自転車	バイク	（自動車 自分で運転）	乗（自動車 に人 を乗せてもらう）	電車	路線バス	病院 や施設 のバス
全体	今回調査	1,522	55.6	18.7	5.3	55.6	23.9	38.7	22.2	1.0
	前回調査	1,395	59.9	23.4	4.8	54.3	24.9	36.8	25.3	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者	335	60.9	20.3	9.0	△ 75.8	▼ 10.7	43.6	27.2	－
	後期高齢者	386	57.8	20.7	6.0	61.4	15.3	37.0	22.0	1.6
	女性 前期高齢者	375	54.9	16.5	2.9	59.2	30.1	41.3	21.1	0.3
	後期高齢者	414	49.8	17.1	4.1	▼ 31.2	△ 37.0	33.6	18.8	1.9
圏域	北部	598	55.7	△ 28.8	5.0	50.5	24.4	41.0	▼ 6.7	1.0
	中部	463	55.5	12.3	4.3	57.7	24.0	38.2	△ 35.4	0.9
	南部	449	55.5	11.6	6.9	60.8	23.2	35.9	28.7	1.1
認定該当状況	一般高齢者	1,385	56.2	19.3	5.7	58.4	21.8	40.0	22.7	0.5
	総合事業対象者	10	△ 80.0	△ 40.0	－	▼ 20.0	△ 50.0	30.0	20.0	－
	要支援１・２	115	46.1	▼ 8.7	1.7	▼ 27.0	△ 47.0	▼ 22.6	14.8	7.0

			単位：％						
			母数 (n)	外出する際の移動手段（MA）					
				「デマンドバス／くるりんバスや前回調査なし」	車いす	電動車いす	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他
全体	今回調査	1,522	8.1	0.1	0.2	0.7	5.1	0.5	11.6
	前回調査	1,395	－	0.2	0.2	1.7	5.9	1.0	9.0
性・年齢	男性 前期高齢者	335	2.7	－	－	－	1.2	0.3	11.9
	後期高齢者	386	8.8	－	0.8	－	6.7	－	9.8
	女性 前期高齢者	375	6.1	－	－	－	2.4	0.8	14.4
	後期高齢者	414	12.6	0.5	－	2.7	8.9	0.7	10.4
圏域	北部	598	6.2	0.2	－	1.2	6.2	1.0	10.2
	中部	463	10.6	0.2	0.2	0.4	4.8	－	11.4
	南部	449	7.1	－	0.4	0.4	3.8	0.2	13.6
認定該当状況	一般高齢者	1,385	7.4	0.1	0.1	0.1	3.8	0.4	12.2
	総合事業対象者	10	△ 30.0	－	－	－	10.0	－	－
	要支援１・２	115	11.3	－	1.7	8.7	△ 19.1	0.9	5.2

【外出する際の移動手段×閉じこもりのリスク】

- 「自動車（人に乗せてもらう）」は閉じこもりのリスク該当者が 40.2%と、非該当者に比べて多くなっています。
- 「タクシー」は閉じこもりのリスク該当者が 14.3%と、非該当者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段（MA）							
			徒歩	自転車	バイク	自動車 （自分で運転）	自動車 （人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院 や施設 のバス
全体		1,522	55.6	18.7	5.3	55.6	23.9	38.7	22.2	1.0
閉じこもりのリスク	該当	224	▼ 45.1	13.4	3.1	▼ 31.7	△ 40.2	33.5	20.1	1.8
	非該当	1,298	57.4	19.6	5.7	59.7	21.0	39.6	22.6	0.8

単位：％

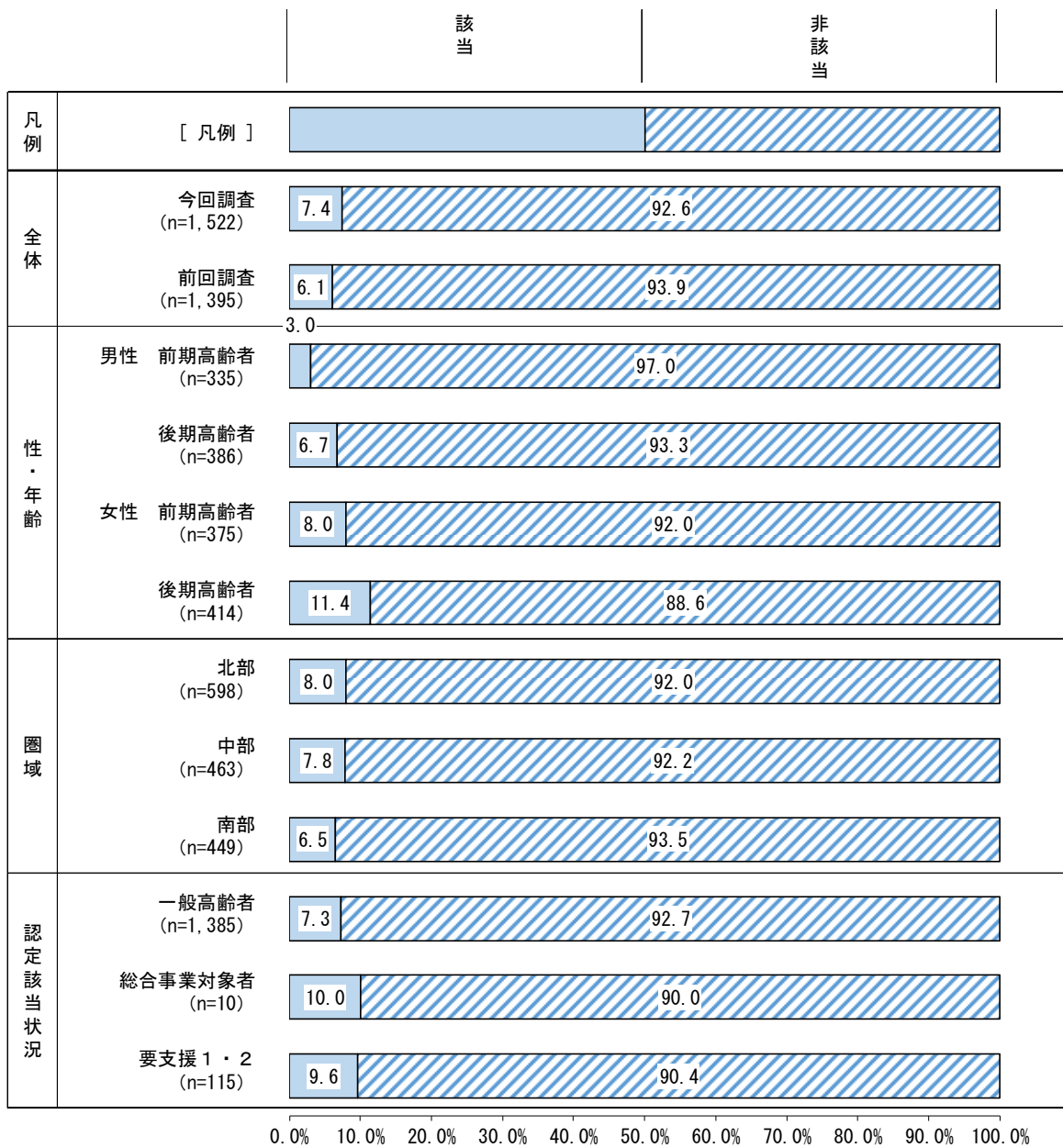
		母数 (n)	外出する際の移動手段（MA）						
			くるりんバスやデマンドバス	車いす	電動車いす	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		1,522	8.1	0.1	0.2	0.7	5.1	0.5	11.6
閉じこもりのリスク	該当	224	10.3	0.4	0.9	2.7	14.3	0.9	4.0
	非該当	1,298	7.7	0.1	0.1	0.4	3.5	0.4	12.9

4. 食えることについて

栄養改善のリスク

【全体】
○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が7.4%、「非該当」が92.6%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は南部が6.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は一般高齢者が7.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【栄養改善のリスク】



低栄養のリスク

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が 1.2%、「非該当」が 98.8%となっています。

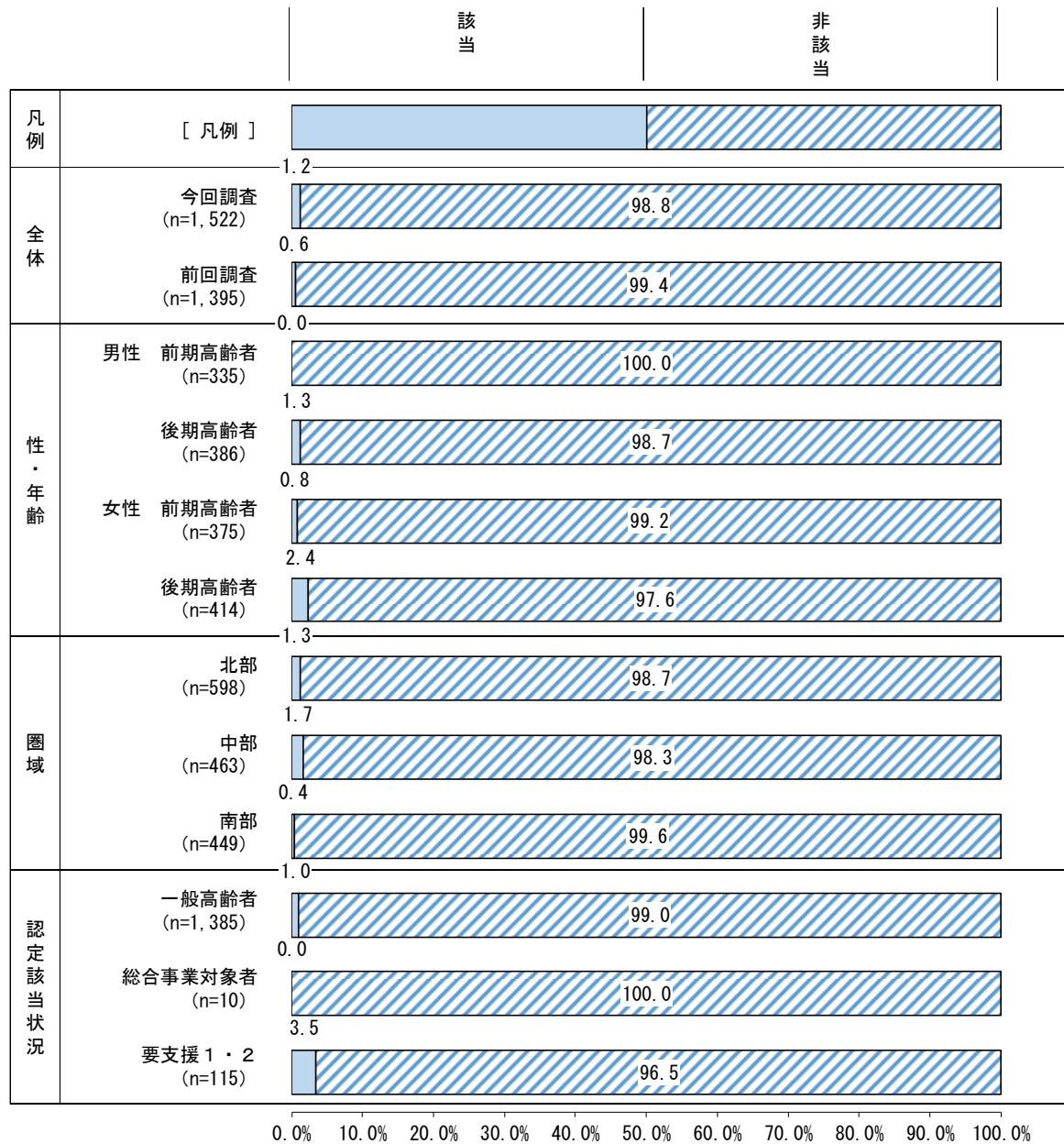
【性・年齢】

○ 「該当」は女性 後期高齢者が 2.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援 1・2 では、「該当」が 3.5%、「非該当」が 96.5%となっています。

【低栄養リスク】



口腔機能の低下リスク

【全体】

○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が22.3%、「非該当」が77.7%となっています。

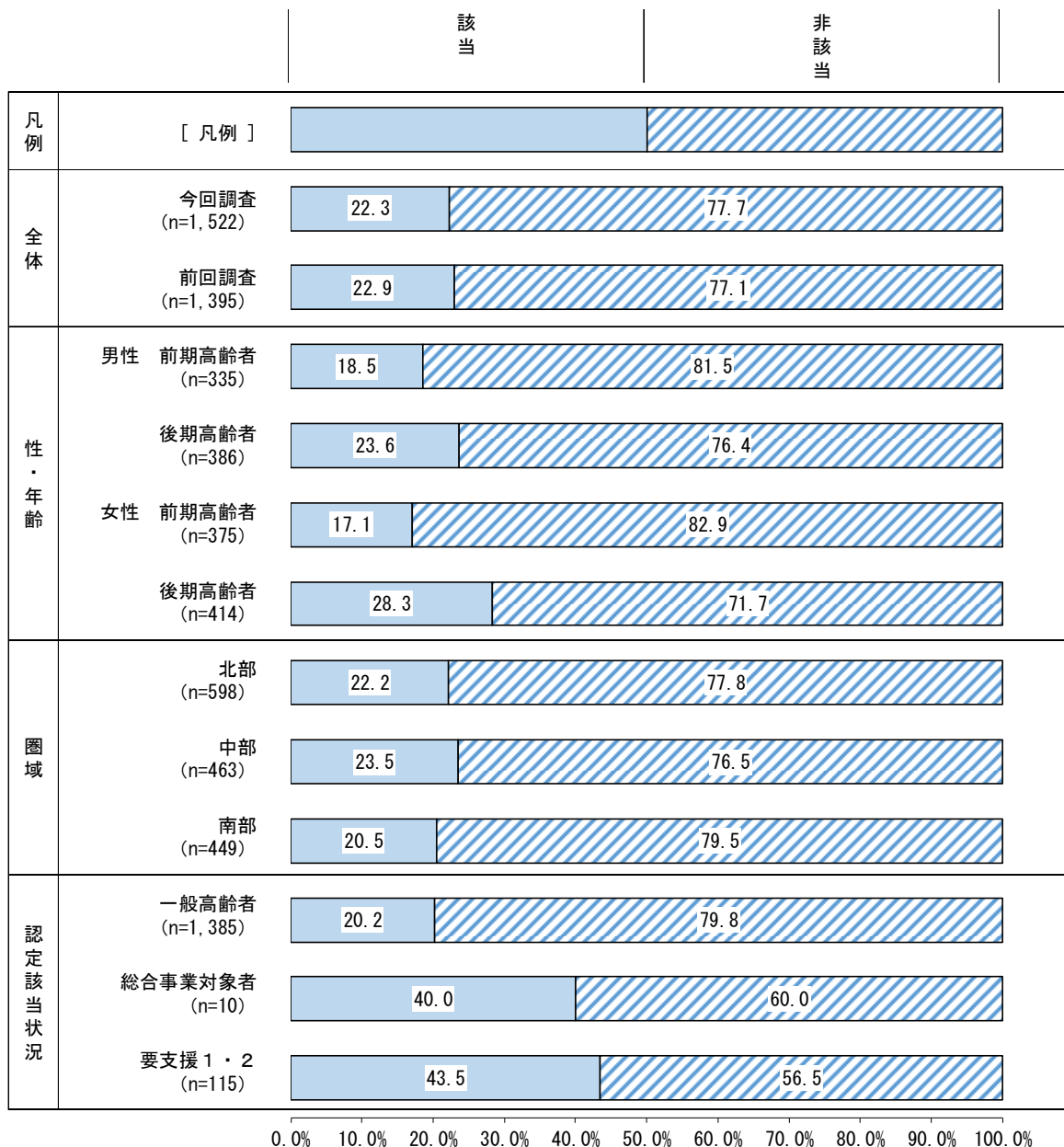
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【口腔機能の低下リスク】



- 2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)
- 3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)
- 4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】

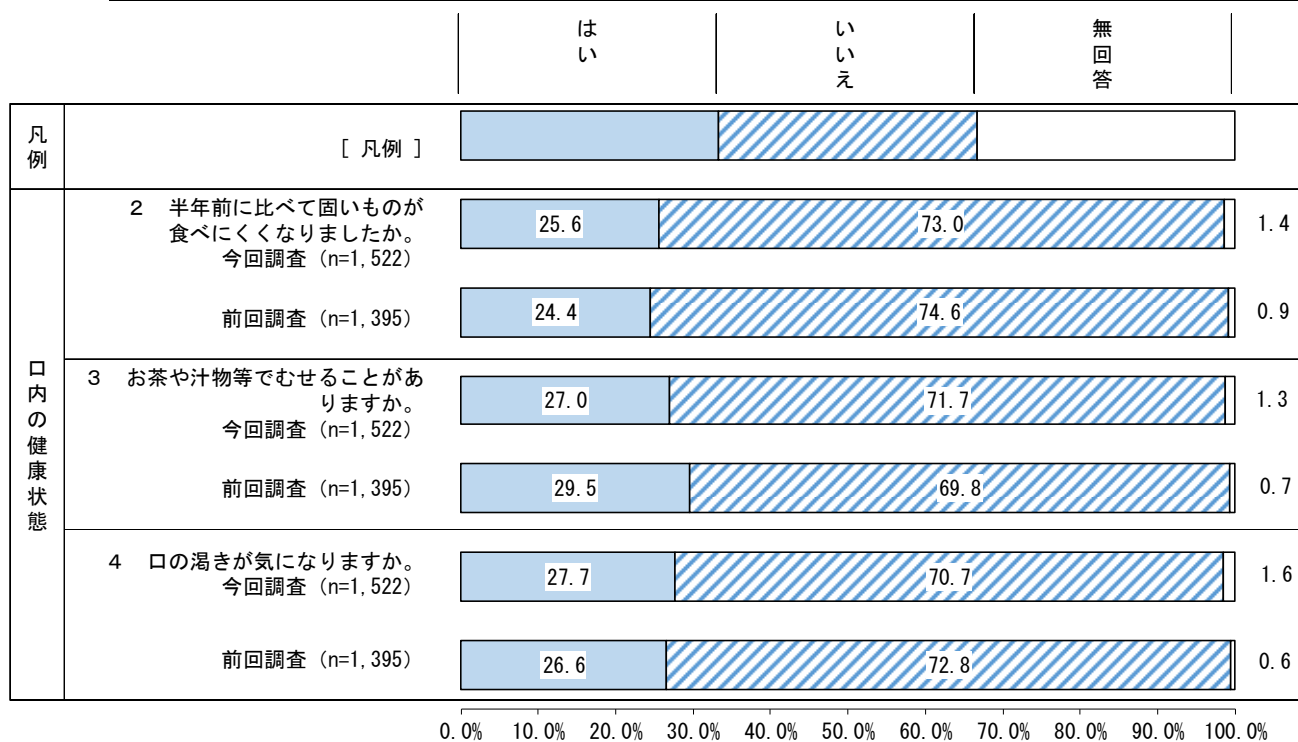
○ 「はい」が25.6%、「いいえ」が73.0%となっています。

【お茶や汁物等でむせることがあるか】

○ 「はい」が27.0%、「いいえ」が71.7%となっています。

【口の渇きが気になるか】

○ 「はい」が27.7%、「いいえ」が70.7%となっています。



5 歯磨きを毎日していますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が94.4%、「いいえ」が4.3%となっています。

【性・年齢】

○ 「いいえ」は男性 後期高齢者が6.0%と他の区分に比べて多くなっています。

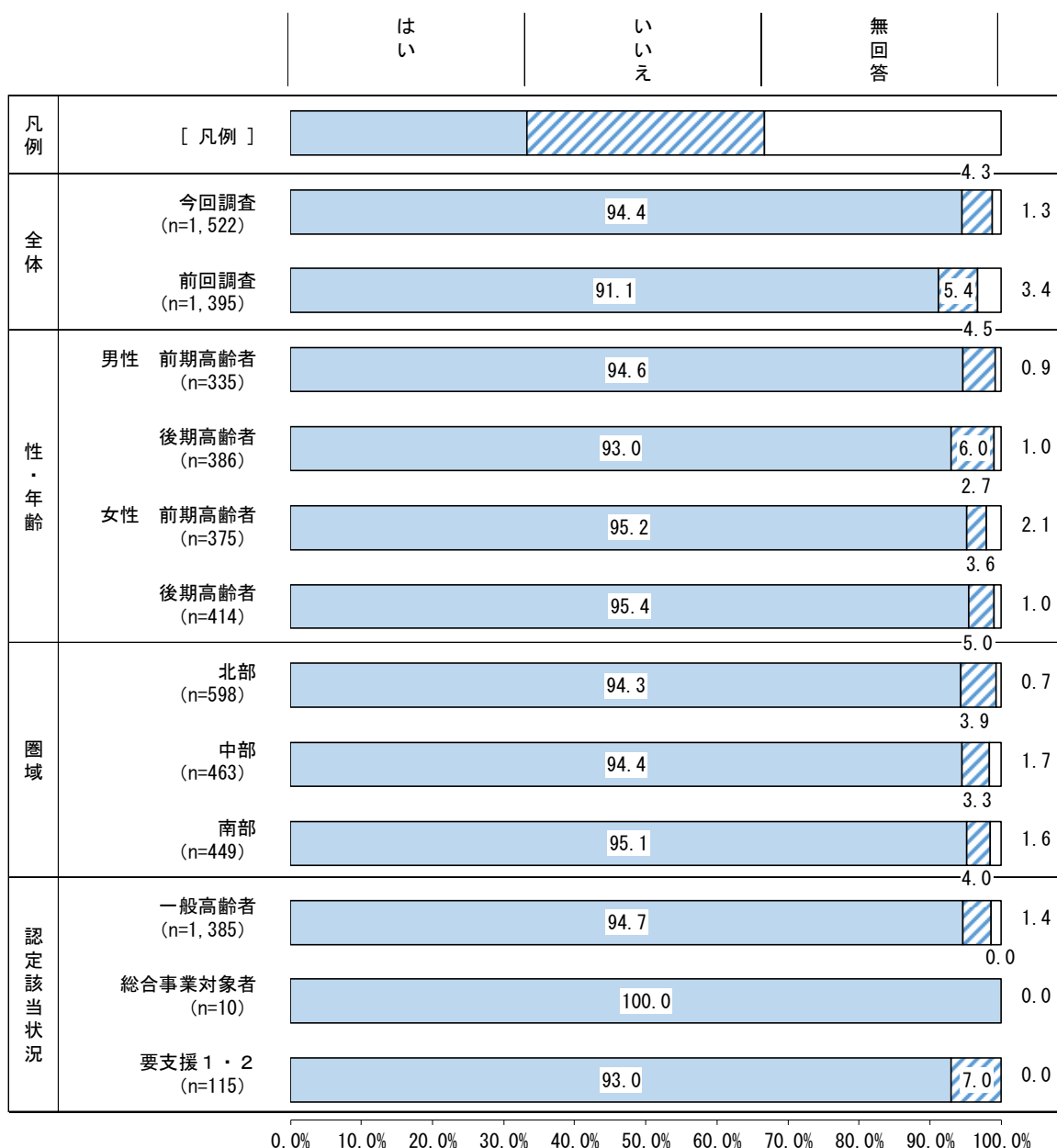
【圏域】

○ 「いいえ」は北部が5.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「はい」が93.0%、「いいえ」が7.0%となっています。

【歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているか】



- 6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）（1つだけ○）

【全体】

- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が41.6%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.1%となっています。
- 「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯が20本以上ある方”は59.7%となっています。

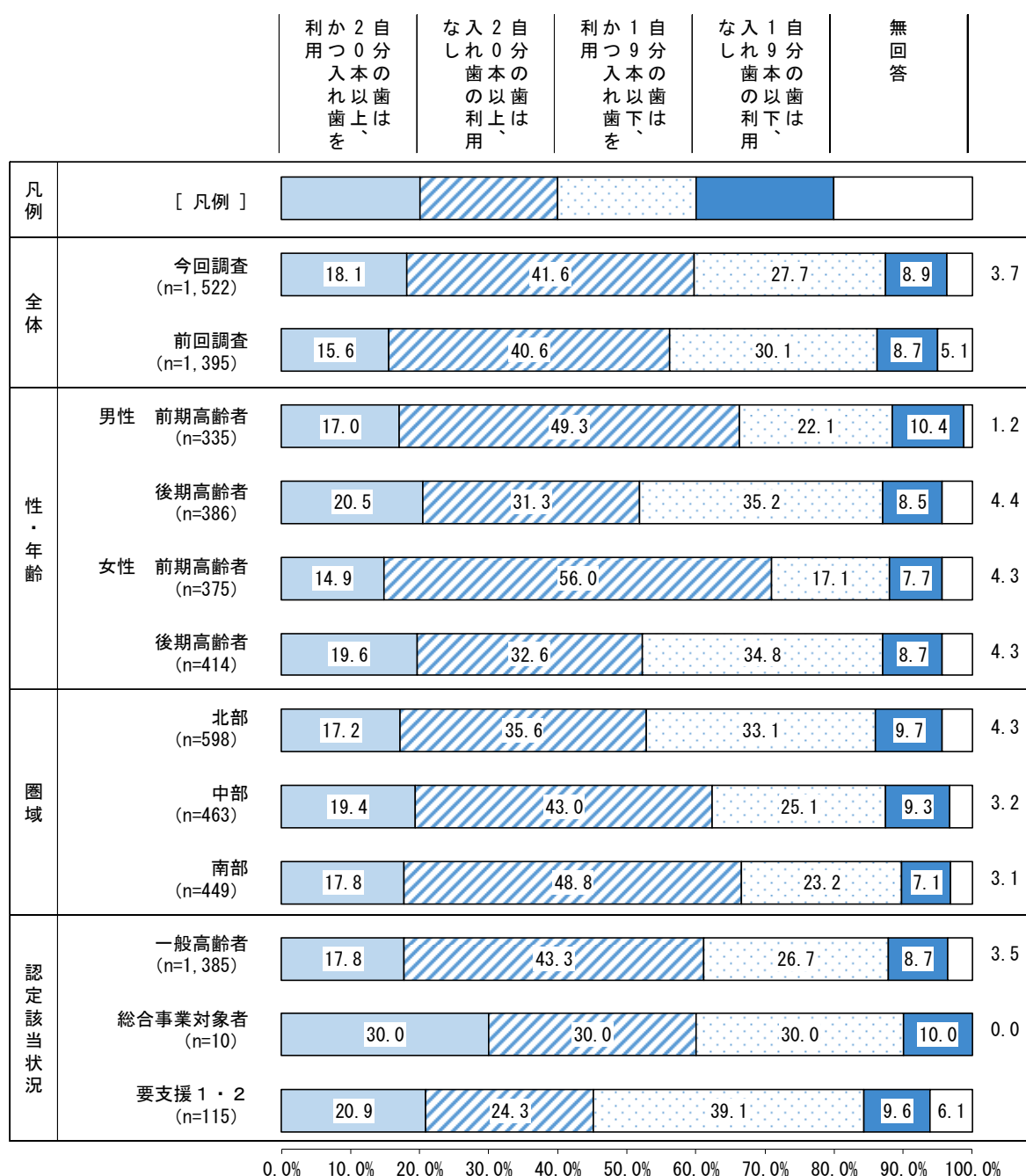
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“自分の歯が20本以上ある方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“自分の歯が20本以上ある方”が少なくなる傾向がみられます。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



6-1 噛み合わせはよいですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 噛み合わせはよいかについて、「はい」が74.2%、「いいえ」が15.4%となっています。

【性・年齢】

○ 「はい」は女性 後期高齢者が71.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

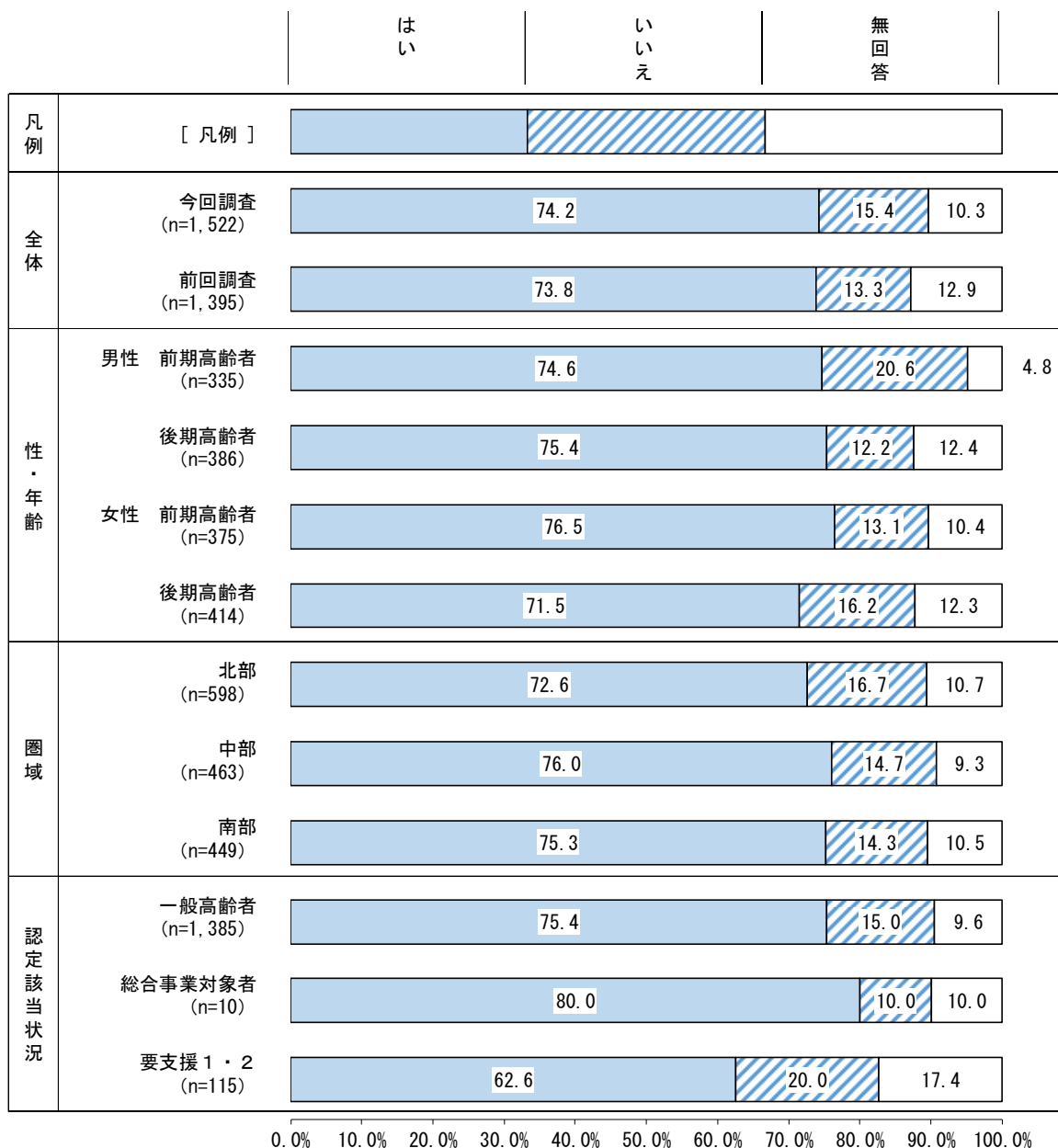
【圏域】

○ 「はい」は北部が72.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「はい」は要支援1・2が62.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【噛み合わせ】



6で、「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方のみお答えください。

6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が87.1%、「いいえ」が8.9%となっています。

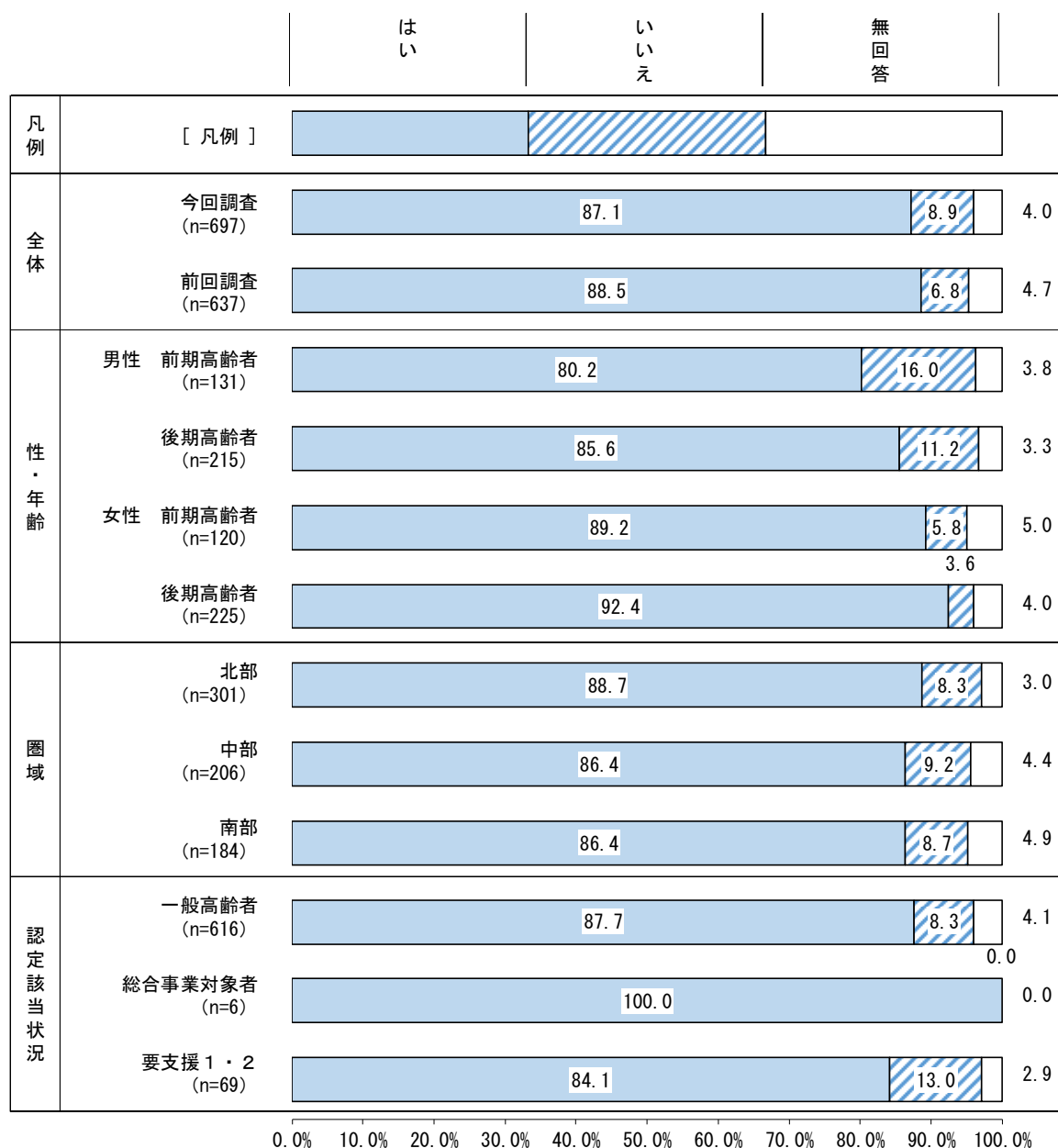
【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「はい」が84.1%、「いいえ」が13.0%となっています。

【毎日の入れ歯の手入れ】

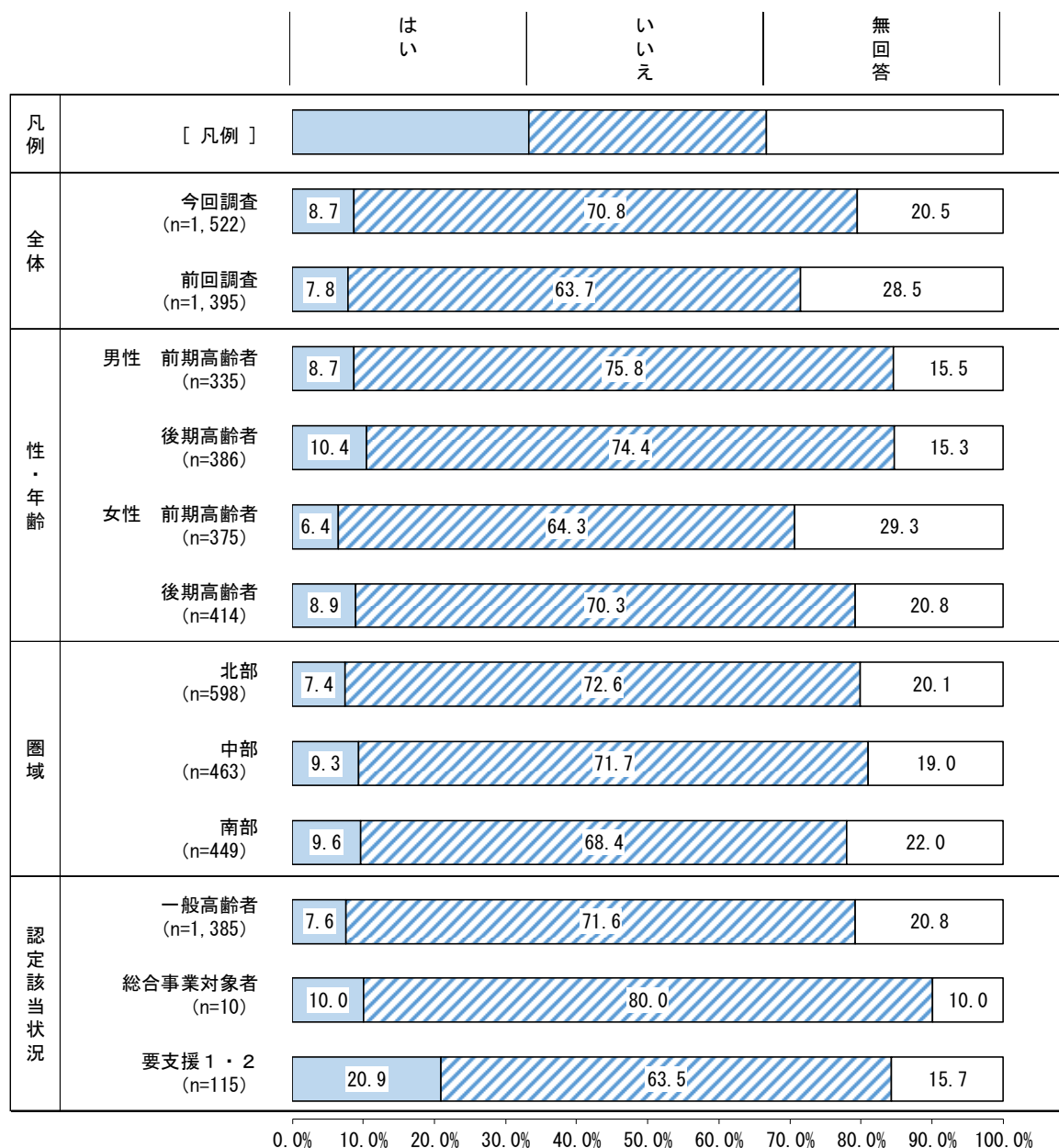


7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

【全体】

○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が8.7%、「いいえ」が70.8%となっています。

【体重減少】



8 どなたかと食事をともしする機会がありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 共食の有無について、「毎日ある」が55.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が8.8%、「年に何度かある」が7.0%となっています。
- 「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は10.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“孤食傾向の方”が多くなっています。

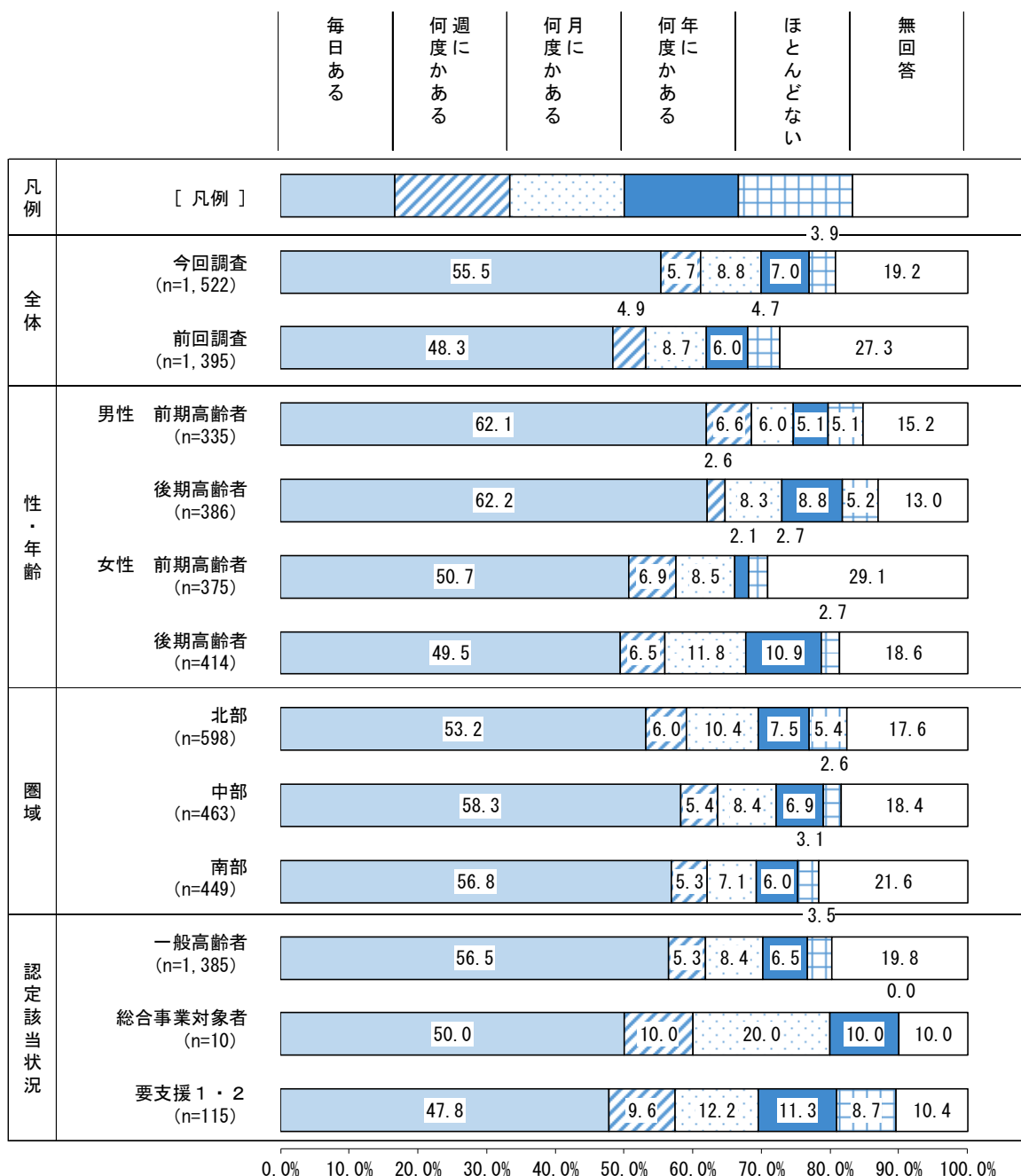
【圏域】

- “孤食傾向の方”は北部が12.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “孤食傾向の方”は要支援1・2が20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無】

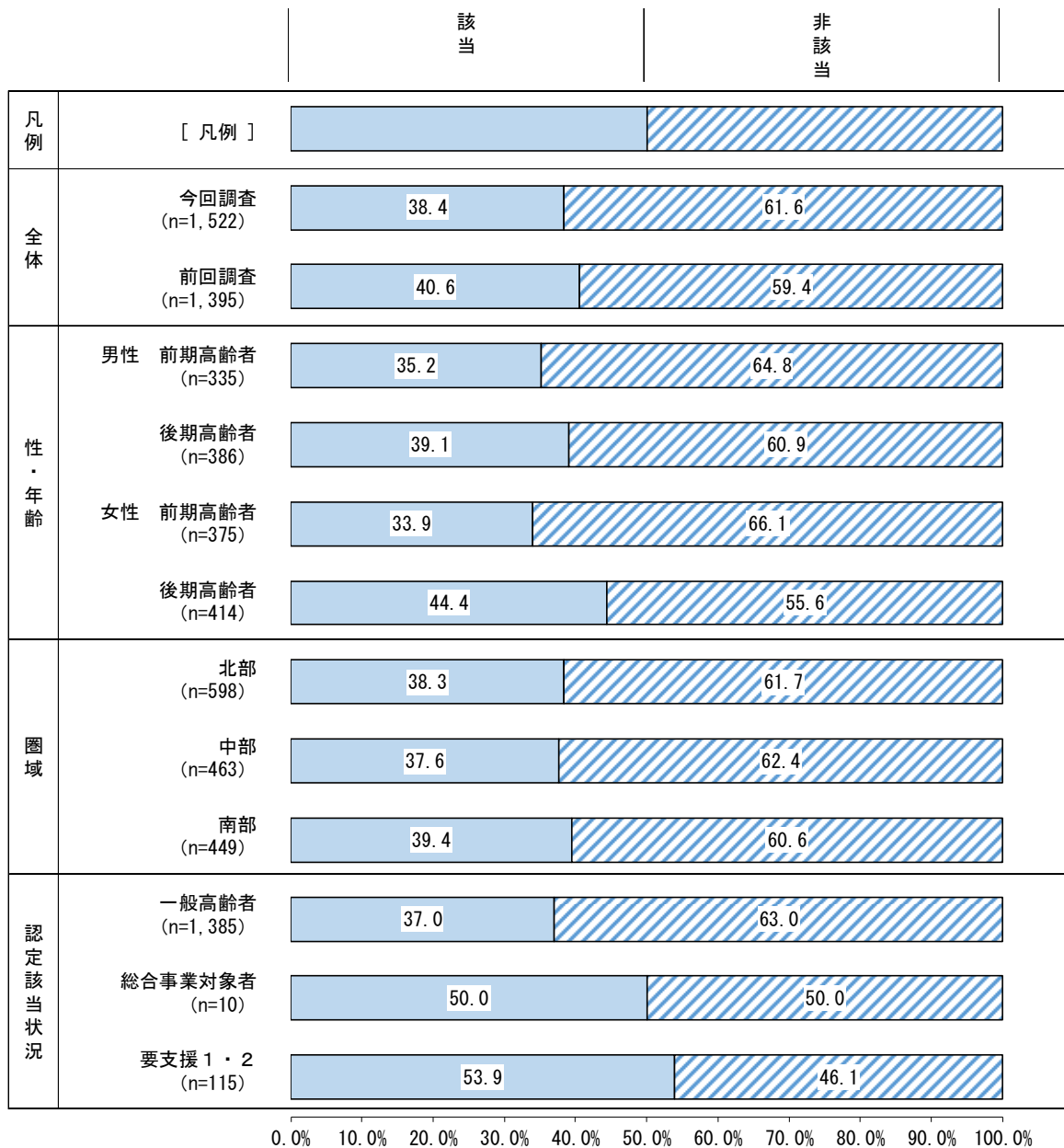


5. 毎日の生活について

認知機能の低下リスク（1つだけ○）

【全体】
○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が38.4%、「非該当」が61.6%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認知機能の低下リスク】

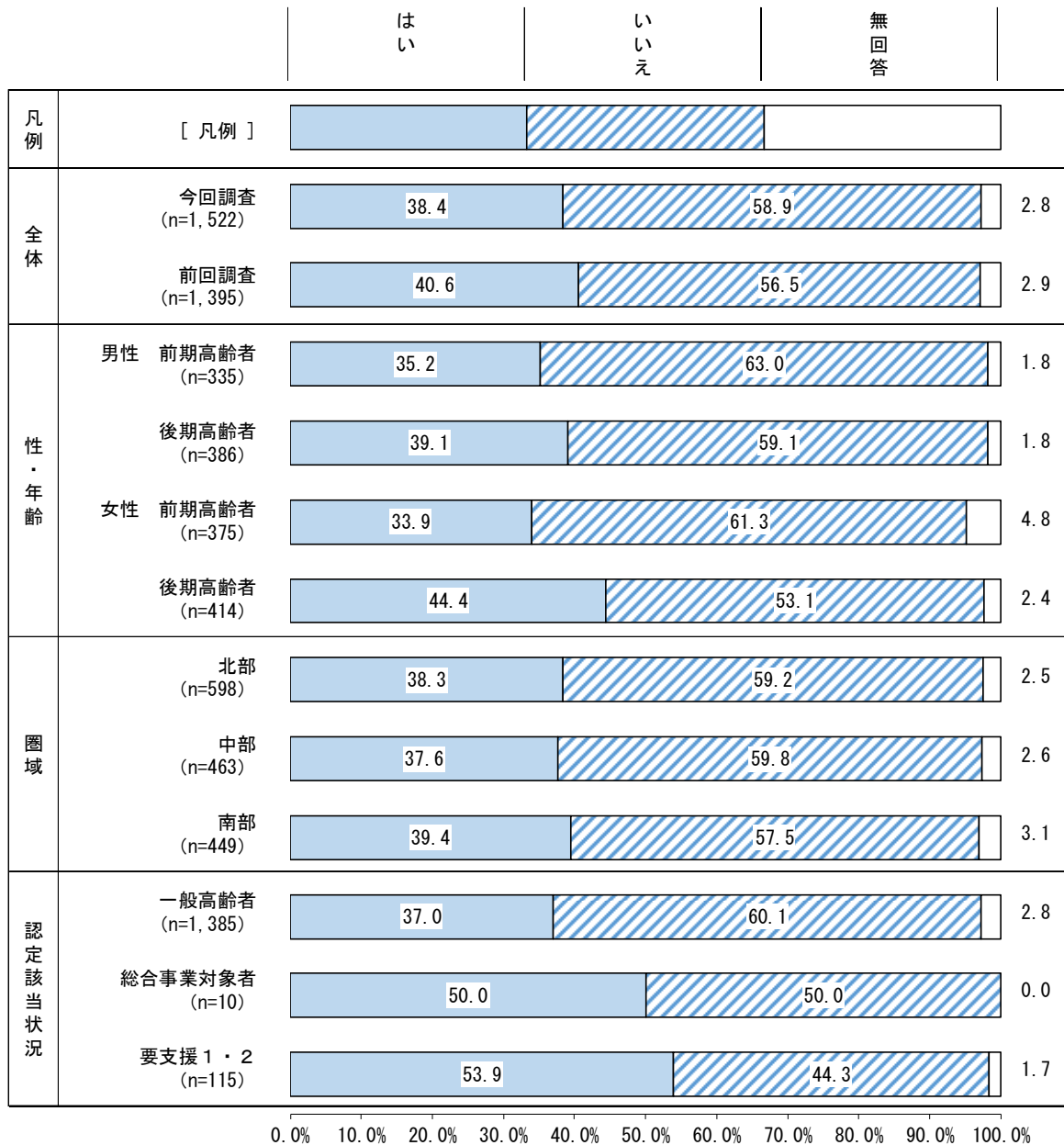


1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が38.4%、「いいえ」が58.9%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が84.3%、「いいえ」が13.5%となっています。

【性・年齢】

- 「いいえ」は男性 前期高齢者が15.2%、男性 後期高齢者が14.2%と他の区分に比べて多くなっています。

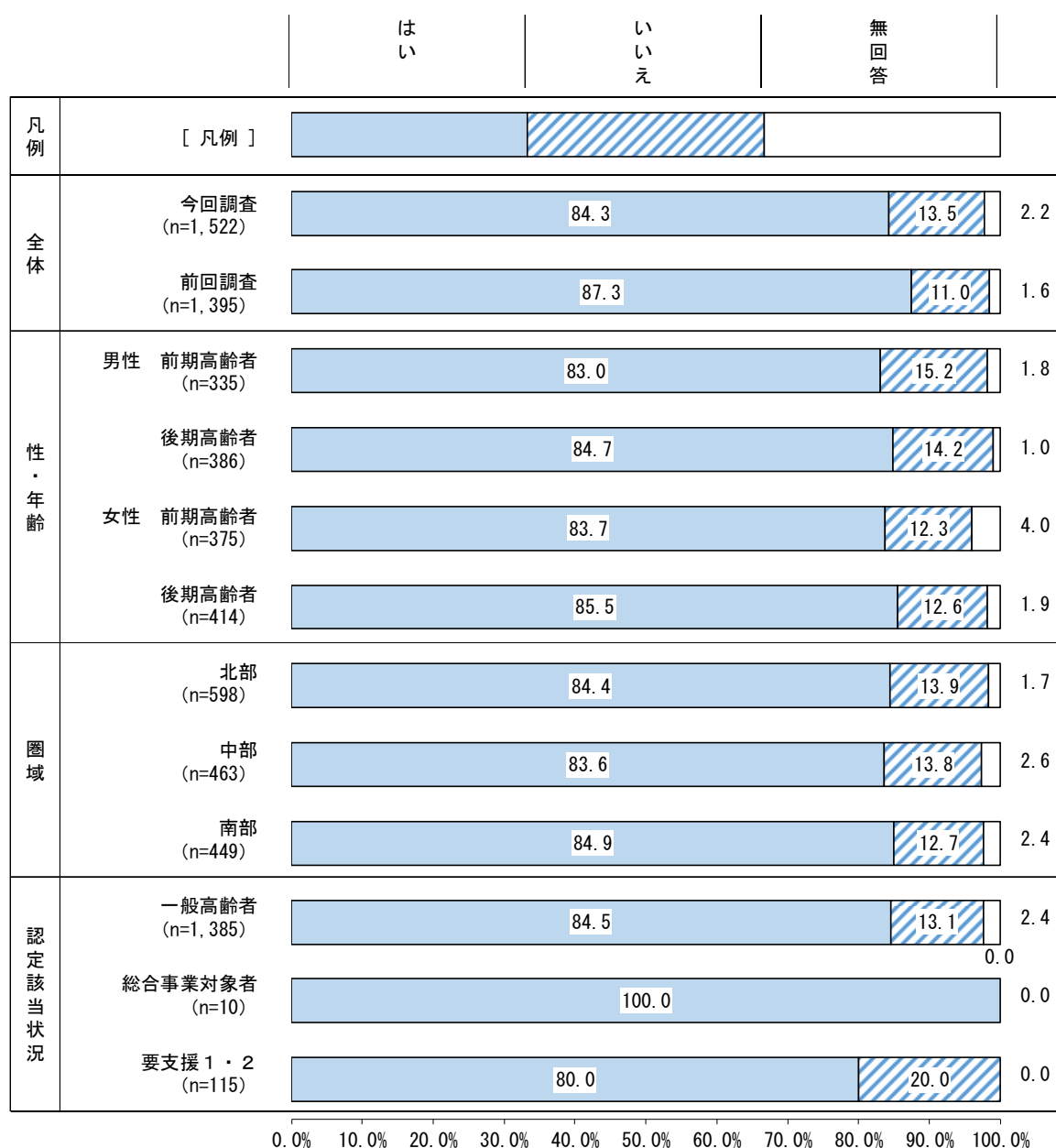
【圏域】

- 「いいえ」は南部が12.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「はい」が80.0%、「いいえ」が20.0%となっています。

【自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】



3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が22.7%、「いいえ」が75.0%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

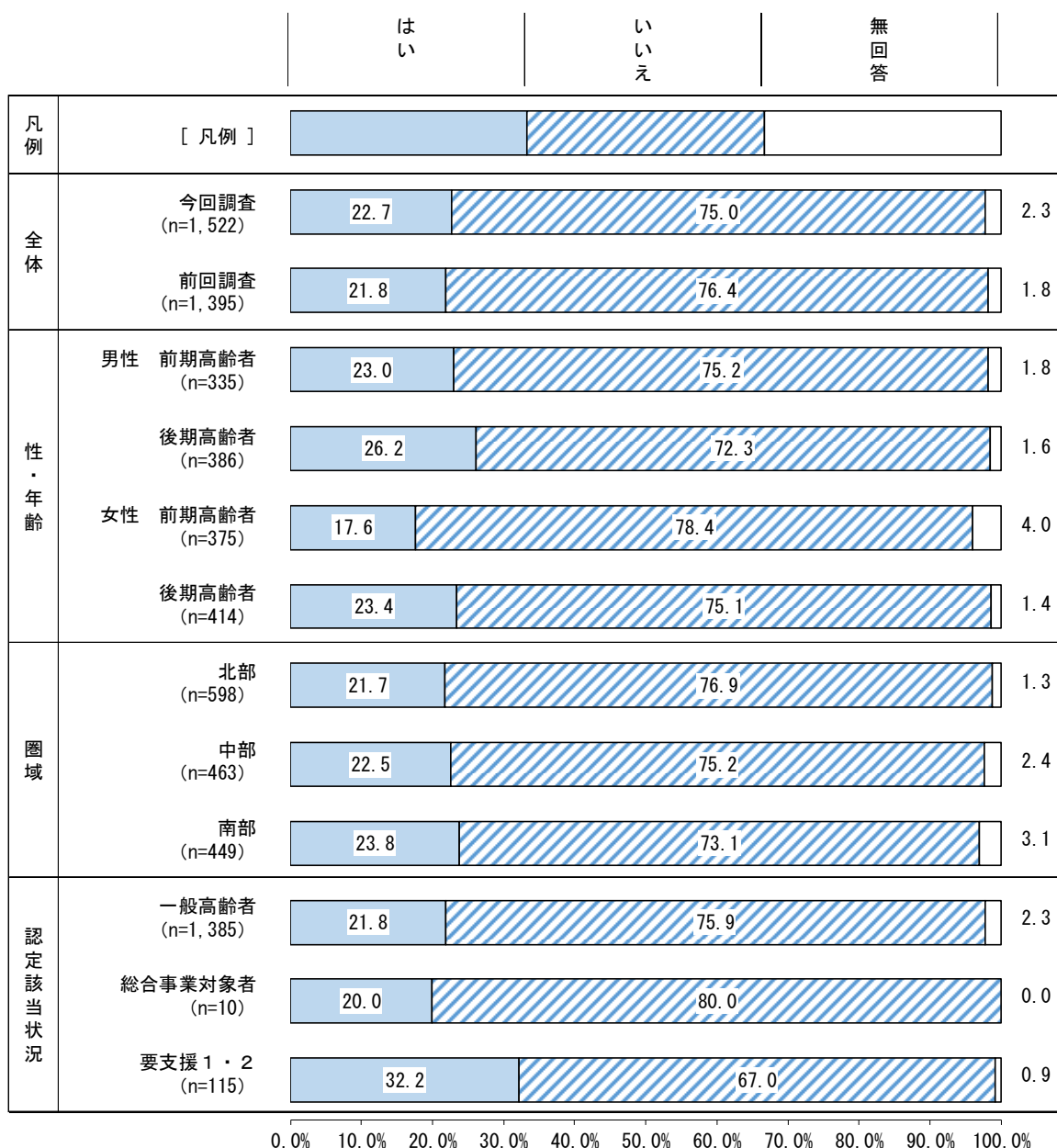
【圏域】

○ 「はい」は南部が23.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「はい」は要支援1・2が32.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【今日が何月何日かわからない時があるか】



4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ○）

【全体】

- バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が83.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が3.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。

- 「できない」は女性 後期高齢者が9.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

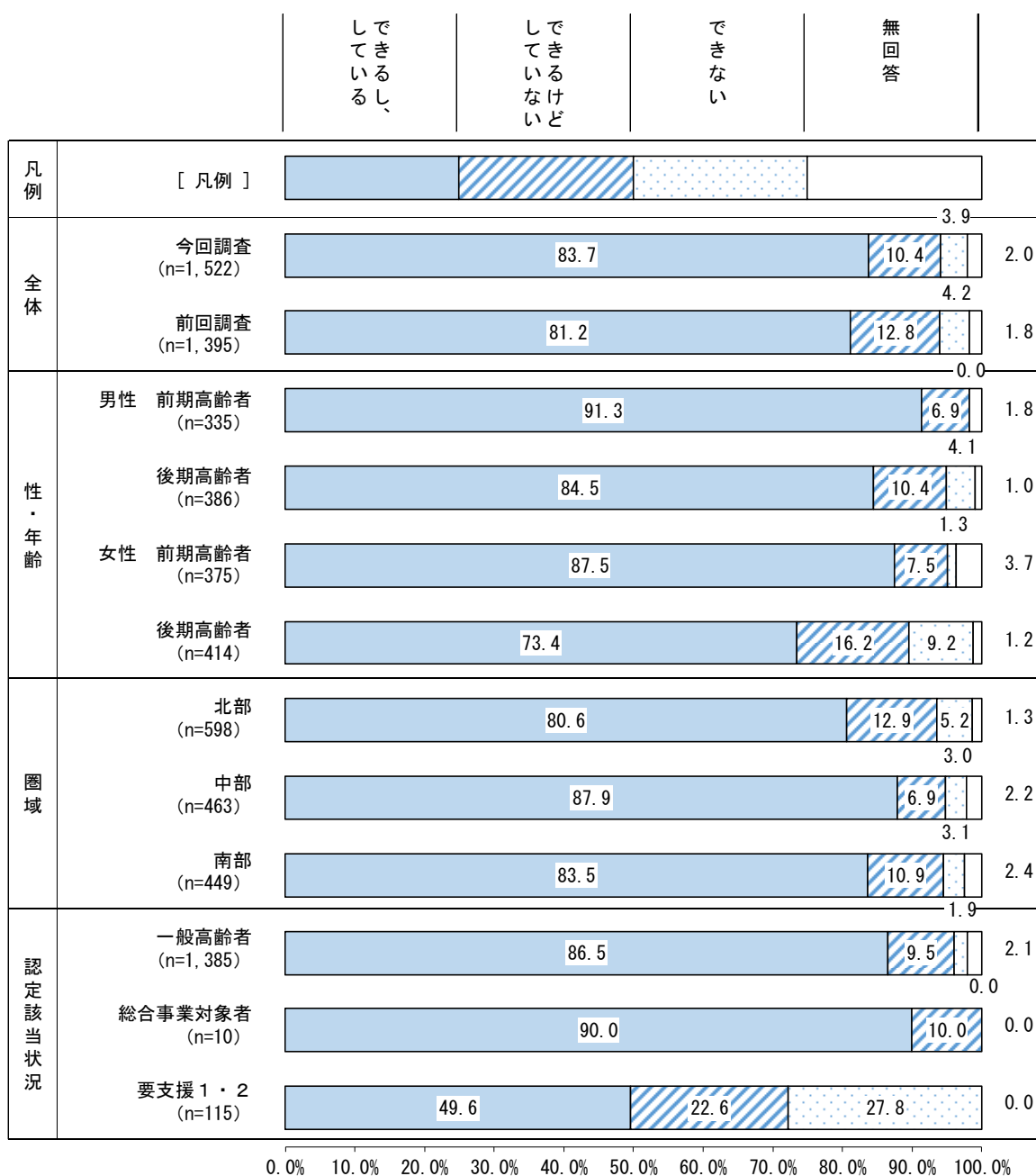
- 「できるけどしていない」は中部が6.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

- 「できない」は北部が5.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「できるけどしていない」が多くなる傾向がみられます。

【バスや電車を使って1人で外出しているか】



5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が83.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多くなっています。

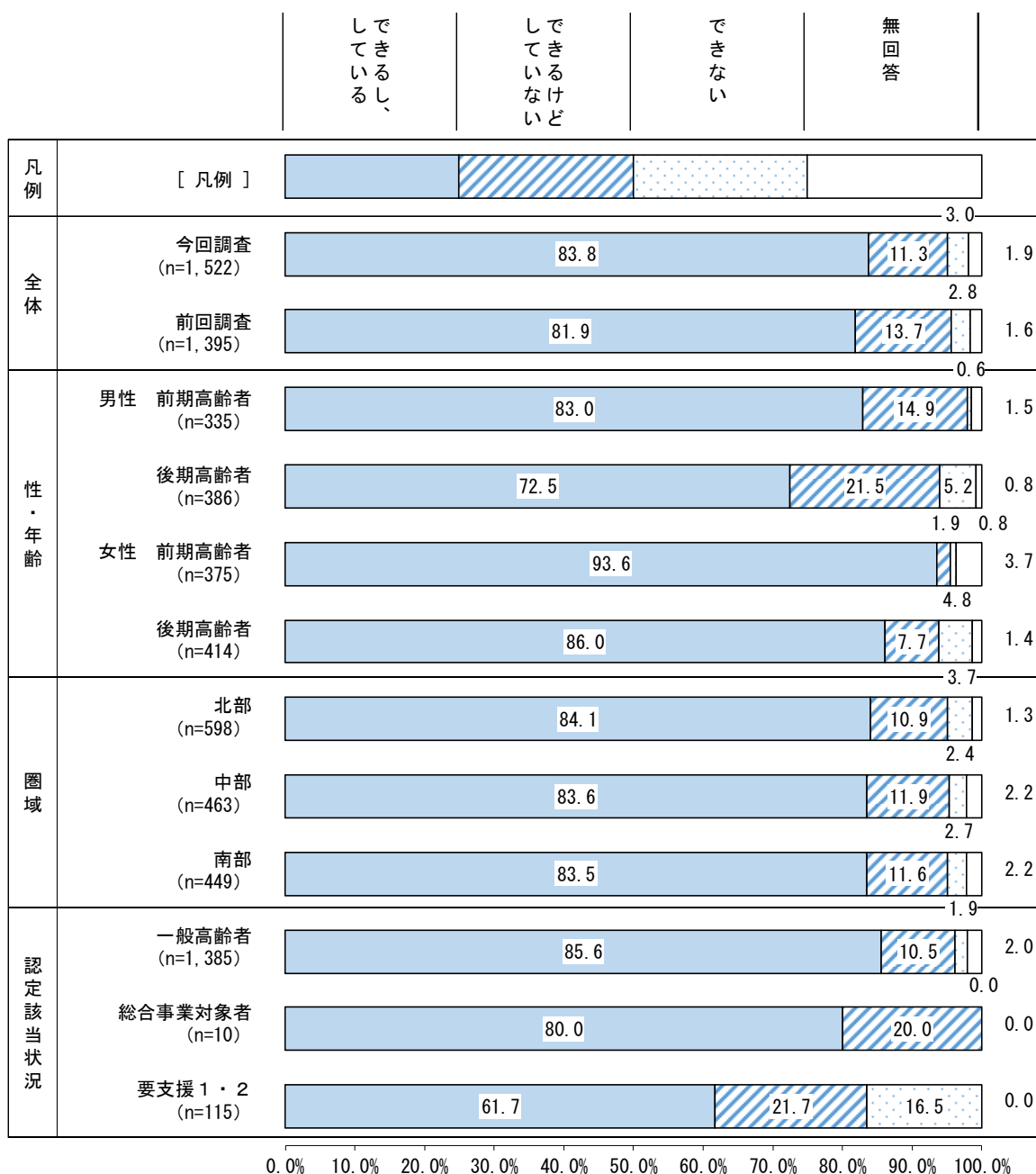
【圏域】

- 「できない」は北部が3.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「できるけどしていない」が多くなる傾向がみられます。

【自分で食事・日用品の買物をしているか】



6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 食事の用意について、「できるし、している」が70.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.4%、「できない」が6.2%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できない」が多くなっています。

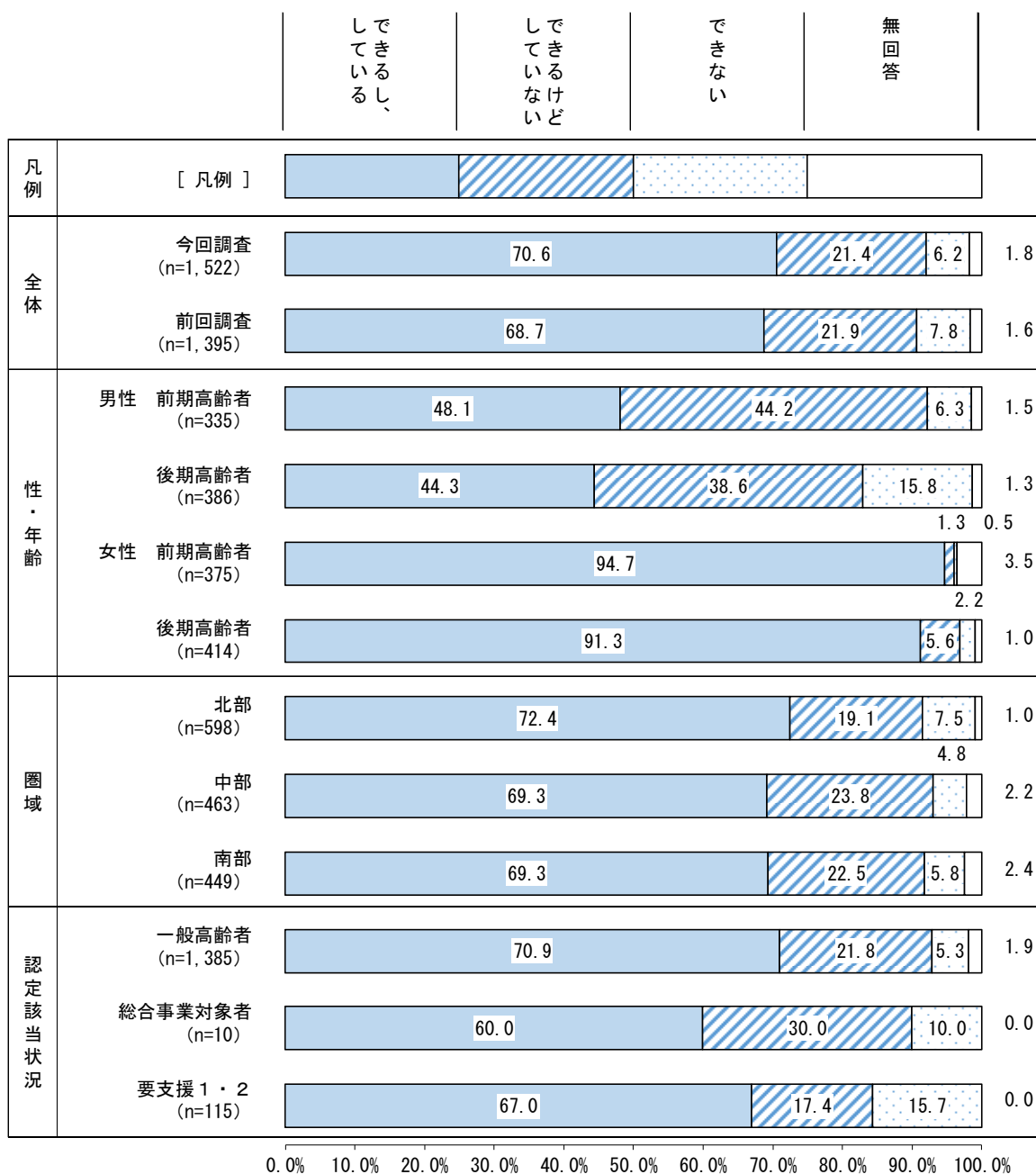
【圏域】

- 「できない」は北部が7.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「できない」が多くなる傾向がみられます。

【自分で食事の用意をしているか】



7 ご自身で調理する頻度はどのくらいですか。(1つだけ○)

【全体】

- 調理頻度について、「週5回以上」が53.1%で最も多く、次いで「まったくしない」が14.8%、「週1回よりも少ない」が10.3%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「週5回以上」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「まったくしない」が多くなっています。

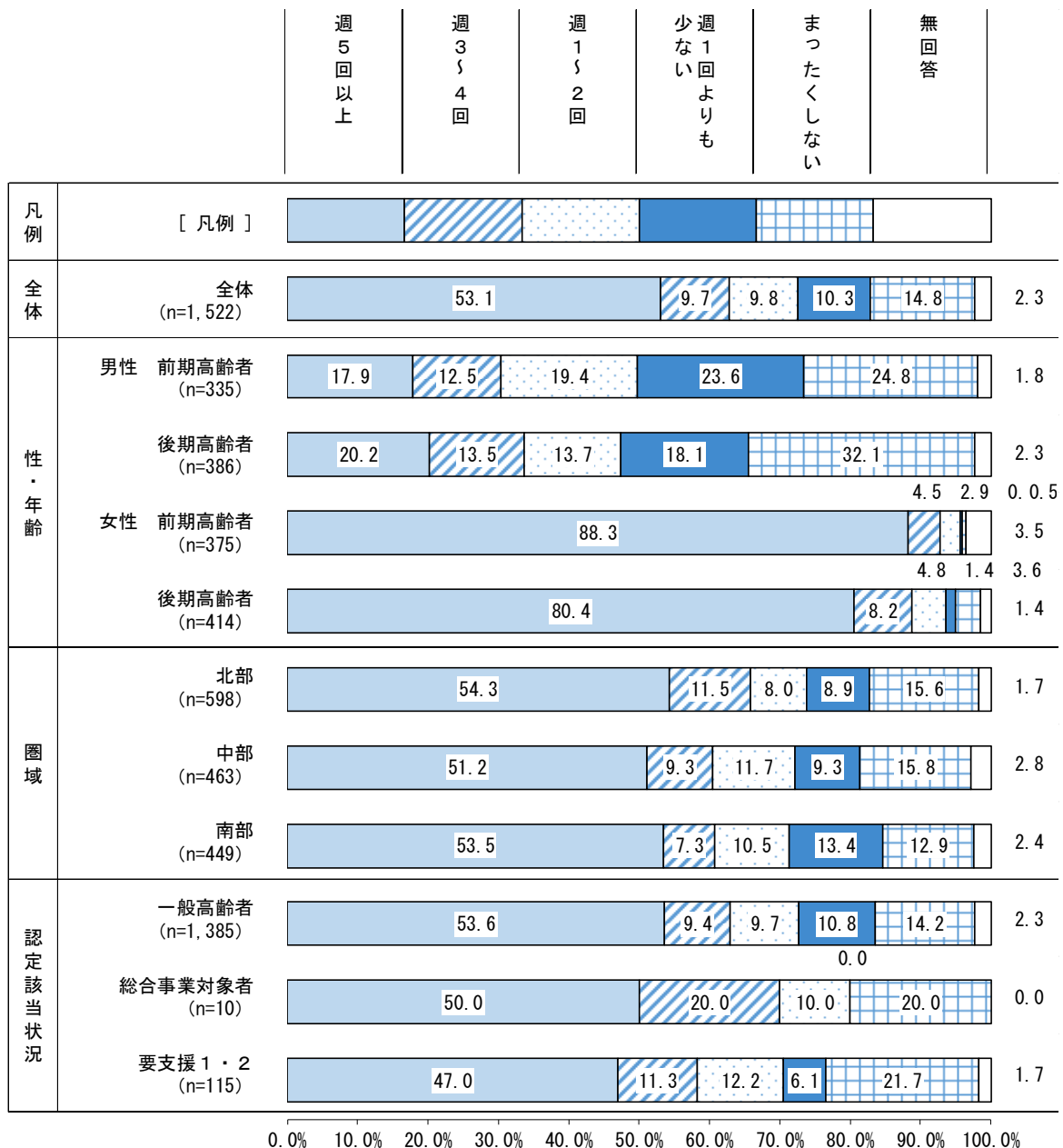
【圏域】

- 「週5回以上」は中部が51.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「週1回よりも少ない」は南部が13.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「まったくしない」が多くなる傾向がみられます。

【調理頻度】



8 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が83.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が2.4%となっています。

【性・年齢】

- 「できない」は男性 前期高齢者が0.6%、女性 前期高齢者が0.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

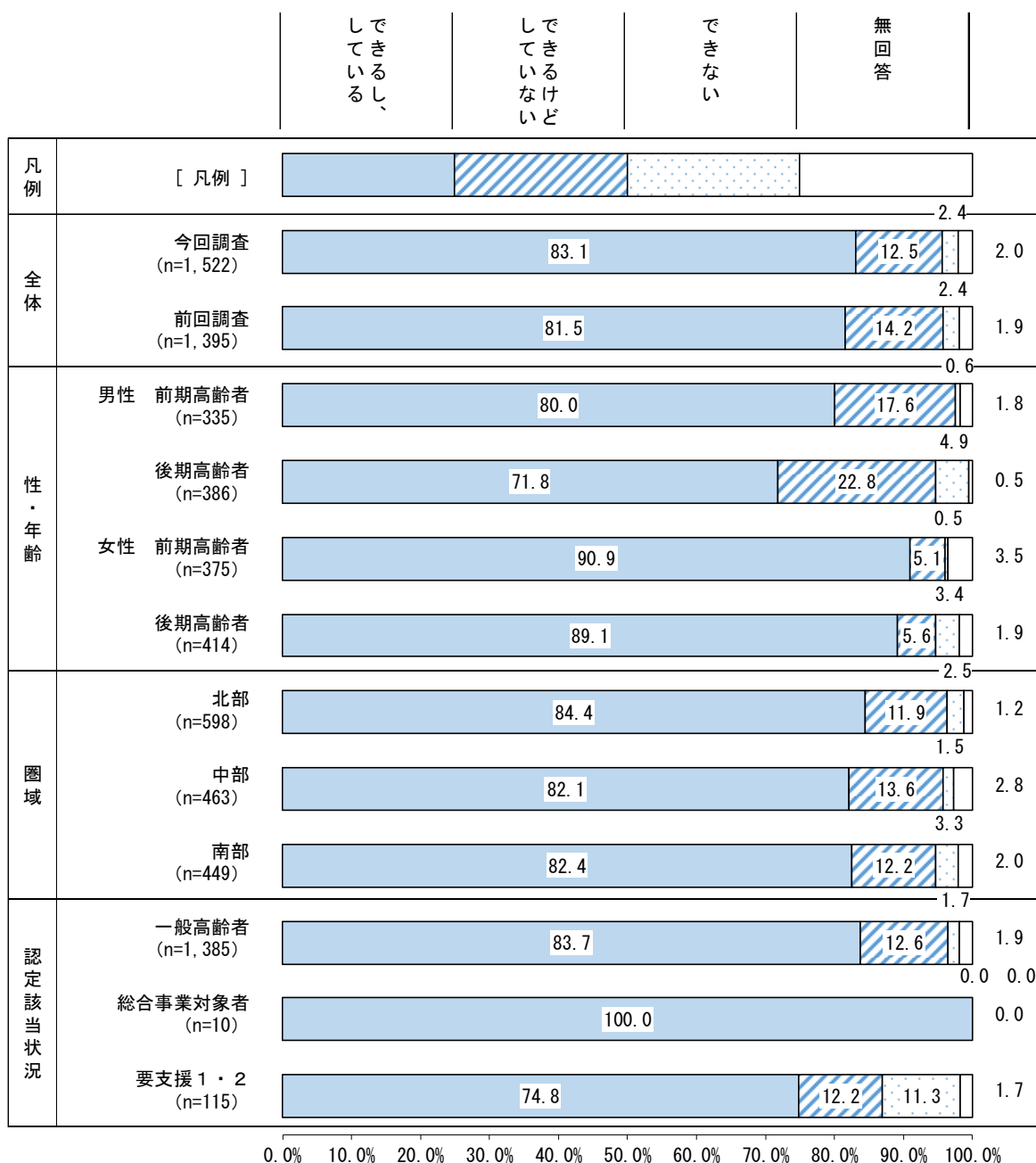
【圏域】

- 「できるけどしていない」は中部が13.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が74.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が11.3%となっています。

【自分で請求書の支払いをしているか】



9 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が86.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.1%、「できない」が2.3%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
- 「できない」は男性 前期高齢者が0.3%、女性 前期高齢者が0.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

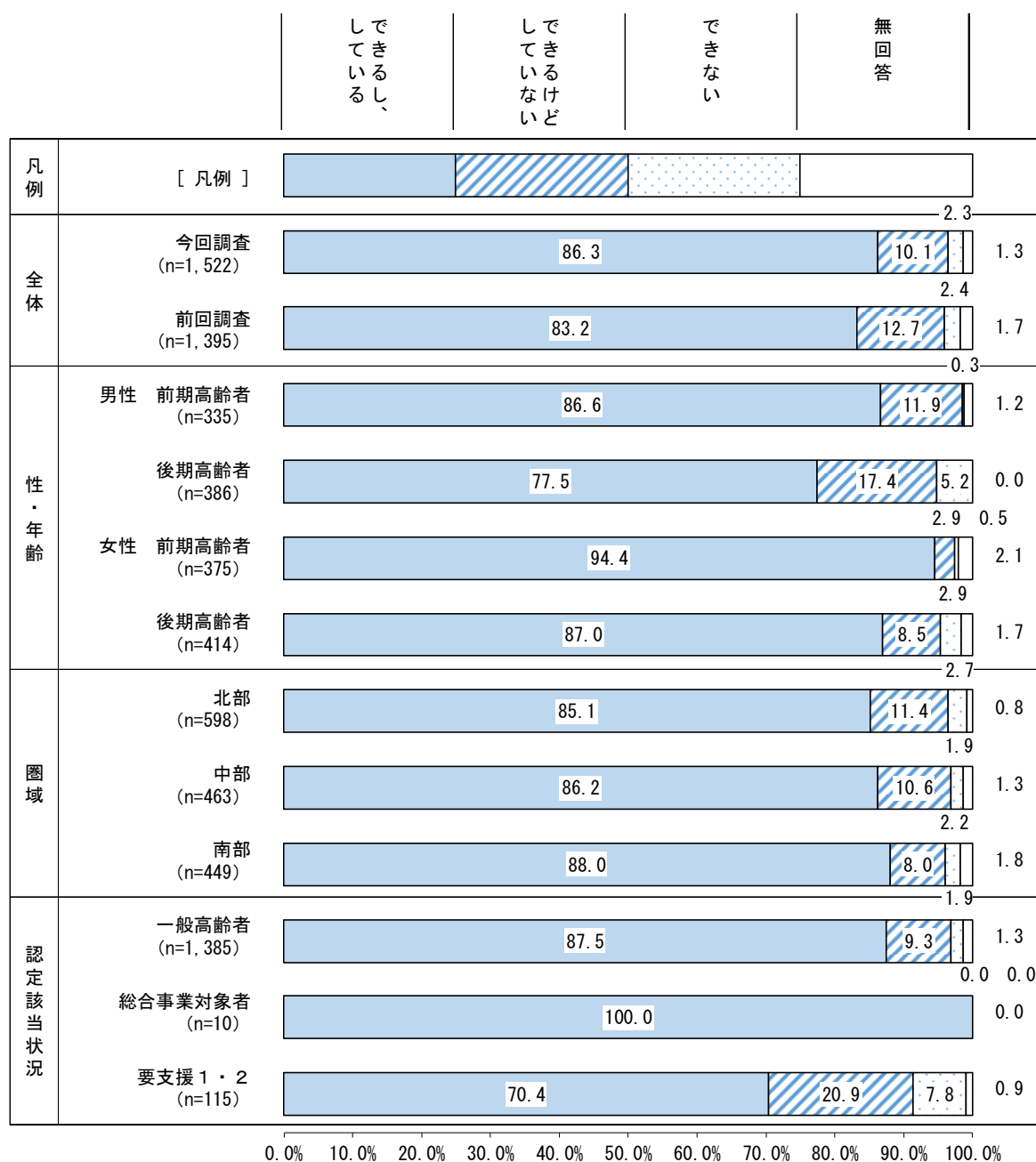
【圏域】

- 「できるけどしていない」は南部が8.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「できるし、している」は要支援1・2が70.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

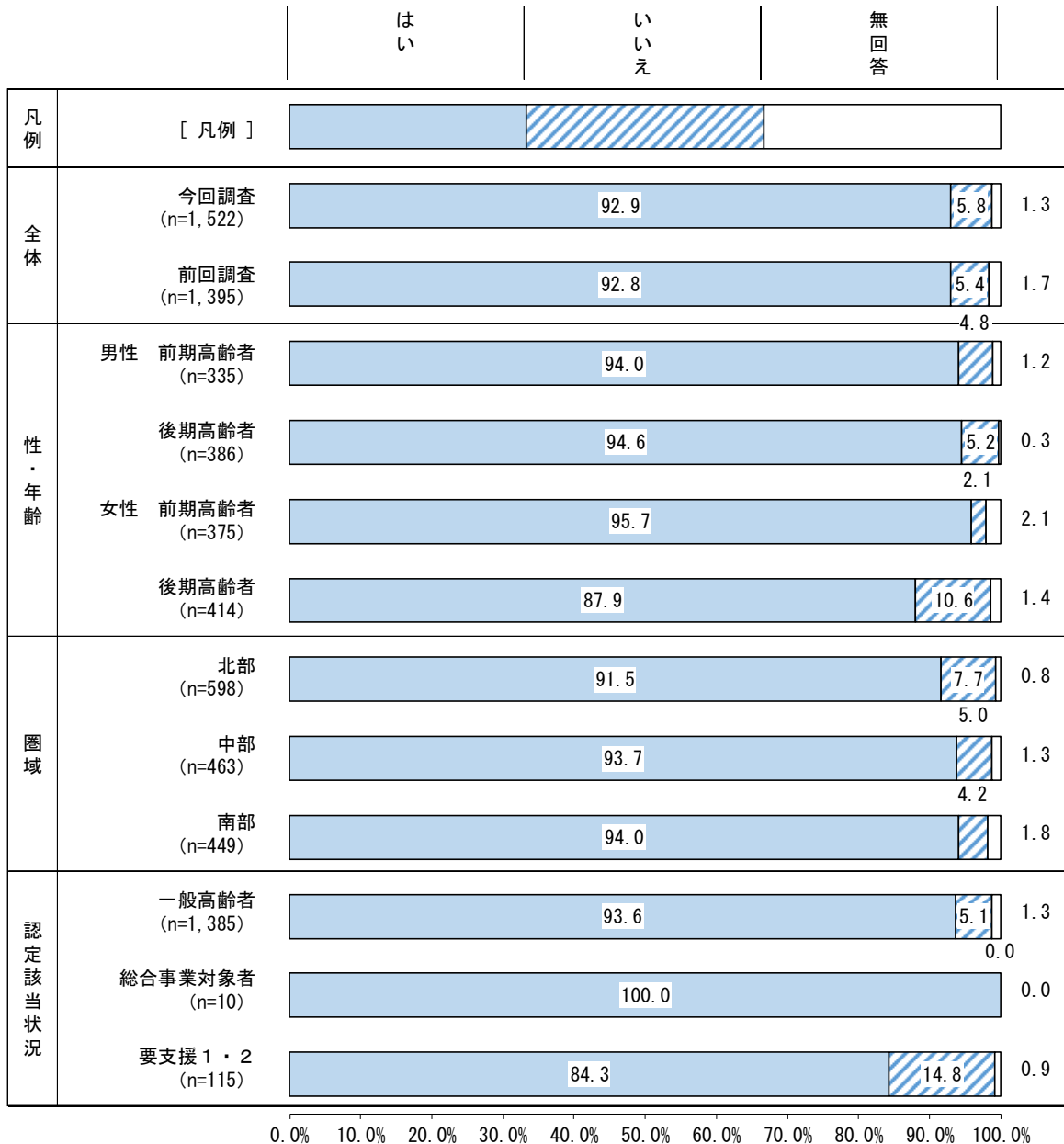
【自分で預貯金の出し入れをしているか】



10 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ○）

【全体】
○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が92.9%、「いいえ」が5.8%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は女性 後期高齢者が87.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
【圏域】
○ 「はい」は北部が91.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は要支援1・2が84.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【年金などの書類が書けるか】



11 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が72.2%、「いいえ」が26.2%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「いいえ」が多くなっています。

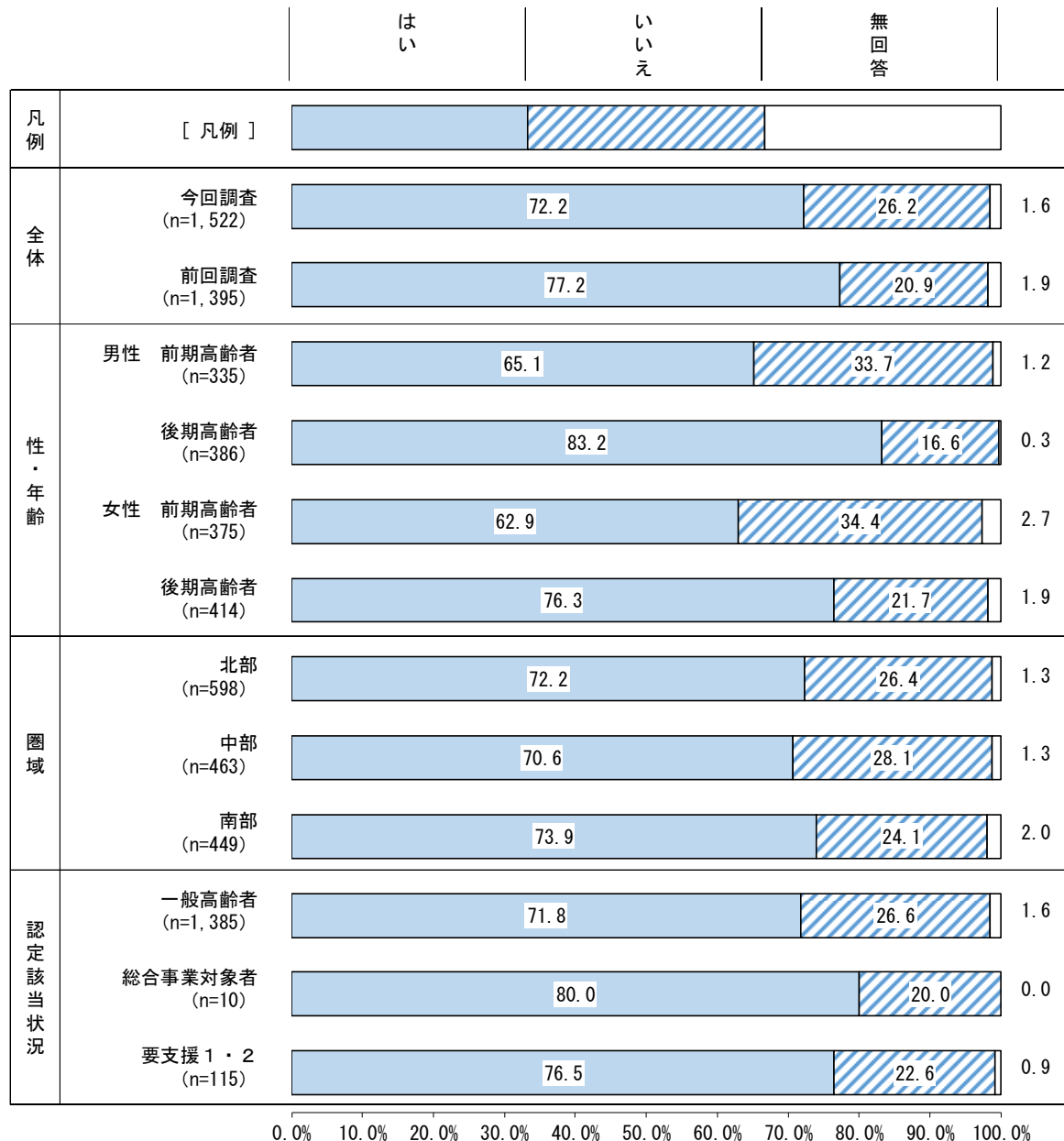
【圏域】

○ 「いいえ」は南部が24.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「いいえ」は一般高齢者が26.6%と他の区分に比べて多くなっています。

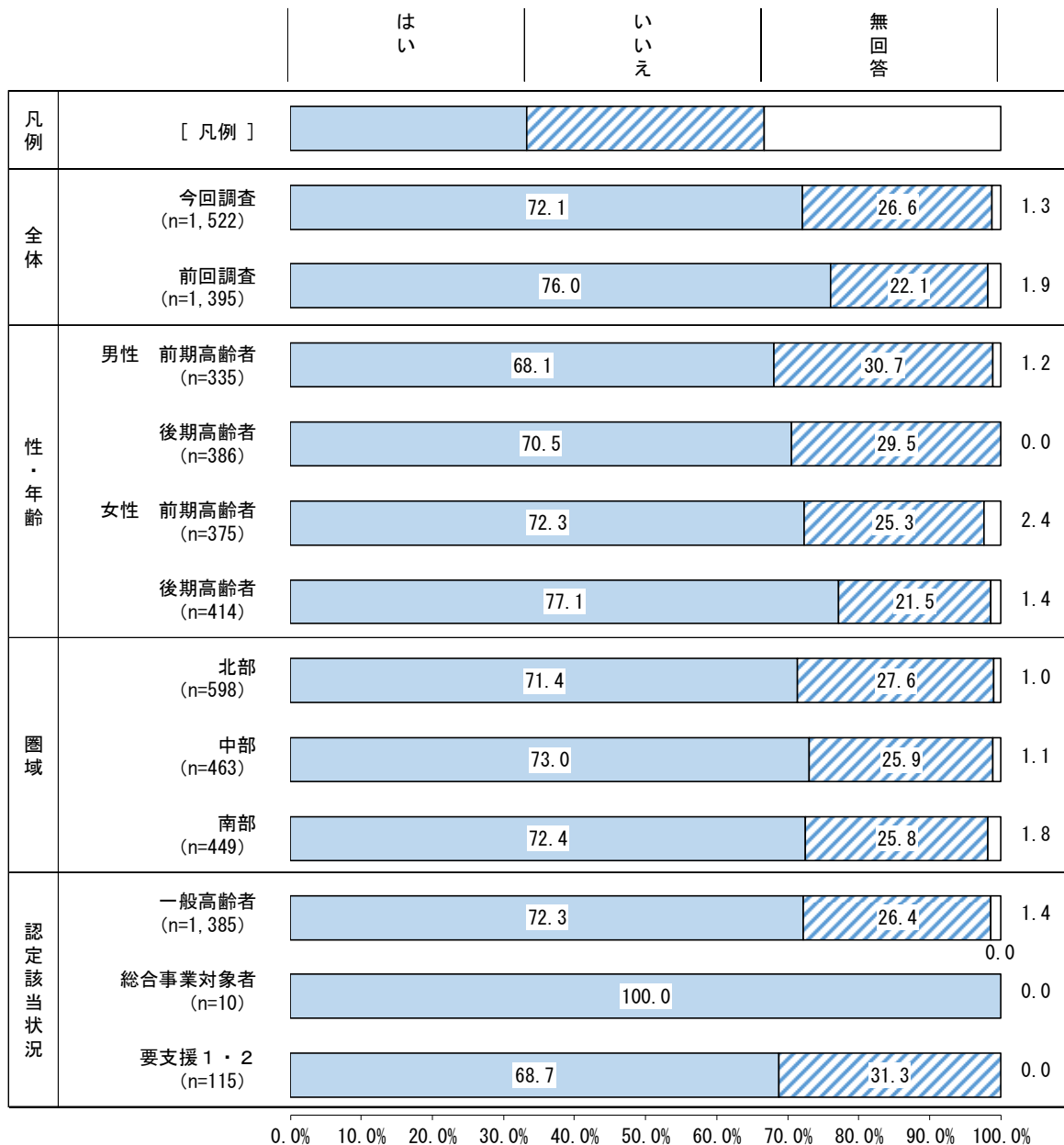
【新聞を読んでいるか】



12 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が72.1%、「いいえ」が26.6%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
【圏域】
○ 「いいえ」は北部が27.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「はい」が68.7%、「いいえ」が31.3%となっています。

【本や雑誌を読んでいるか】



13 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が89.0%、「いいえ」が9.7%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

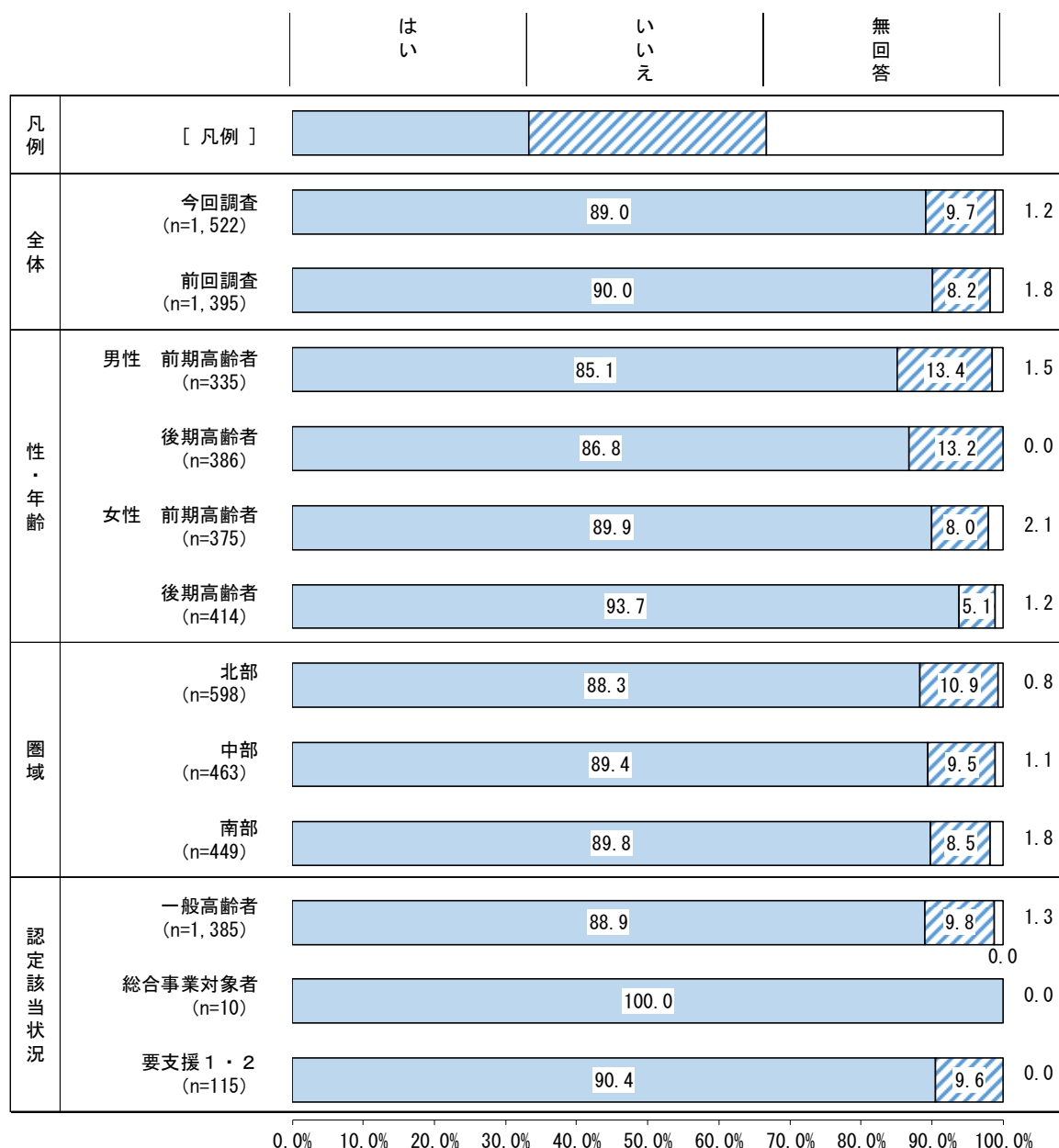
【圏域】

- 「はい」は北部が88.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「はい」が90.4%、「いいえ」が9.6%となっています。

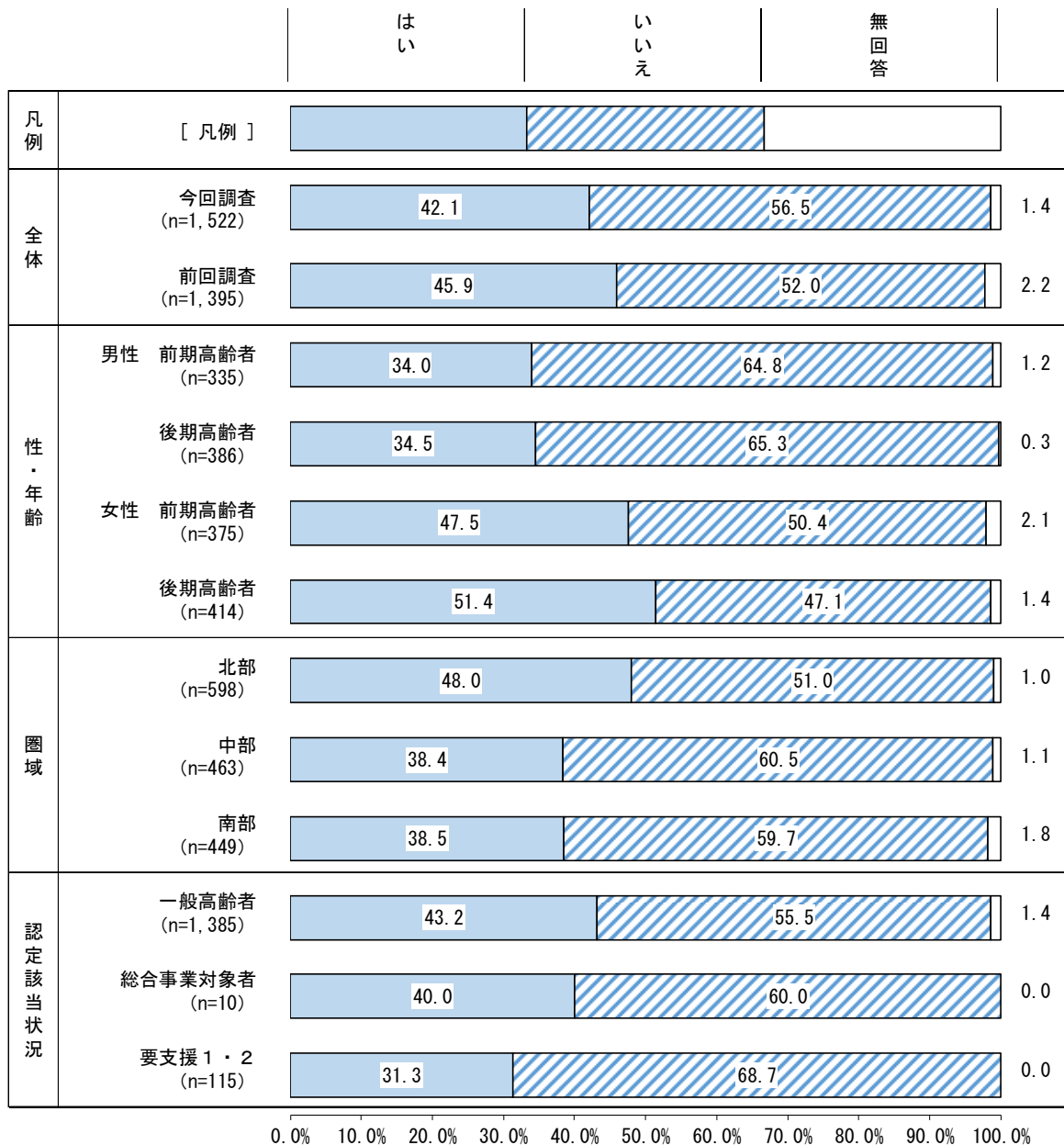
【健康についての記事や番組に関心があるか】



14 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が42.1%、「いいえ」が56.5%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は北部が48.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が少なくなる傾向がみられます。

【友人の家を訪ねているか】



15 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が77.3%、「いいえ」が21.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

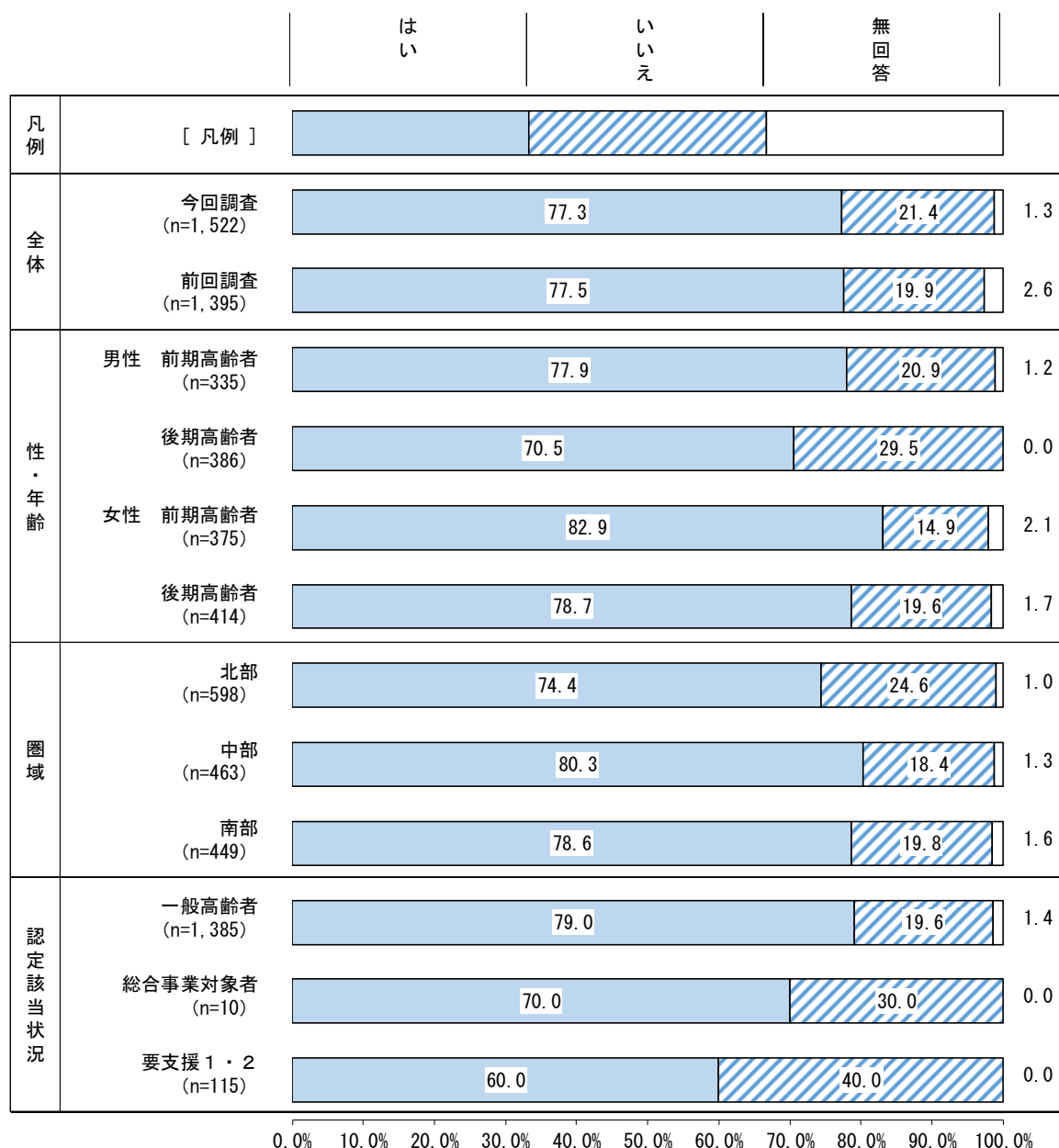
【圏域】

- 「はい」は北部が74.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「はい」が少なくなる傾向がみられます。

【家族や友人の相談にのっているか】



16 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)

【全体】

- 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が86.8%、「いいえ」が11.4%となっています。

【性・年齢】

- 「はい」は女性 後期高齢者が82.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

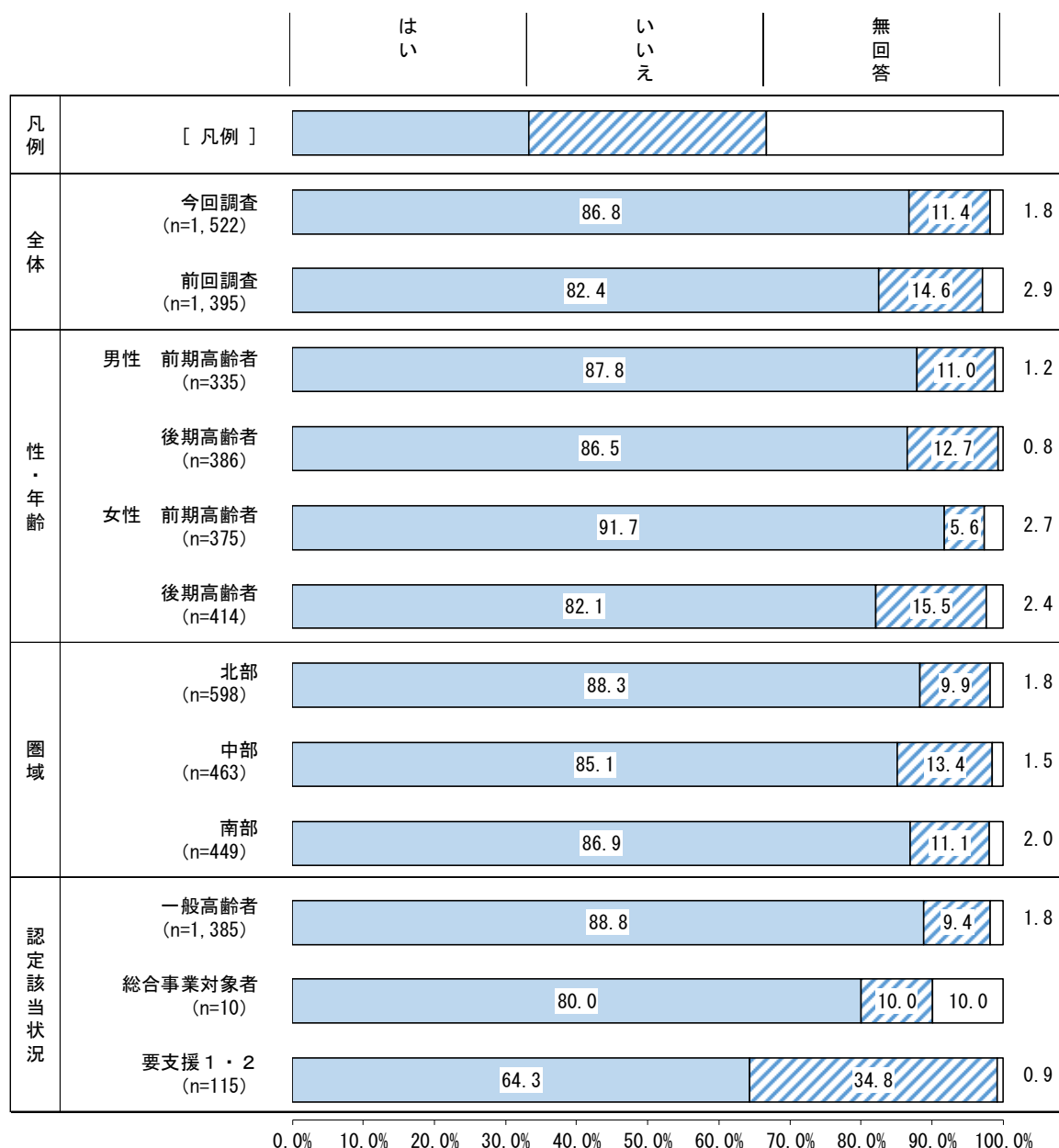
【圏域】

- 「いいえ」は中部が13.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「いいえ」が多くなる傾向がみられます。

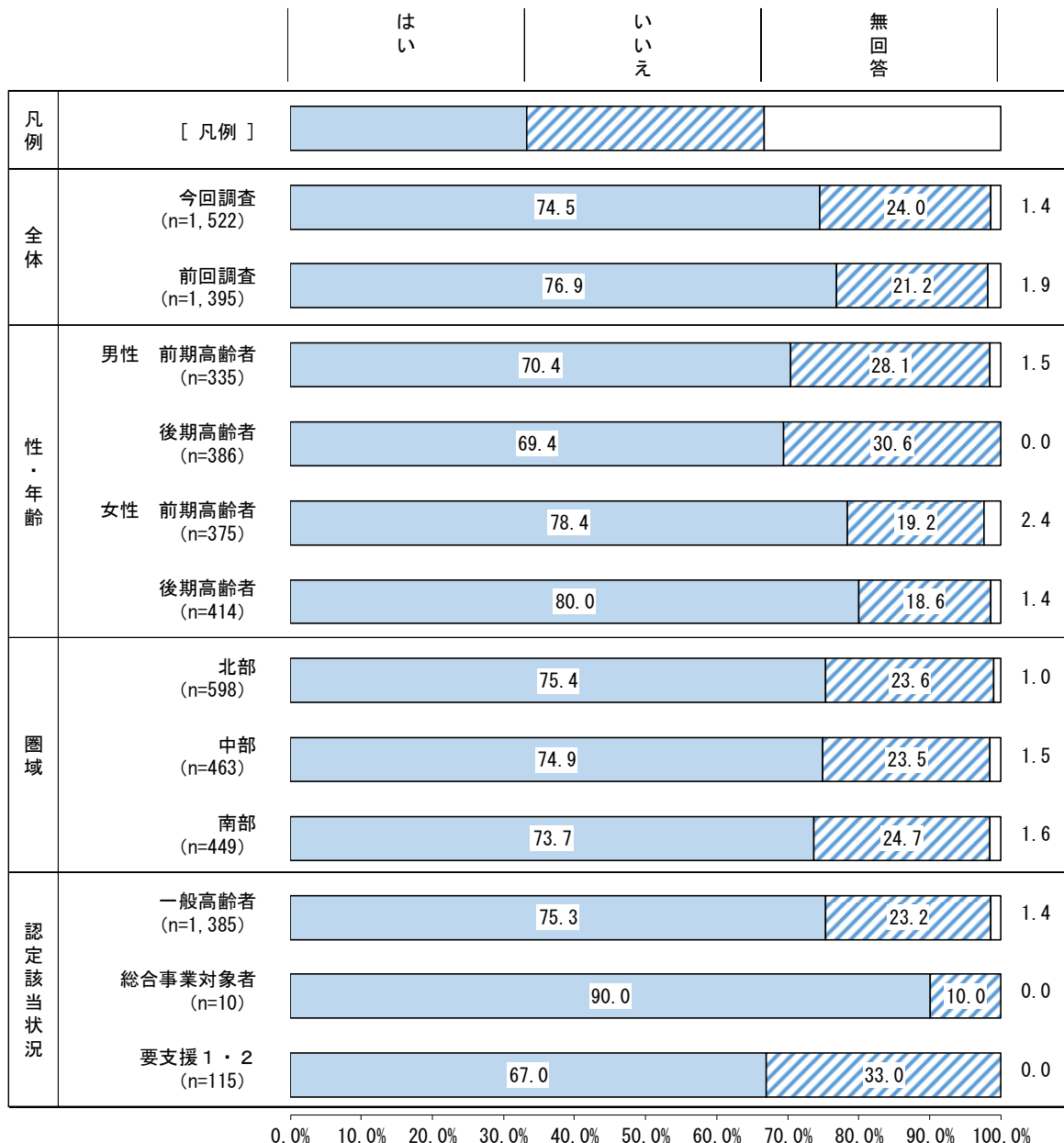
【病人を見舞うことができるか】



17 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が74.5%、「いいえ」が24.0%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は南部が73.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は総合事業対象者が90.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【若い人に自分から話しかけることがあるか】



18 趣味はありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が77.2%、「思いつかない」が20.5%となっています。

【性・年齢】

○ 「趣味あり」は女性 後期高齢者が71.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

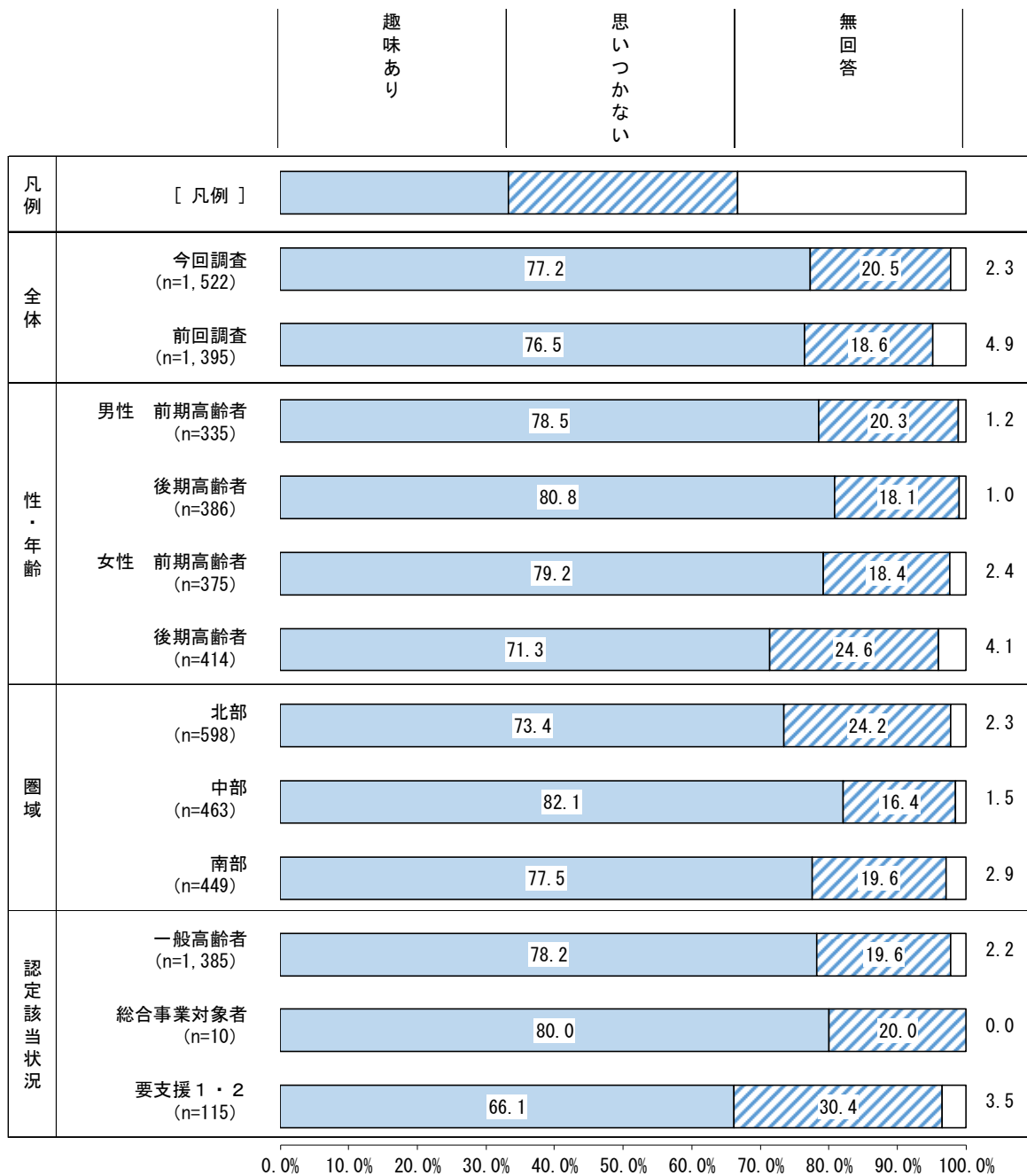
【圏域】

○ 「趣味あり」は中部が82.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「趣味あり」は要支援1・2が66.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【趣味の有無】



19 生きがいがありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 「生きがいの有無について、「生きがいあり」が63.5%、「思いつかない」が32.6%となっています。

【性・年齢】

○ 「生きがいあり」は女性 後期高齢者が60.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

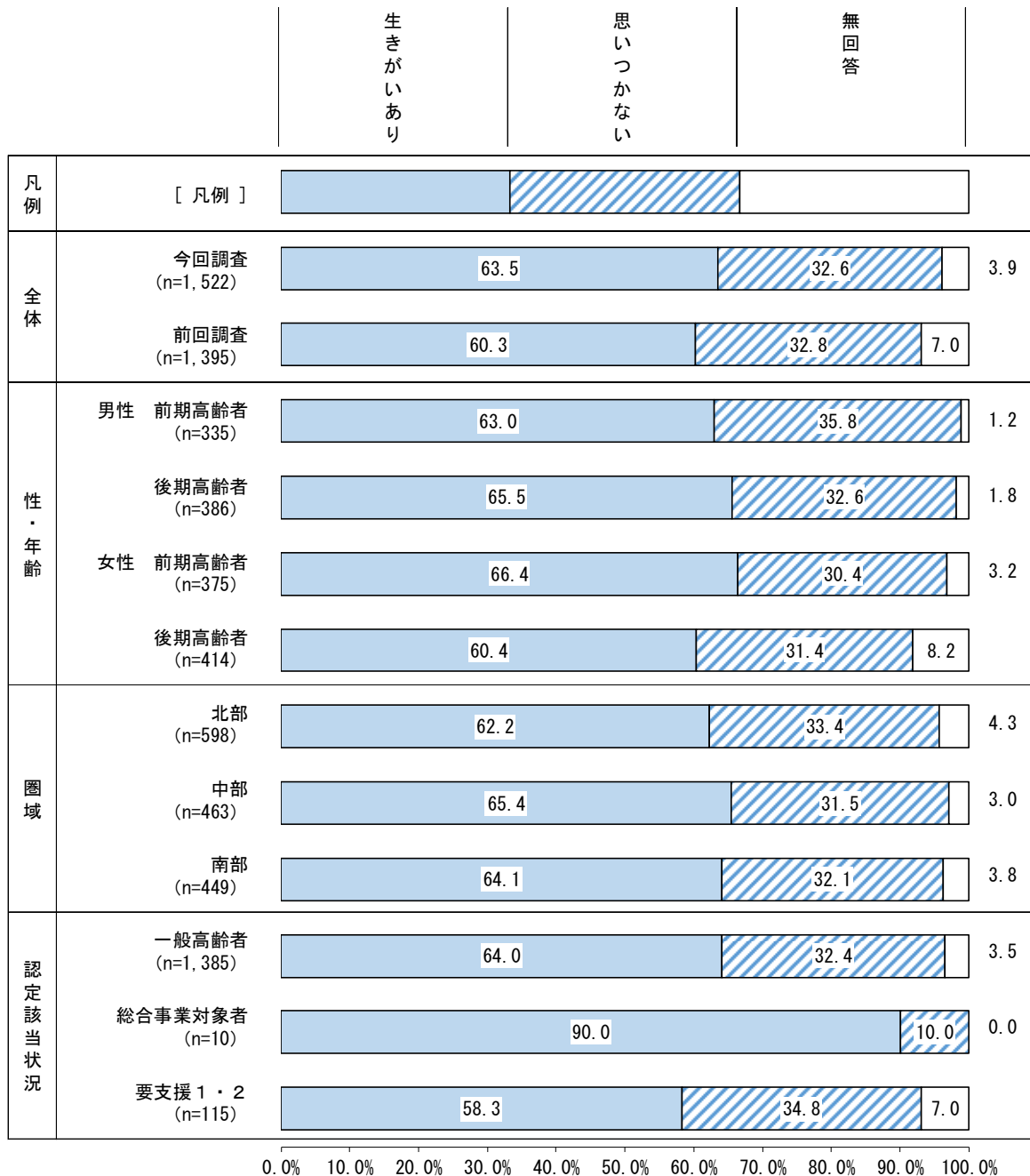
【圏域】

○ 「生きがいあり」は北部が62.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「生きがいあり」は総合事業対象者が90.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【生きがいの有無】



20 スマートフォンを利用していますか。(1つだけ○)

【全体】

- スマートフォンを利用しているかについて、「通話以外でも利用している」が73.9%で最も多く、次いで「現在利用していない」が13.5%、「通話のみ利用している」が11.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「現在利用していない」が多くなっています。

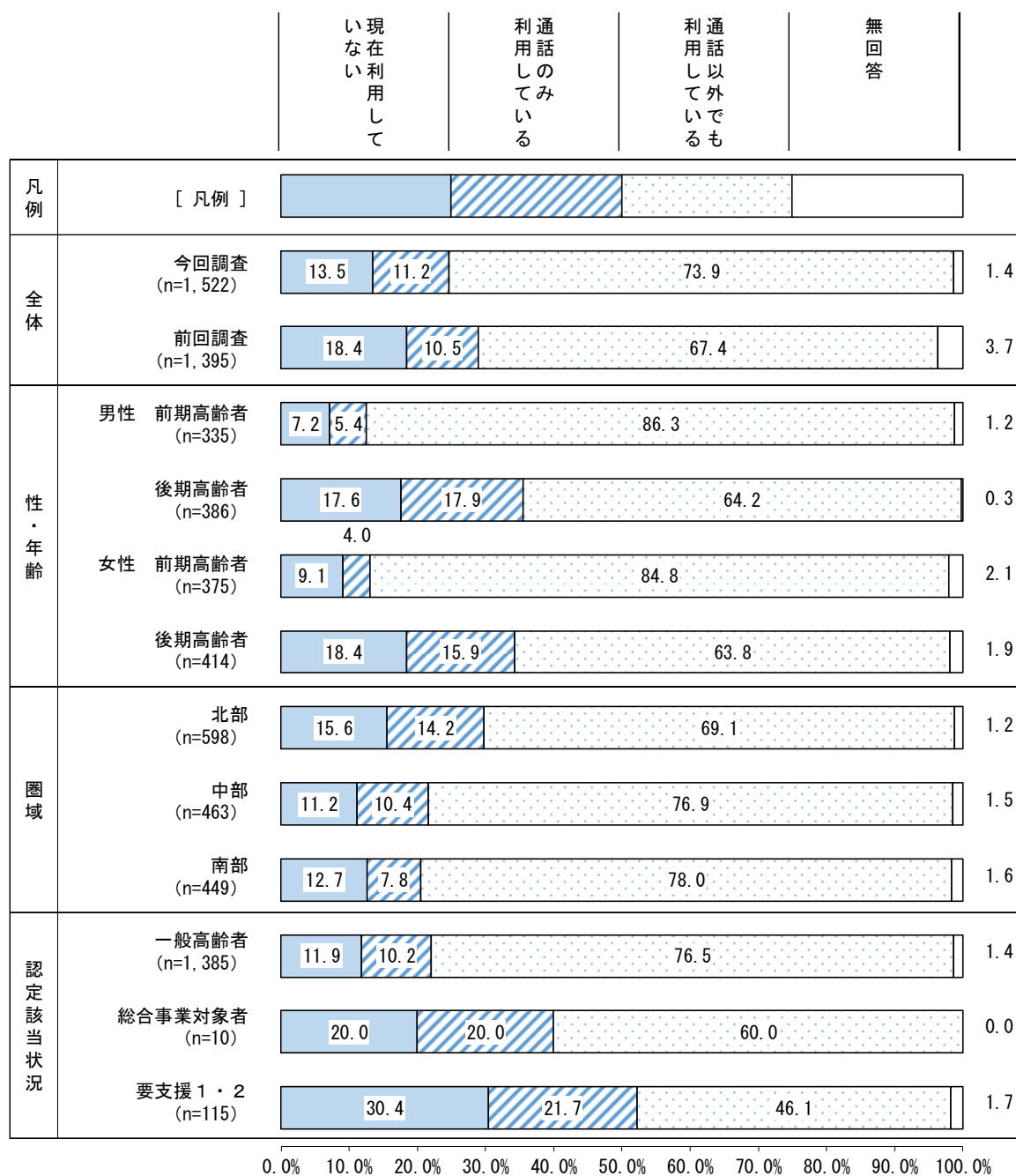
【圏域】

- 「現在利用していない」は北部が15.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「現在利用していない」が多くなる傾向がみられます。

【スマートフォンの利用の有無】

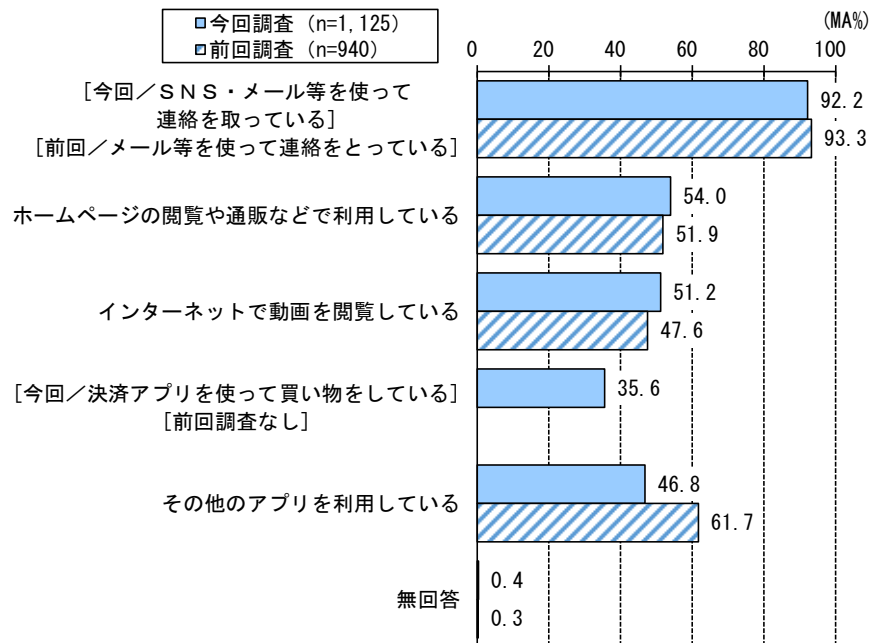


20で、「3. 通話以外でも利用している」と答えた方のみお答えください。

20-1 どのように利用していますか。(いくつでも○)

【全体】
○ 今回調査では、「SNS・メール等を使って連絡を取っている」が92.2%で最も多く、次いで「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が54.0%、「インターネットで動画を閲覧している」が51.2%となっています。

【スマートフォンの利用状況 (MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「ホームページの閲覧や通販などで利用している」「インターネットで動画を閲覧している」「決済アプリを使って買い物をしている」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「決済アプリを使って買い物をしている」が多くなっています。

【圏域】

- 「SNS・メール等を使って連絡を取っている」は中部が93.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「インターネットで動画を閲覧している」は北部が45.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「ホームページの閲覧や通販などで利用している」は一般高齢者が55.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「インターネットで動画を閲覧している」は一般高齢者が51.8%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	スマートフォンの利用方法 (MA)					無回答
			「前回／メール等を使っている」	「今回／SNS・メール等を使っている」	ホームページの閲覧や通販などで利用している	動画を閲覧している	「今回／決済アプリを使っている」	
全体	今回調査	1,125	92.2	54.0	51.2	35.6	46.8	0.4
	前回調査	940	93.3	51.9	47.6	-	△ 61.7	0.3
性・年齢	男性 前期高齢者	289	90.3	△ 71.3	△ 68.2	△ 54.3	49.1	0.3
	後期高齢者	248	86.3	54.0	46.0	26.6	44.4	0.4
	女性 前期高齢者	318	97.5	60.7	56.6	40.9	56.3	0.3
	後期高齢者	264	93.2	▼ 26.9	▼ 31.1	▼ 17.4	▼ 35.2	0.8
圏域	北部	413	91.8	44.8	45.5	34.4	44.8	0.5
	中部	356	93.5	55.6	56.2	36.5	47.8	0.3
	南部	350	91.1	63.1	52.9	36.3	48.3	0.6
認定該当状況	一般高齢者	1,060	92.6	55.3	51.8	36.8	47.5	0.5
	総合事業対象者	6	83.3	▼ 16.7	▼ 33.3	33.3	50.0	-
	要支援 1・2	53	83.0	▼ 32.1	41.5	▼ 13.2	▼ 34.0	-

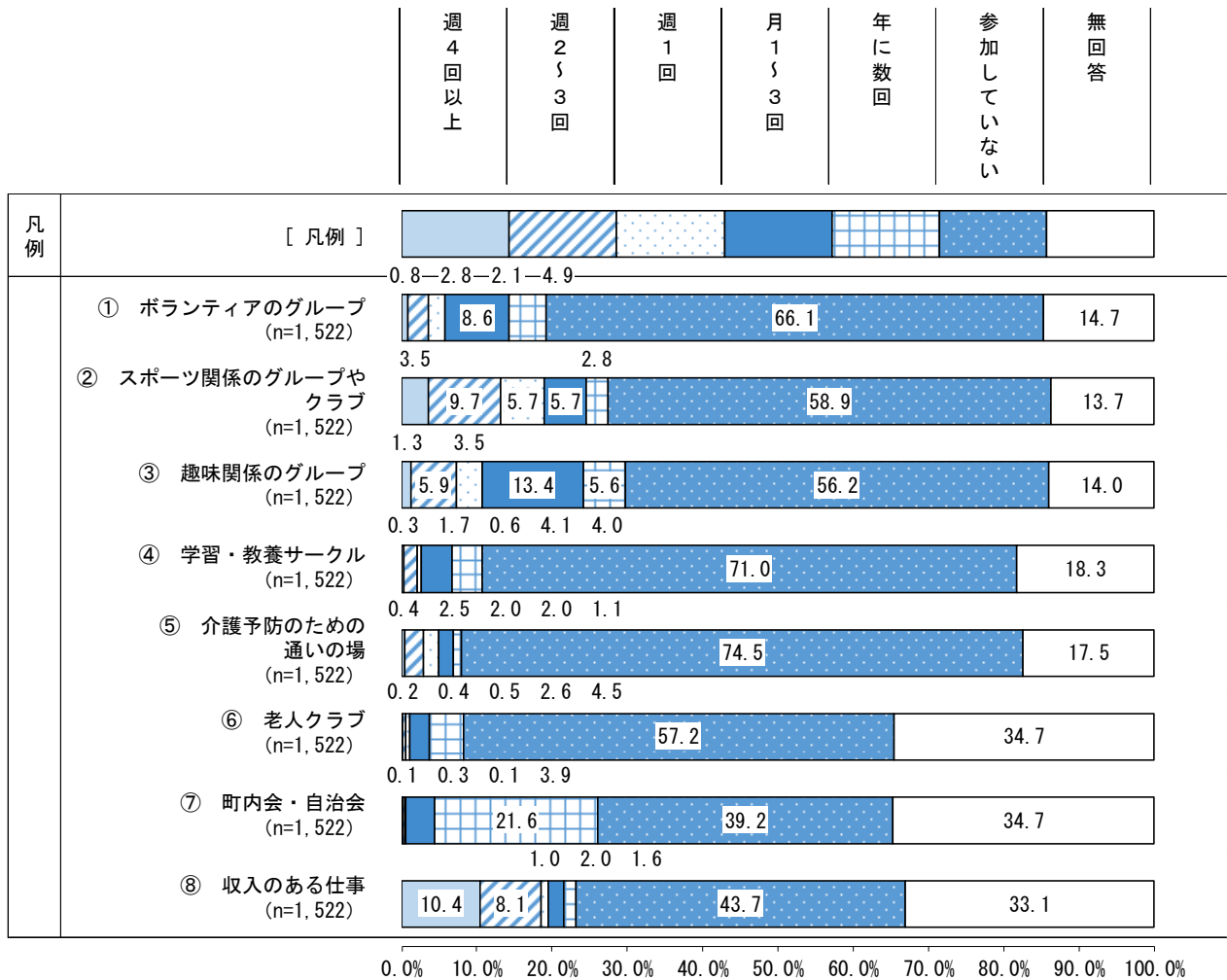
単位：％

6. 地域での活動について

- 1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。（それぞれ1つだけ○）

【全体】

- 会・グループへの参加頻度について、すべての項目で「参加していない」が最も多くなっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上”は「⑧収入のある仕事」が19.5%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が18.9%、「③趣味関係のグループ」が10.7%と他の会・グループに比べて多くなっています。



①ボランティアのグループ

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が66.1%で最も多く、次いで「月1～3回」が8.6%、「年に数回」が4.9%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は5.7%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は女性 後期高齢者が6.3%と他の区分に比べて多くなっています。

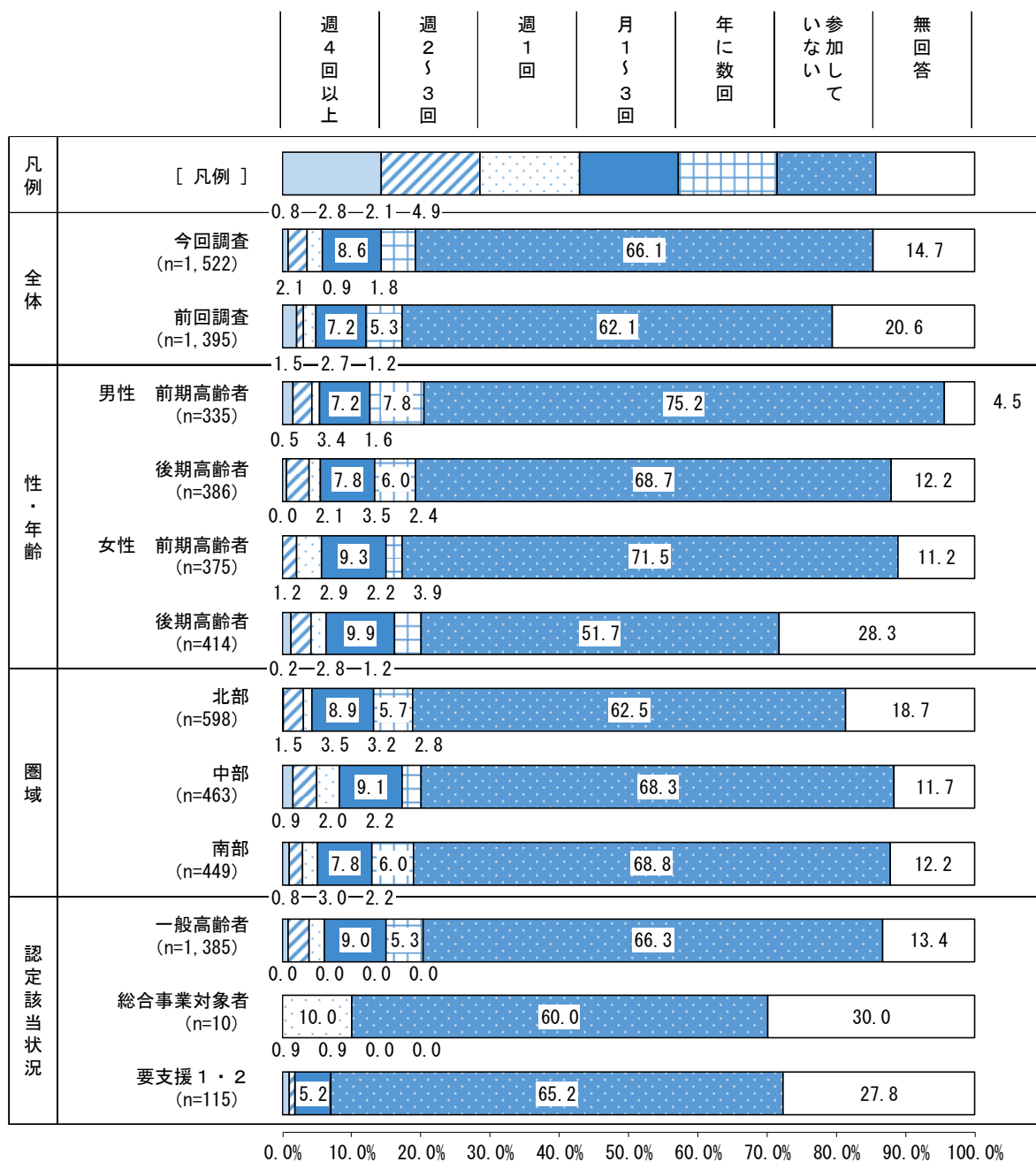
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は中部が8.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、“週1回以上参加している人”は6.0%となっています。

【①ボランティアのグループ】



②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】

- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が58.9%で最も多く、次いで「週2～3回」が9.7%、「週1回」「月1～3回」が5.7%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は18.9%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“週1回以上参加している人”が多くなっています。

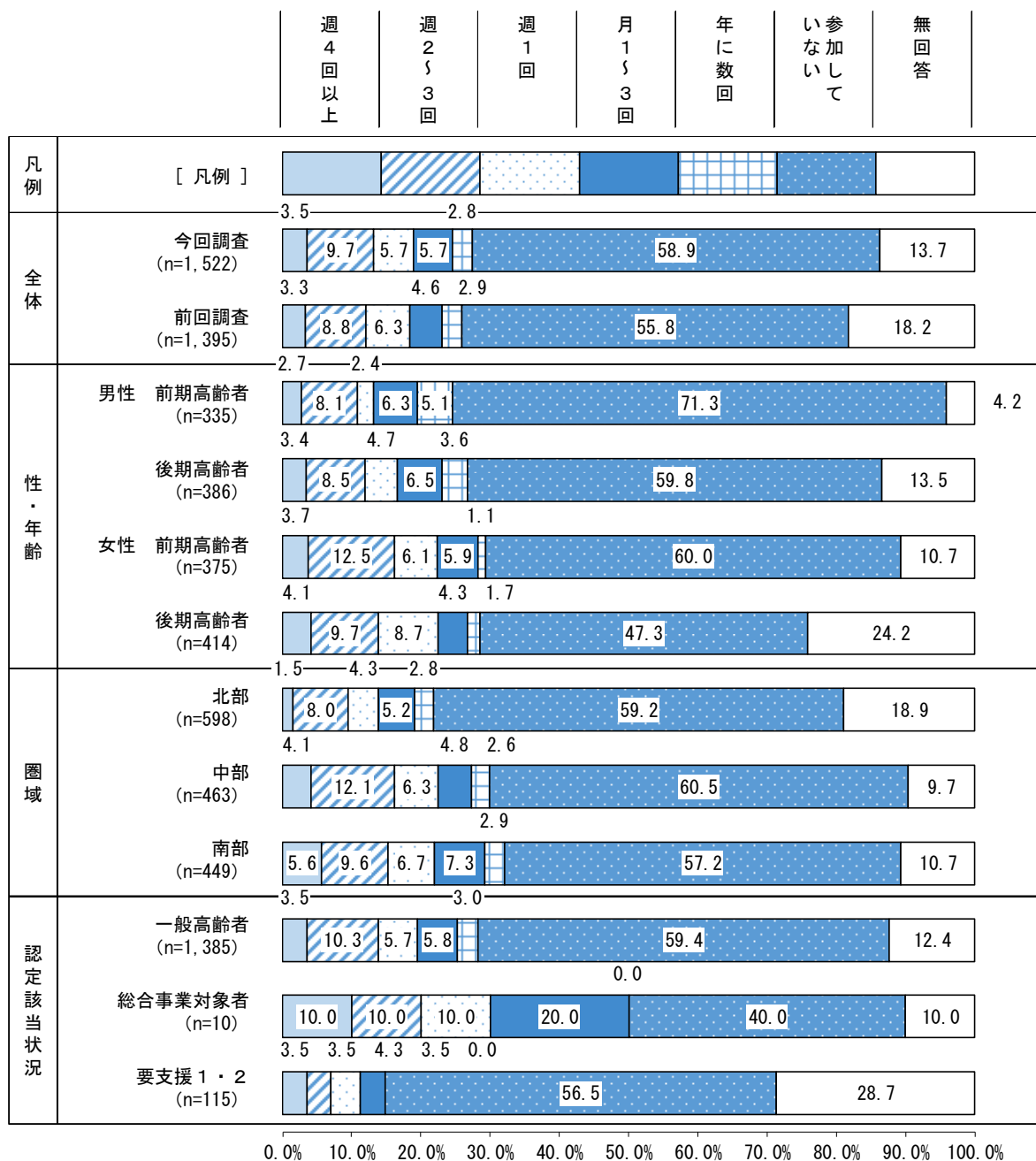
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は北部が13.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、“週1回以上参加している人”は19.5%となっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブ】



③趣味関係のグループ

【全体】

- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が56.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が13.4%、「週2～3回」が5.9%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は10.7%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 前期高齢者が7.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

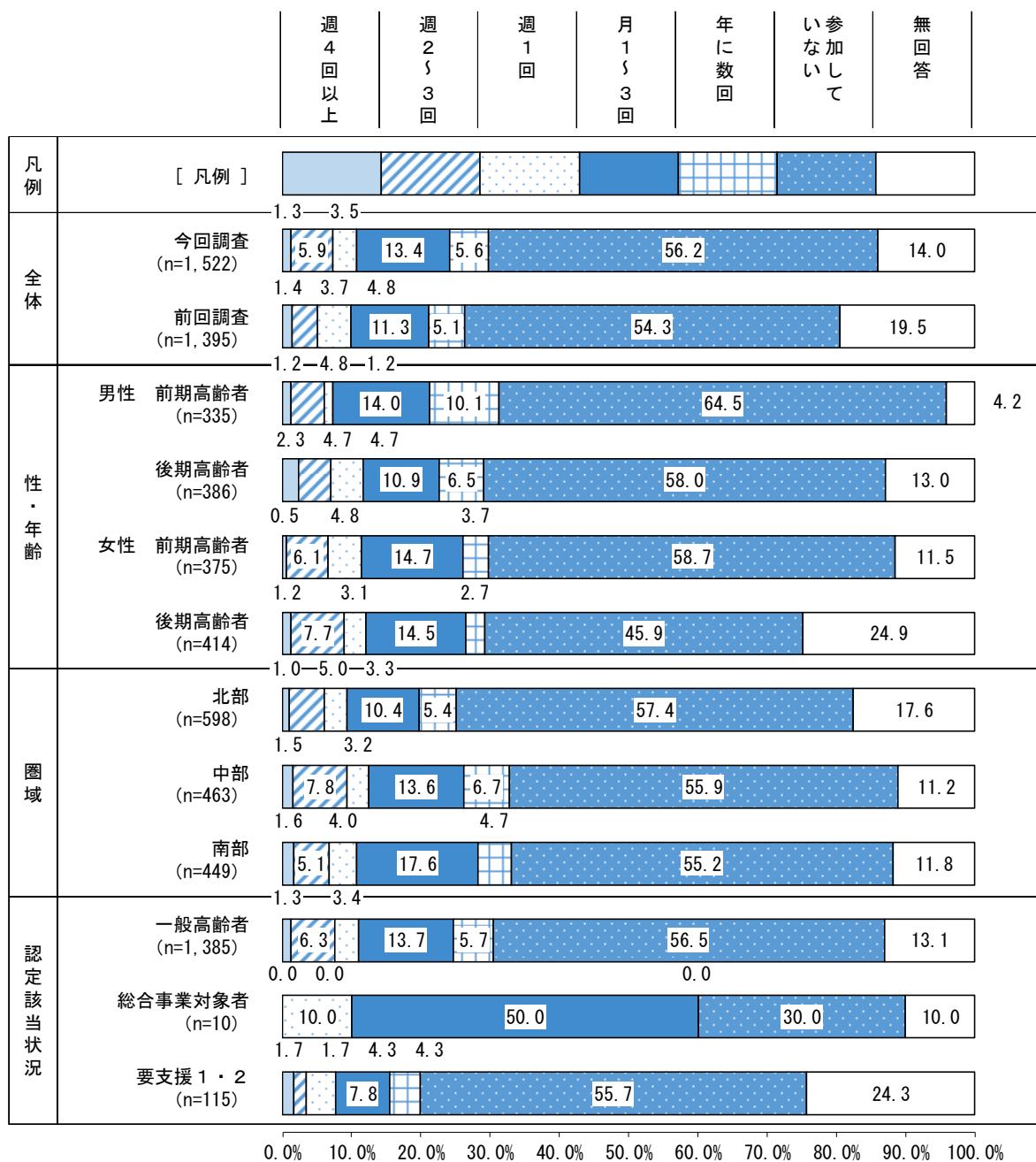
【圏域】

- 「参加していない」は北部が57.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“週1回以上参加している人”が少なくなる傾向がみられます。

【③趣味関係のグループ】



④学習・教養サークル

【全体】

- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が71.0%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.1%、「年に数回」が4.0%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.6%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 前期高齢者が1.8%、男性 後期高齢者が1.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

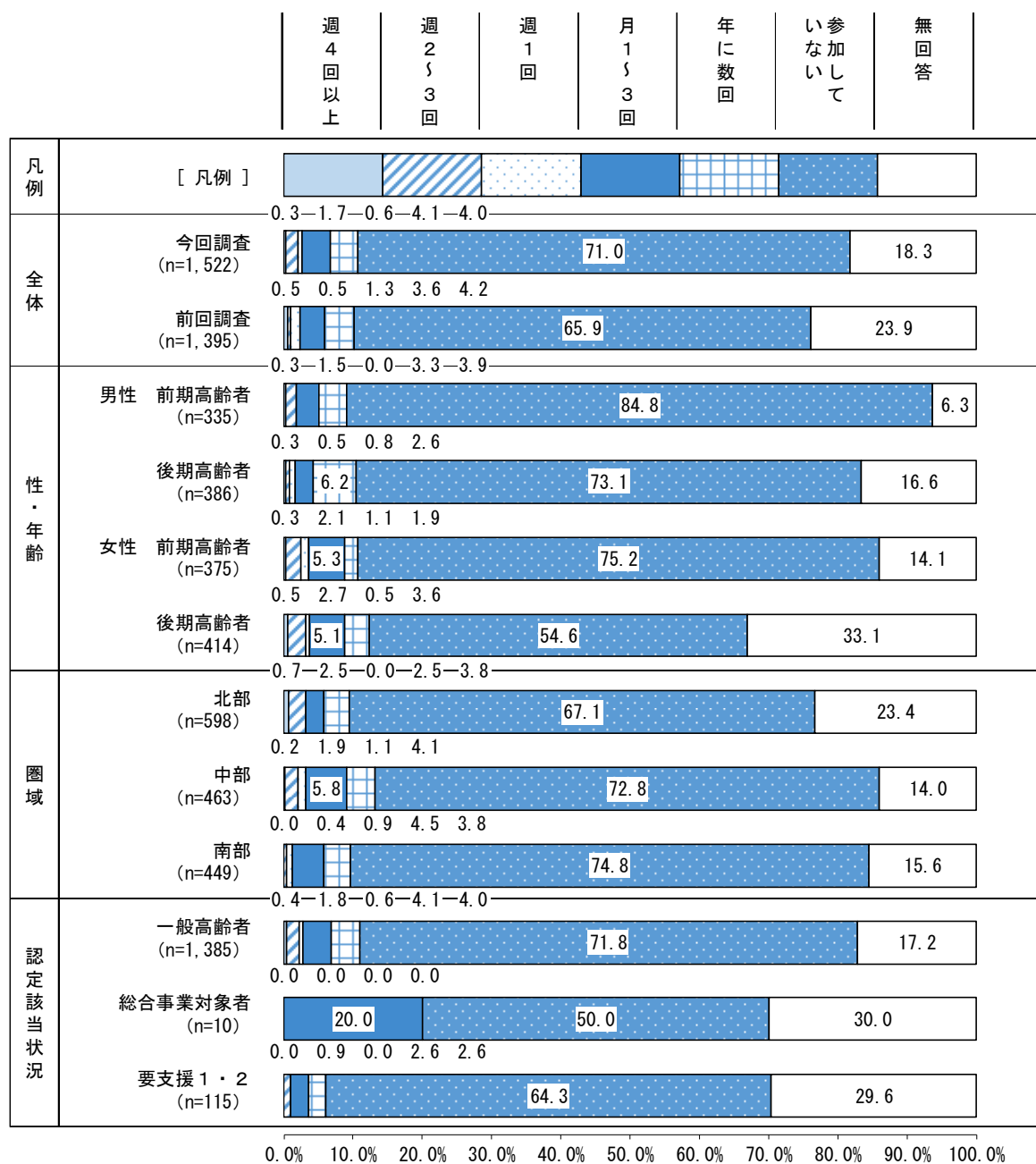
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は南部が1.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、“週1回以上参加している人”は2.8%となっています。

【④学習・教養サークル】



⑤介護予防のための通いの場（みんなの元気塾、森のサロンながたん、住民主体の体操の居場所、ふれあいサロンなど）

【全体】

- ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が74.5%で最も多く、次いで「週2～3回」が2.5%、「週1回」「月1～3回」が2.0%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は4.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“週1回以上参加している人”が多くなっています。

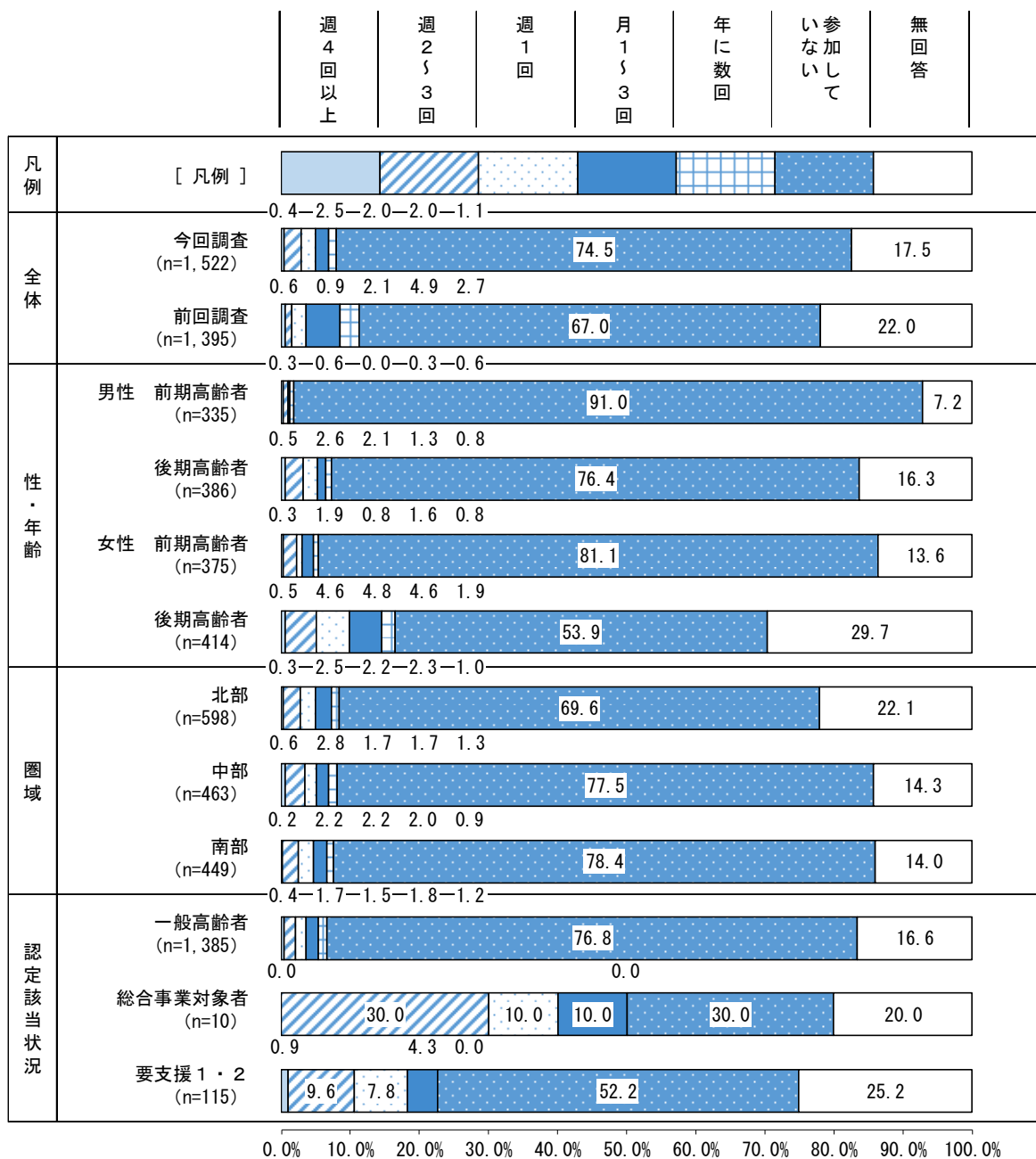
【圏域】

- 「参加していない」は北部が69.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「参加していない」は一般高齢者が76.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑤介護予防のための通いの場】



⑤-1 通所B（みんなの元気塾、森のサロンながたん、北ノ堂体操クラブ、桜が丘二丁目体操クラブ、桜四元気アップ体操クラブ、精華台体操クラブ、光台九丁目すてき65健康体操）

【全体】

- ⑤-1 通所Bについて、「参加していない」が16.4%で最も多く、次いで「週1回」が14.8%、「週2～3回」「月1～3回」が6.6%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は23.0%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は女性 前期高齢者が35.0%と他の区分に比べて多くなっています。

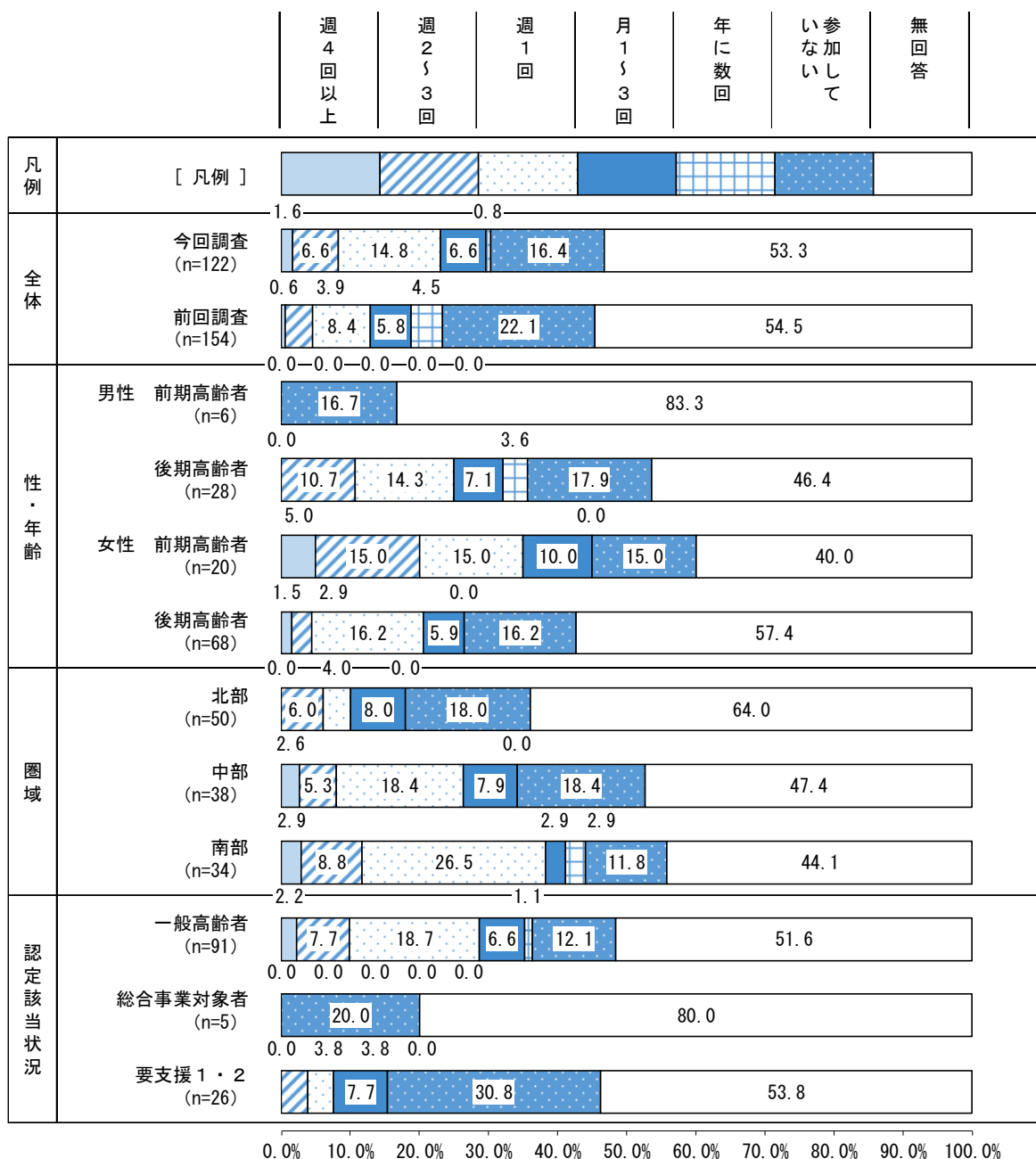
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は北部が10.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「参加していない」が多くなる傾向がみられます。

【⑤-1 通所B】



⑤-2 通所B（⑤-1）以外の住民主体の体操の居場所

【全体】

- ⑤-2 通所B以外の住民主体の体操の居場所について、「参加していない」が34.4%で最も多く、次いで「月1～3回」が14.8%、「週1回」が3.3%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は5.7%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 前期高齢者が16.7%と他の区分に比べて多くなっています。

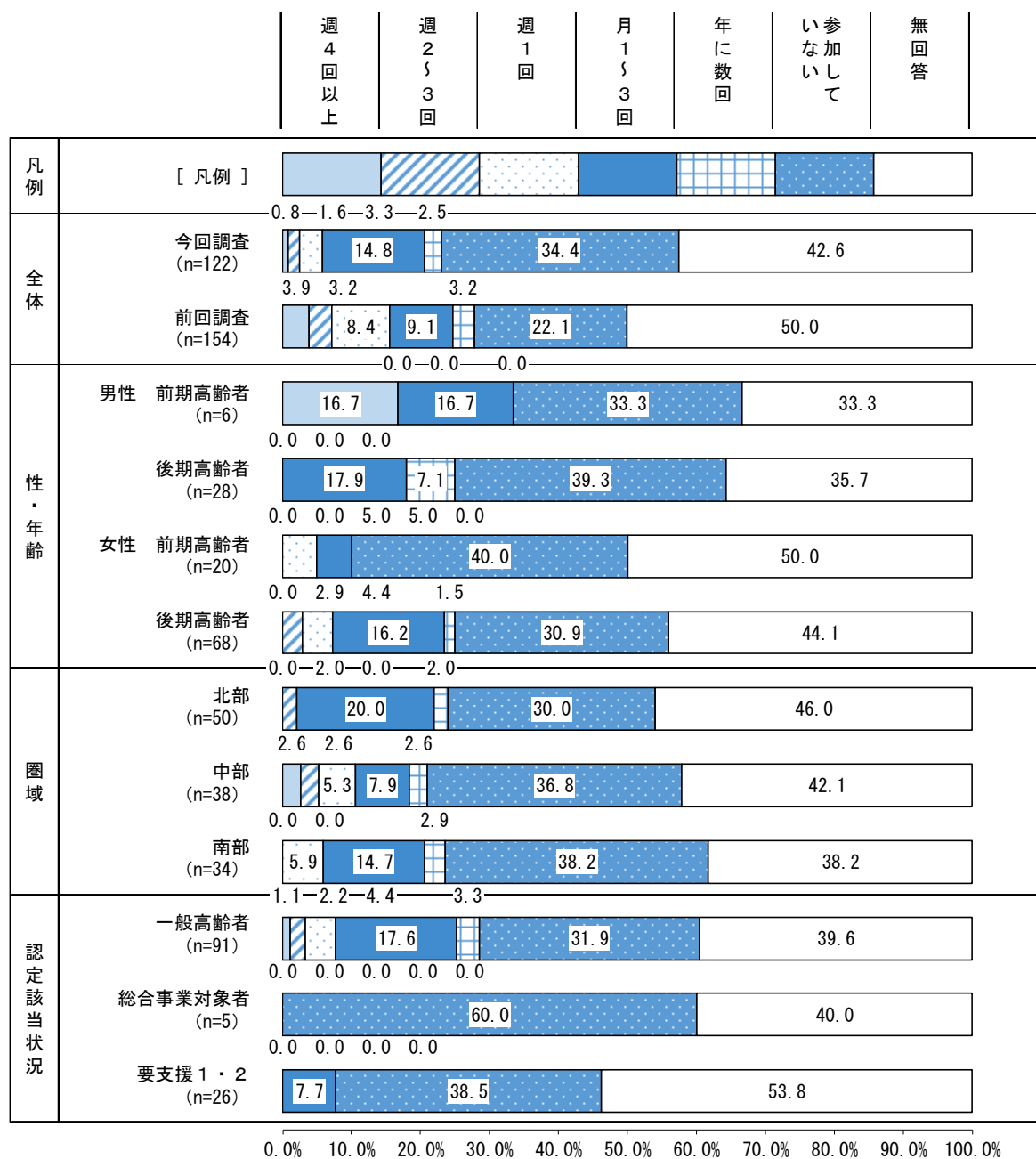
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は中部が10.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「参加していない」が38.5%で最も多くなっています。

【⑤-2 通所 B（⑤-1）以外の住民主体の体操の居場所】



⑤-3 ふれあいサロン

【全体】

- ⑤-3 ふれあいサロンについて、「参加していない」が31.1%で最も多く、次いで「月1～3回」が16.4%、「年に数回」が11.5%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.6%となっています。

【性・年齢】

- 「参加していない」は女性 後期高齢者が27.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

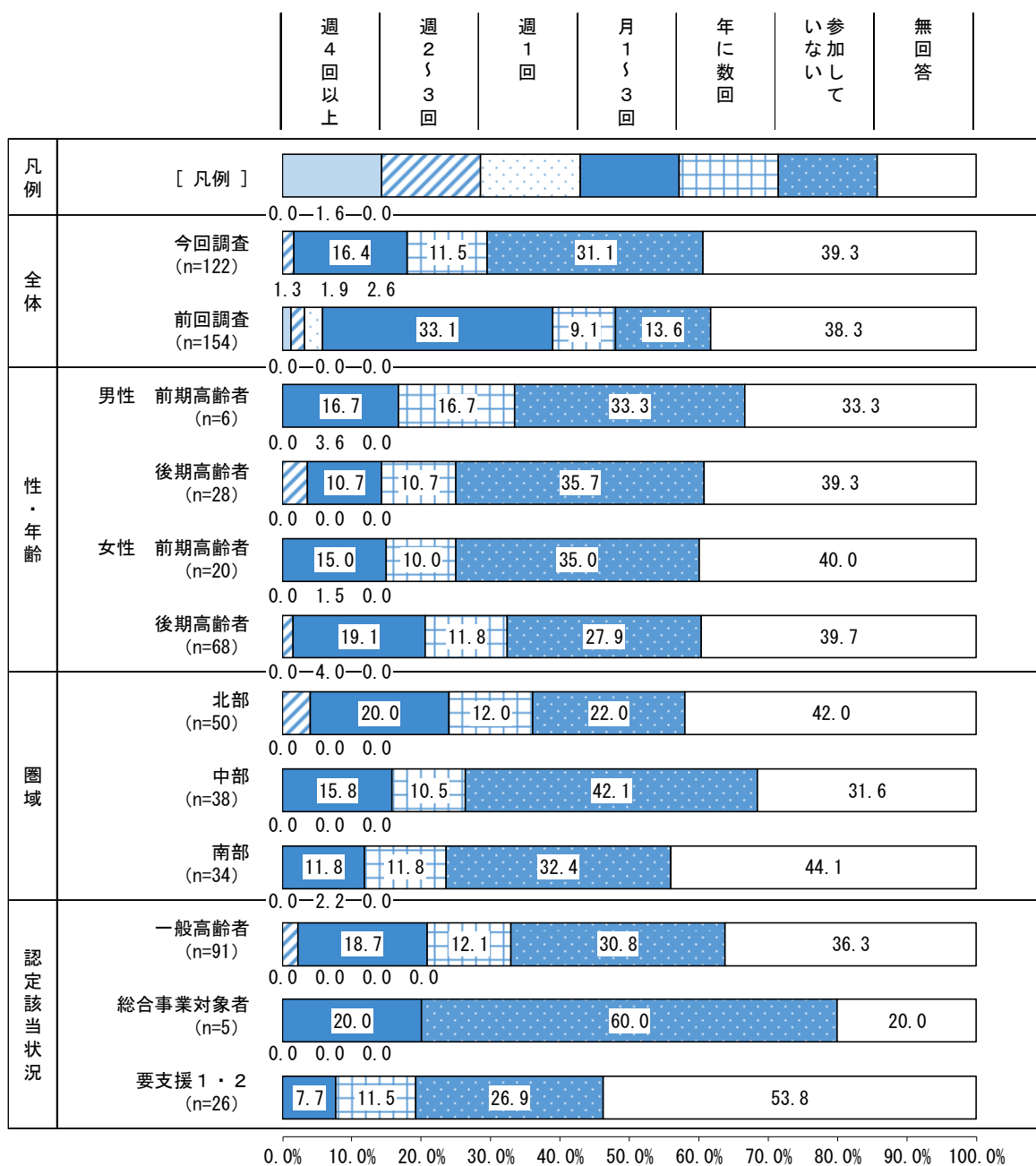
【圏域】

- 「参加していない」は北部が22.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「参加していない」が30.8%で最も多く、“週1回以上参加している人”は2.2%となっています。

【⑤-3 ふれあいサロン】



⑤-4 その他

【全体】

- ⑤-4 その他について、「参加していない」が23.8%で最も多く、次いで「月1～3回」が8.2%、「年に数回」が5.7%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は11.5%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 前期高齢者が16.7%、女性 後期高齢者が14.8%と他の区分に比べて多くなっています。

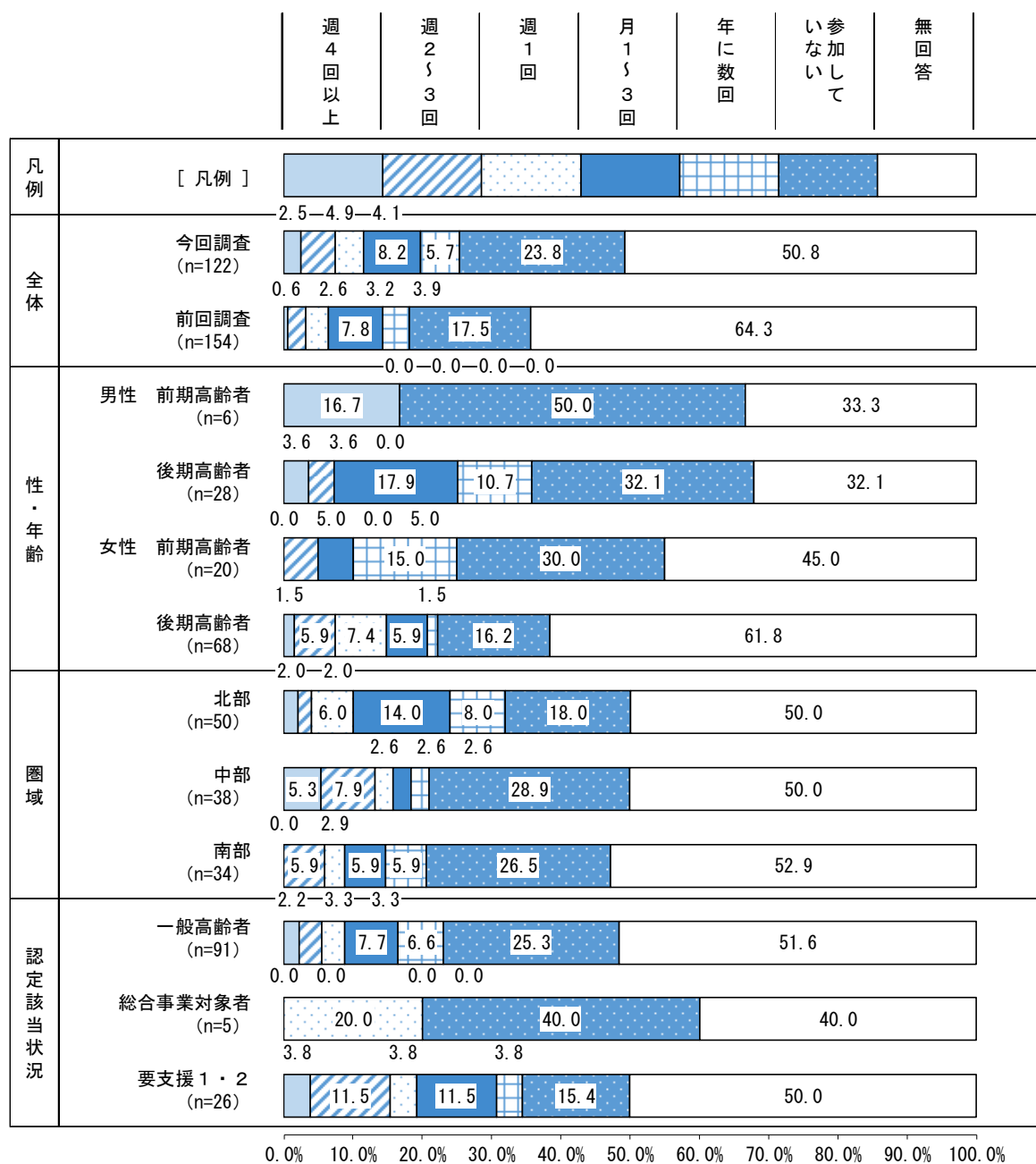
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は中部が15.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “週1回以上参加している人”は一般高齢者が8.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【⑤-4 その他】



⑥老人クラブ

【全体】

- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が57.2%で最も多く、次いで「年に数回」が4.5%、「月1～3回」が2.6%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.1%となっています。

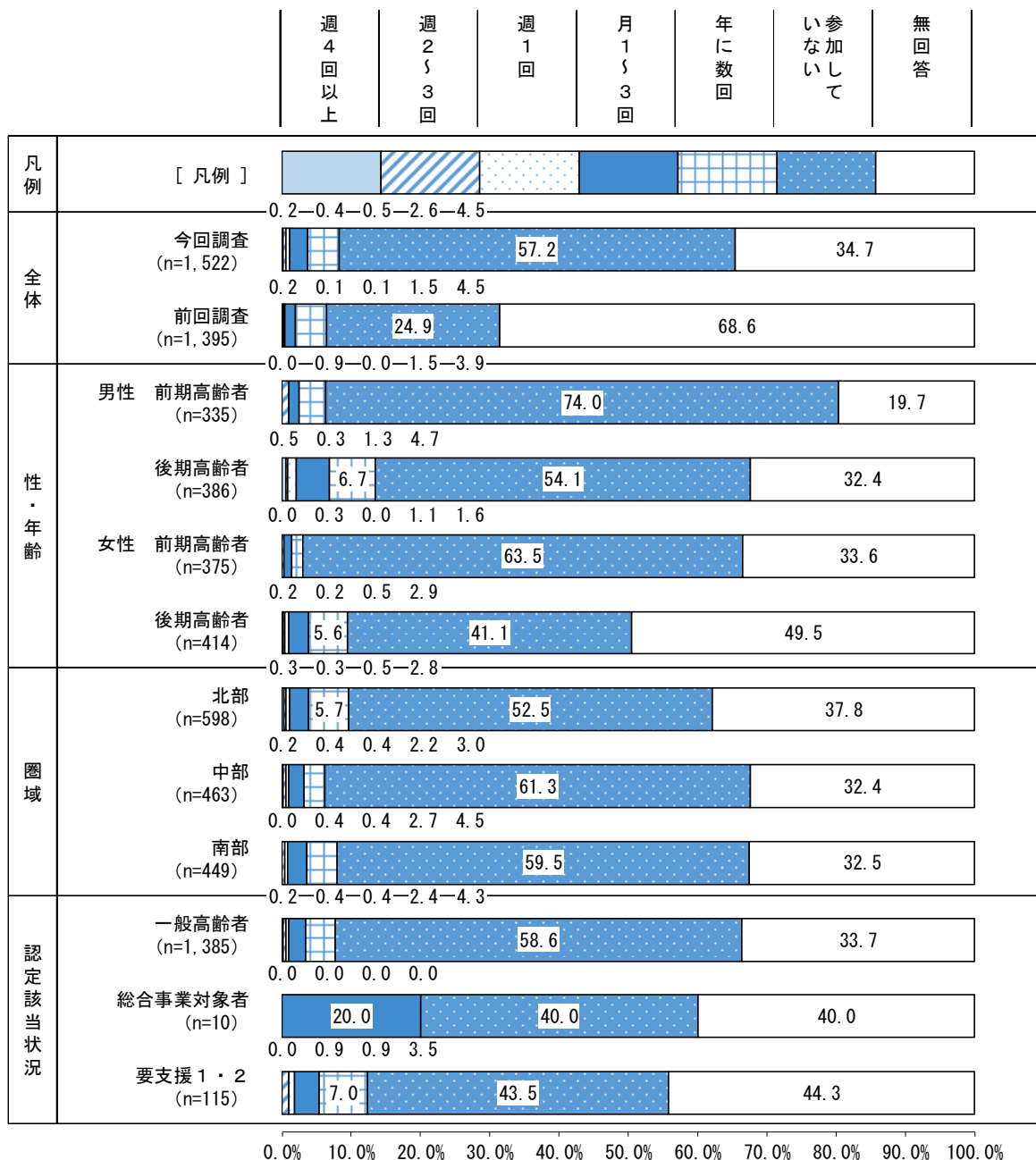
【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 後期高齢者が2.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「参加していない」は一般高齢者が58.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑥老人クラブ】



⑦町内会・自治会

【全体】

- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が39.2%で最も多く、次いで「年に数回」が21.6%、「月1～3回」が3.9%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は0.5%となっています。

【性・年齢】

- 「参加していない」は女性 後期高齢者が32.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

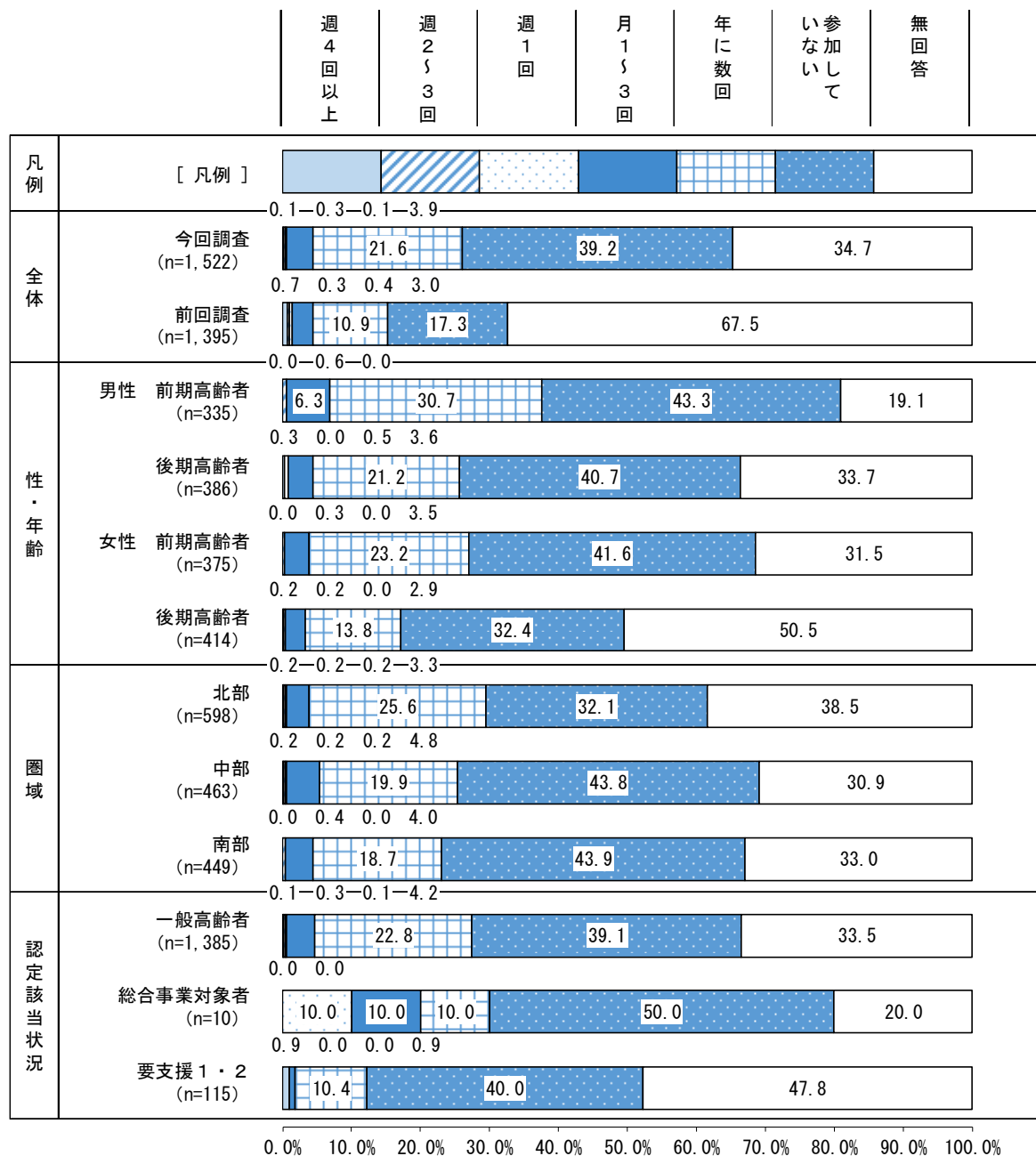
【圏域】

- 「参加していない」は北部が32.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- “週1回以上参加している人”は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑦町内会・自治会】



⑧収入のある仕事

【全体】

- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が43.7%で最も多く、次いで「週4回以上」が10.4%、「週2～3回」が8.1%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は19.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“週1回以上参加している人”が多くなっています。

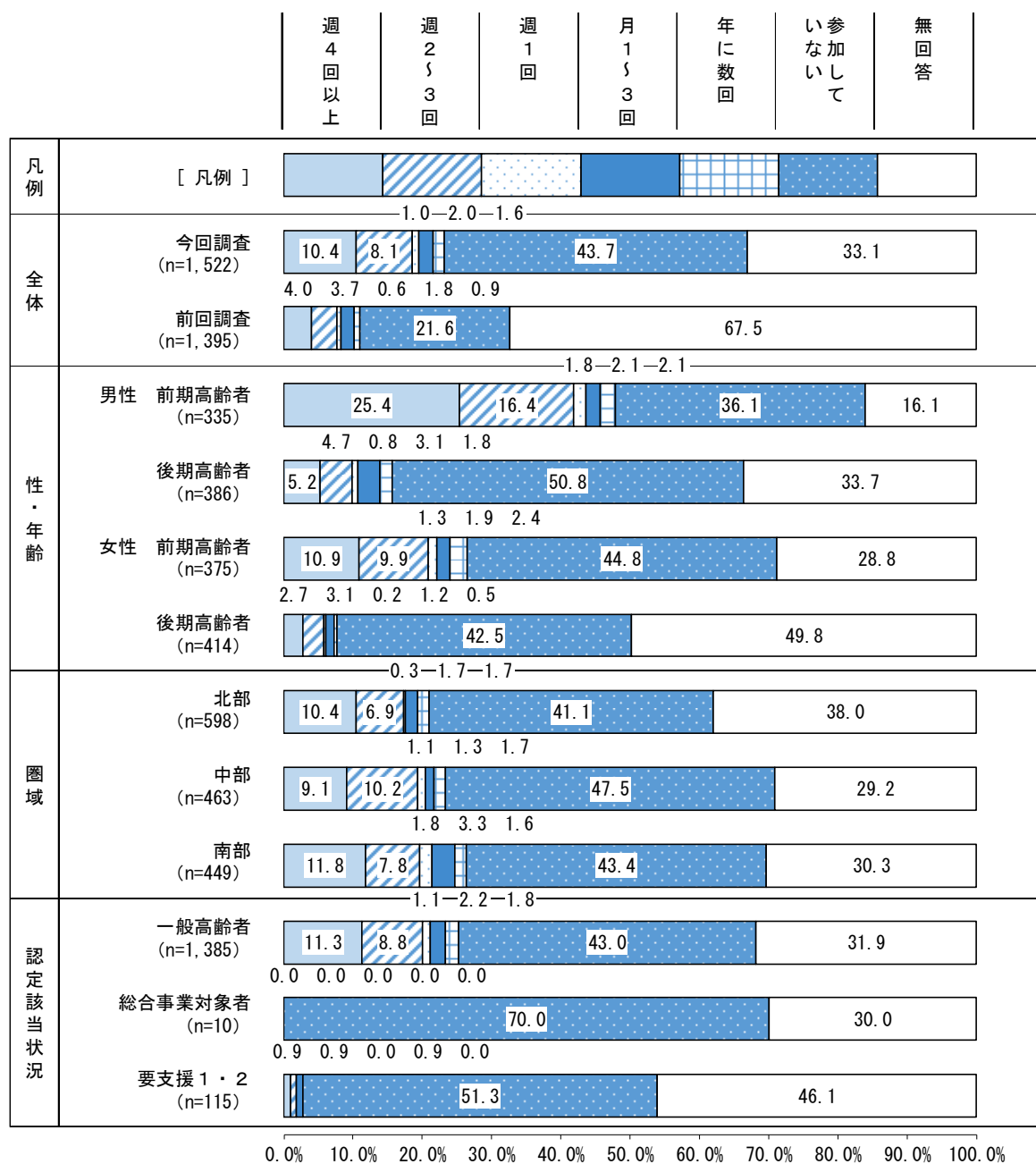
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は北部が17.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「参加していない」が51.3%で最も多くなっています。

【⑧収入のある仕事】



⑨特技や経験を他者に伝える活動

【全体】

- ⑨特技や経験を他者に伝える活動について、「参加していない」が55.0%で最も多く、次いで「年に数回」が3.9%、「月1～3回」が2.3%となっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.8%となっています。

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 前期高齢者が4.5%、女性 前期高齢者が3.5%と他の区分に比べて多くなっています。

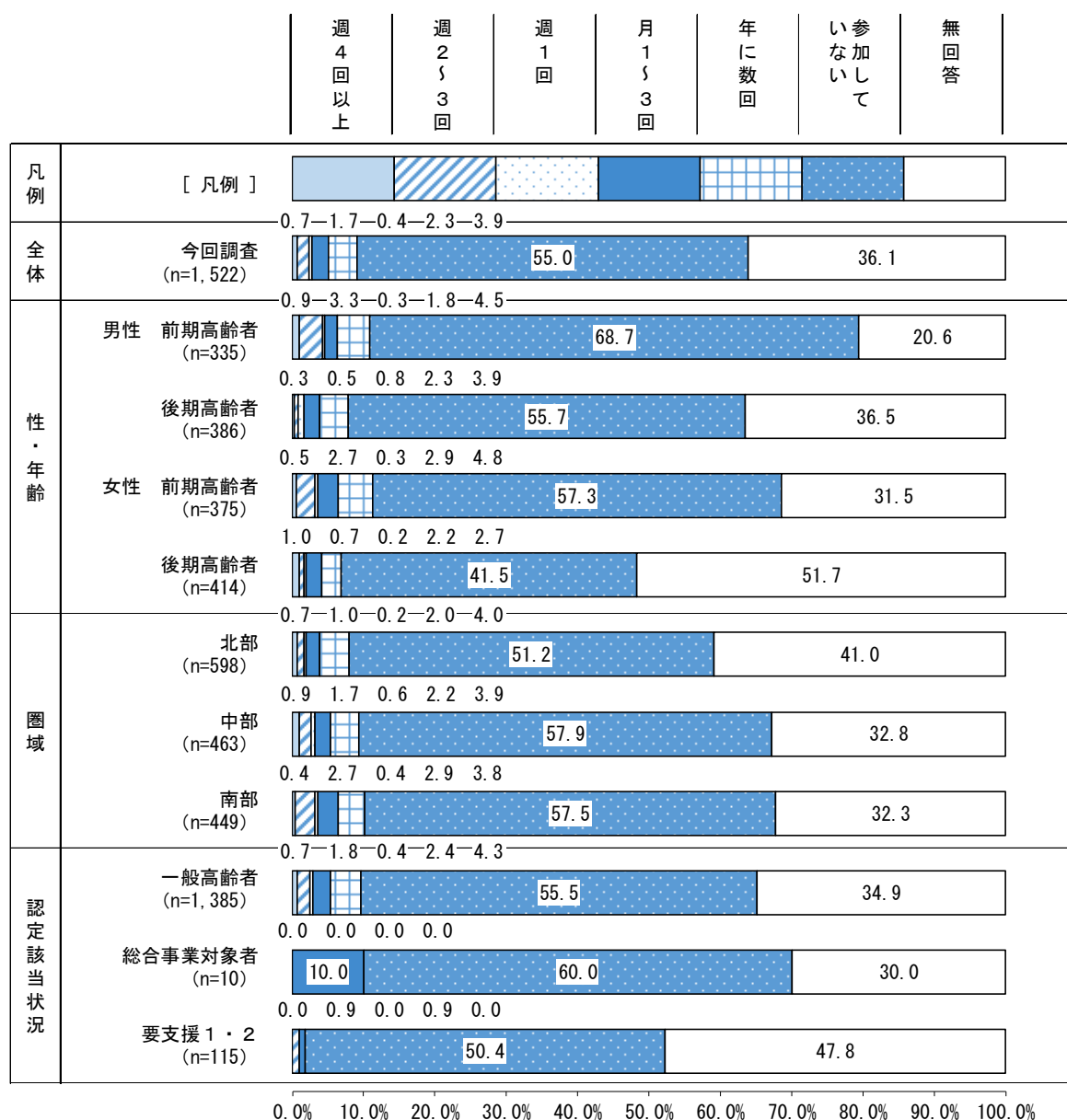
【圏域】

- “週1回以上参加している人”は北部が1.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「参加していない」は要支援1・2が50.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【⑨特技や経験を他者に伝える活動】



- 2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が51.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.4%、「既に参加している」が6.6%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は56.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。

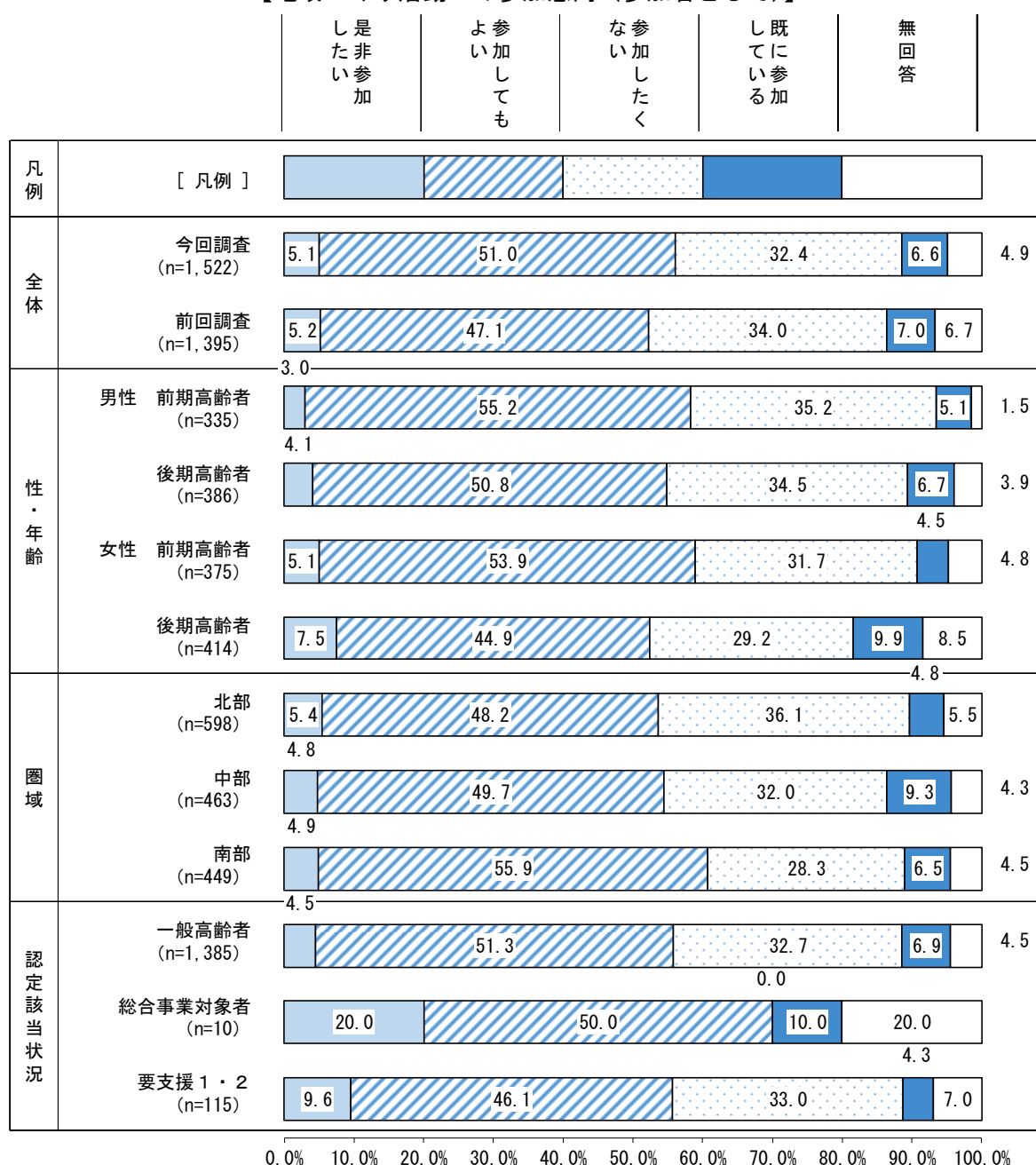
【圏域】

- “参加意向がある方”は南部が60.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「参加してもよい」が少なくなる傾向がみられます。

【地域づくり活動への参加意向（参加者として）】



- 3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が57.3%で最も多く、次いで「参加してもよい」が30.7%、「既に参加している」が4.5%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は33.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。

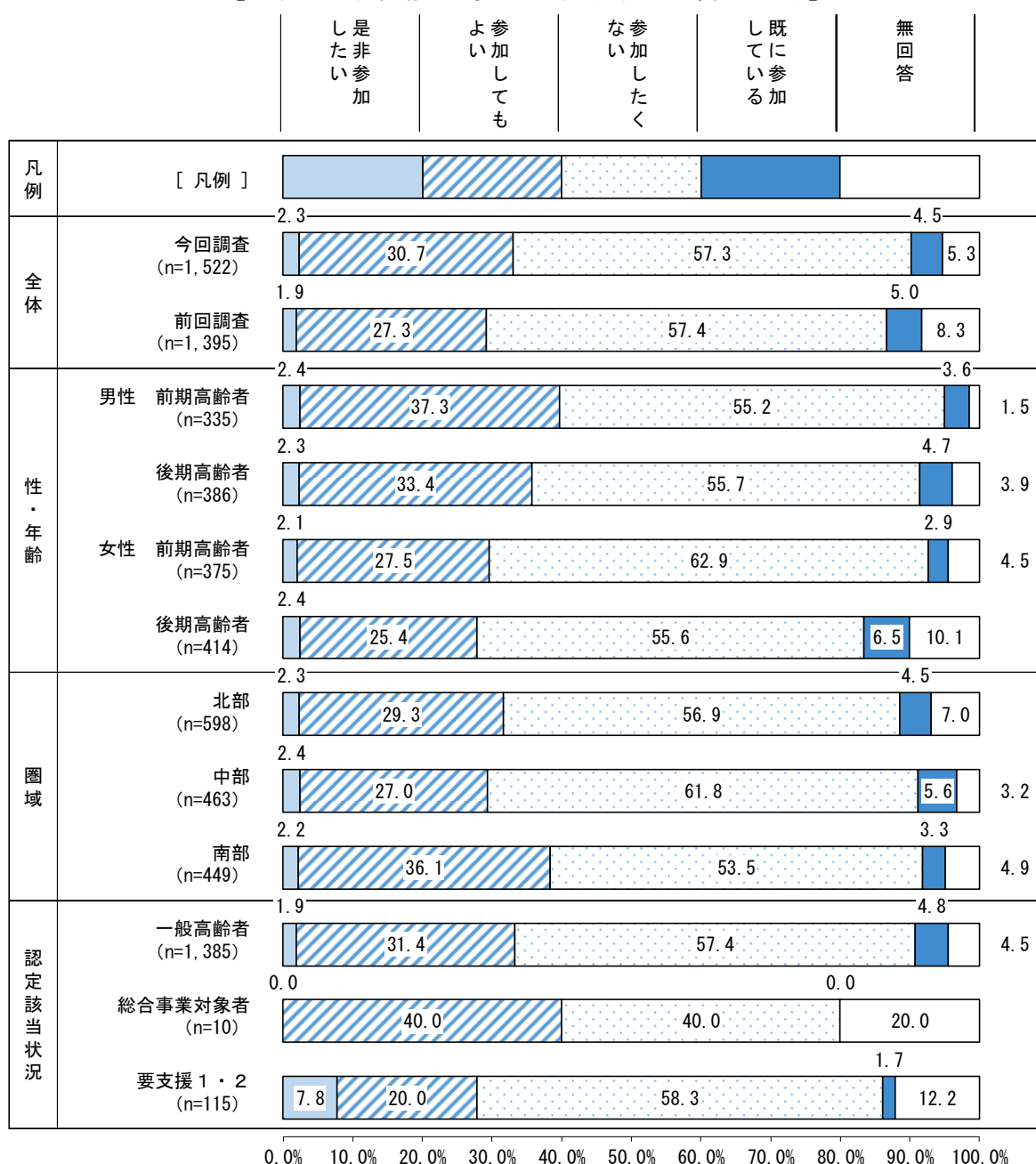
【圏域】

- “参加意向がある方”は南部が38.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「参加してもよい」は要支援1・2が20.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）】



4 町で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集していますか。(いくつでも○)

【全体】

- 今回調査では、「町の広報誌・パンフレット」が72.7%で最も多く、次いで「友人・知人」が19.1%、「町のホームページ」が15.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「友人・知人」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「町の広報誌・パンフレット」「町のホームページ」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「町のホームページ」が多くなっています。

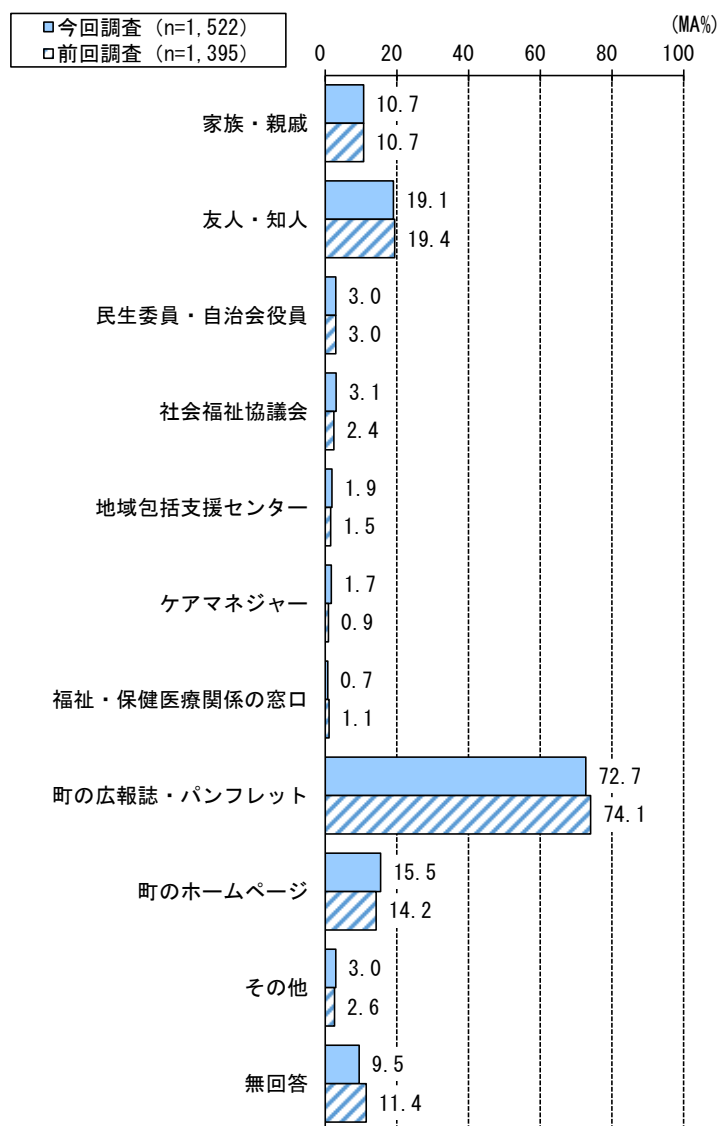
【圏域】

- 「友人・知人」は北部が22.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「町のホームページ」は北部が12.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「家族・親戚」は要支援1・2が18.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「友人・知人」は総合事業対象者が40.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「町のホームページ」が少なくなる傾向がみられます。

【各種教室や講座の情報収集源(MA)】



単位：％

		母数 (n)	町で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集しているか (MA)					
			家族・親戚	友人・知人	民生委員・自治会役員	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー
全体	今回調査	1,522	10.7	19.1	3.0	3.1	1.9	1.7
	前回調査	1,395	10.7	19.4	3.0	2.4	1.5	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者	335	13.7	11.0	3.9	3.6	0.3	0.3
	後期高齢者	386	13.7	16.3	4.4	3.4	2.1	2.3
	女性 前期高齢者	375	5.9	19.7	0.5	2.1	1.3	0.8
	後期高齢者	414	10.1	27.8	3.1	3.4	3.6	3.1
圏域	北部	598	11.7	22.2	3.0	2.8	2.0	2.0
	中部	463	11.4	18.6	2.6	4.3	2.6	1.7
	南部	449	8.9	15.6	3.3	2.2	1.1	1.3
認定該当状況	一般高齢者	1,385	10.2	18.8	2.7	2.5	1.2	0.4
	総合事業対象者	10	10.0	△ 40.0	－	10.0	△ 30.0	△ 20.0
	要支援 1・2	115	18.3	21.7	6.1	9.6	8.7	△ 15.7

単位：％

		母数 (n)	町で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集しているか(MA)				
			保健 社医・ 療関係 の窓口	パ 町の フ レ 報 誌 ・ ト	町 の ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	無 回 答
全体	今回調査	1,522	0.7	72.7	15.5	3.0	9.5
	前回調査	1,395	1.1	74.1	14.2	2.6	11.4
性・年齢	男性 前期高齢者	335	0.3	74.9	25.1	3.0	5.1
	後期高齢者	386	1.6	71.8	15.3	4.4	10.1
	女性 前期高齢者	375	0.5	80.5	15.2	1.6	9.6
	後期高齢者	414	0.5	65.0	8.0	2.9	11.8
圏域	北部	598	0.5	70.6	12.0	2.7	10.9
	中部	463	1.3	74.3	19.0	2.8	8.6
	南部	449	0.4	74.2	16.3	3.6	8.0
認定該当状況	一般高齢者	1,385	0.6	74.4	16.0	2.7	9.4
	総合事業対象者	10	－	▼ 30.0	10.0	－	10.0
	要支援 1・2	115	1.7	▼ 57.4	8.7	6.1	8.7

5 あなたは、「住みやすいまち」として、精華町に満足されていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 「住みやすいまち」として、精華町に満足しているかについて、「満足している」が67.4%で最も多く、次いで「あまり満足していない」が19.9%、「とても満足している」が6.9%となっています。
- 「とても満足している」「満足している」を合わせた“満足している方”は74.3%となっています。「あまり満足していない」「不満である」を合わせた“不満を感じている方”は22.7%となっています。

【性・年齢】

- “満足している方”は男性 前期高齢者が78.2%と他の区分に比べて多くなっています。

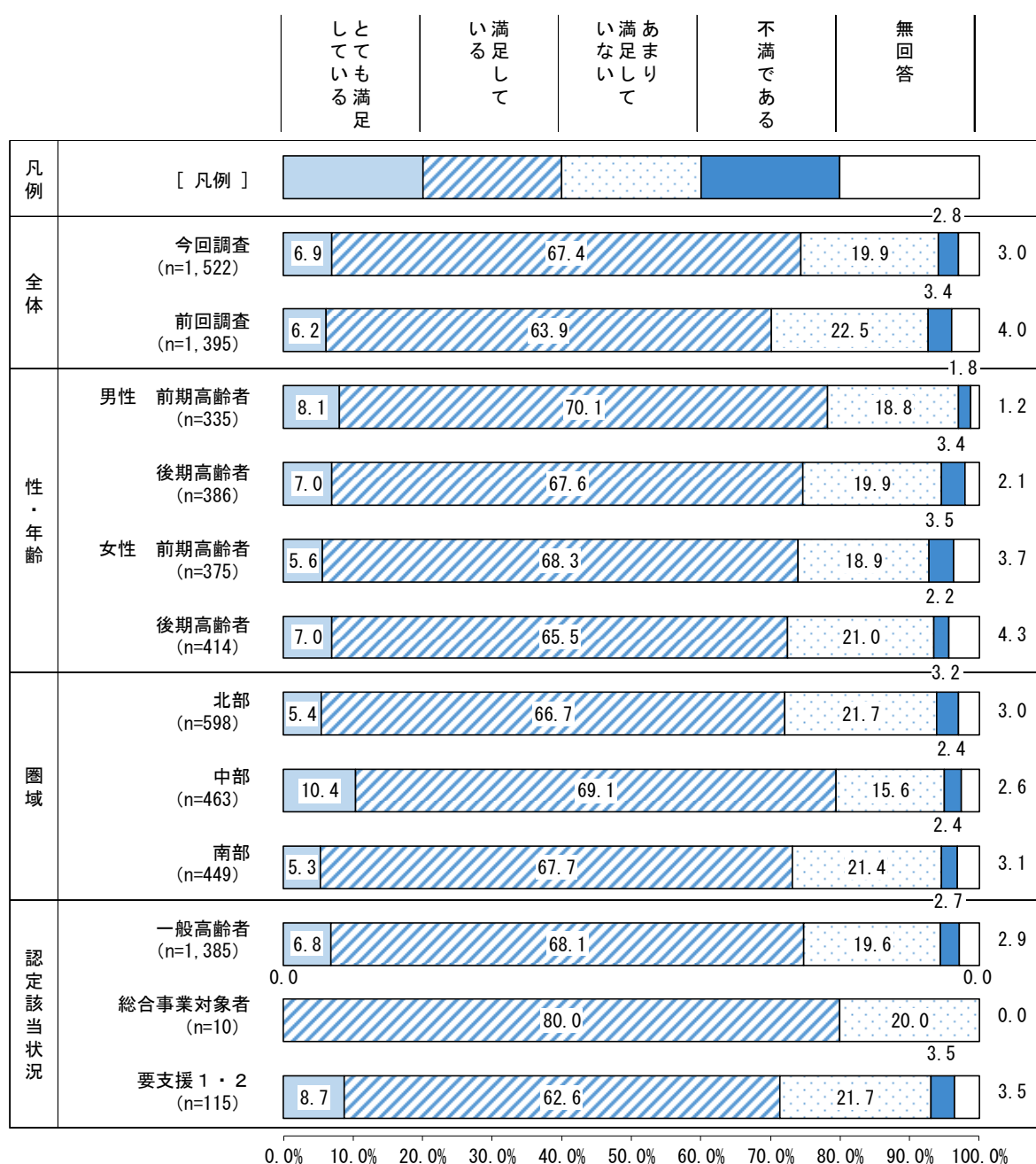
【圏域】

- “満足している方”は中部が79.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “不満を感じている方”は要支援1・2が25.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【「住みやすいまち」として精華町に満足しているか】



- 6 あなたは、高齢者への総合的な生活支援の窓口である地域包括支援センターが、精華町にあることを知っていますか。（1つだけ○）

【全体】

○ 総合的な生活支援の窓口である地域包括支援センターが、精華町にあることを知っているかについて、「名前だけは知っている」が42.0%で最も多く、次いで「役割について知っている」が32.5%、「知らない」が23.4%となっています。

○ 「名前だけは知っている」「知らない」を合わせた“内容を知らない”は65.4%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「役割について知っている」が多くなっています。

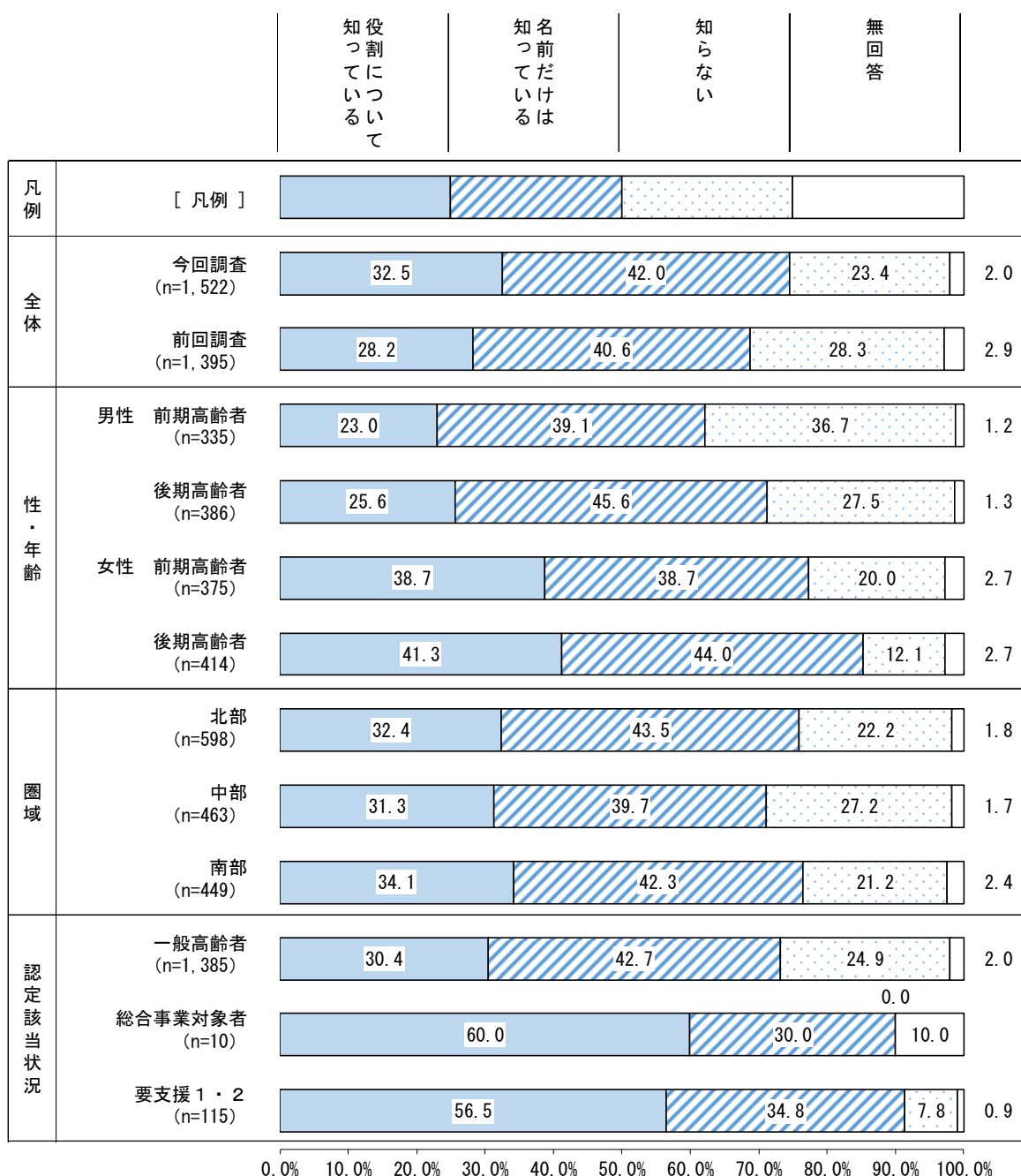
【圏域】

○ “内容を知らない”は南部が63.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ “内容を知らない”は一般高齢者が67.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域包括支援センターの認知度】



7 災害時の避難などの時に、家族や親戚、近所の人と助け合うことができますか。(いくつかでも○)

【全体】

- 災害時の避難などの時に家族や親戚、近所の人と助け合うことができるかについて、「家族・親戚を助けることができると思う」が53.8%で最も多く、次いで「近所の人を助けることができると思う」が44.1%、「家族・親戚に助けてもらえると思う」が38.2%となっています。

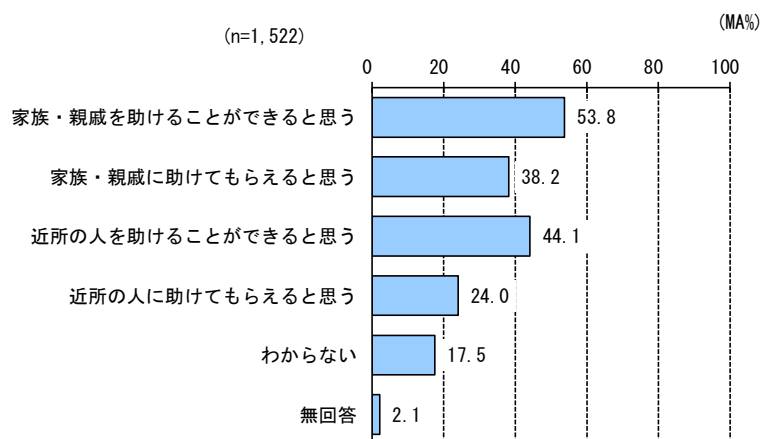
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「家族・親戚を助けることができると思う」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「近所の人に助けてもらえると思う」が多くなっています。
- 「わからない」は女性 前期高齢者が18.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「近所の人に助けてもらえると思う」は要支援1・2が36.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「わからない」が多くなる傾向がみられます。

【災害時、家族や親戚、近所の人と助け合うことができるか】



単位：%

		母数 (n)	災害時の避難などの時に、家族や親戚、近所の人と 助け合うことができるか (MA)					
			こ家 と家 族が で親 戚を と助 け合 う	も家 ら家 族え る親 と戚 と思 にう 助 け て	こ近 と所 がの で人 をを 助と け思 う	も近 ら所 えの 人 とに 思 う て	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,522	53.8	38.2	44.1	24.0	17.5	2.1
性・年齢	男性 前期高齢者	335	△ 66.0	▼ 26.6	50.1	16.7	17.3	1.2
	後期高齢者	386	57.3	31.1	49.7	23.3	17.4	1.3
	女性 前期高齢者	375	58.7	41.3	44.0	24.5	18.9	2.4
	後期高齢者	414	▼ 37.0	△ 50.7	34.3	30.0	16.7	3.1
圏域	北部	598	50.7	39.3	41.1	25.4	18.1	1.3
	中部	463	54.6	37.8	45.1	22.9	17.5	2.2
	南部	449	57.7	36.5	47.2	23.2	16.9	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,385	56.3	36.9	46.1	23.0	17.0	1.9
	総合事業対象者	10	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-
	要支援 1・2	115	▼ 25.2	△ 51.3	▼ 21.7	△ 36.5	23.5	3.5

7. 就労について

1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも○)

【全体】

- 就労状態について、「引退した」が54.9%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が18.5%、「その他」が7.5%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「職に就いたことがない」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「引退した」が多くなっています。
- 「常勤（フルタイム）」は男性 前期高齢者が16.4%と他の区分に比べて多くなっています。

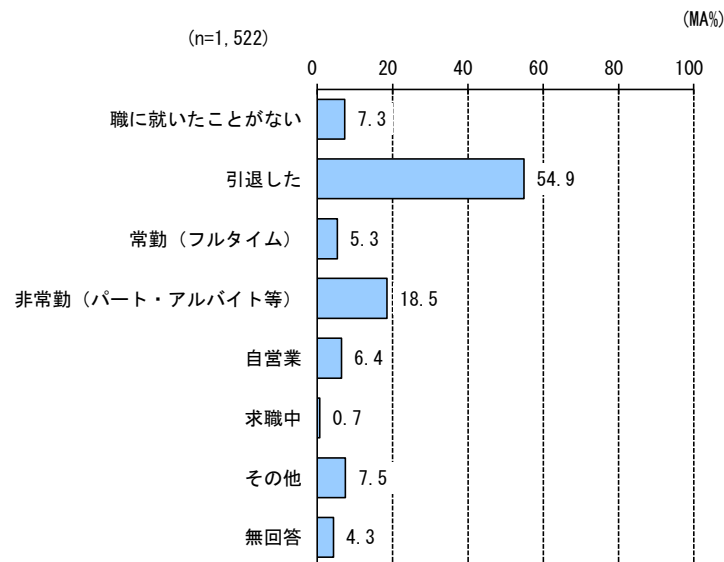
【圏域】

- 「自営業」は北部が8.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「引退した」は要支援1・2が70.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状態】



単位：%

		母数 (n)	現在の就労状態はどれか (MA)							
			職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	（パート・アルバイト等）非常勤	自営業	求職中	その他	無回答
全体		1,522	7.3	54.9	5.3	18.5	6.4	0.7	7.5	4.3
性・年齢	男性 前期高齢者	335	1.5	▼ 40.3	△ 16.4	△ 31.0	9.0	0.3	3.0	0.9
	後期高齢者	386	4.1	△ 74.4	2.6	11.1	7.0	1.0	6.0	1.0
	女性 前期高齢者	375	7.2	49.1	2.4	26.7	5.3	1.3	9.3	3.2
	後期高齢者	414	15.0	54.3	1.4	▼ 7.7	5.1	0.2	10.6	10.9
圏域	北部	598	6.5	55.0	4.2	17.9	8.5	0.5	6.9	6.0
	中部	463	7.1	58.1	6.7	18.4	4.5	1.1	7.8	2.2
	南部	449	8.5	51.9	5.3	19.4	5.8	0.7	7.8	4.0
認定該当状況	一般高齢者	1,385	7.0	53.8	5.7	19.5	6.6	0.7	7.7	4.0
	総合事業対象者	10	△ 20.0	50.0	－	－	10.0	－	△ 20.0	10.0
	要支援 1・2	115	9.6	△ 70.4	0.9	▼ 7.8	5.2	0.9	2.6	7.0

2 あなたはいつ引退しましたか。(1つだけ○)

【全体】

- 引退時期について、「2000年以前」が18.7%で最も多く、次いで「2021～2026年」が18.1%、「2016～2020年」が15.8%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「2021～2026年」が多くなっています。

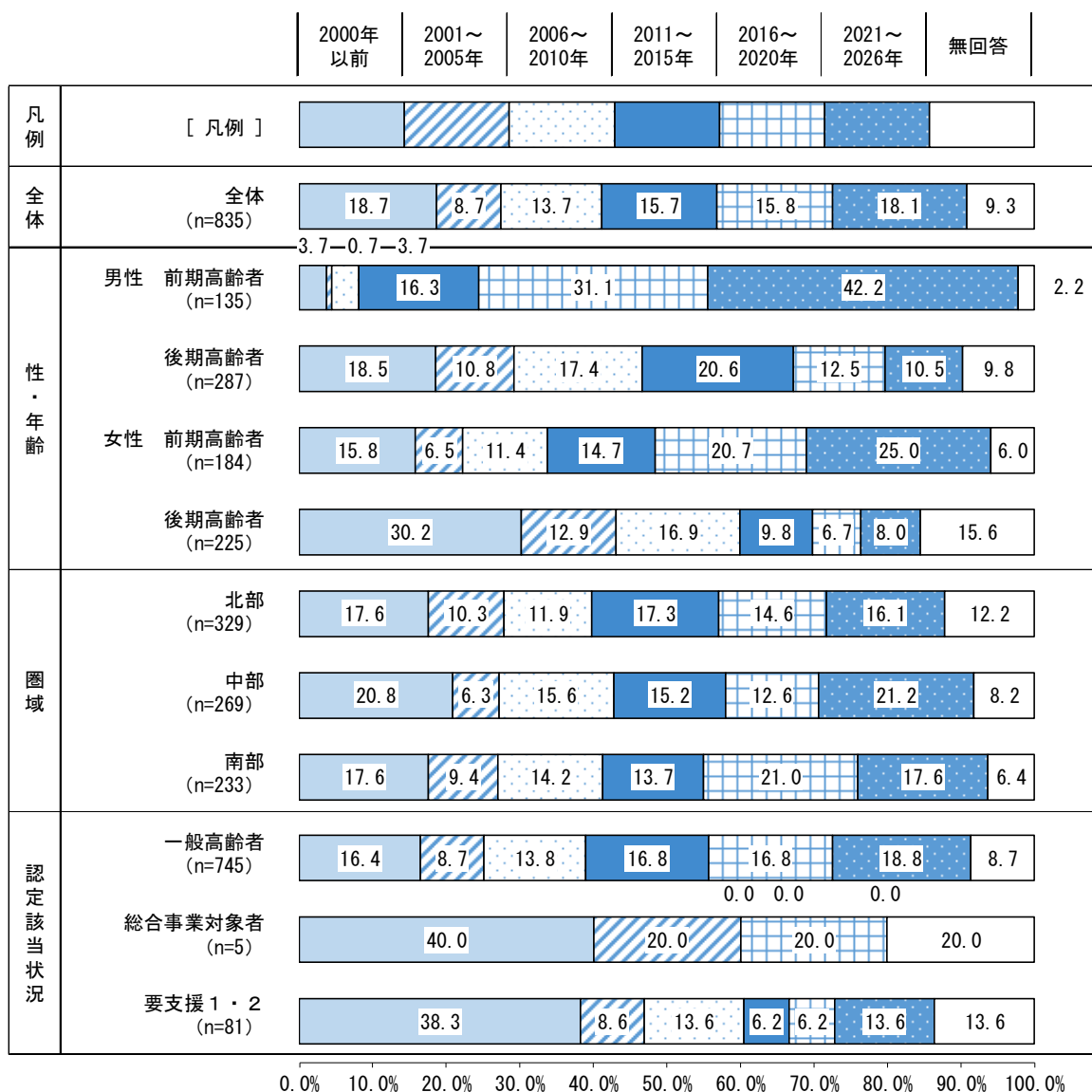
【圏域】

- 「2021～2026年」は中部が21.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「2016～2020年」は要支援1・2が6.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【引退時期】

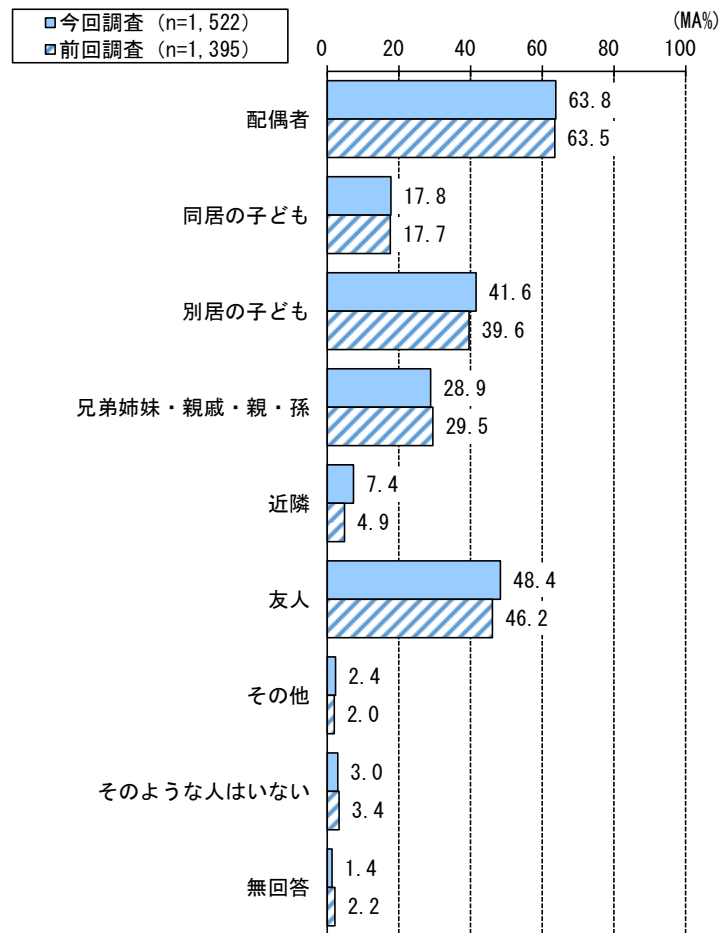


8. たすけあいについて

1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも○)

【全体】
○ 今回調査では、「配偶者」が63.8%で最も多く、次いで「友人」が48.4%、「別居の子ども」が41.6%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」が多くなっています。
- 「そのような人はいない」は男性 前期高齢者が 4.5%、男性 後期高齢者が 4.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「近隣」は北部が 8.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は中部が 1.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「配偶者」が少なくなる傾向がみられます。
- 要介護度が高いほど「同居の子ども」が多くなる傾向がみられます。
- 「友人」は要支援 1・2 が 38.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「そのような人はいない」は総合事業対象者が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

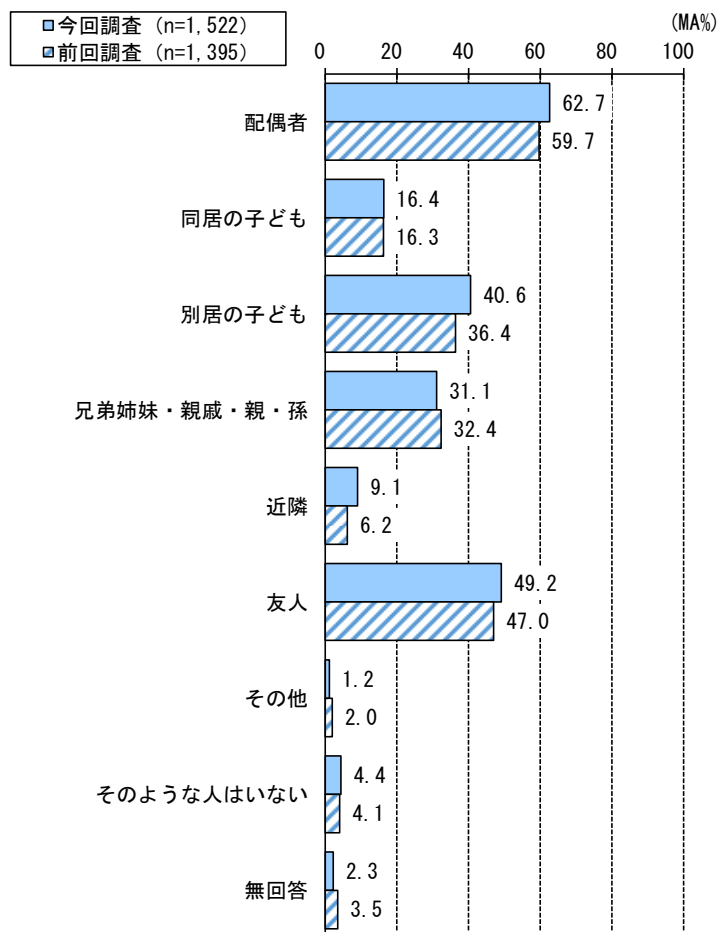
		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	今回調査	1,522	63.8	17.8	41.6	28.9	7.4	48.4	2.4	3.0	1.4
	前回調査	1,395	63.5	17.7	39.6	29.5	4.9	46.2	2.0	3.4	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者	335	△ 77.6	12.2	▼ 28.7	19.7	4.2	▼ 34.3	2.7	4.5	0.6
	後期高齢者	386	△ 77.2	15.5	36.0	21.5	4.4	▼ 31.3	3.4	4.7	1.0
	女性 前期高齢者	375	59.2	20.3	50.1	34.4	10.4	△ 66.9	2.9	1.9	1.1
	後期高齢者	414	▼ 44.9	22.0	49.3	38.2	10.4	△ 58.7	0.7	1.2	2.7
圏域	北部	598	57.9	17.2	40.1	33.4	8.9	48.5	2.0	3.8	1.2
	中部	463	69.1	18.1	42.5	22.0	6.0	50.1	2.4	1.5	0.9
	南部	449	66.8	18.0	42.3	29.8	7.1	46.3	2.9	3.3	2.2
認定該当状況	一般高齢者	1,385	66.7	17.3	41.7	29.2	7.7	49.2	2.1	2.7	1.2
	総合事業対象者	10	▼ 40.0	20.0	50.0	▼ 10.0	-	50.0	10.0	10.0	-
	要支援1・2	115	▼ 33.0	22.6	39.1	27.0	5.2	▼ 38.3	5.2	6.1	4.3

2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「配偶者」が62.7%で最も多く、次いで「友人」が49.2%、「別居の子ども」が40.6%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」が多くなっています。
- 「そのような人はいない」は男性 後期高齢者が6.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「同居の子ども」は南部が18.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は北部が34.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は北部が6.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「配偶者」「別居の子ども」が少なくなる傾向がみられます。
- 「友人」は要支援1・2が36.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「そのような人はいない」は一般高齢者が3.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：％

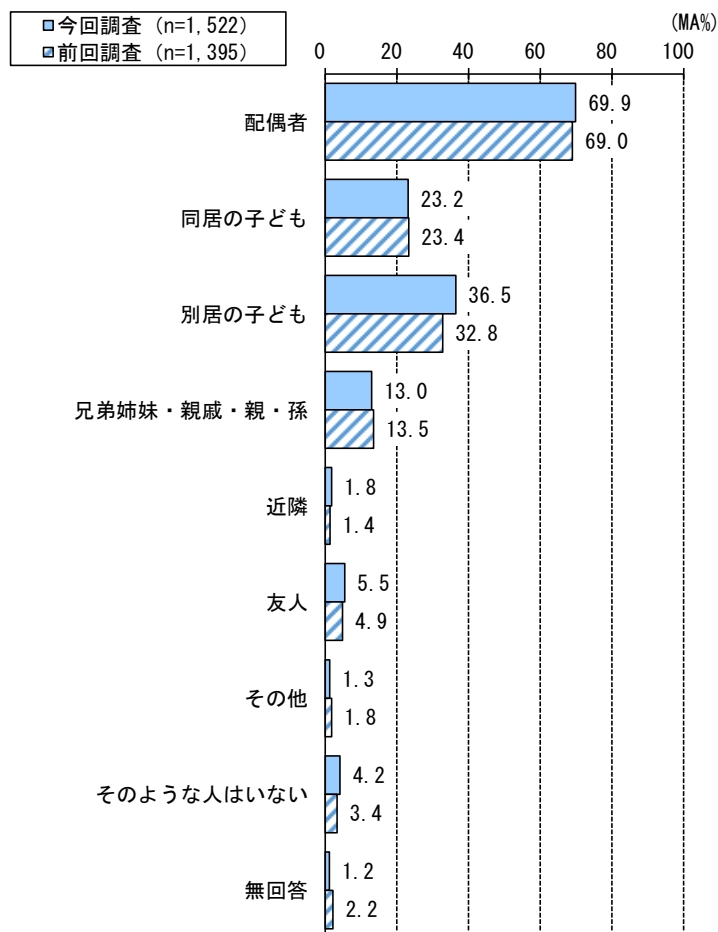
		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いないような人は	無回答
全体	今回調査	1,522	62.7	16.4	40.6	31.1	9.1	49.2	1.2	4.4	2.3
	前回調査	1,395	59.7	16.3	36.4	32.4	6.2	47.0	2.0	4.1	3.5
性・年齢	男性 前期高齢者	335	△ 79.1	14.3	33.7	24.2	7.2	41.2	1.5	4.5	0.9
	後期高齢者	386	△ 79.3	13.2	34.7	26.9	4.7	▼ 33.7	0.5	6.7	1.6
	女性 前期高齢者	375	56.0	18.9	48.8	38.7	13.3	△ 64.3	2.1	2.7	1.3
	後期高齢者	414	▼ 40.6	19.1	44.4	33.8	11.4	56.5	0.7	3.9	4.8
圏域	北部	598	56.4	15.4	38.5	34.3	11.2	49.2	1.7	6.2	2.0
	中部	463	67.2	16.2	42.1	27.6	6.7	50.1	0.9	2.6	1.9
	南部	449	67.0	18.3	42.1	30.5	9.1	48.3	0.9	4.0	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,385	65.3	16.5	41.7	31.5	9.5	50.3	1.2	3.9	1.7
	総合事業対象者	10	▼ 40.0	20.0	40.0	▼ 20.0	-	50.0	-	10.0	10.0
	要支援 1・2	115	▼ 34.8	16.5	▼ 28.7	27.8	6.1	▼ 36.5	1.7	10.4	8.7

3 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「配偶者」が69.9%で最も多く、次いで「別居の子ども」が36.5%、「同居の子ども」が23.2%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が多くなっています。
- 「そのような人はいない」は女性 前期高齢者が5.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は北部が18.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「近隣」は南部が2.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は南部が5.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「配偶者」が少なくなる傾向がみられます。
- 「別居の子ども」は一般高齢者が35.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：％

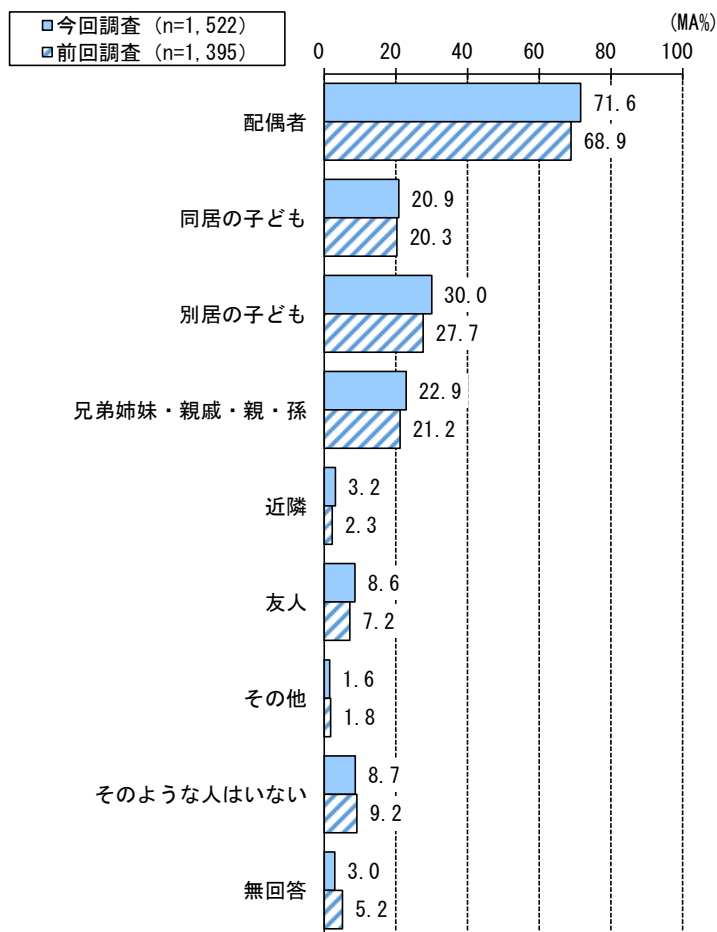
		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人(MA)									単位：%
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答	
全体	今回調査	1,522	69.9	23.2	36.5	13.0	1.8	5.5	1.3	4.2	1.2	
	前回調査	1,395	69.0	23.4	32.8	13.5	1.4	4.9	1.8	3.4	2.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	335	△ 85.4	14.3	▼ 25.7	9.3	0.6	4.2	—	3.9	0.6	
	後期高齢者	386	△ 83.4	21.0	34.2	9.8	0.3	1.6	1.3	3.1	0.8	
	女性 前期高齢者	375	66.7	24.8	38.9	16.0	4.3	9.3	0.5	5.6	1.1	
	後期高齢者	414	▼ 48.8	30.9	45.4	15.9	1.9	6.8	3.1	4.1	1.9	
圏域	北部	598	63.0	23.7	40.1	18.2	1.5	5.9	1.7	3.7	1.0	
	中部	463	75.2	23.8	36.9	8.4	1.3	4.8	1.3	3.5	0.9	
	南部	449	74.6	21.8	31.4	10.5	2.7	5.8	0.9	5.6	1.6	
認定該当状況	一般高齢者	1,385	72.6	21.9	35.7	12.8	1.9	5.7	1.1	4.2	1.1	
	総合事業対象者	10	▼ 50.0	△ 40.0	△ 50.0	—	—	—	10.0	—	—	
	要支援1・2	115	▼ 43.5	△ 36.5	46.1	15.7	0.9	3.5	3.5	4.3	1.7	

4 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「配偶者」が71.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が30.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が22.9%となっています。

【反対に、看病や世話をしあける人(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が多くなっています。
- 「そのような人はいない」は男性 前期高齢者が 7.2%、女性 前期高齢者が 6.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【圏域】

- 「近隣」は南部が 4.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は北部が 10.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「配偶者」は一般高齢者が 74.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「同居の子ども」が少なくなる傾向がみられます。
- 要介護度が高いほど「そのような人はいない」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

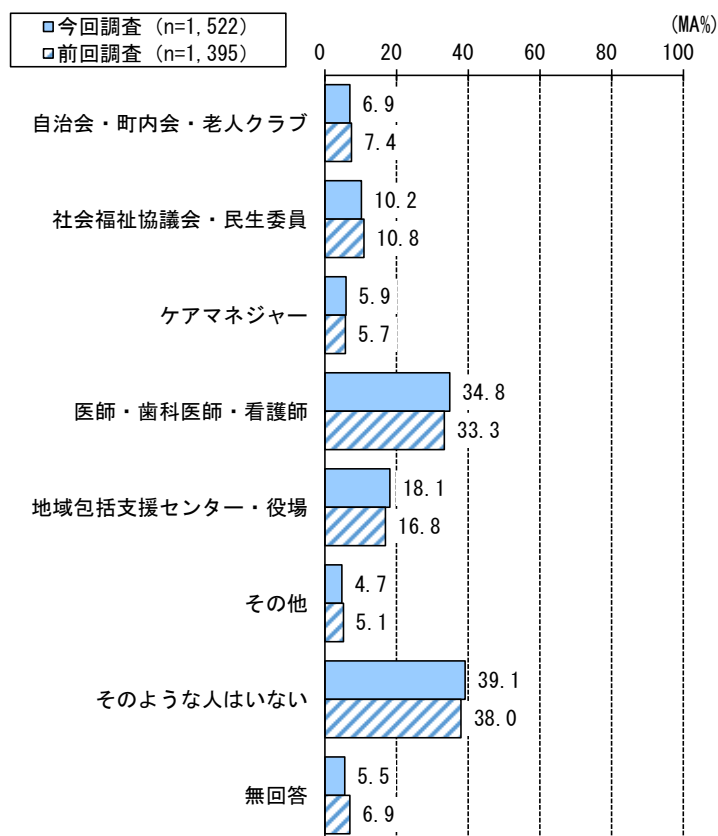
		母数 (n)	反対に、看病や世話をしあける人(MA)									単位：%
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いないような人は	無回答	
全体	今回調査	1,522	71.6	20.9	30.0	22.9	3.2	8.6	1.6	8.7	3.0	
	前回調査	1,395	68.9	20.3	27.7	21.2	2.3	7.2	1.8	9.2	5.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	335	△ 83.3	18.8	24.2	20.0	2.4	4.5	0.6	7.2	0.9	
	後期高齢者	386	79.0	17.1	23.6	16.3	1.3	4.1	2.3	9.1	1.8	
	女性 前期高齢者	375	70.9	24.8	△ 40.0	32.8	5.3	13.1	0.8	6.7	2.4	
	後期高齢者	414	▼ 56.5	23.2	32.1	22.7	3.6	12.1	2.4	10.9	6.0	
圏域	北部	598	65.4	20.7	29.3	26.3	3.0	9.4	1.2	10.5	4.0	
	中部	463	75.8	21.4	31.1	18.8	2.4	7.6	1.9	7.6	2.2	
	南部	449	76.2	21.2	30.3	22.9	4.2	8.7	1.8	6.9	2.2	
認定該当状況	一般高齢者	1,385	74.5	21.3	30.8	23.8	3.3	9.0	1.1	7.3	2.6	
	総合事業対象者	10	▼ 40.0	20.0	△ 60.0	30.0	-	10.0	10.0	△ 20.0	-	
	要支援1・2	115	▼ 41.7	18.3	▼ 20.0	13.0	1.7	4.3	7.0	△ 22.6	7.0	

- 5 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。(いくつでも○)

【全体】

- 今回調査では、「そのような人はいない」が39.1%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が34.8%、「地域包括支援センター・役場」が18.1%となっています。

【家族や友人・知人以外の相談相手(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自治会・町内会・老人クラブ」「そのような人はいない」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」「地域包括支援センター・役場」が多くなっています。

【圏域】

- 「医師・歯科医師・看護師」は中部が 41.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「そのような人はいない」は中部が 35.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「ケアマネジャー」が多くなる傾向がみられます。
- 「そのような人はいない」は一般高齢者が 40.5%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	何かあった時の相談相手(MA)							無回答
			老自治会・ 人治会・ クラブ・ 町内会・	民社会 生委福 員祉協 議会・	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	看医 護師・ 師・ 歯科 医師・	セ地 ン域 タ包 ー括 ・支 援 場	そ の 他	いそ な の よ う な 人 は	
全体	今回調査	1,522	6.9	10.2	5.9	34.8	18.1	4.7	39.1	5.5
	前回調査	1,395	7.4	10.8	5.7	33.3	16.8	5.1	38.0	6.9
性・年齢	男性 前期高齢者	335	8.4	7.8	2.7	29.3	12.2	3.6	△ 49.9	3.0
	後期高齢者	386	10.4	12.2	8.3	39.4	19.2	5.7	35.5	3.4
	女性 前期高齢者	375	3.2	5.9	3.2	32.0	16.3	4.5	45.1	6.1
	後期高齢者	414	5.8	14.0	8.9	37.9	23.7	4.8	▼ 27.8	8.9
圏域	北部	598	7.7	10.0	5.7	30.3	18.6	4.7	41.3	6.9
	中部	463	7.8	11.7	6.3	41.3	18.4	4.8	35.4	3.7
	南部	449	4.9	8.7	6.0	34.5	17.4	4.7	39.4	5.6
認定該当状況	一般高齢者	1,385	7.1	9.6	3.6	34.7	16.8	4.7	40.5	5.1
	総合事業対象者	10	-	△ 30.0	10.0	40.0	△ 60.0	-	▼ 10.0	10.0
	要支援 1・2	115	5.2	14.8	△ 33.9	37.4	△ 30.4	5.2	▼ 22.6	9.6

6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

【全体】

- 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が29.8%で最も多く、次いで「週に何度かある」が25.9%、「年に何度かある」が21.7%となっています。
- 「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」を合わせた“月に1回以上ある”は61.4%となっています。

【性・年齢】

- 「毎日ある」は男性 前期高齢者が7.8%、女性 前期高齢者が6.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「ほとんどない」は男性 後期高齢者が21.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“月に1回以上ある”が多くなっています。

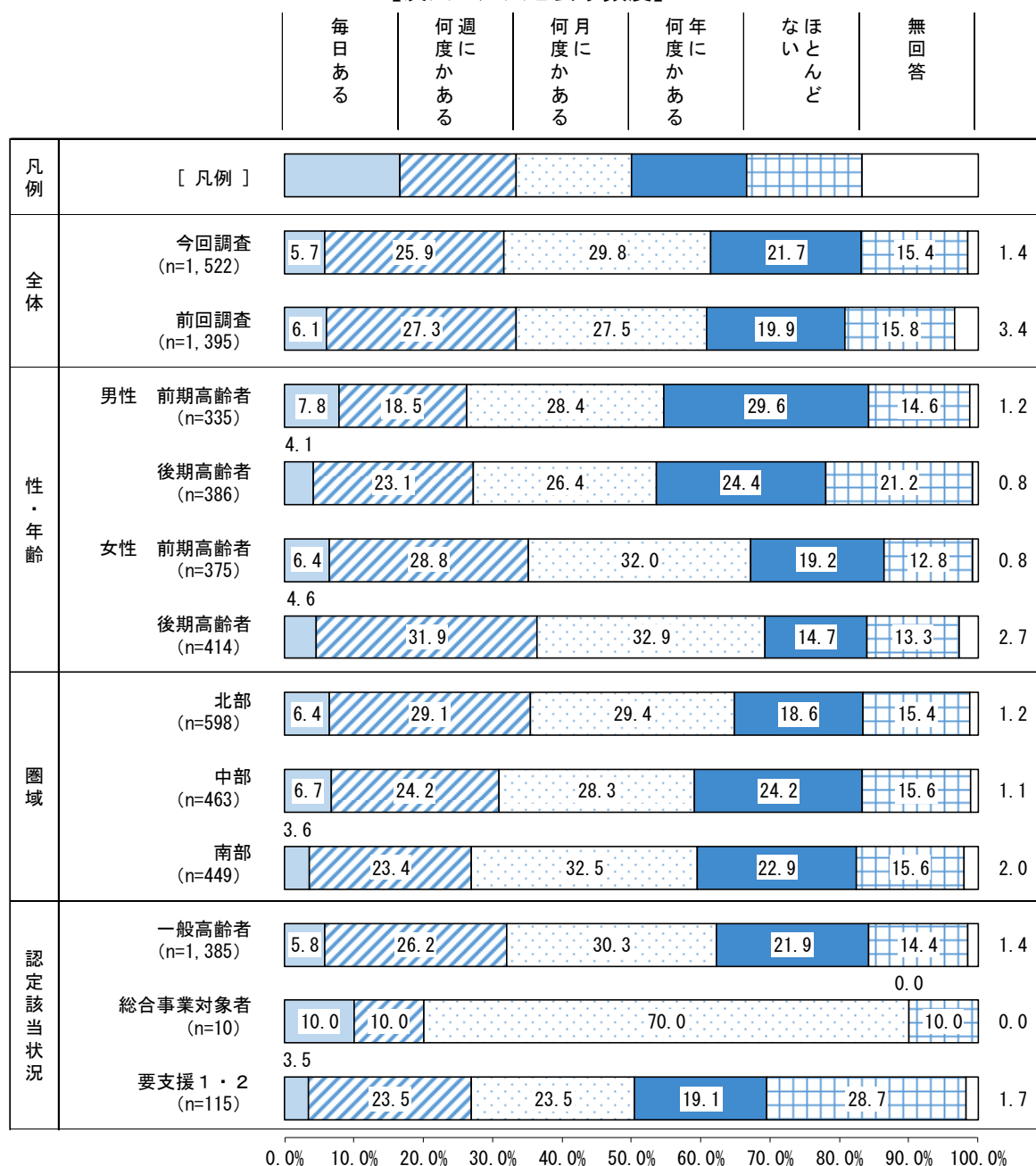
【圏域】

- “月に1回以上ある”は北部が64.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “月に1回以上ある”は総合事業対象者が90.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【友人・知人と会う頻度】



7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ○)

【全体】

○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が24.1%で最も多く、次いで「1～2人」が23.0%、「10人以上」が22.9%となっています。

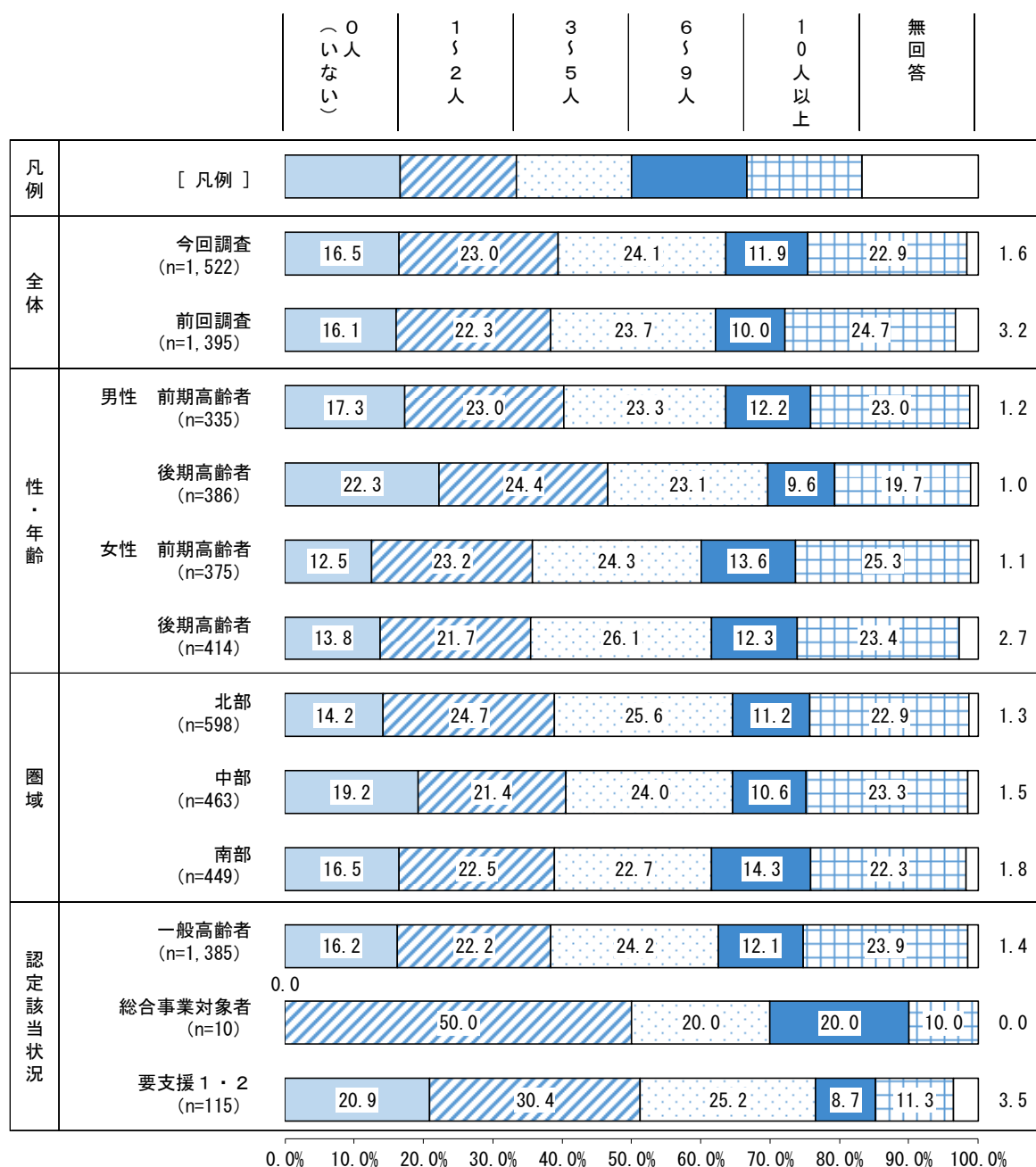
【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「0人（いない）」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「0人（いない）」が20.9%となっています。

【1か月間、何人の友人・知人と会ったか】

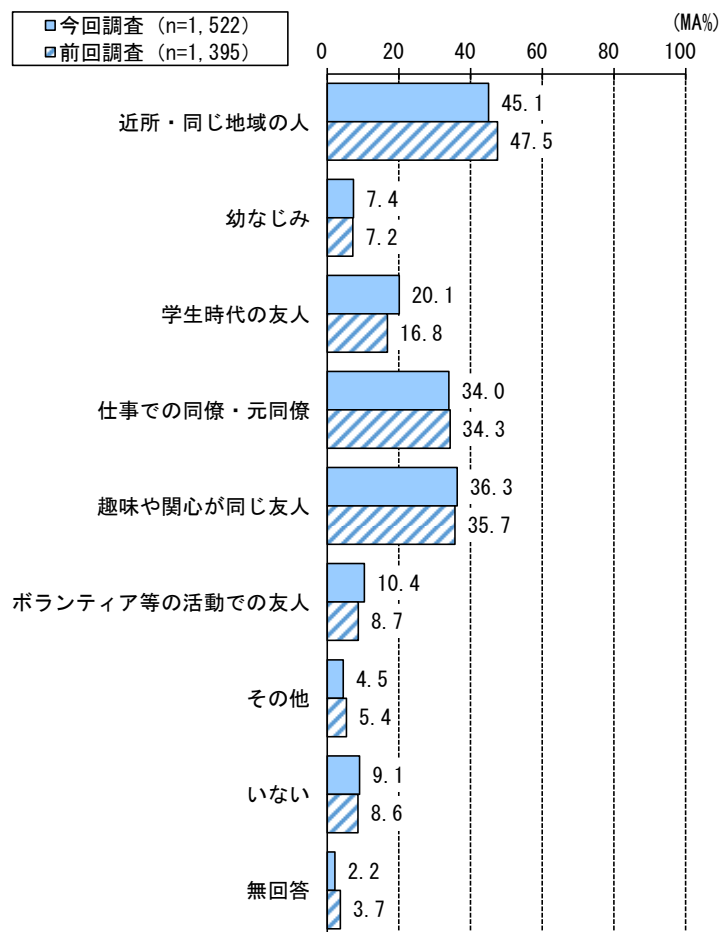


8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「近所・同じ地域の人」が45.1%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が36.3%、「仕事での同僚・元同僚」が34.0%となっています。

【よく会う友人・知人との関係性(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「近所・同じ地域の人」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」が多くなっています。
- 「いない」は男性 後期高齢者が 16.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「近所・同じ地域の人」は北部が 52.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「いない」は中部が 9.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「学生時代の友人」が少なくなる傾向がみられます。
- 「趣味や関心が同じ友人」は総合事業対象者が 50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)								
			地 近 域 所 の ・ 人 同 じ	幼 な じ み	学 生 時 代 の 友 人	元 仕 同 事 僚 での 同 僚 ・	同 趣 じ 味 友 や 人 関 心 が	活 ボ 動 ラ ン で の テ イ 友 人 ア 等 の	そ の 他	い な い	無 回 答
全体	今回調査	1,522	45.1	7.4	20.1	34.0	36.3	10.4	4.5	9.1	2.2
	前回調査	1,395	47.5	7.2	16.8	34.3	35.7	8.7	5.4	8.6	3.7
性・年齢	男性 前期高齢者	335	▼ 31.0	7.5	22.4	△ 52.8	30.4	6.9	1.8	8.4	1.8
	後期高齢者	386	39.4	7.8	15.5	30.3	35.0	8.5	3.6	16.1	1.6
	女性 前期高齢者	375	49.3	7.7	25.9	38.9	40.5	12.0	6.1	5.9	1.9
	後期高齢者	414	△ 58.2	6.3	17.6	▼ 17.6	38.9	13.5	6.0	6.0	3.4
圏域	北部	598	52.8	7.9	19.7	32.4	33.3	10.0	3.5	8.9	1.8
	中部	463	40.6	7.1	17.5	32.0	37.8	12.3	5.0	9.5	1.9
	南部	449	39.6	6.7	23.6	38.1	39.2	8.9	5.3	8.9	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,385	44.8	7.3	21.0	35.8	37.0	10.6	4.3	8.4	2.1
	総合事業対象者	10	△ 70.0	-	20.0	▼ 10.0	△ 50.0	-	-	-	-
	要支援 1・2	115	47.0	7.8	10.4	▼ 13.9	27.8	8.7	7.8	17.4	3.5

9 家族以外の地域の人に頼られることについてどう思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 家族以外の地域の人に頼られることについてどう思うかについて、「あまり気にならない」が50.5%で最も多く、次いで「できれば頼られたくない」が22.9%、「頼られてもよい」が18.7%となっています。

【性・年齢】

- 「あまり気にならない」は女性 後期高齢者が47.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「頼られてもよい」が多くなっています。

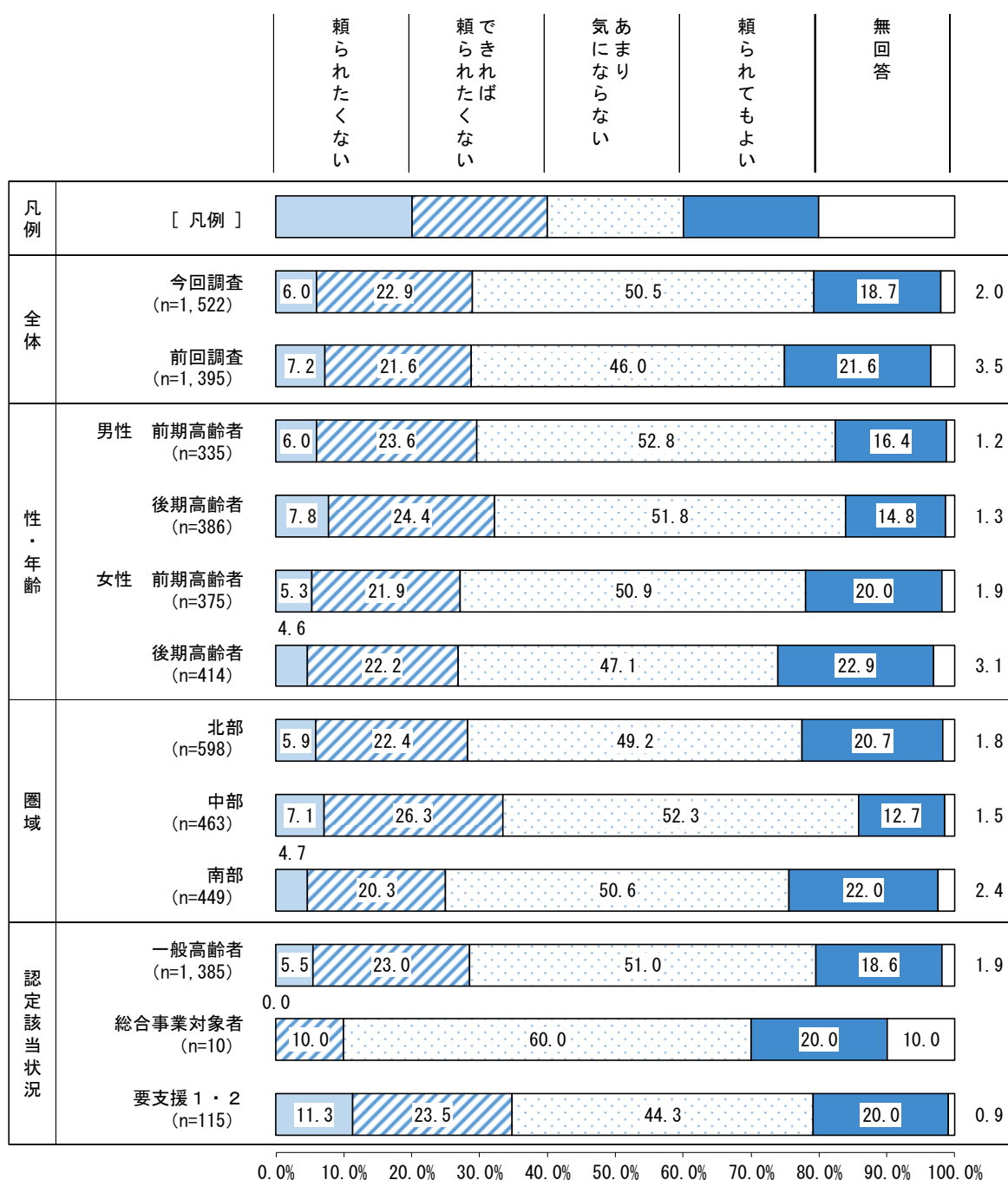
【圏域】

- 「できれば頼られたくない」は中部が26.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「頼られてもよい」は一般高齢者が18.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【家族以外の地域の人に頼られること】



10 反対に家族以外の地域の人に頼ることについてどう思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 反対に家族以外の地域の人に頼ることについてどう思うかについて、「できれば頼りたくない」が49.5%で最も多く、次いで「あまり気にならない」が31.8%、「頼りたくない」が11.2%となっています。

【性・年齢】

- 「頼りたい」は女性 後期高齢者が8.9%と他の区分に比べて多くなっています。

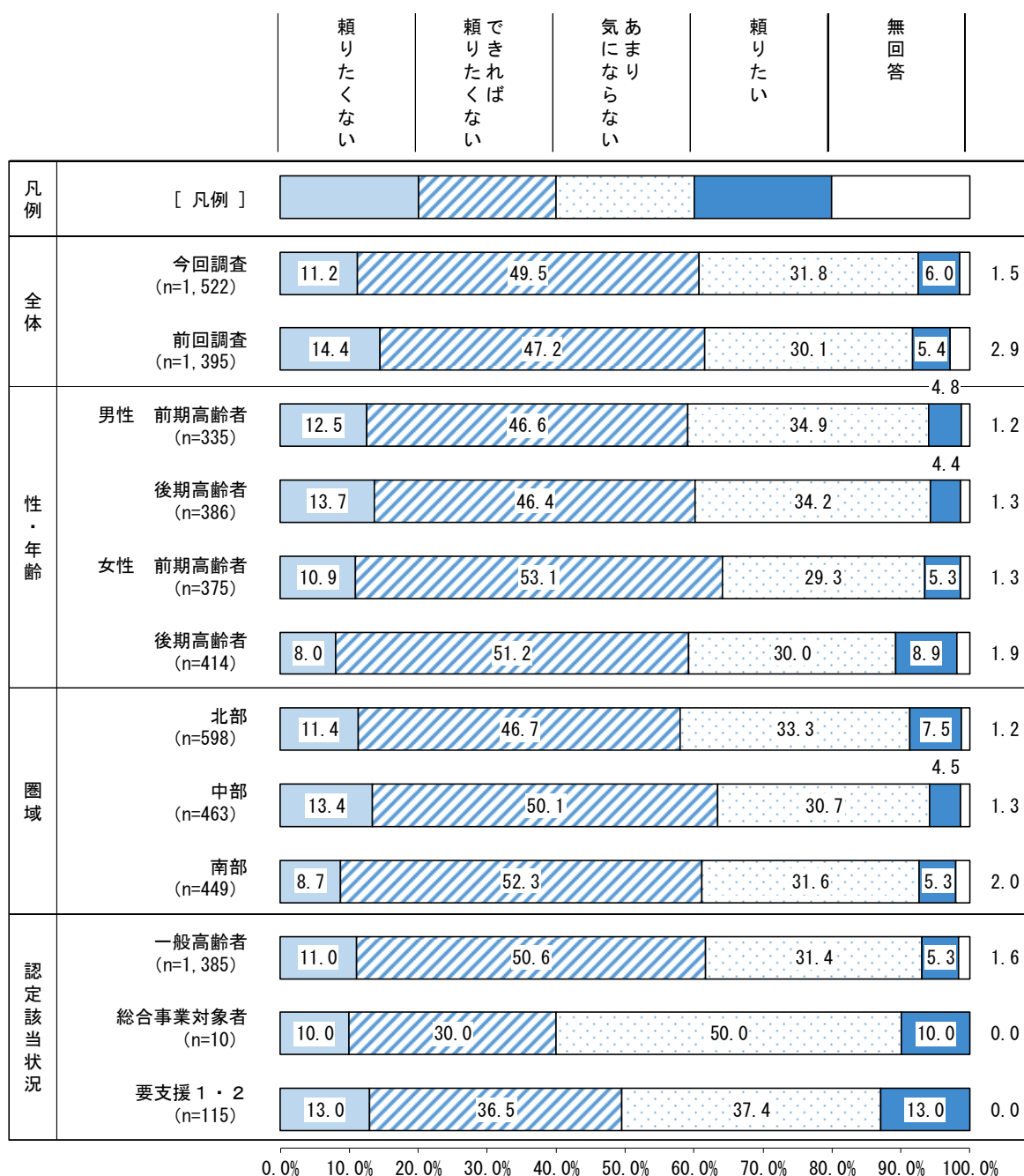
【圏域】

- 「頼りたい」は北部が7.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「頼りたい」が多くなる傾向がみられます。

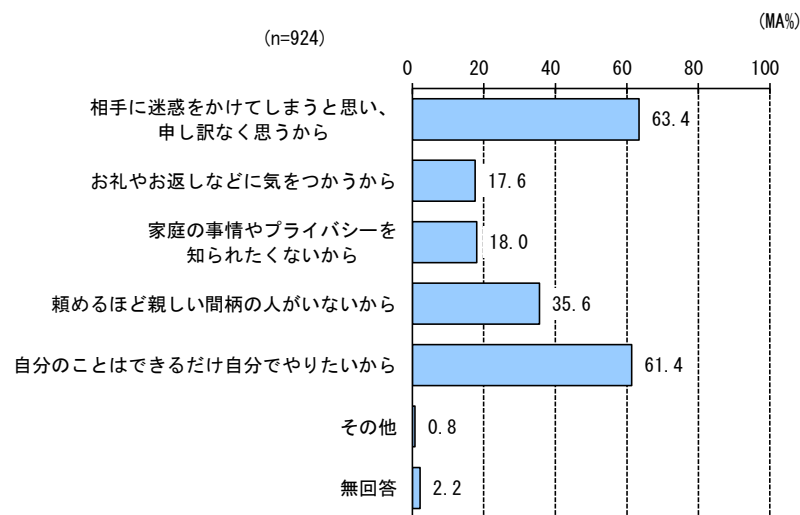
【反対に家族以外の地域の人に頼ること】



10-1 その理由は何ですか。(いくつでも○)

【全体】	
○	今回調査では、「相手に迷惑をかけてしまうと思い、申し訳なく思うから」が63.4%で最も多く、次いで「自分のことはできるだけ自分でやりたいから」が61.4%、「頼めるほど親しい間柄の人がいないから」が35.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「相手に迷惑をかけてしまうと思い、申し訳なく思うから」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自分のことはできるだけ自分でやりたいから」が多くなっています。
【圏域】	
○	「相手に迷惑をかけてしまうと思い、申し訳なく思うから」は中部が67.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「自分のことはできるだけ自分でやりたいから」は総合事業対象者が75.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【頼りたくない理由】



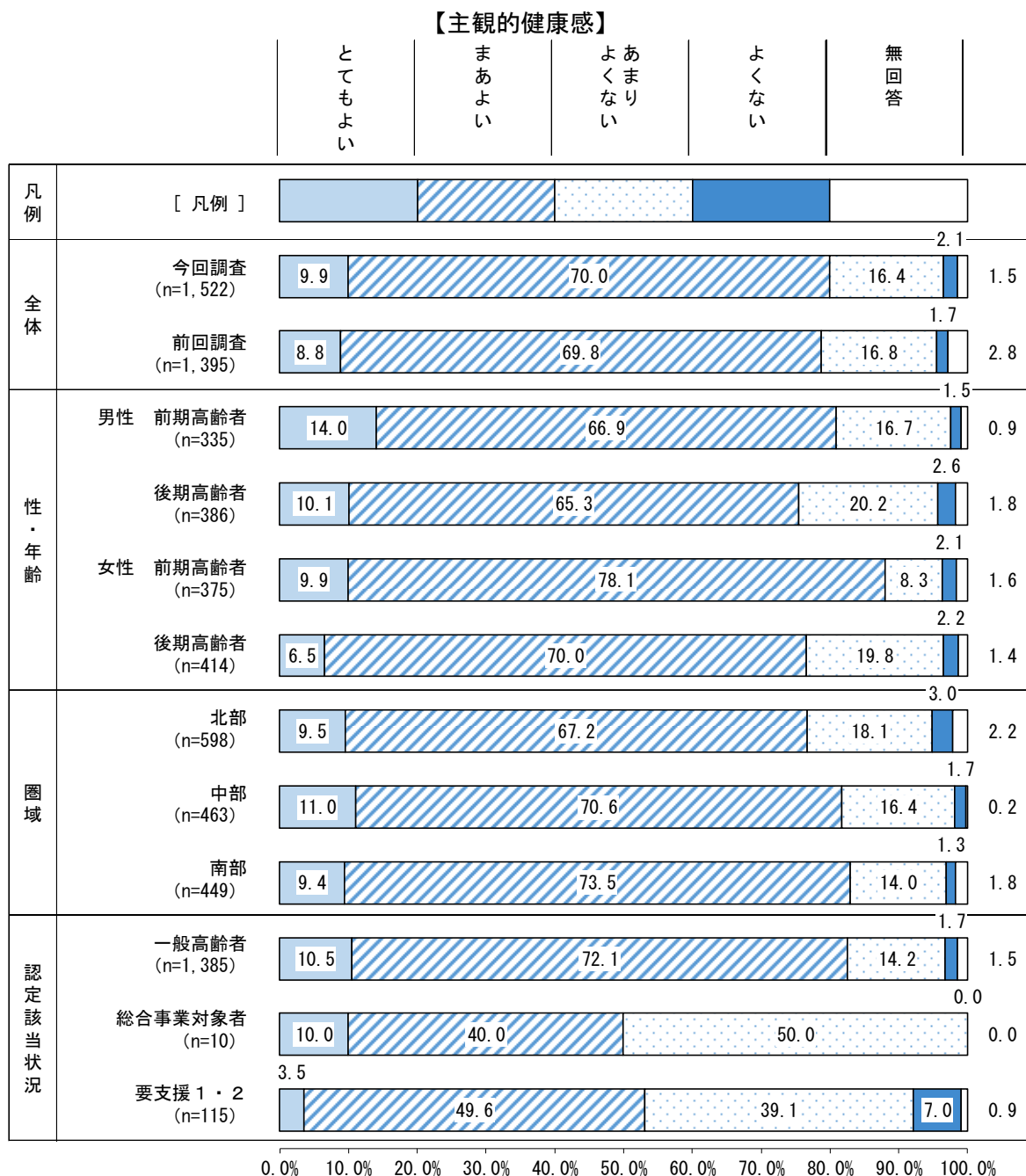
単位：％

		母数 (n)	頼りたくない理由 (MA)						
			と相手に迷惑を かけてしまうから	お礼やお返しなど に気がつかうから	家庭の事情やブライ バシーを	人頼めるほど親しい 間柄の	自分でやりたいから	その他	無回答
性・年齢	全体	924	63.4	17.6	18.0	35.6	61.4	0.8	2.2
	男性 前期高齢者	198	62.6	17.2	23.2	37.9	57.6	－	0.5
	後期高齢者	232	56.0	12.1	12.5	38.4	62.5	0.4	2.2
	女性 前期高齢者	240	71.7	24.6	20.8	40.4	56.7	1.7	2.1
	後期高齢者	245	63.3	16.7	15.9	26.1	67.3	0.8	3.7
圏域	北部	347	61.7	18.2	15.0	29.7	64.6	1.2	1.2
	中部	294	67.3	16.3	18.4	41.2	57.1	0.3	2.4
	南部	274	61.7	18.6	21.2	36.9	61.3	0.7	3.3
認定該当状況	一般高齢者	854	63.7	17.9	18.1	35.7	61.4	0.5	2.2
	総合事業対象者	4	▼ 25.0	－	－	▼ 25.0	△ 75.0	－	－
	要支援 1・2	57	63.2	15.8	15.8	33.3	57.9	5.3	1.8

9. 健康について

1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】	
○	主観的健康感について、「まあよい」が70.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が16.4%、「とてもよい」が9.9%となっています。
○	「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は79.9%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は18.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“よい方”が多くなっています。
【圏域】	
○	“よい方”は北部が76.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「とてもよい」が少なくなる傾向がみられます。
○	“よい方”は一般高齢者が82.6%と他の区分に比べて多くなっています。



2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（1つだけ○）

【全体】

- 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が57.2%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が27.3%、「とても幸せ（10点）」が11.8%となっています。
- 「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せな方”は69.0%となっています。

【性・年齢】

- 「とても幸せ（10点）」は男性 後期高齢者が14.2%と他の区分に比べて多くなっています。

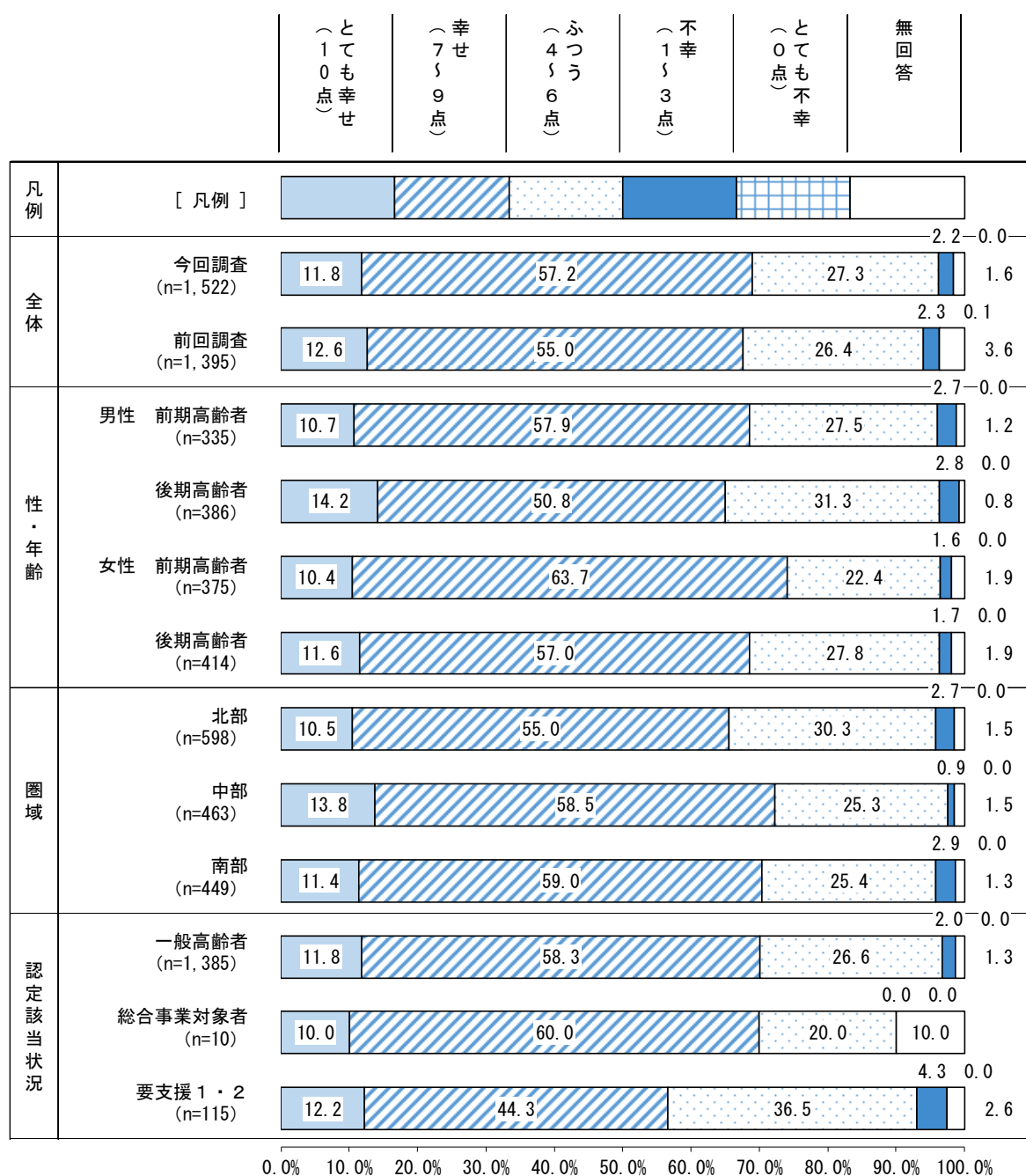
【圏域】

- 「とても幸せ（10点）」は中部が13.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- “幸せな方”は北部が65.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- “幸せな方”は要支援1・2が56.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【幸福感】

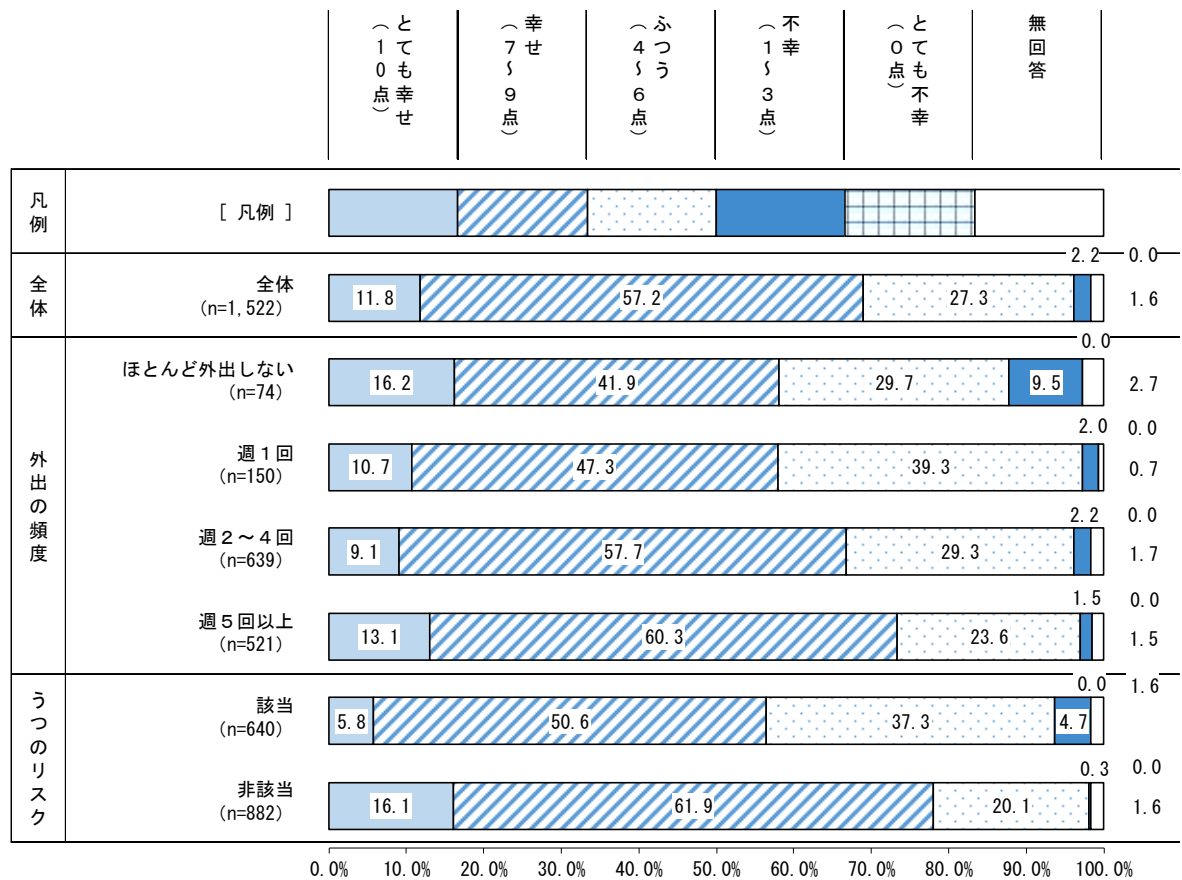


【幸福感×外出の頻度】

- 「とても幸せ」「幸せ」を合わせた“幸せと感じている方”はほとんど外出しないが58.1%、週1回が58.0%、週2～4回が66.8%、週5回以上が73.4%となっています。

【幸福感×うつリスク】

- “幸せと感じている方”はうつリスク該当者で56.4%と、うつリスク非該当者の78.0%に比べて少なくなっています。



うつのリスク（1つだけ○）

【全体】

○ うつのリスクについて、「該当」が42.0%、「非該当」が58.0%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

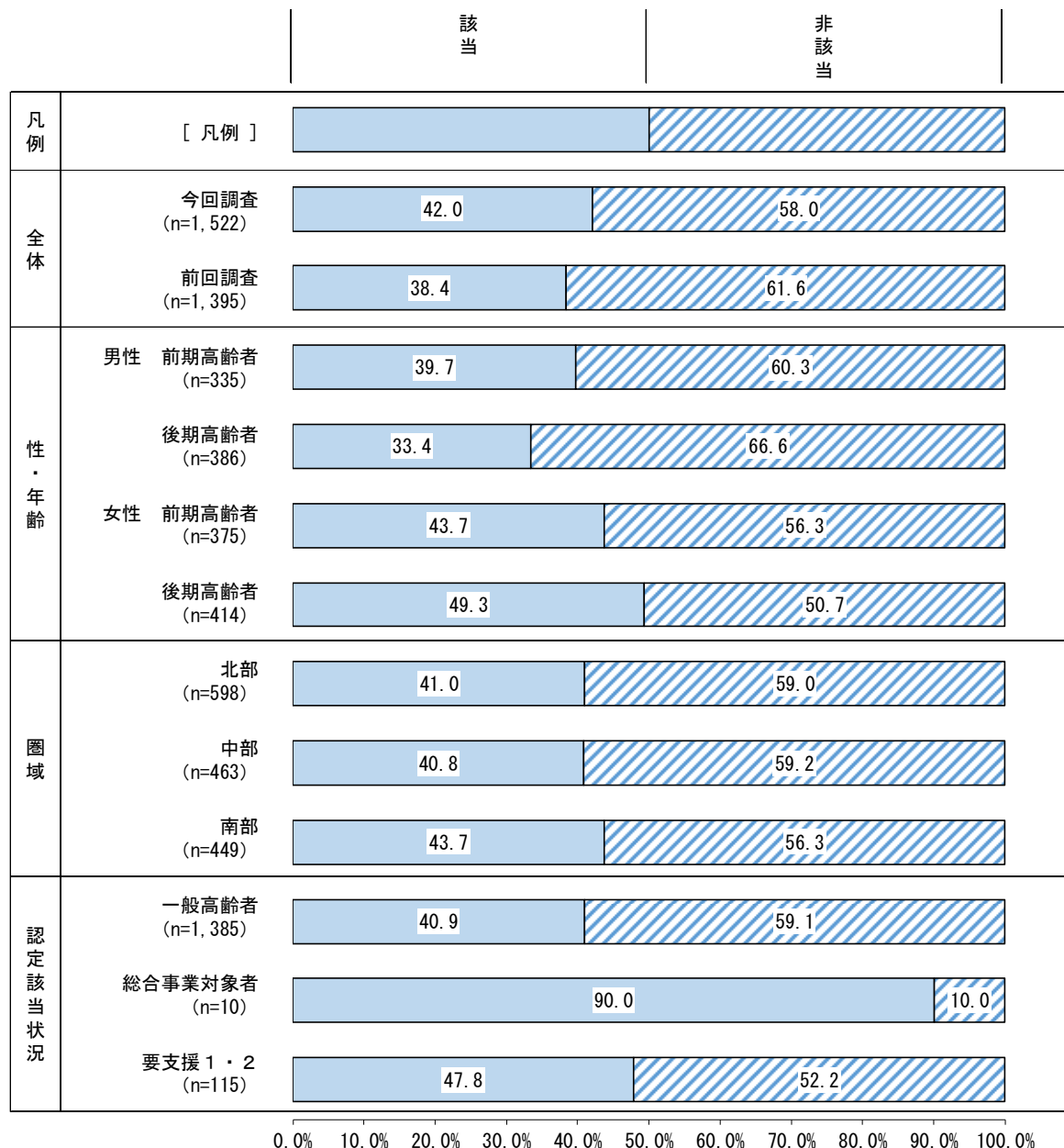
【圏域】

○ 「該当」は南部が43.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は総合事業対象者が90.0%と他の区分に比べて多くなっています。

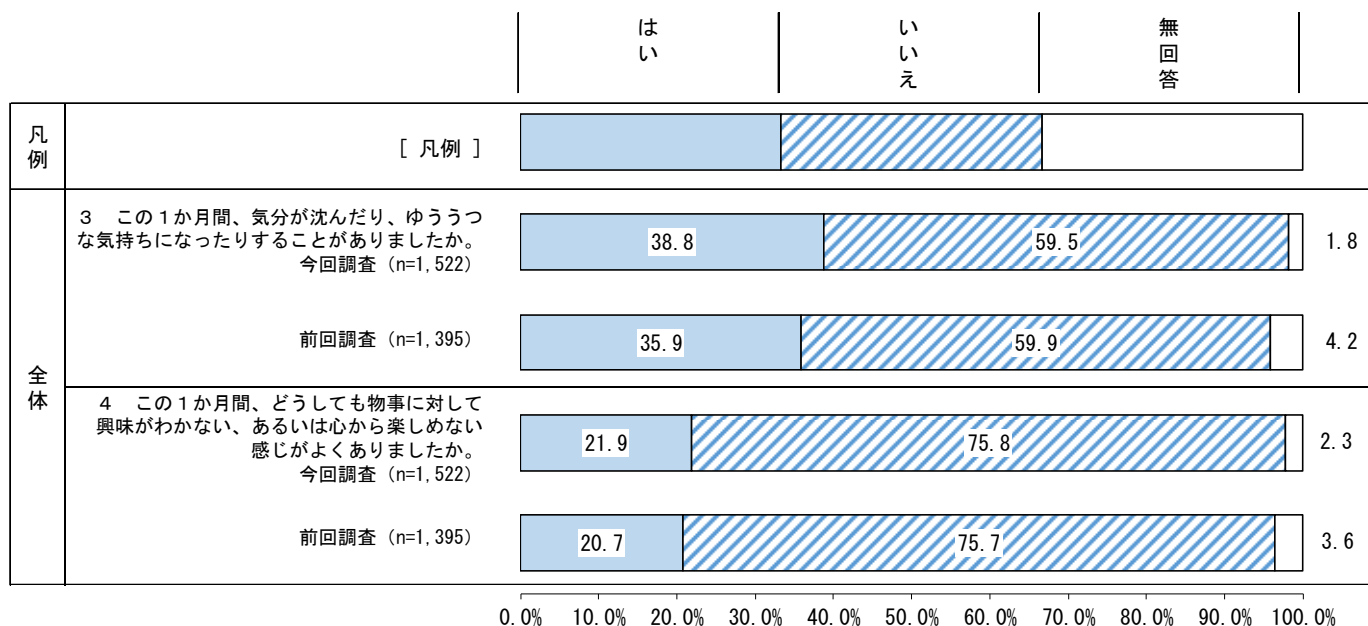
【うつのリスク】



- 3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)
- 4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

【全体】

- 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が38.8%、「いいえ」が59.5%となっています。
- どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が21.9%、「いいえ」が75.8%となっています。



5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が31.9%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.5%、「ほぼ毎日飲む」が22.2%となっています。
- 「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた“飲酒習慣のある方”は40.8%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“飲酒習慣のある方”が多くなっています。

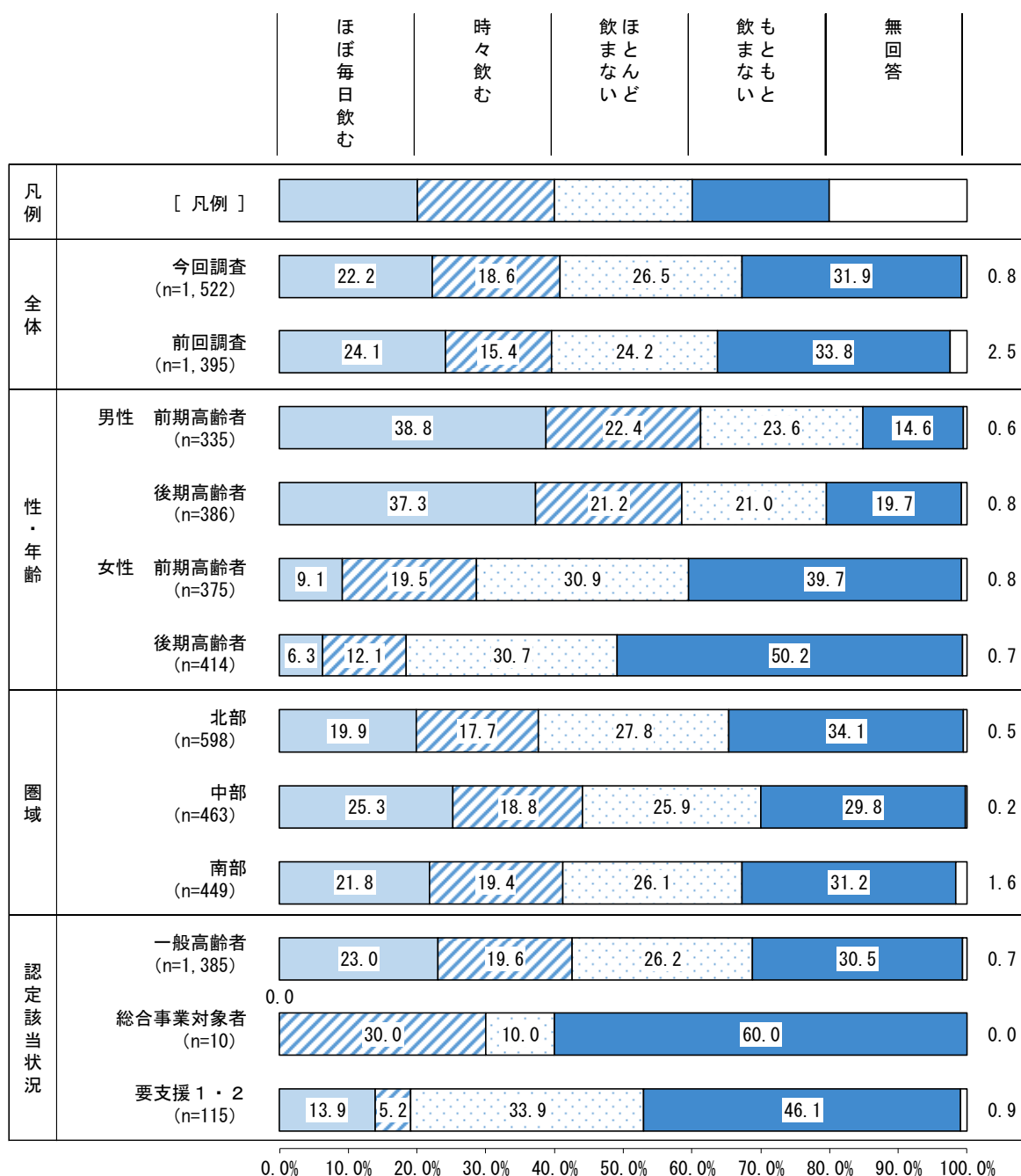
【圏域】

- “飲酒習慣のある方”は北部が37.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“飲酒習慣のある方”が少なくなる傾向がみられます。

【飲酒習慣】



6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が61.4%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が31.7%、「ほぼ毎日吸っている」が5.3%となっています。「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた“喫煙習慣のある方”は6.2%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“喫煙習慣のある方”が多くなっています。

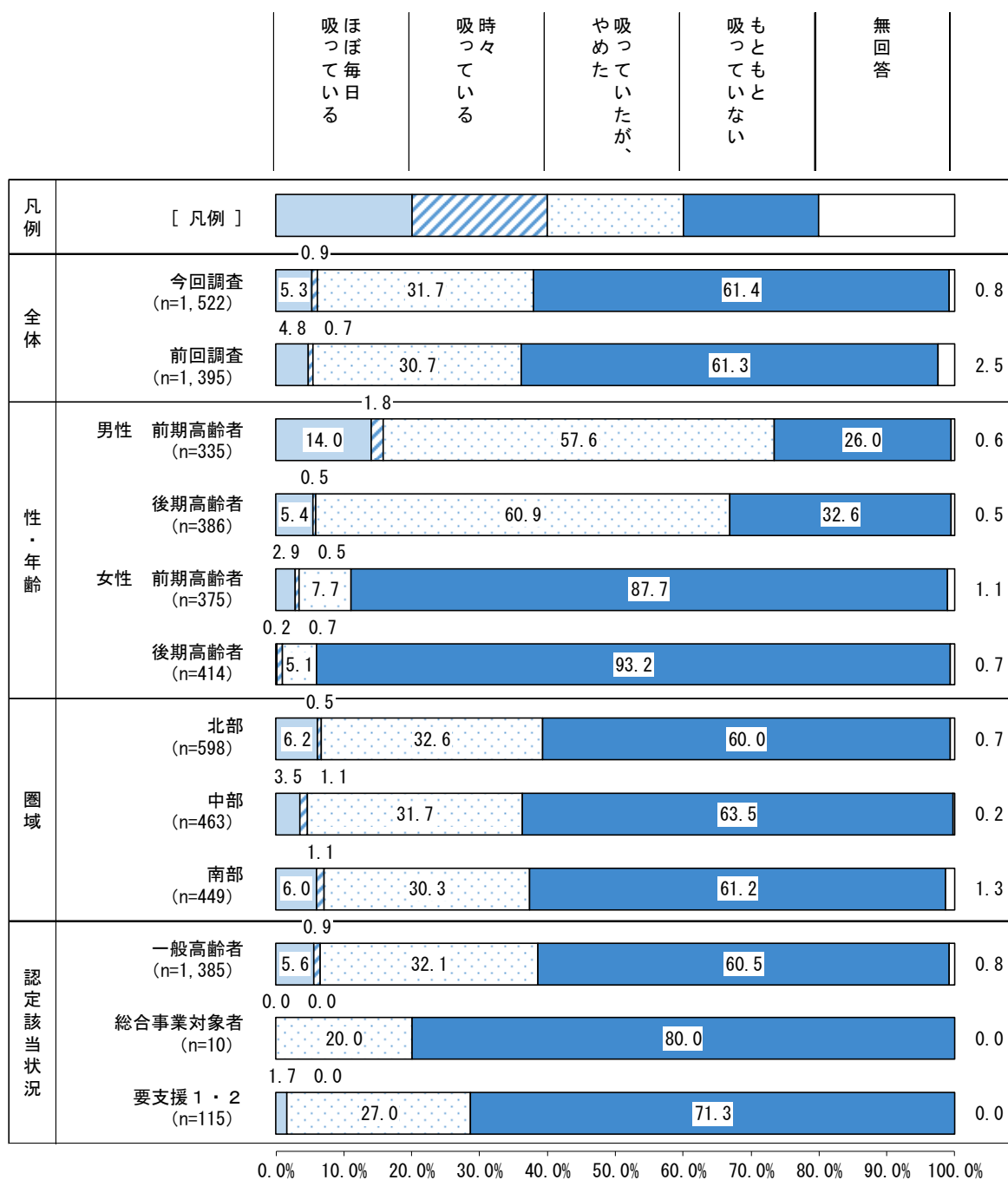
【圏域】

- “喫煙習慣のある方”は中部が4.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、“喫煙習慣のある方”は6.5%となっています。

【喫煙習慣】

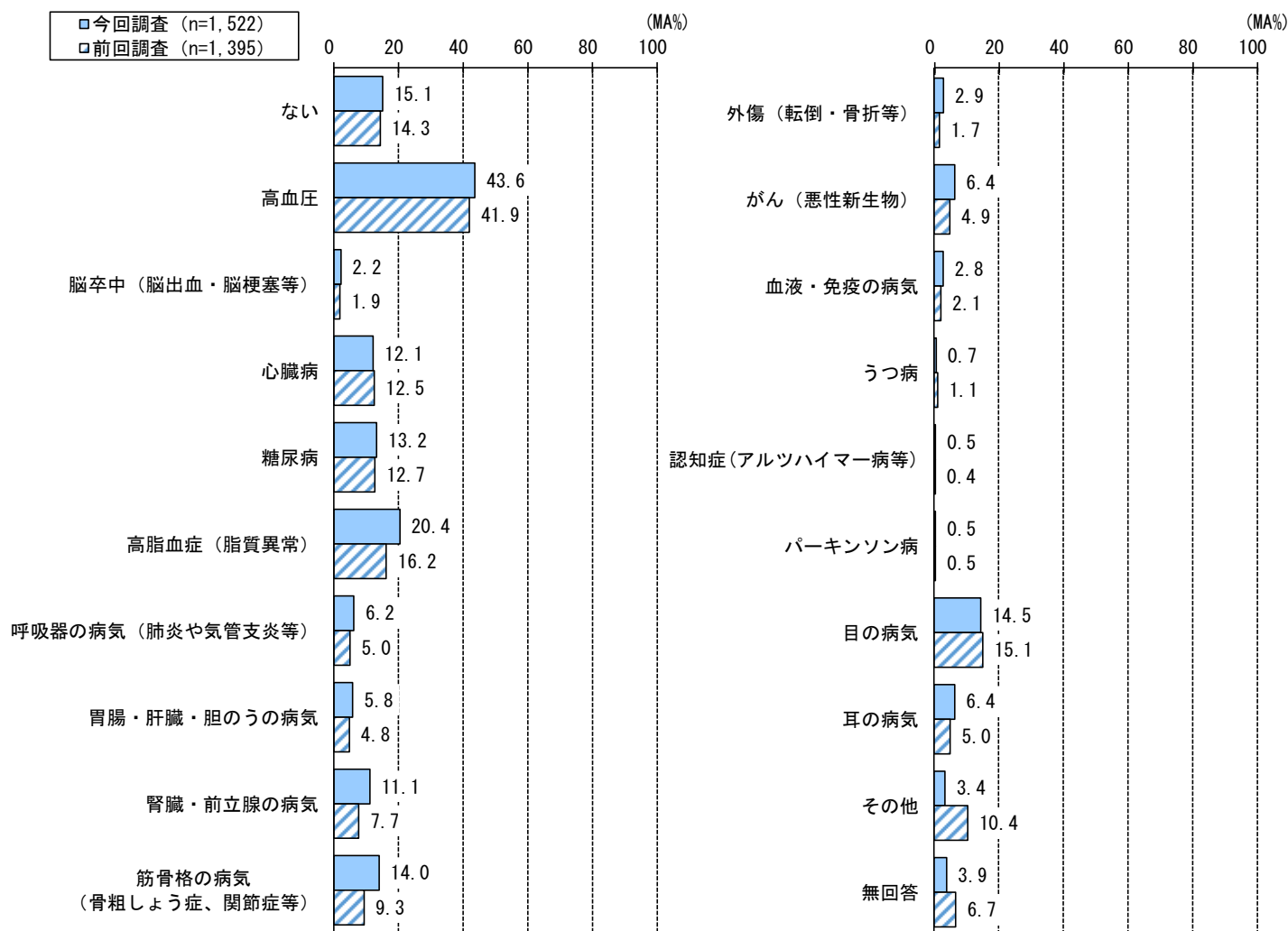


7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「高血圧」が43.6%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が20.4%、「ない」が15.1%となっています。

【治療中・後遺症のある病気(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「ない」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっています。

【圏域】

- 「高血圧」は北部が46.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は中部が他の区分に比べて多くなっています。
- 「腎臓・前立腺の病気」「がん（悪性新生物）」「目の病気」は南部が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「心臓病」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			ない	高血圧	(脳卒中・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 病気 肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆 のうの病気	腎臓・前立腺の 病気	(筋骨格の 病気 骨粗しょう症、 関節症等)
全体	今回調査	1,522	15.1	43.6	2.2	12.1	13.2	20.4	6.2	5.8	11.1	14.0
	前回調査	1,395	14.3	41.9	1.9	12.5	12.7	16.2	5.0	4.8	7.7	9.3
性・年齢	男性 前期高齢者	335	21.8	39.4	2.1	11.3	16.7	18.2	5.1	6.0	16.1	5.7
	後期高齢者	386	10.4	46.4	3.9	18.7	16.8	15.0	8.8	9.1	△ 23.8	10.1
	女性 前期高齢者	375	21.3	▼ 33.3	1.1	6.9	8.3	22.7	6.1	4.3	1.9	15.7
	後期高齢者	414	8.9	53.4	1.7	11.6	11.4	24.4	4.8	4.3	3.9	22.9
圏域	北部	598	14.7	46.7	2.2	10.2	14.0	18.7	5.4	5.5	10.2	13.4
	中部	463	15.3	41.7	2.8	14.3	14.0	21.6	8.4	6.0	9.3	15.1
	南部	449	15.8	41.2	1.6	12.7	11.1	20.7	5.1	6.2	14.5	13.8
認定該当状況	一般高齢者	1,385	16.3	42.9	2.1	11.0	12.7	20.4	5.8	5.6	10.6	13.1
	総合事業対象者	10	—	△ 60.0	—	20.0	△ 30.0	20.0	△ 20.0	10.0	10.0	△ 30.0
	要支援1・2	115	▼ 3.5	49.6	3.5	△ 25.2	17.4	17.4	9.6	9.6	18.3	△ 24.3

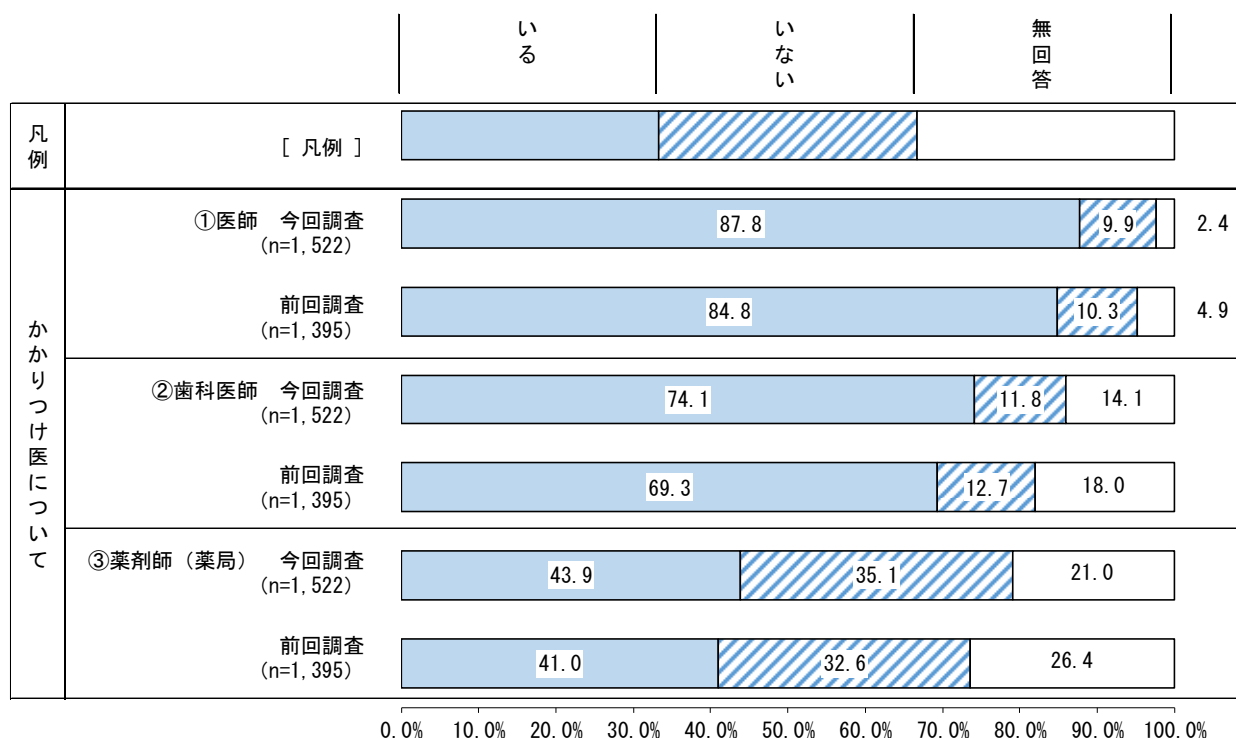
単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の 病気	うつ病	(認知症 アルツハイマー 病等)	パーキンソン 病	目の 病気	耳の 病気	その他	無回答
全体	今回調査	1,522	2.9	6.4	2.8	0.7	0.5	0.5	14.5	6.4	3.4	3.9
	前回調査	1,395	1.7	4.9	2.1	1.1	0.4	0.5	15.1	5.0	10.4	6.7
性・年齢	男性 前期高齢者	335	0.6	5.4	2.4	0.6	—	0.3	11.9	3.0	3.6	2.7
	後期高齢者	386	3.1	9.3	2.8	0.5	1.0	0.5	15.0	7.0	2.8	2.6
	女性 前期高齢者	375	2.1	4.3	3.2	0.5	—	0.5	12.0	4.0	4.0	5.9
	後期高齢者	414	5.1	6.5	2.9	1.0	1.0	0.5	18.4	10.9	2.9	4.1
圏域	北部	598	3.0	5.7	2.2	1.0	0.5	0.5	13.2	7.5	2.7	3.8
	中部	463	2.6	6.0	3.5	0.2	0.2	0.4	14.3	6.3	2.8	4.8
	南部	449	2.9	7.8	3.1	0.7	0.9	0.4	16.5	5.1	4.7	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,385	2.2	5.8	2.7	0.6	0.4	0.4	13.6	5.7	3.2	4.1
	総合事業対象者	10	—	—	10.0	—	—	—	△ 30.0	△ 20.0	10.0	—
	要支援1・2	115	11.3	13.9	3.5	1.7	2.6	0.9	23.5	13.9	3.5	0.9

- 8 あなたは、病気になった時に相談・受診することができる、かかりつけはいますか。
(それぞれ1つだけ○)

【①医師】
○ かかりつけ医について、「いる」が87.8%、「いない」が9.9%となっています。
【②歯科医師】
○ かかりつけ歯科医師について、「いる」が74.1%、「いない」が11.8%となっています。
【③薬剤師（薬局）】
○ かかりつけ薬剤師（薬局）について、「いる」が43.9%、「いない」が35.1%となっています。

【かかりつけ医の有無】



9 あなたは、「せいか365」を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 「せいか365」の認知度について、「知らない（初めて聞いた）」が42.7%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が34.3%、「言葉も意味もよく知っている」が19.8%となっています。

○ 「名前は知っているが、活動内容は知らない」「知らない（初めて聞いた）」を合わせた“活動内容を知らない”は42.7%となっています。「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」「知らない（初めて聞いた）」を合わせた“意味を知らない”は77.0%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“活動内容を知らない”が多くなっています。

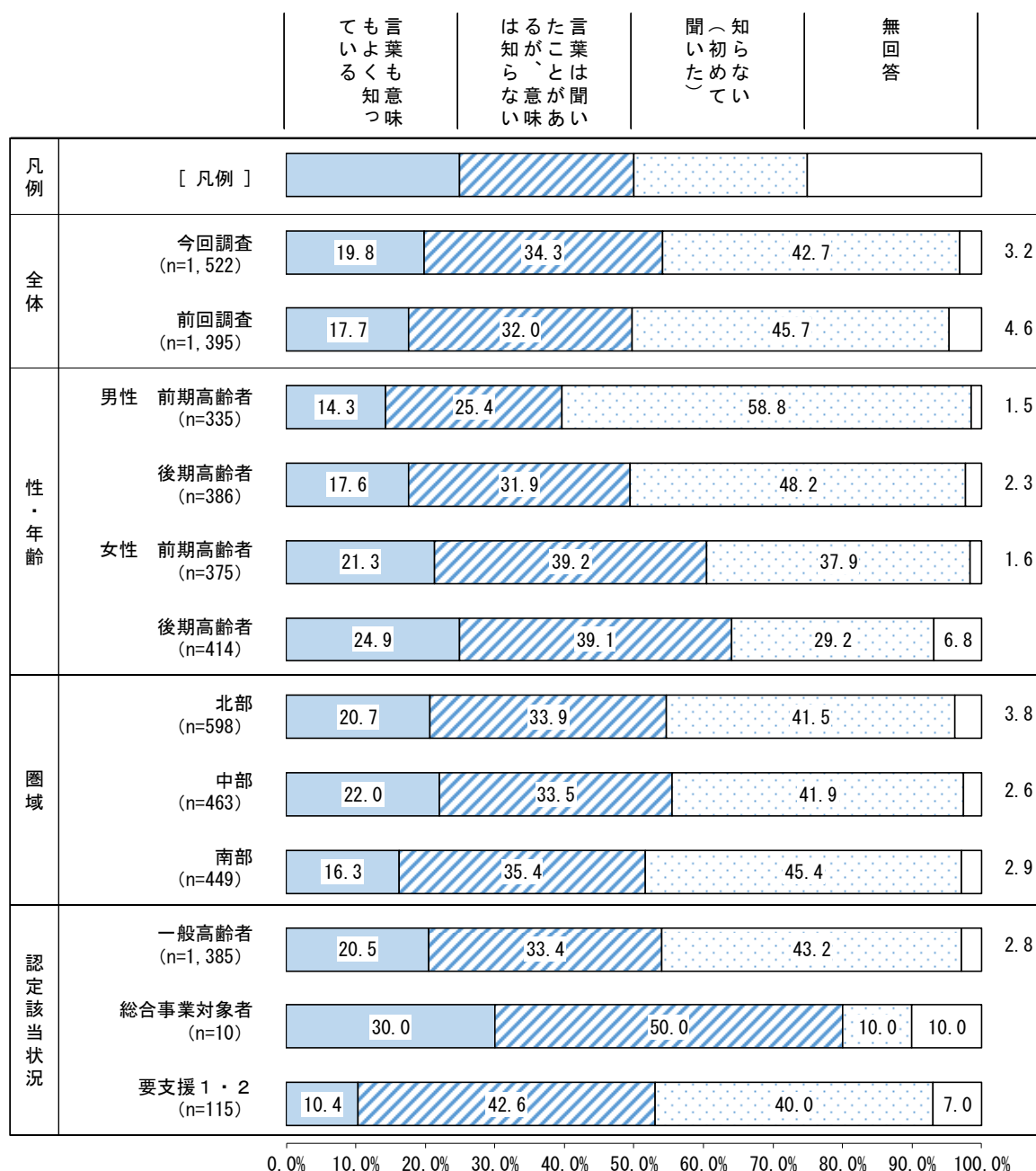
【圏域】

○ “活動内容を知らない”は南部が45.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ “活動内容を知らない”は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【「せいか365」の認知度】



10 あなたは、「せいか365」の取り組みに参加していますか。（1つだけ○）

【全体】

- 「せいか365」の取り組みに参加しているかについて、「参加したことはなく、今後も参加しない」が55.6%で最も多く、次いで「参加したことはないが、参加してみたい」が20.9%、「以前参加していたが、今は参加していない」が7.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加したことはなく、今後も参加しない」が多くなっています。

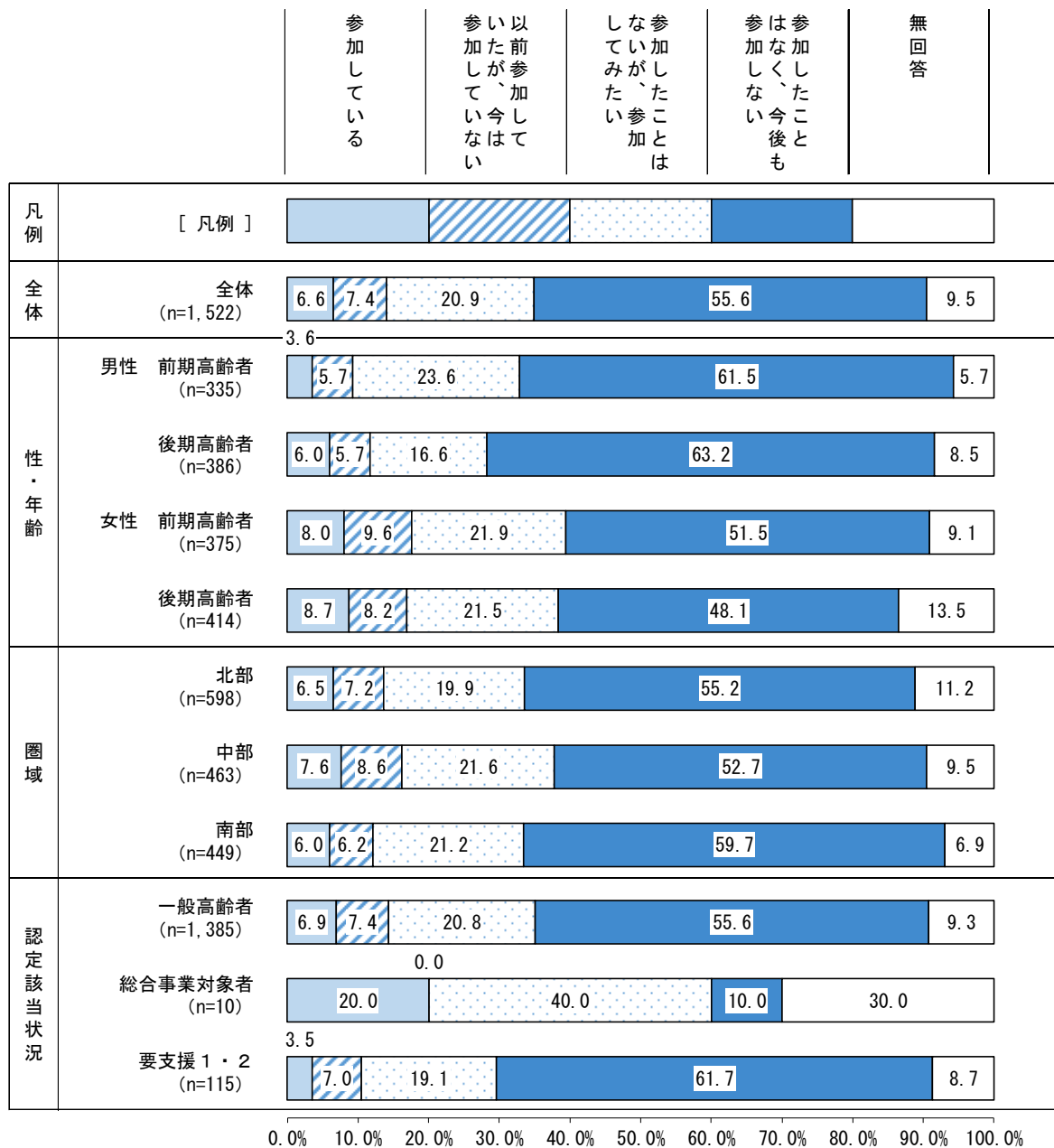
【圏域】

- 北部では、「参加している」は中部が7.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「参加したことはないが、参加してみたい」が20.8%となっています。

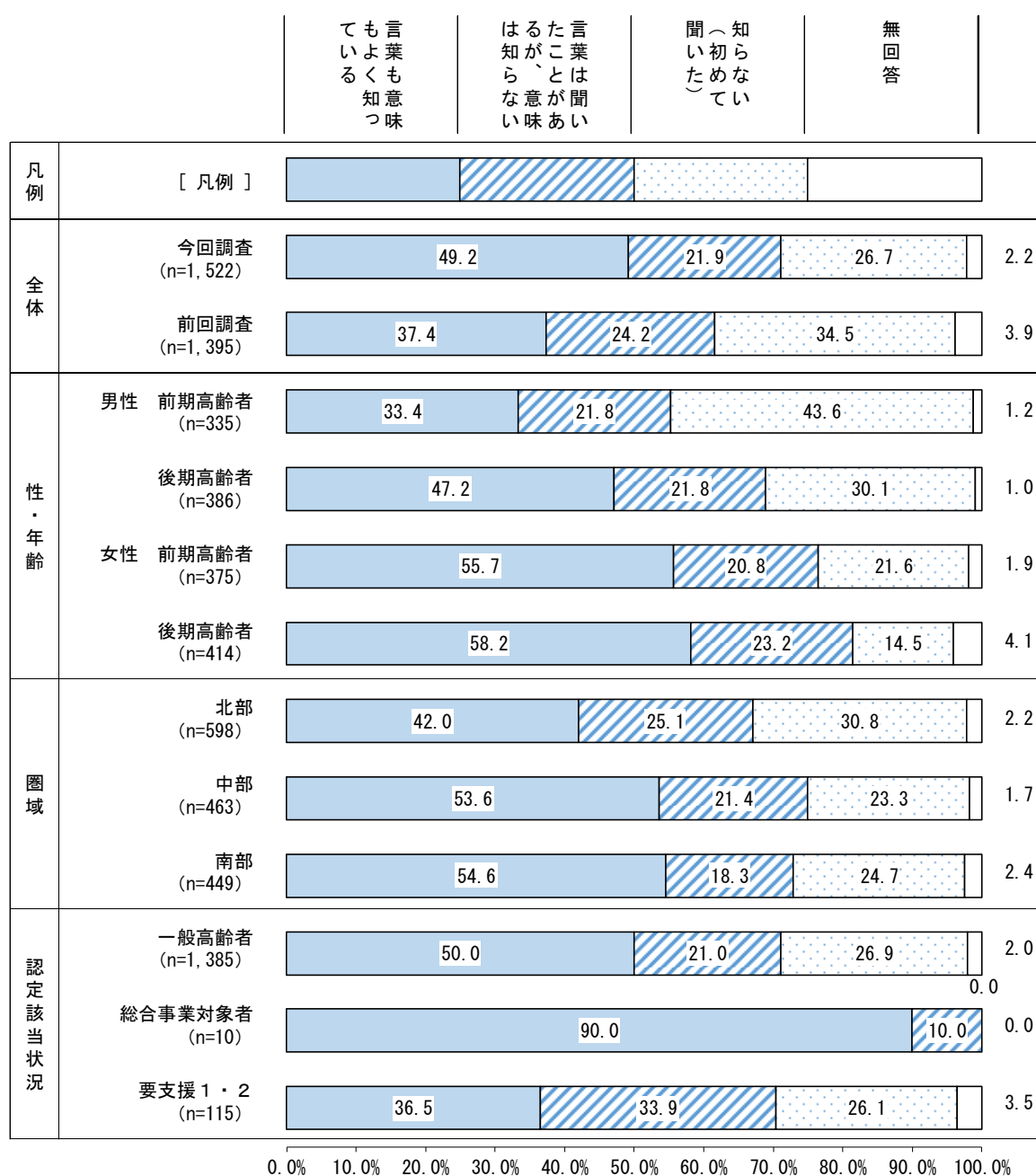
【「せいか365」の参加頻度】



- 11 あなたは、「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）」を知っていますか。（1つだけ○）

【全体】	
○ 「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）」の認知度について、「言葉も意味もよく知っている」が49.2%で最も多く、次いで「知らない（初めて聞いた）」が26.7%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が21.9%となっています。	
○ 「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」「知らない（初めて聞いた）」を合わせた“意味を知らない”は48.6%となっています。	
【性・年齢】	
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“意味を知らない”が多くなっています。	
【圏域】	
○ “意味を知らない”は北部が55.9%と他の区分に比べて多くなっています。	
【認定該当状況】	
○ “意味を知らない”は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて少なくなっています。	

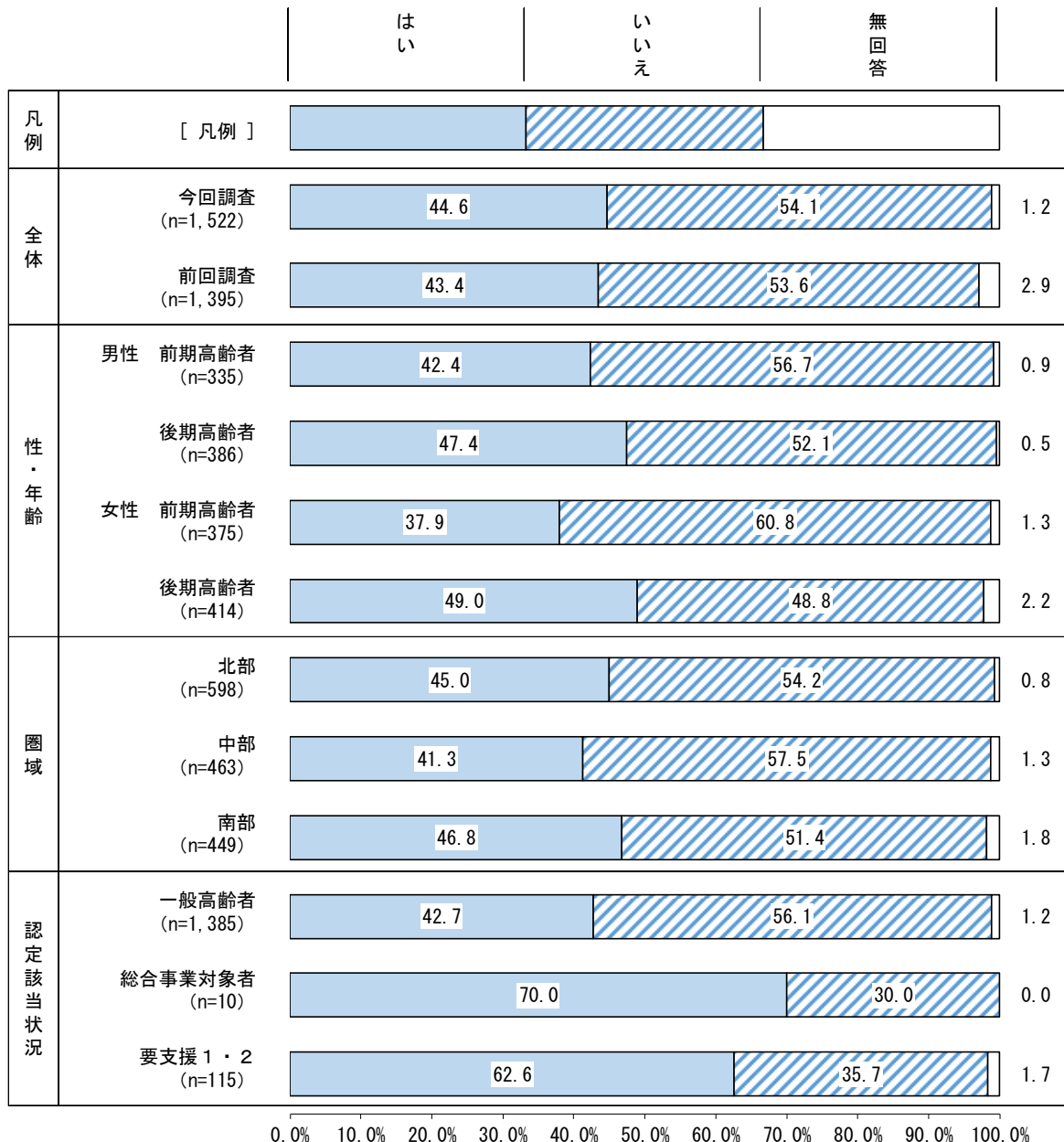
【「フレイル」の認知度】



12 あなたは加齢により、耳が聞こえにくくなったと感じますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 加齢により、耳が聞こえにくくなったと感じるかについて、「はい」が44.6%、「いいえ」が54.1%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は中部が41.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は一般高齢者が42.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【加齢により、耳が聞こえにくくなったと感じるか】



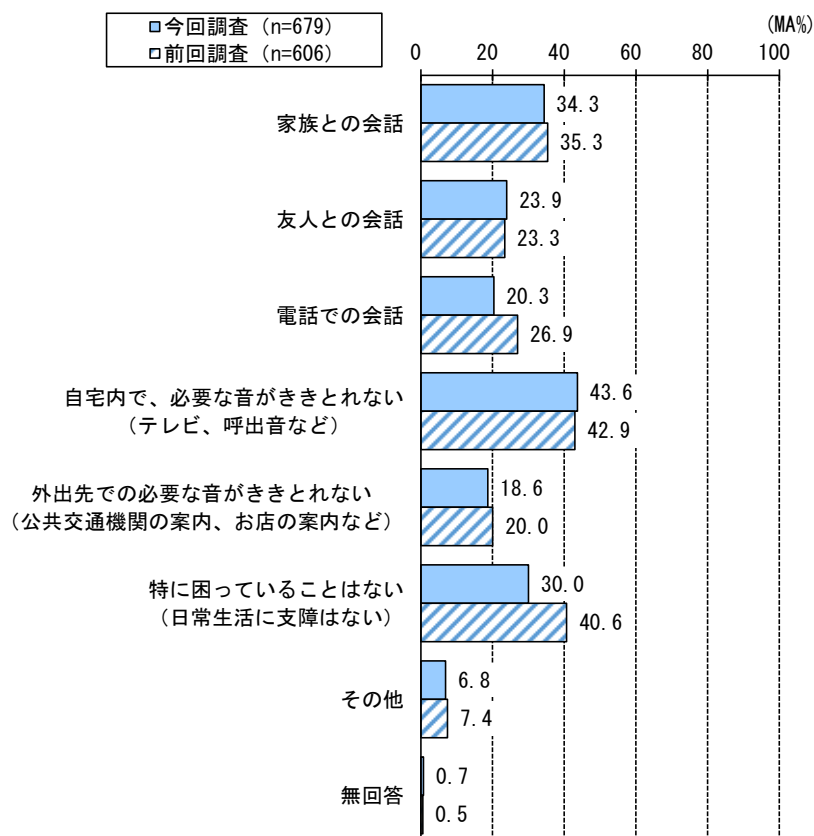
12で「1. はい」と答えた方のみお答えください。

12-1 どんなことにお困りですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 今回調査では、「自宅内で、必要な音がききとれない」が43.6%で最も多く、次いで「家族との会話」が34.3%、「特に困っていることはない」が30.0%となっています。

【耳が聞こえにくいことによる困りごと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「家族との会話」「電話での会話」「自宅内で、必要な音がききとれない」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「特に困っていることはない」が多くなっています。

【圏域】

- 「自宅内で、必要な音がききとれない」は南部が 44.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「外出先での必要な音がききとれない」は南部が 24.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「外出先での必要な音がききとれない」は要支援 1・2 が 34.7%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	耳が聞こえにくいことによる困りごと(MA)							
			家族との 会話	友人との 会話	電話での 会話	（必要な音がききとれない テレビ、呼出音など）	自宅内で、 （公共機関の案内、 お店の案内など）	外出先での必要な音が ききとれない	（特に日常生活に支障はない）	その他
全体	今回調査	679	34.3	23.9	20.3	43.6	18.6	30.0	6.8	0.7
	前回調査	606	35.3	23.3	26.9	42.9	20.0	△ 40.6	7.4	0.5
性・年齢	男性 前期高齢者	142	▼ 20.4	▼ 13.4	10.6	40.1	11.3	39.4	4.2	0.7
	後期高齢者	183	△ 48.1	28.4	25.1	47.0	23.5	24.0	8.2	0.5
	女性 前期高齢者	142	28.9	26.1	16.9	37.3	19.0	35.2	5.6	-
	後期高齢者	203	35.5	25.6	24.1	45.3	18.2	26.6	7.4	1.5
圏域	北部	269	34.6	27.5	22.3	42.8	16.0	31.2	4.8	1.1
	中部	191	33.5	25.7	16.8	41.9	15.2	31.9	8.4	1.0
	南部	210	34.8	17.6	20.0	44.3	24.3	28.1	7.1	-
認定該当状況	一般高齢者	591	33.2	23.4	18.4	41.8	16.4	32.1	5.8	0.5
	総合事業対象者	7	42.9	14.3	-	▼ 28.6	14.3	-	△ 42.9	-
	要支援 1・2	72	43.1	29.2	△ 34.7	△ 54.2	△ 34.7	▼ 19.4	9.7	2.8

10. 認知症について

1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が9.5%、「いいえ」が88.8%となっています。

【性・年齢】

○ 「はい」は男性 前期高齢者が13.1%と他の区分に比べて多くなっています。

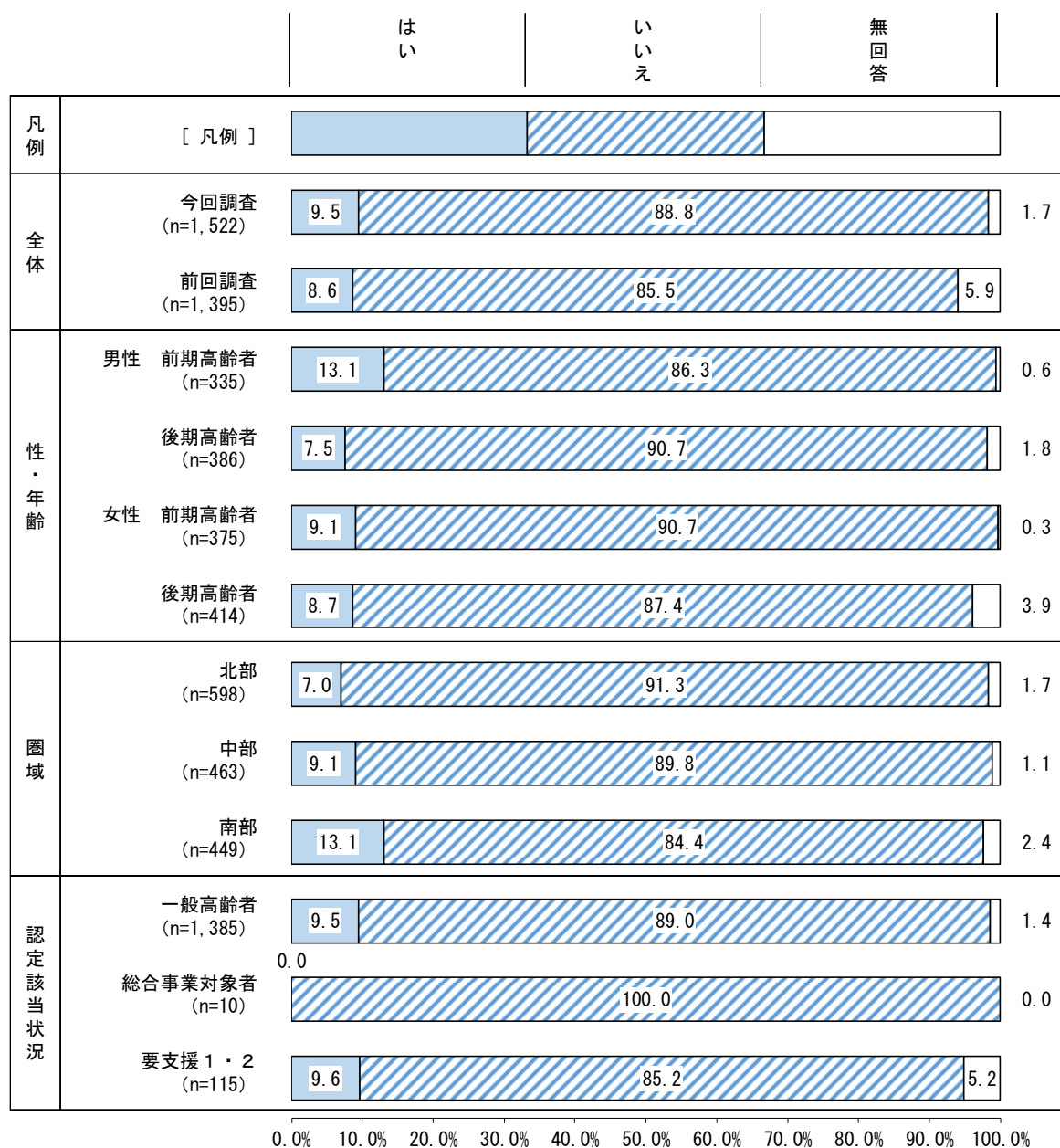
【圏域】

○ 「はい」は南部が13.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「はい」が9.6%となっています。

【本人や家族に認知症の症状があるか】



2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が30.3%、「いいえ」が66.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

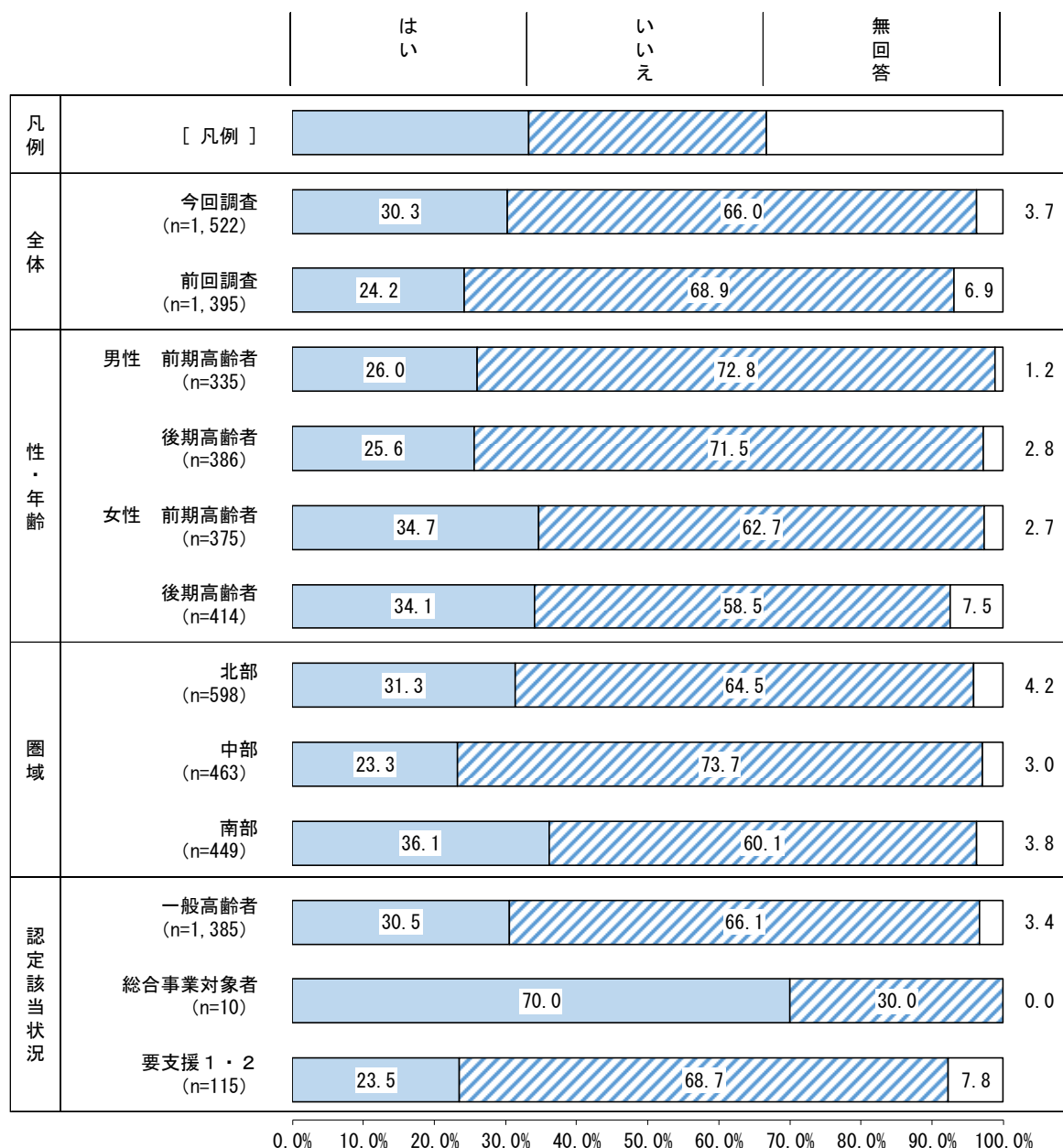
【圏域】

- 「いいえ」は中部が73.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「いいえ」が68.7%となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度】

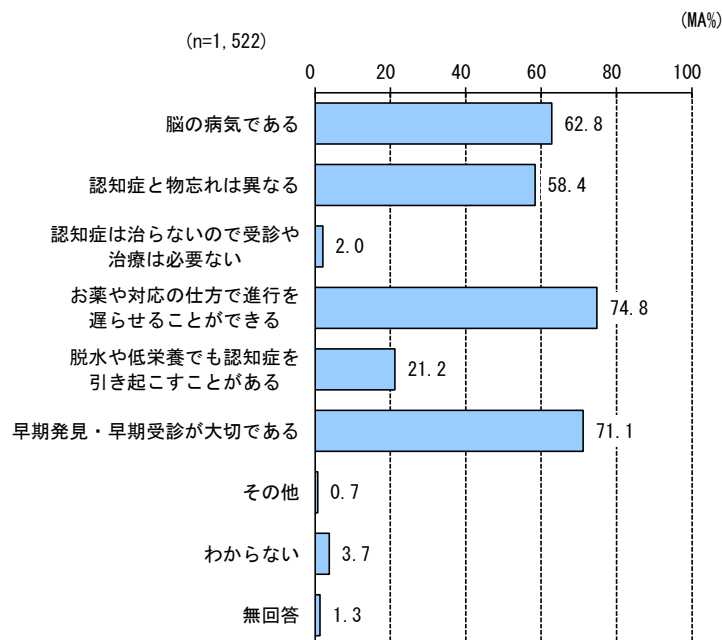


3 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも○)

【全体】

- 今回調査では、「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が74.8%で最も多く、次いで「早期発見・早期受診が大切である」が71.1%、「脳の病気である」が62.8%となっています。

【認知症について、どのような支援があればよいか(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「認知症と物忘れは異なる」「お薬や対応の仕方で進行を遅らせることができる」「脱水や低栄養でも認知症を引き起こすことがある」「早期発見・早期受診が大切である」が多くなっています。
- 「認知症は治らないので受診や治療は必要ない」は男性 前期高齢者が3.3%、男性 後期高齢者が2.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「わからない」は女性 前期高齢者が1.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【圏域】

- 「認知症と物忘れは異なる」は南部が62.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「わからない」は南部が2.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「脳の病気である」「認知症と物忘れは異なる」が少なくなる傾向がみられます。
- 「お薬や対応の仕方で進行を遅らせることができる」は要支援1・2が63.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「わからない」は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	認知症について、どのように理解しているか(MA)								無回答
			脳の 病気 である	認知 症と 物忘 れは 異な る	受認 診知 や症 治は 治ら は必 要な い ので	遅お ら薬 せや る対 応の 仕 方 で 進 行 を	引脱 き水 起や こす 低栄 養 こ と が あ る 認 知 症 を	大早 切期 で 発 見 ・ 早 期 受 診 が	そ の 他	わ か ら な い	
性・年齢	全体	1,522	62.8	58.4	2.0	74.8	21.2	71.1	0.7	3.7	1.3
	男性 前期高齢者	335	66.6	54.9	3.3	73.1	14.3	65.7	0.3	4.5	0.9
	後期高齢者	386	58.8	52.6	2.6	▼ 64.8	16.6	65.3	0.5	5.4	1.3
	女性 前期高齢者	375	69.1	67.7	0.5	△ 86.4	△ 31.5	80.3	0.3	1.6	0.3
	後期高齢者	414	57.7	58.2	1.4	75.4	21.5	72.9	1.4	3.6	2.7
圏域	北部	598	60.4	55.5	1.5	72.1	18.7	70.2	0.5	4.7	1.5
	中部	463	65.7	58.5	2.4	75.2	22.2	71.7	1.1	3.9	1.1
	南部	449	63.0	62.1	2.0	78.4	23.2	71.9	0.4	2.4	1.3
認定該当状況	一般高齢者	1,385	63.8	59.7	1.8	75.8	21.3	71.5	0.6	3.8	1.1
	総合事業対象者	10	60.0	50.0	-	80.0	20.0	80.0	10.0	10.0	-
	要支援1・2	115	▼ 50.4	▼ 43.5	3.5	▼ 63.5	19.1	67.0	-	3.5	4.3

4 「新しい認知症観」を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 「新しい認知症観」の認知度について、「知らない（初めて聞いた）」が62.9%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が18.0%、「言葉も意味もよく知っている」が17.1%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「言葉も意味もよく知っている」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない（初めて聞いた）」が多くなっています。

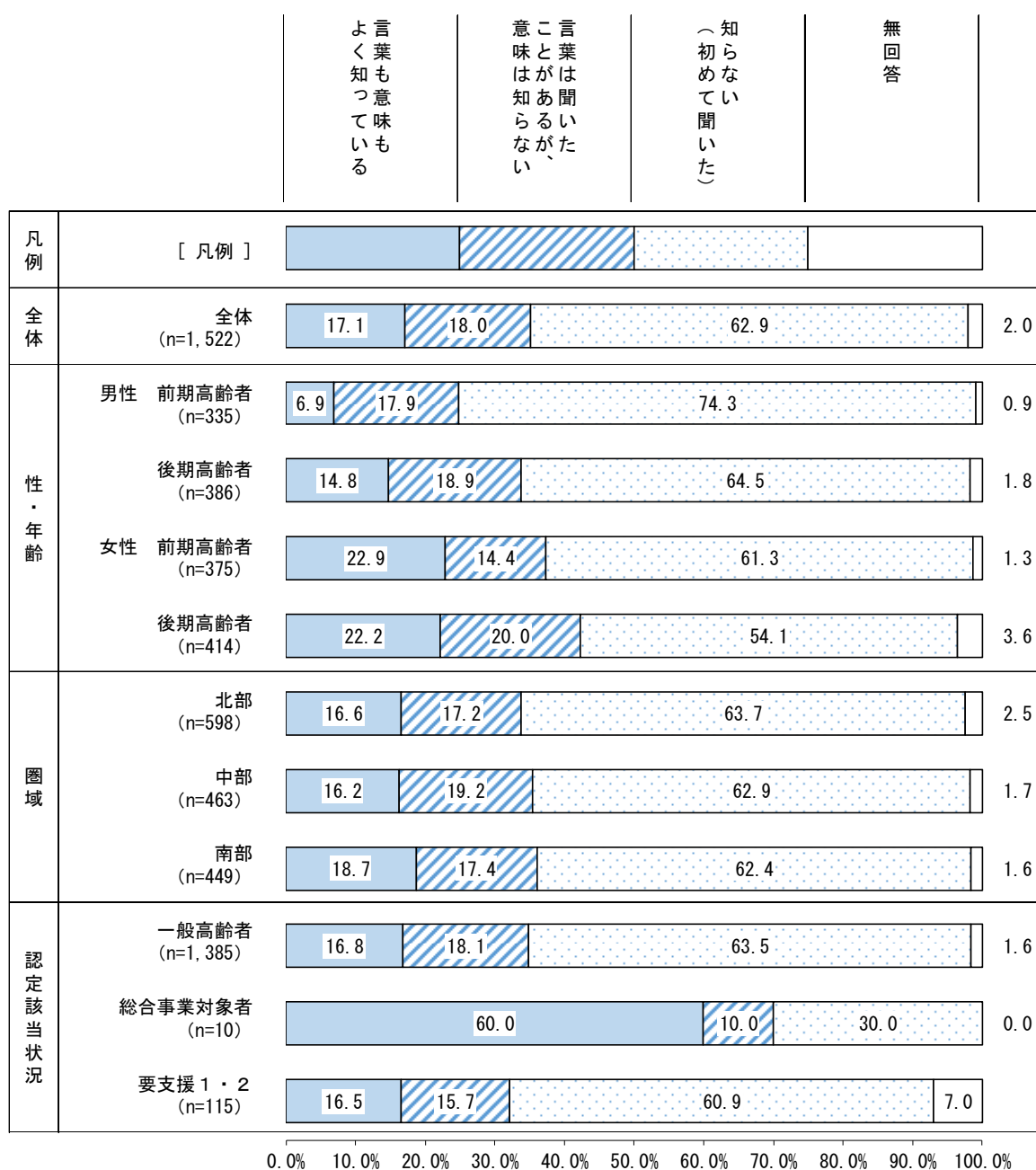
【圏域】

- 「言葉も意味もよく知っている」は南部が18.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「言葉も意味もよく知っている」は総合事業対象者が60.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【「新しい認知症観」の認知度】

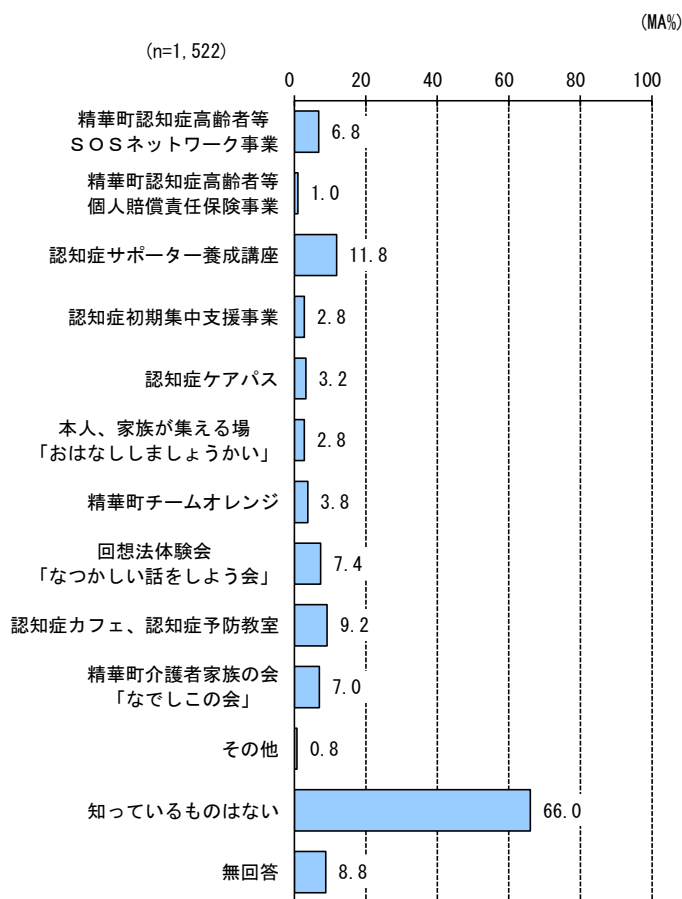


- 5 認知症に関して、精華町における以下のような取り組みを知っていますか。(いくつでも○)

【全体】

- 今回調査では、「知っているものはない」が66.0%で最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」が11.8%、「認知症カフェ、認知症予防教室」が9.2%となっています。

【認知症に関する取り組みの認知度(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「認知症サポーター養成講座」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知っているものはない」が多くなっています。

【圏域】

- 「精華町認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク事業」「認知症初期集中支援事業」は北部が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「精華町認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク事業」「回想法体験会「なつかしい話をしよう会」」「認知症カフェ、認知症予防教室」「精華町介護者家族の会「なでしこの会」」は総合事業対象者が他の区分に比べて多くなっています。

		認知症に関して、精華町の取り組みを知っているか(MA)							単位：％
		母数 (n)	Ｓ精 Ｏ華 Ｓ町 ネッ トワ ーク 事 業	個精 人華 賠町 償認 責知 任症 保高 険齡 者等	講認 座知 症サ ポー ター 養 成	認 知 症 初 期 集 中 支 援 事 業	認 知 症 ケ ア パ ス	「本人、 家族が 集える 場所 はない かい」	精 華 町 チ ーム オ レ ン ジ
全体		1,522	6.8	1.0	11.8	2.8	3.2	2.8	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	335	3.9	1.5	6.3	0.9	2.4	0.6	1.8
	後期高齢者	386	6.7	1.0	6.2	2.6	3.1	1.8	2.8
	女性 前期高齢者	375	7.7	0.3	19.2	3.5	4.0	3.7	5.1
	後期高齢者	414	8.7	1.2	14.7	3.9	3.4	4.6	5.3
圏域	北部	598	8.9	0.7	12.7	4.7	3.5	4.2	4.5
	中部	463	6.5	1.3	12.1	1.5	2.6	0.9	5.2
	南部	449	4.7	1.1	10.2	1.6	3.6	2.9	1.6
認定該当状況	一般高齢者	1,385	7.0	1.0	12.3	2.7	3.5	2.6	4.0
	総合事業対象者	10	△ 20.0	10.0	20.0	10.0	-	10.0	10.0
	要支援 1・2	115	4.3	-	5.2	2.6	0.9	4.3	1.7

単位：％								
		母数 (n)	認知症に関して、精華町の取り組みを知っているか (MA)					
			「回 想 法 体 験 会 「な つ か し い 話 を し よ う 会 」	認 知 症 予 防 カ フェ、 教室	「精 華 町 介 護 者 家 族 の 会 」	そ の 他	知 っ て い る も の は な い	無 回 答
	全体	1,522	7.4	9.2	7.0	0.8	66.0	8.8
性・年齢	男性 前期高齢者	335	2.1	5.4	3.6	0.6	△ 81.5	4.5
	後期高齢者	386	6.0	5.2	4.1	1.0	71.0	9.1
	女性 前期高齢者	375	7.7	13.9	8.8	0.5	64.5	4.3
	後期高齢者	414	12.8	11.6	10.6	0.7	▼ 50.7	15.9
圏域	北部	598	8.2	10.0	8.4	0.8	62.5	9.9
	中部	463	7.3	9.1	6.7	0.6	68.0	7.6
	南部	449	6.5	8.0	5.3	0.7	69.0	8.5
認定該当状況	一般高齢者	1,385	7.2	9.2	6.9	0.8	66.6	8.0
	総合事業対象者	10	△ 20.0	△ 20.0	△ 30.0	-	▼ 30.0	20.0
	要支援 1・2	115	8.7	7.0	5.2	-	64.3	16.5

- 6 自分が認知症になったら、まわりの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 認知症になったら、まわりの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思うかについて、「そう思う」が42.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が25.4%、「どちらでもない」が15.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「そう思う」が多くなっています。
○ 「全く思わない」は男性 前期高齢者が3.6%、男性 後期高齢者が3.6%と他の区分に比べて多くなっています。

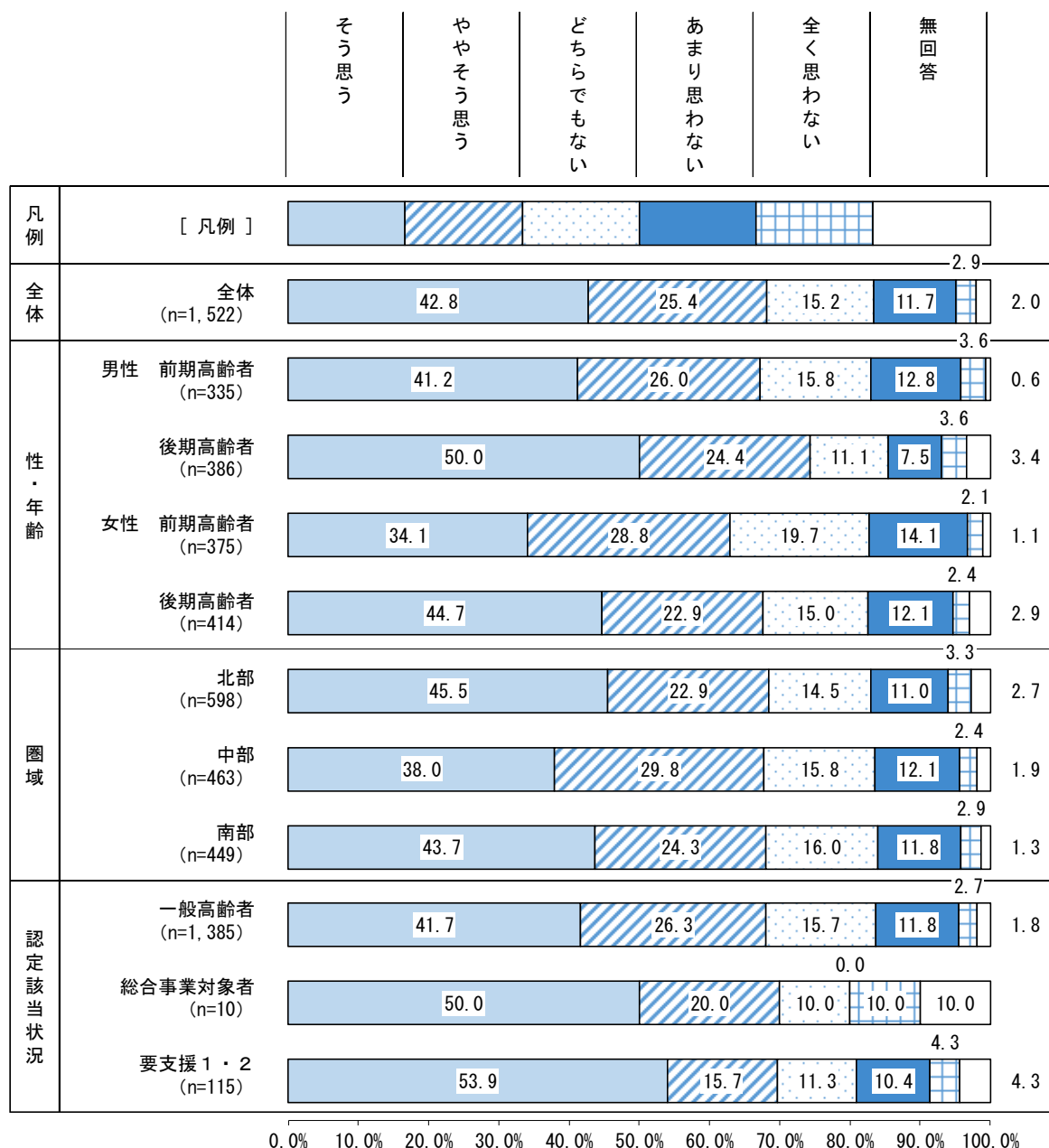
【圏域】

- 「そう思う」は中部が38.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「そう思う」が多くなる傾向がみられます。
○ 「全く思わない」は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症発症後における在宅生活継続の意向】



7 認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方が良いと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方が良いと思うかについて、「そう思う」が30.4%で最も多く、次いで「ややそう思う」が29.1%、「どちらでもない」が22.9%となっています。

【性・年齢】

- 「そう思う」は男性 前期高齢者が26.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「全く思わない」は男性 前期高齢者が3.6%と他の区分に比べて多くなっています。

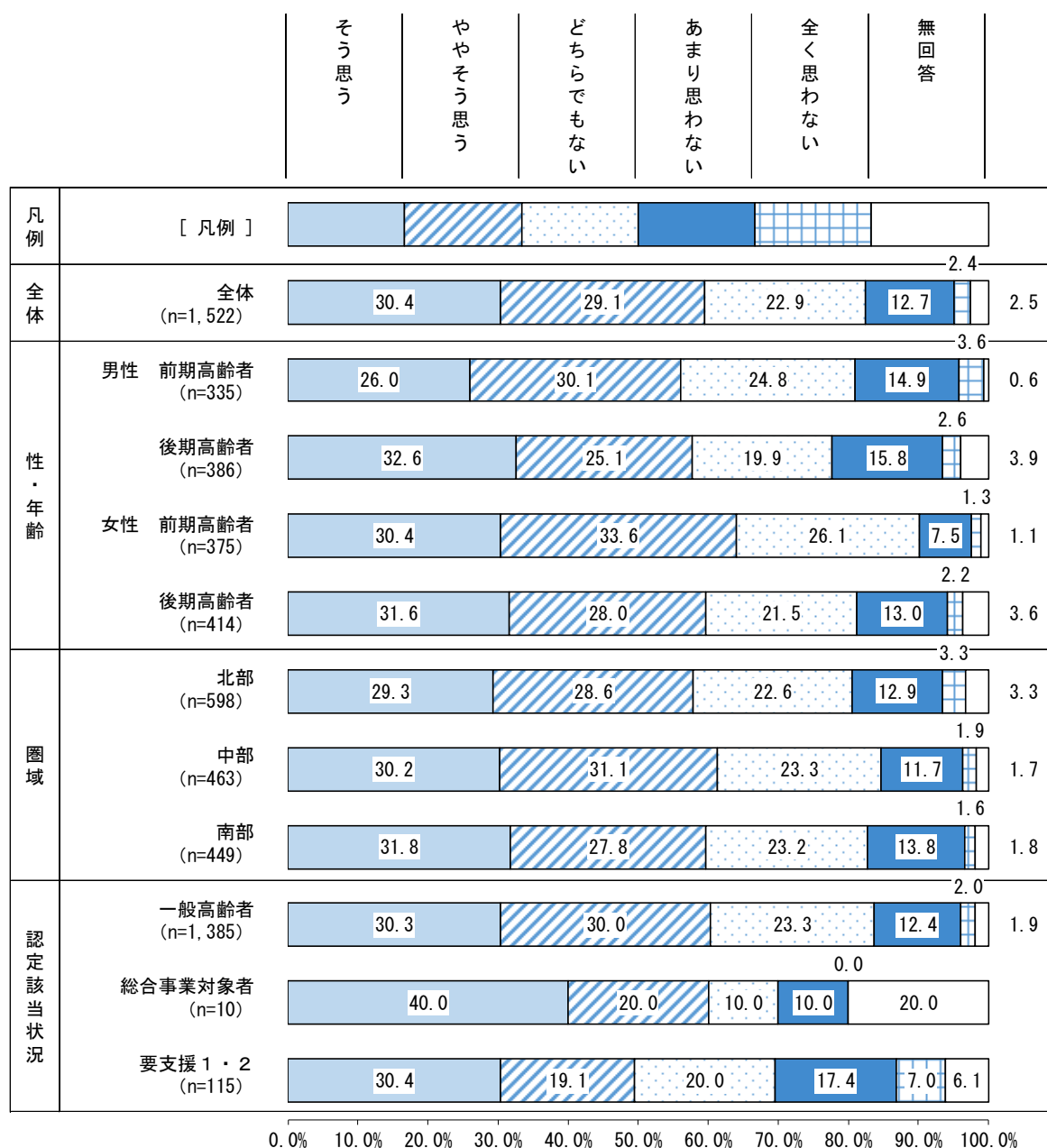
【圏域】

- 「そう思う」は南部が31.8%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「全く思わない」は北部が3.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「ややそう思う」が少なくなる傾向がみられます。

【認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方が良いと思うか】



- 8 自分または家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 自分または家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思うかについて、「ややそう思う」が34.5%で最も多く、次いで「そう思う」が30.9%、「どちらでもない」が15.2%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「そう思う」が多くなっています。

【圏域】

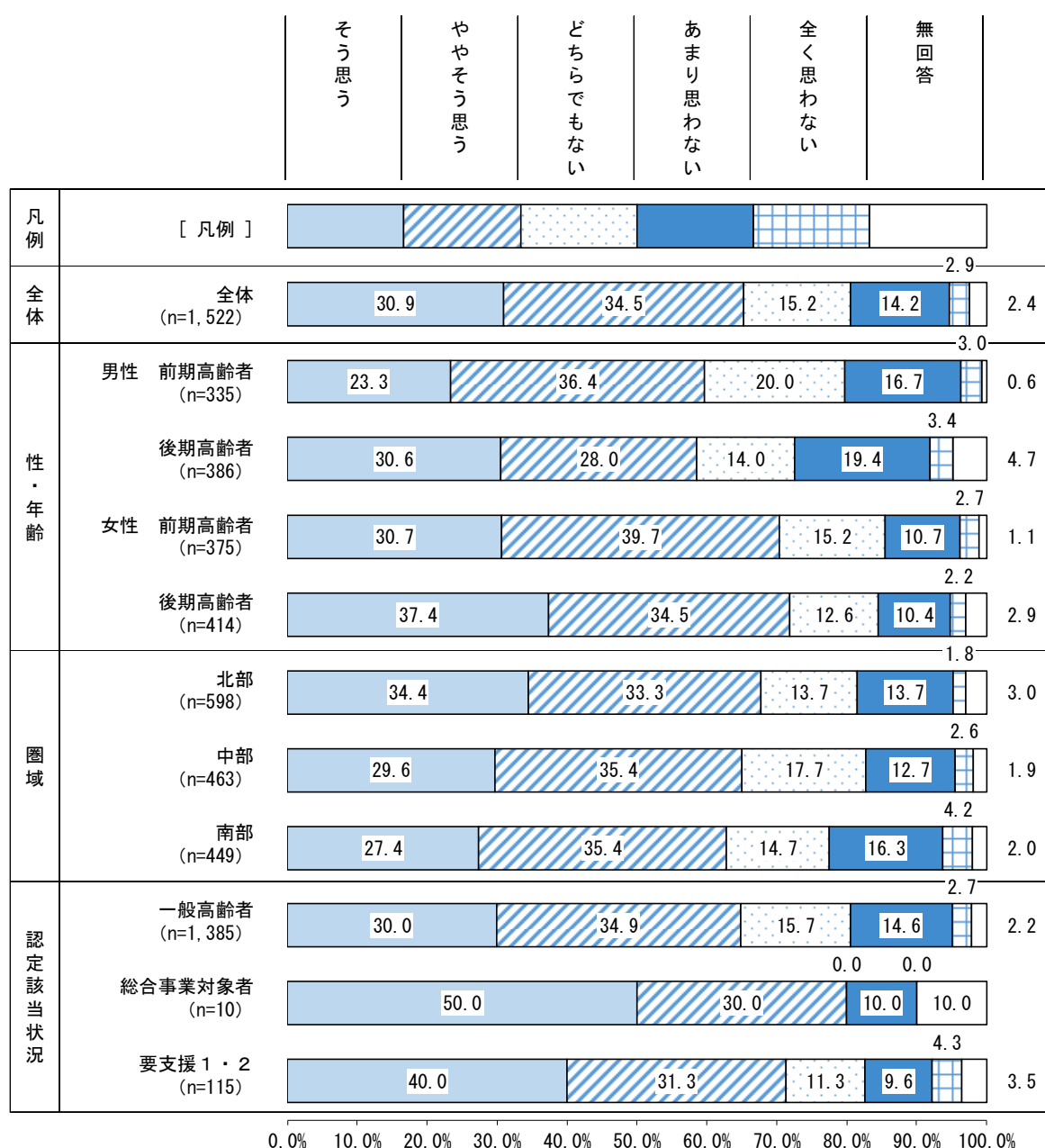
- 「そう思う」は北部が34.4%と他の区分に比べて多くなっています。

- 「全く思わない」は南部が4.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「あまり思わない」は一般高齢者が14.6%と他の区分に比べて多くなっています。

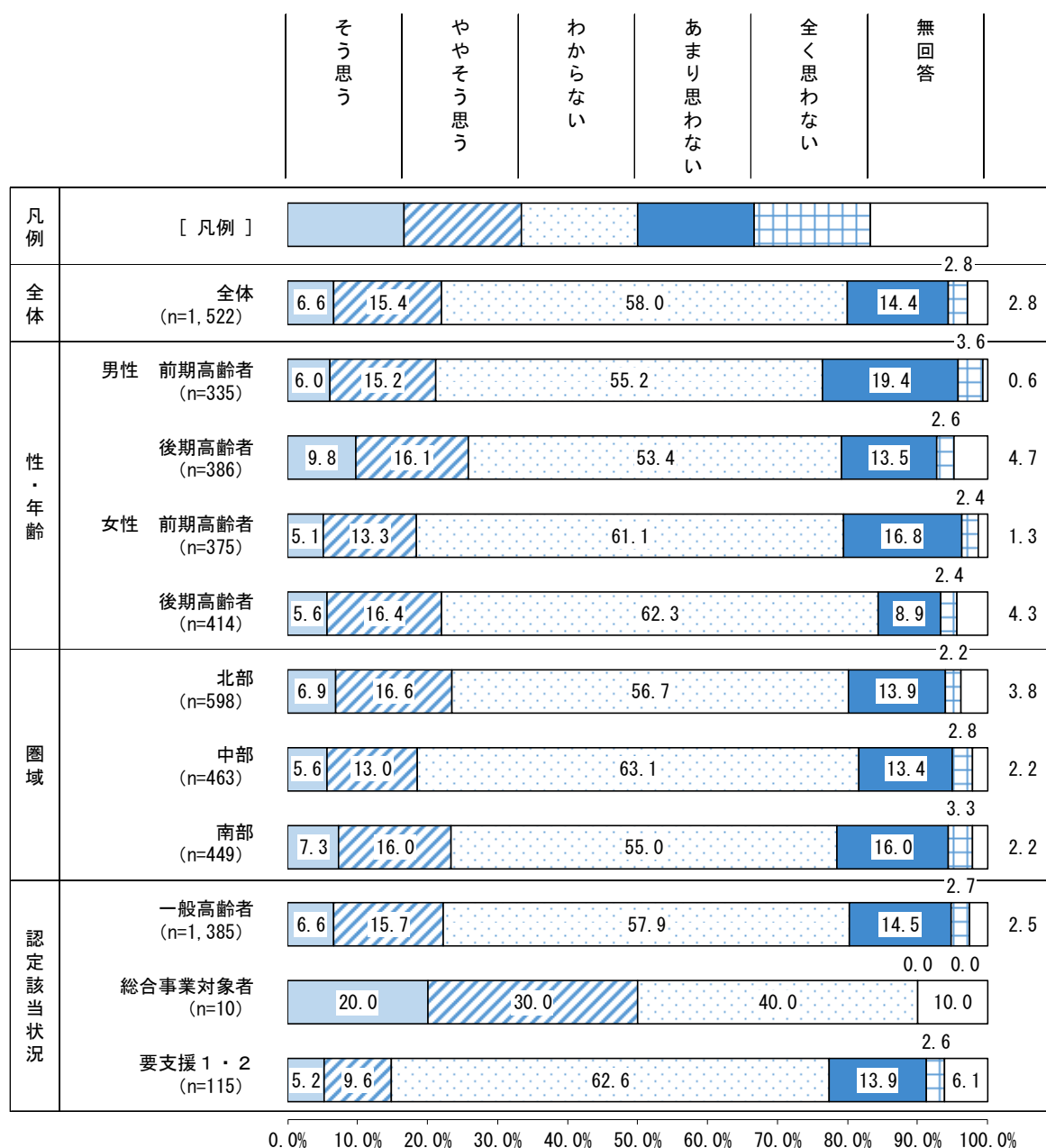
【自分または家族の認知症発症時における周囲への周知意向】



- 9 在宅生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人の望む生活が継続できていると思いますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 在宅生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人の望む生活が継続できていると思うかについて、「わからない」が58.0%で最も多く、次いで「ややそう思う」が15.4%、「あまり思わない」が14.4%となっています。
【性・年齢】
○ 「そう思う」は男性 後期高齢者が9.8%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「全く思わない」は男性 前期高齢者が3.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「そう思う」は中部が5.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「あまり思わない」は南部が16.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「そう思う」は総合事業対象者が20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「わからない」は総合事業対象者が40.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知症の人の意思が尊重され、本人の望む生活が継続できていると思うか】

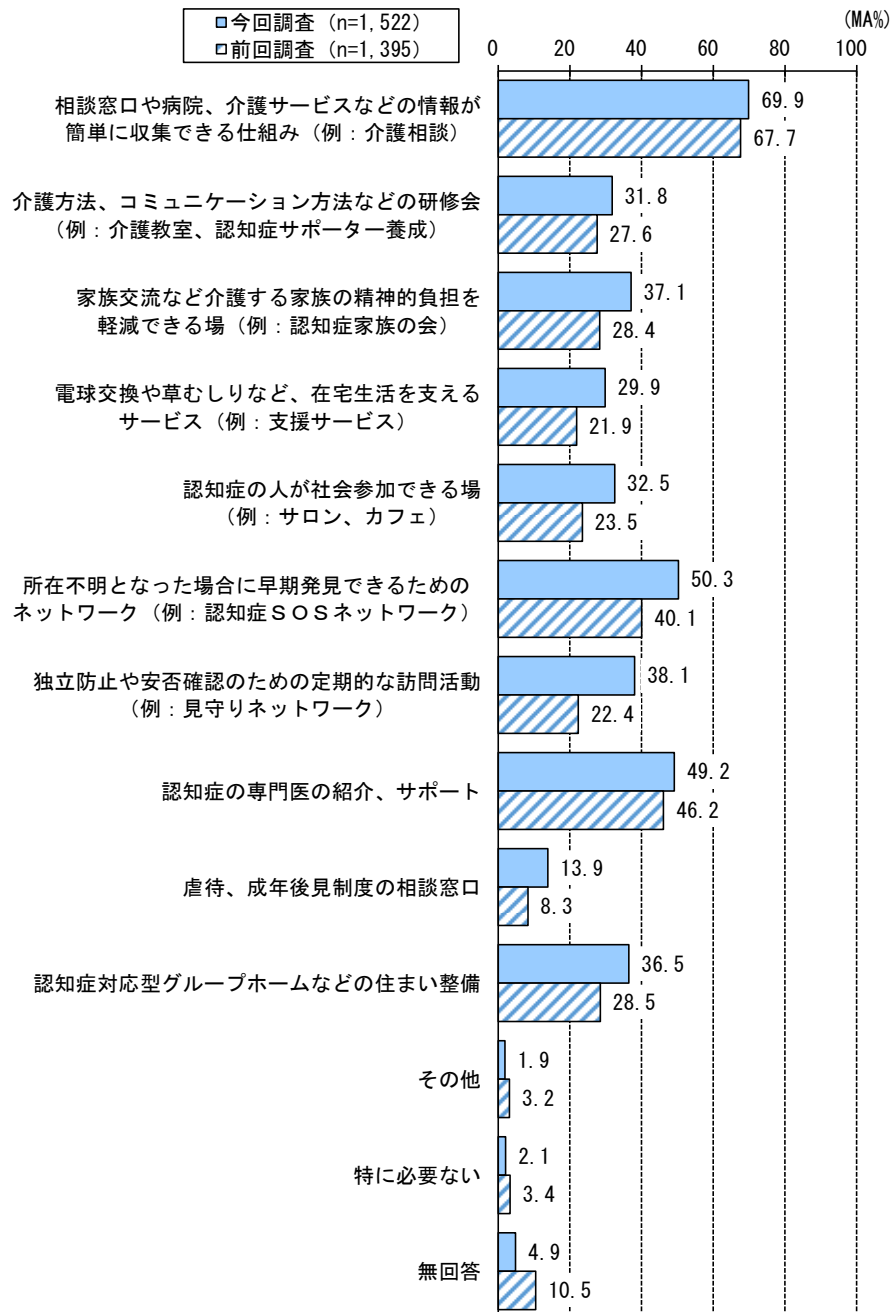


10 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 認知症について、どのような支援があればよいと思うかについて、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が69.9%で最も多く、次いで「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク」が50.3%、「認知症の専門医の紹介、サポート」が49.2%となっています。

【認知症について、どのような支援があればよいと思うか】



- 「家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場」は女性 前期高齢者が 43.2% と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動」「認知症対応型グループホームなどの住まい整備」が多くなっています。

- 「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク」は中部が 56.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「認知症の専門医の紹介、サポート」は南部が 52.1%と他の区分に比べて多くなっています。

- 要介護度が高いほど「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が少なくなる傾向がみられます。
- 「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク」は一般高齢者が 51.0%と他の区分に比べて多くなっています。

单位：%

單位：%

11. 介護サービスについて

1 あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（1つだけ○）

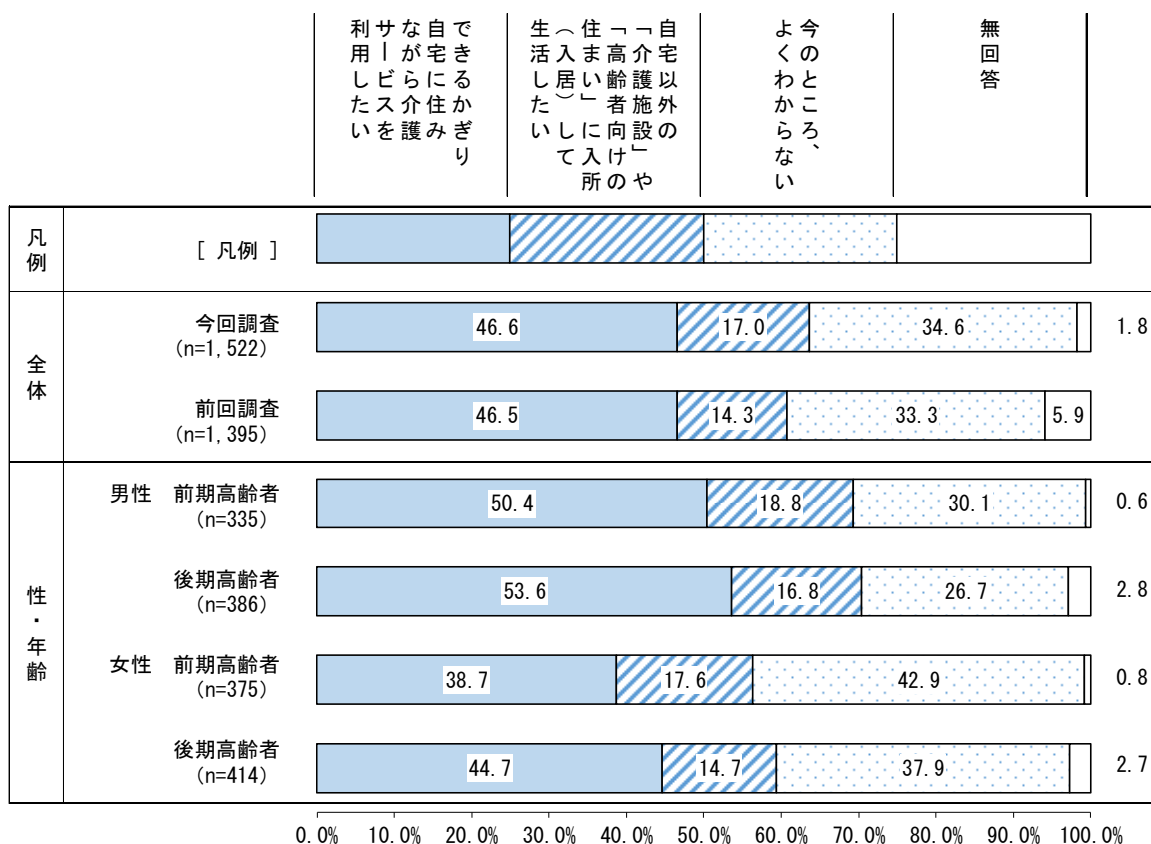
【全体】

- 介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいかについて、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が46.6%で最も多く、次いで「今のところ、よくわからない」が34.6%、「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）して生活したい」が17.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が多くなっています。
- 「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）して生活したい」は女性 後期高齢者が14.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【介護を受けたい場所】

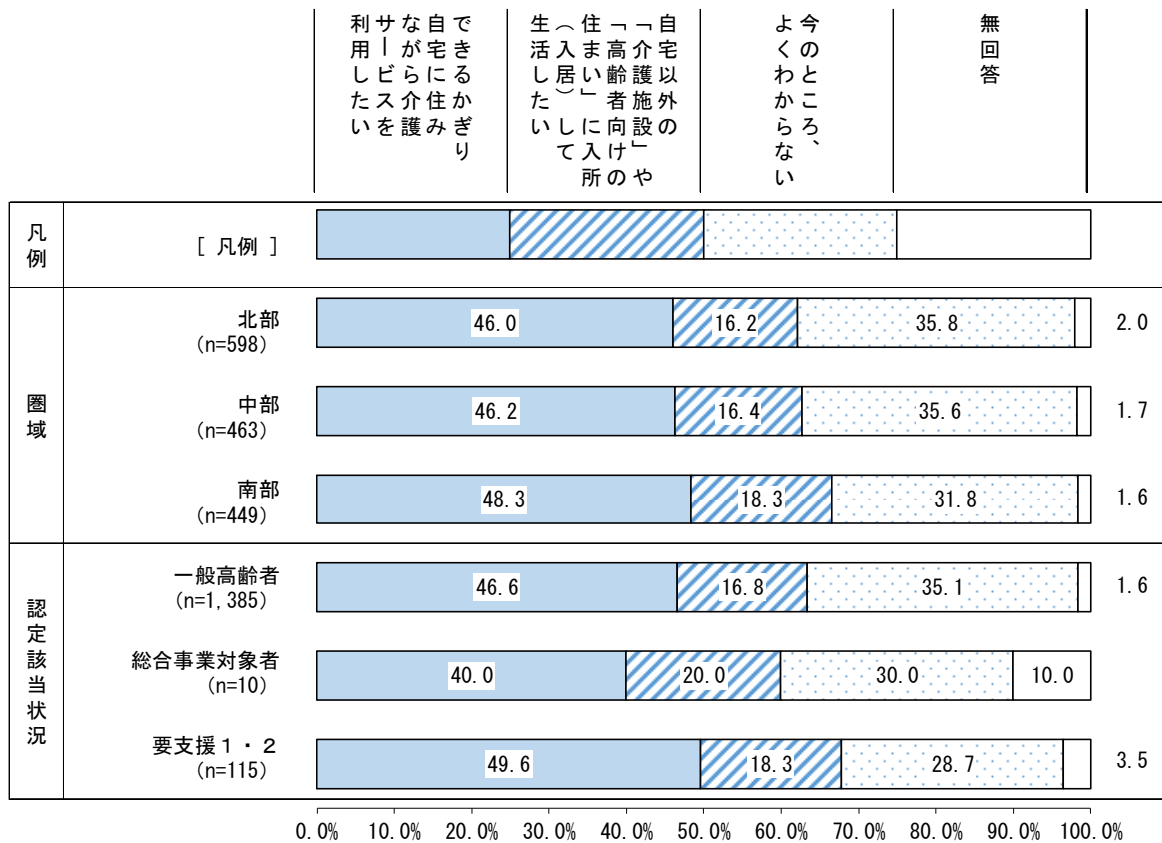


【圏域】

- 「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）して生活したい」は南部が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「今のところ、よくわからない」が少なくなる傾向がみられます。

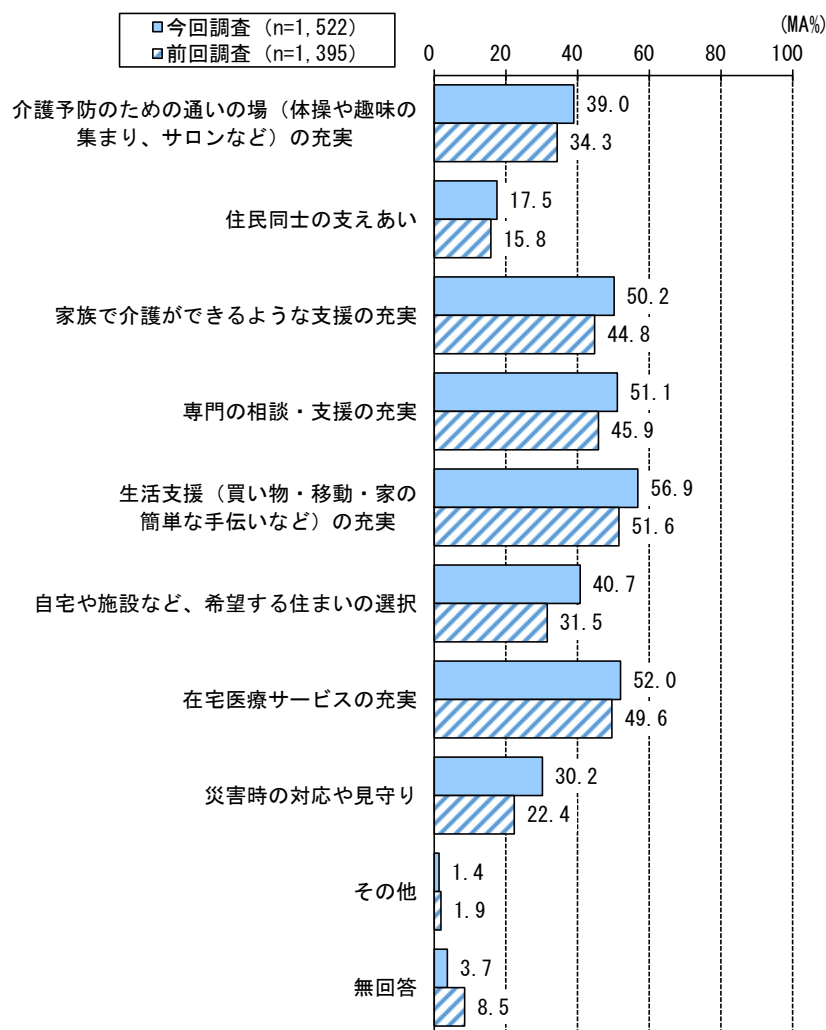


- 2 支援や介護が必要になっても安心して暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 支援や介護が必要になっても安心して暮らすためには、どのようなことが必要だと思うかについて、「生活支援の充実」が56.9%で最も多く、次いで「在宅医療サービスの充実」が52.0%、「専門の相談・支援の充実」が51.1%となっています。

【支援や介護が必要になっても安心して暮らすために必要なこと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「生活支援の充実」が多くなっています。
- 「在宅医療サービスの充実」は女性 前期高齢者が 59.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「専門の相談・支援の充実」は北部が 47.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「災害時の対応や見守り」は中部が 30.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「生活支援の充実」は一般高齢者が 57.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「自宅や施設など、希望する住まいの選択」が少なくなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	支援や介護が必要になっても安心して暮らすためには、 どのようなことが必要だと思うか(MA)				
			介護の場 （通いの場） （趣味の集まり、 サロンの充実）	住民 同士の 支えあい	家族 で介護 ができる	専門 の相談・ 支援の 充実	生活 （買い物・ 手伝い・ 移動・ 家の 充実）
全体	今回調査	1,522	39.0	17.5	50.2	51.1	56.9
	前回調査	1,395	34.3	15.8	44.8	45.9	51.6
性・年齢	男性 前期高齢者	335	35.5	14.9	54.6	50.7	55.2
	後期高齢者	386	33.2	17.6	50.5	45.6	51.6
	女性 前期高齢者	375	43.7	19.2	49.1	58.9	△ 66.9
	後期高齢者	414	42.8	18.1	47.3	50.2	54.3
圏域	北部	598	38.6	16.9	47.8	47.5	49.7
	中部	463	38.0	17.5	53.1	54.9	62.2
	南部	449	40.3	18.5	50.3	52.8	61.2
認定該当状況	一般高齢者	1,385	39.3	17.6	50.5	51.4	57.5
	総合事業対象者	10	△ 70.0	20.0	▼ 20.0	▼ 40.0	50.0
	要支援 1・2	115	32.2	16.5	49.6	51.3	51.3

単位：％

		母数 (n)	支援や介護が必要になっても安心して暮らすためには、 どのようなことが必要だと思うか(MA)				
			希望する住まいの選択	在宅医療サービスの充実	災害時の対応や見守り	その他	無回答
全体	今回調査	1,522	40.7	52.0	30.2	1.4	3.7
	前回調査	1,395	31.5	49.6	22.4	1.9	8.5
性・年齢	男性 前期高齢者	335	40.6	47.5	27.2	1.8	1.5
	後期高齢者	386	33.9	52.1	26.2	0.8	6.0
	女性 前期高齢者	375	49.9	59.2	36.0	1.9	1.9
	後期高齢者	414	39.1	48.8	31.2	1.2	5.1
圏域	北部	598	39.0	51.2	29.9	1.2	5.0
	中部	463	42.5	52.7	30.9	1.1	2.2
	南部	449	41.4	52.1	29.8	2.0	3.6
認定該当状況	一般高齢者	1,385	41.2	52.6	29.3	1.2	3.2
	総合事業対象者	10	40.0	▼ 30.0	△ 50.0	－	20.0
	要支援 1・2	115	36.5	46.1	39.1	3.5	7.8

3 あなたは、「在宅医療」を知っていますか。（1つだけ○）

【全体】

- 「在宅医療」の認知度について、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が48.9%で最も多く、次いで「言葉も内容もよく知っている」が43.6%、「知らない（初めて聞いた）」が4.7%となっています。
- 「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」「知らない（初めて聞いた）」を合わせた“内容を知らない”は53.6%となっています。

【性・年齢】

- 「知らない（初めて聞いた）」は男性 後期高齢者が7.8%と他の区分に比べて多くなっています。

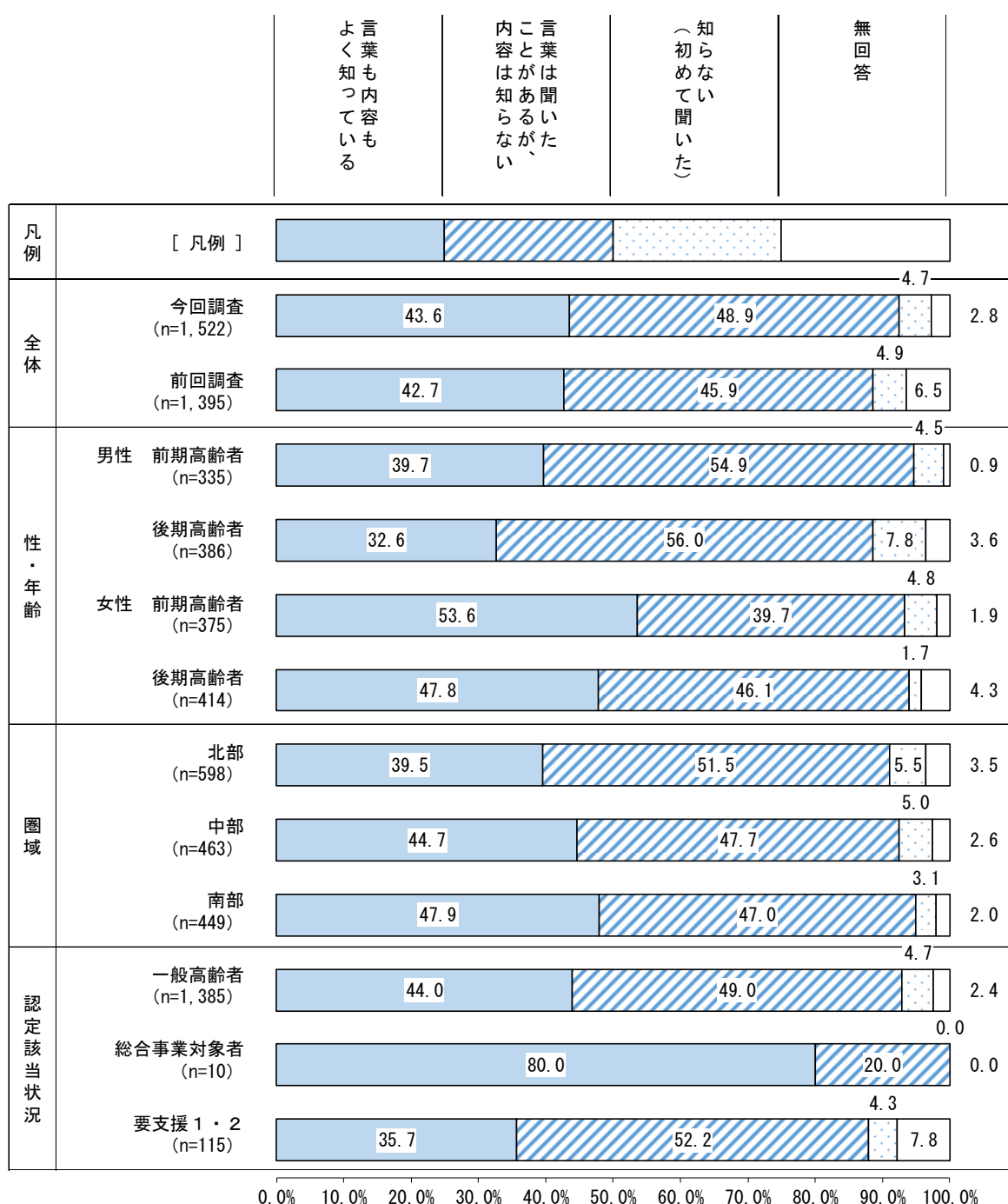
【圏域】

- “内容を知らない”は北部が57.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “内容を知らない”は総合事業対象者が20.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

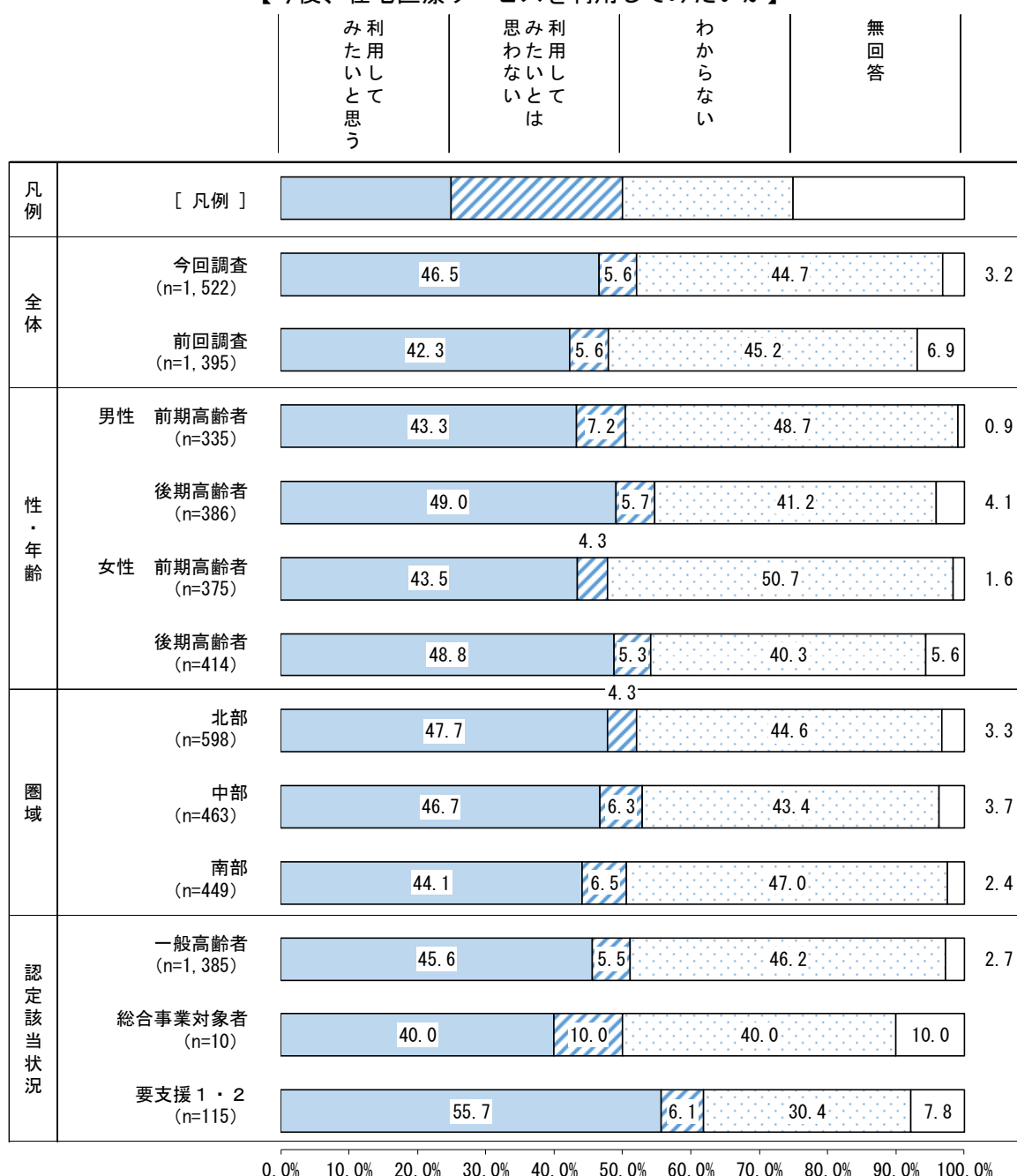
【「在宅医療」の認知度】



- 4 あなたは今後、「在宅医療サービス（訪問看護・訪問診療等）」を利用してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【全体】
○ 「在宅医療サービス（訪問看護・訪問診療等）」を利用してみたいと思うかについて、「利用してみたいと思う」が46.5%で最も多く、次いで「わからない」が44.7%、「利用してみたいとは思わない」が5.6%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用してみたいと思う」が多くなっています。
【圏域】
○ 「利用してみたいとは思わない」は北部が4.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「利用してみたいと思う」は要支援1・2が55.7%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 要介護度が高いほど「わからない」が少なくなる傾向がみられます。

【今後、在宅医療サービスを利用してみたいか】



5 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- どこで最期を迎えたいと思うかについて、「自宅」が44.8%で最も多く、次いで「わからない」が30.4%、「病院」が16.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自宅」が多くなっています。
○ 「施設」は女性 前期高齢者が5.6%と他の区分に比べて多くなっています。

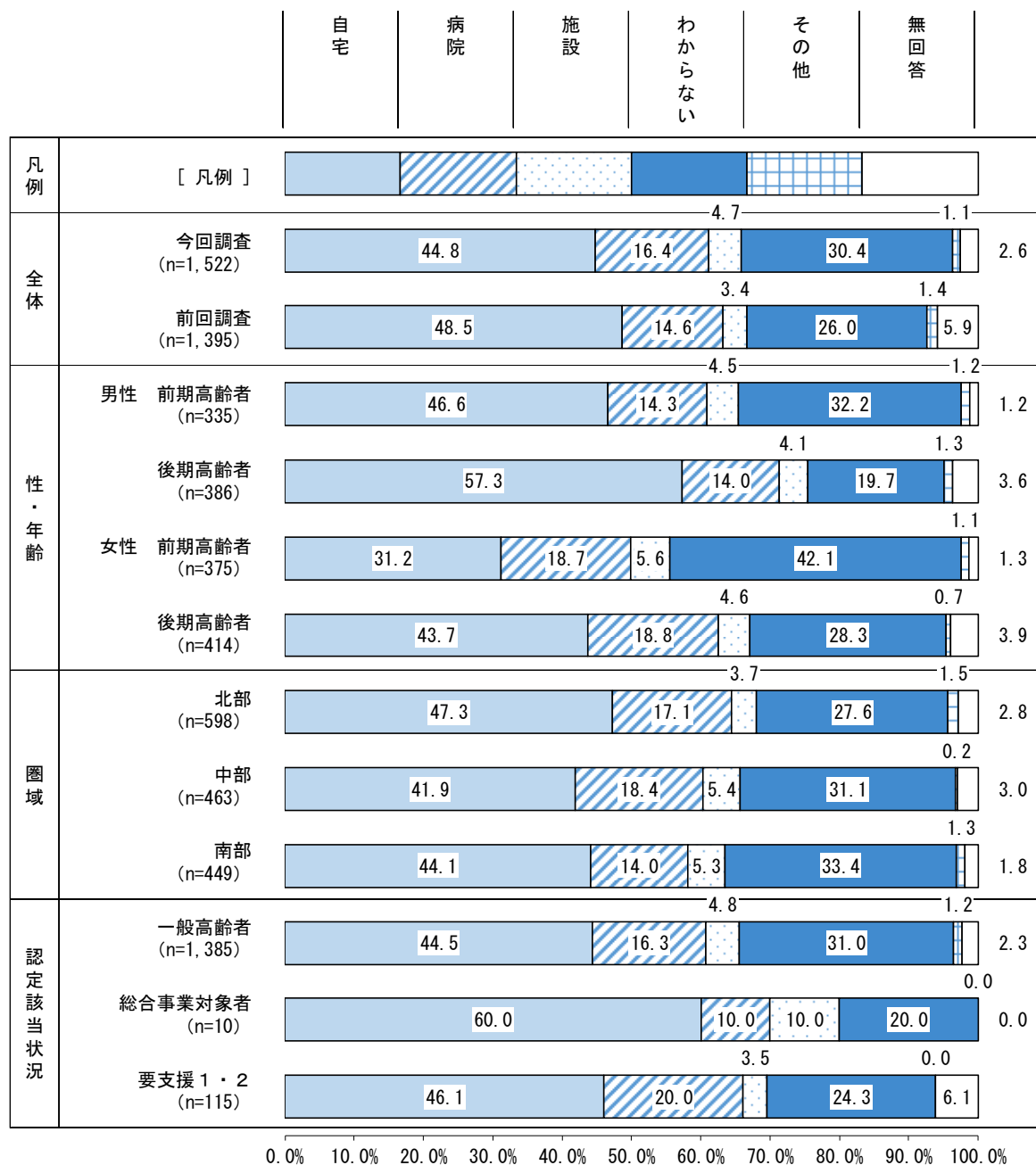
【圏域】

- 「自宅」は北部が47.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自宅」は総合事業対象者が60.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【最期を迎えたい場所】



6 ACP（人生会議）について知っていますか。（1つだけ○）

【全体】

○ ACP（人生会議）の認知度について、「知らない」が77.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が14.6%、「よく知っている」が4.9%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。

【圏域】

○ 「知らない」は北部が75.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「よく知っている」は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【ACP（人生会議）の認知度】

